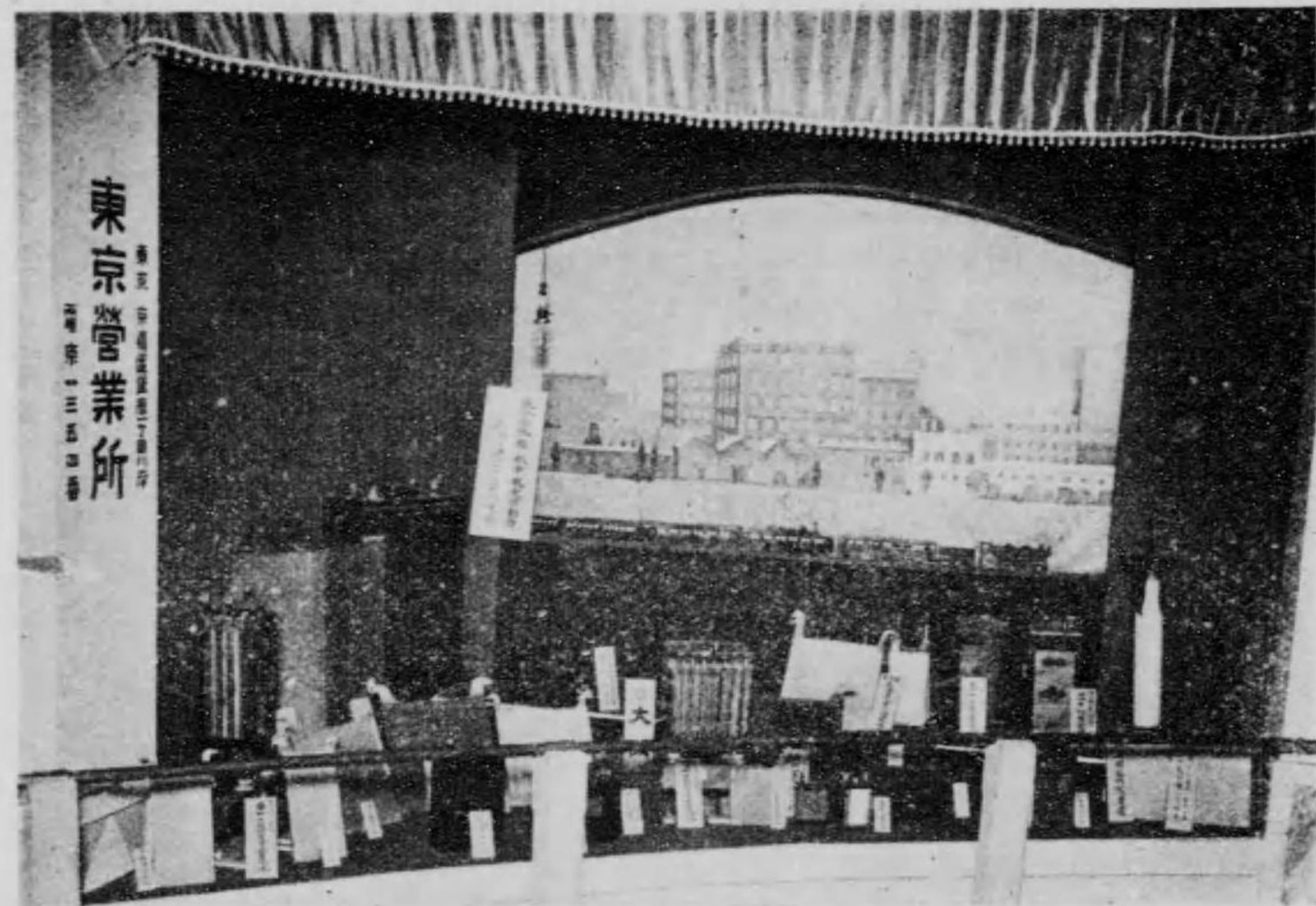
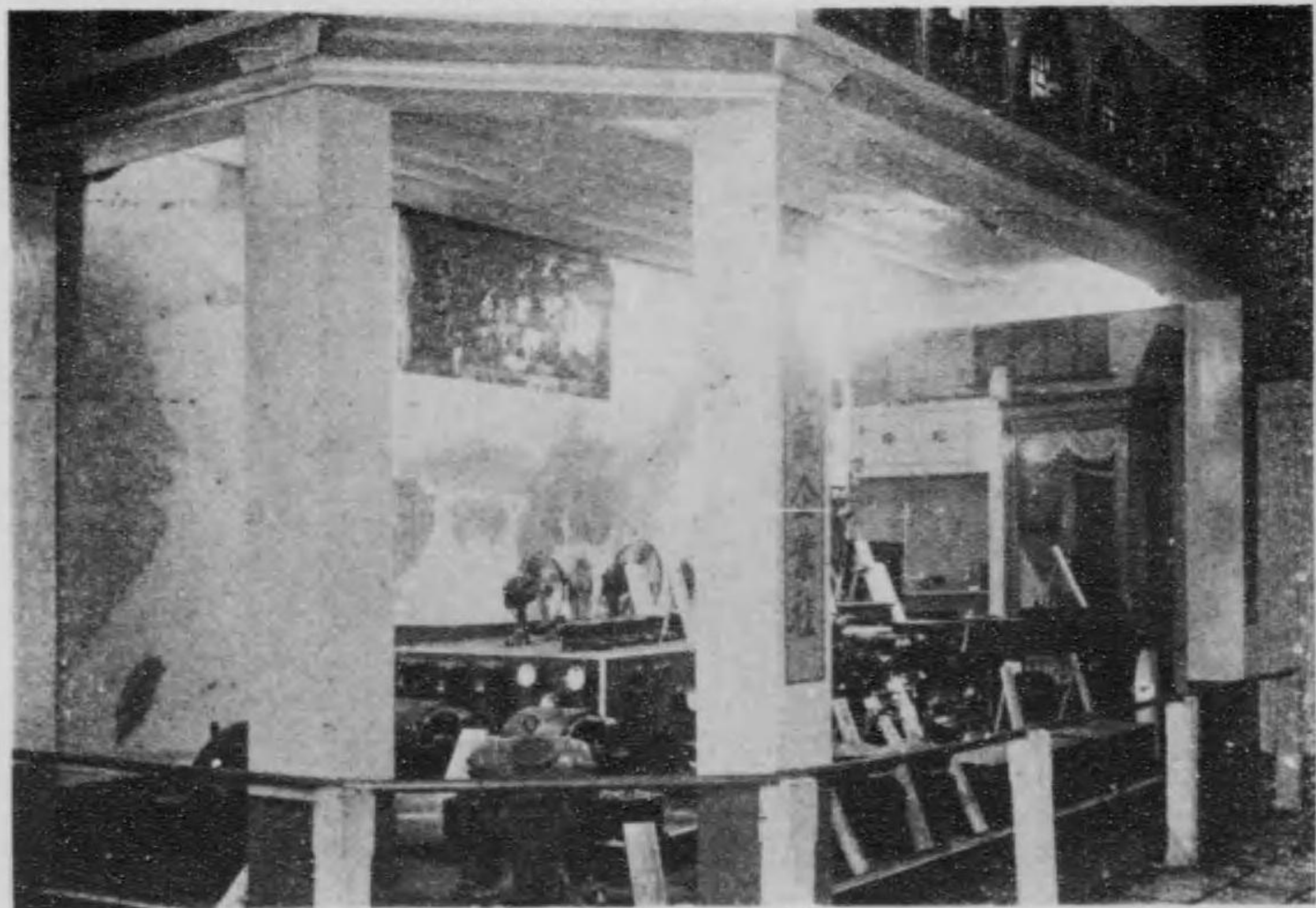


館氣電場會二第



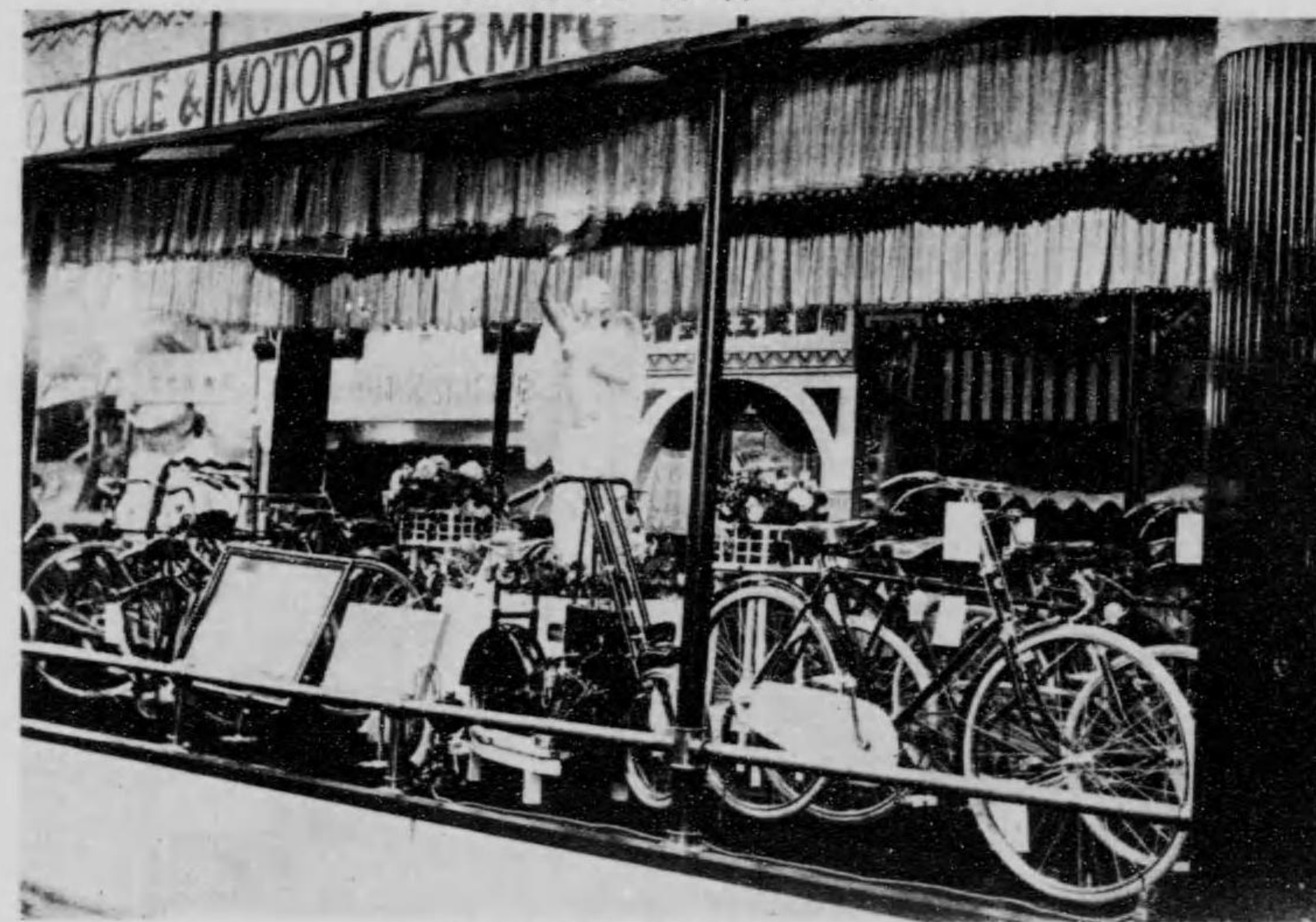
村手盤郡島三府阪大  
社會式株電蓄殘湯

館氣電場會二第



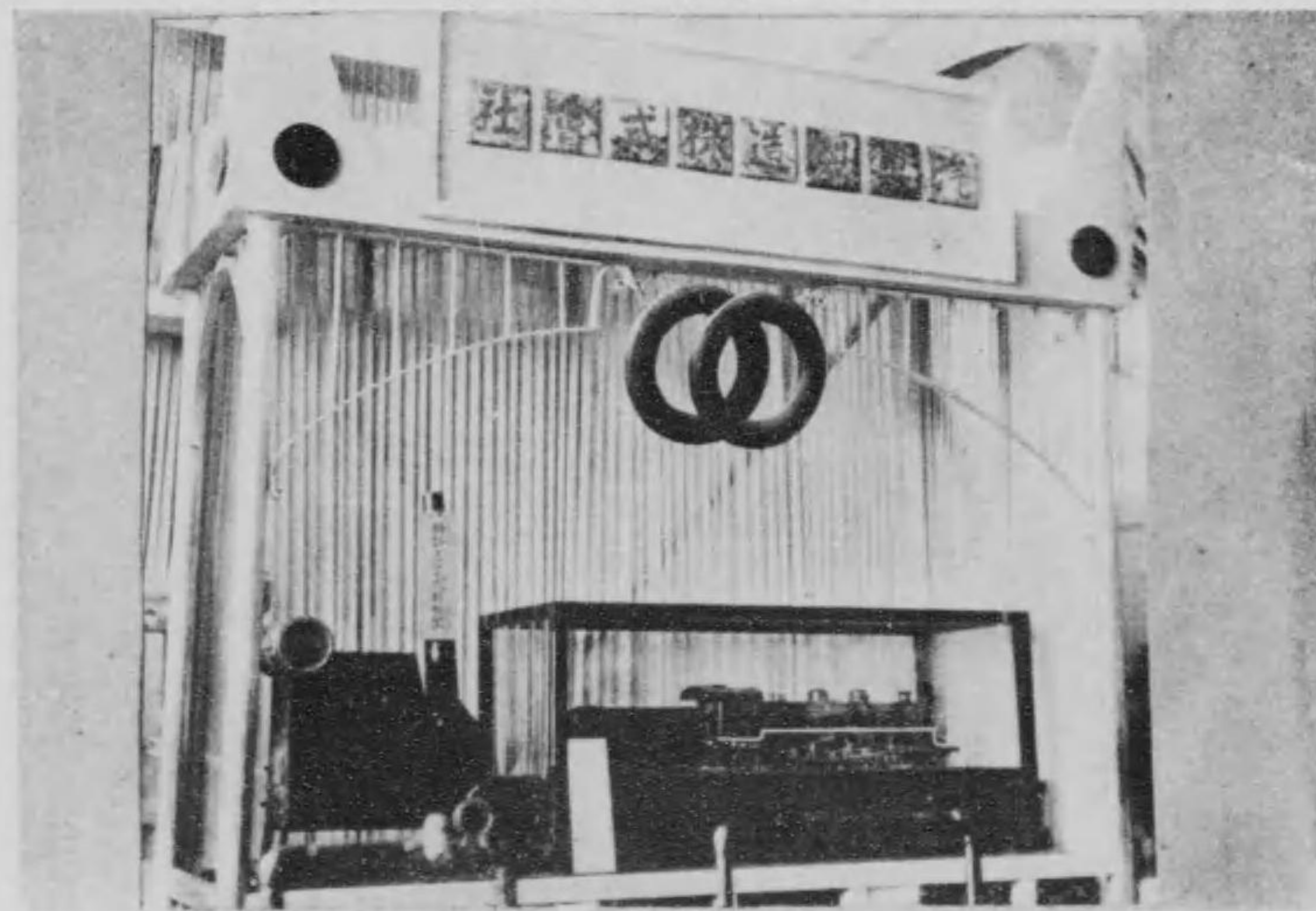
市京東  
社業企氣電北川

館通交場會二第



田柳渡古西區南屋古名  
社會式株造製車轉白屋古名

館通交場會二第



市阪大  
社會式株造製車汽

東京市芝區愛宕町一の一  
寺尾商店

一、出品者

一、營業科目 洋家具製造販賣

一、創立年月 明治三十二年

先代寺尾潤氏は明治初年より斯業に従事し苦心修徳を重ね、改善を實現せる功績没すべからず、現代寺尾氏は明治三十二年創業し爾來斯業の製作販賣に奮闘し今日に及ぶ、同店は主として既製品を販賣し其の在庫品の豊富なることを以て知らる。今日迄に博覽會及共進會に於て金銀賞牌を受領する事十數回に及ぶ。

大阪市南區安堂寺橋通三丁目

柳田幾治郎

一、出品者

東京下谷區御徒町二ノ八、九、十番地

合資會社東京大氣堂

電話下谷 長六二八番

一六一二番

振替東京一三三九六番

一、營業科目 騰寫版製造販賣

一、經營者 大江 孝

一、創立年月 明治卅五年

第八七二九號

第九七三九號

第九七三九號

第一二三八四號

第一二五五〇號

第一七五三三號

日本政府特許

第一二三八四號

第一二五五〇號

第一七五三三號

一、各博覽會品評會共進會に於て賞牌數十個受領

一、全國、臺灣、京城、大連等に支店を有し其數實に十六ヶ所に達し同支店に於て本店と同一の商品を販賣しつゝあり斯界の始祖にして又權威なり宮内省御用達として信用多大なり。

一、出品者

一、所在地

一、營業科目 筆筒鏡臺婚禮用具一式製造及販賣

一、經營者 榊 互

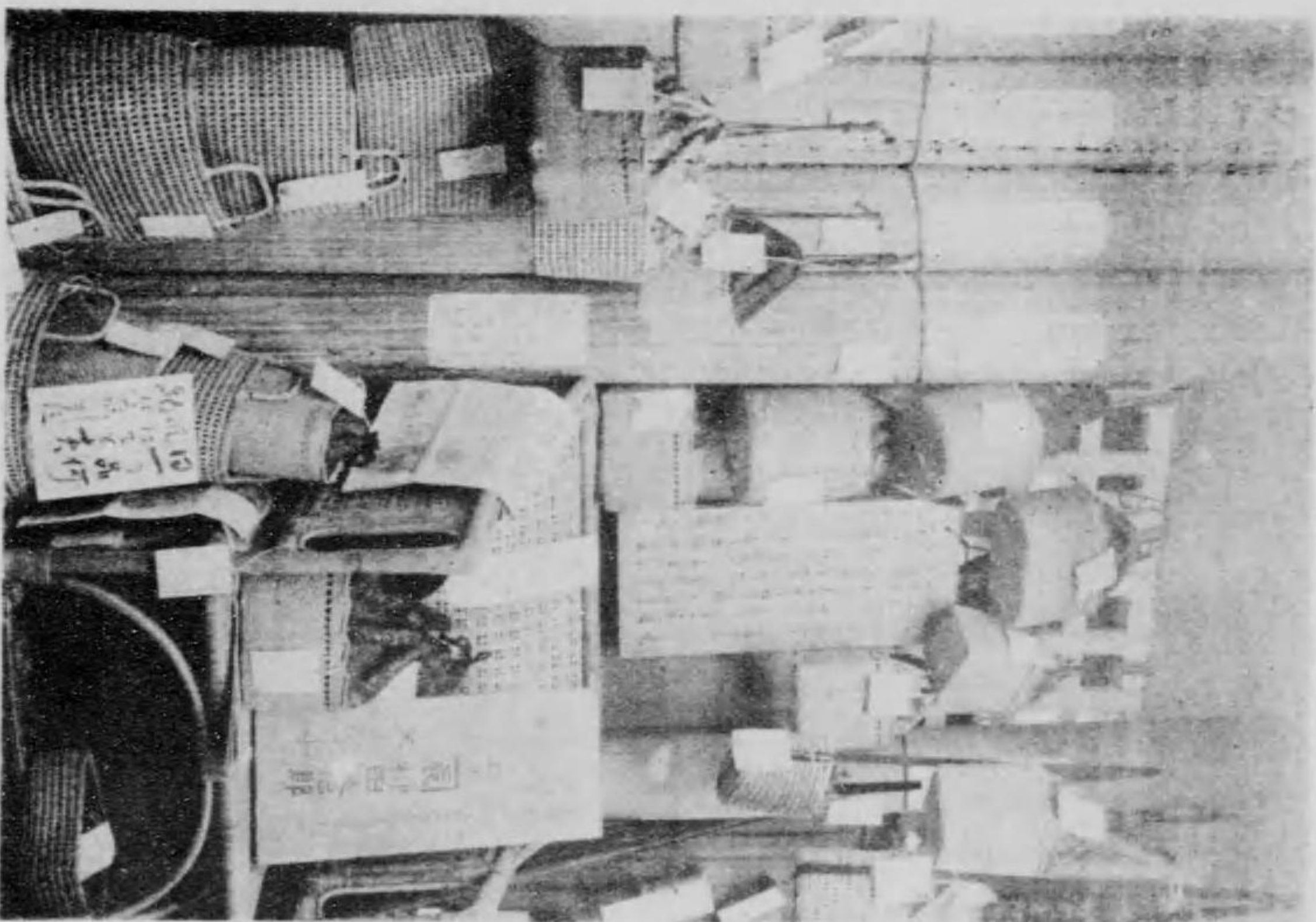
一、創立年月 明治三十九年

東京市本郷區湯島天神町三ノ三番地

榊 筆筒店

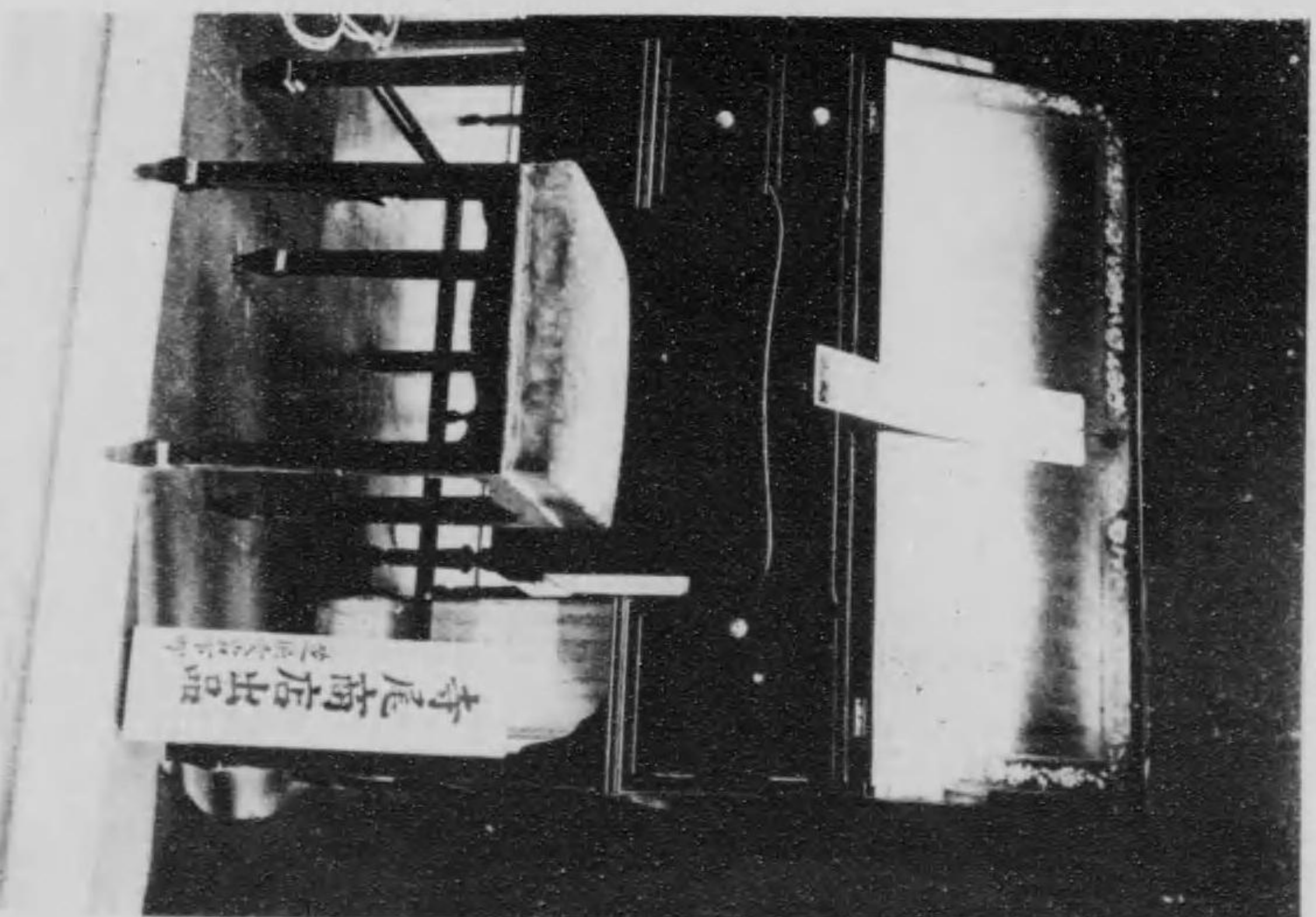
氏は本郷湯島天神町に在りて斯業に従事する事殆んど二十年に近からんとす、其の技術の精巧なる點に於て同業中屈指の定評を有す、平和記念東京博覽會の舉あるや卒先して出品し其の出品物を全國民の觀覽に供せり。

館作製場會一第



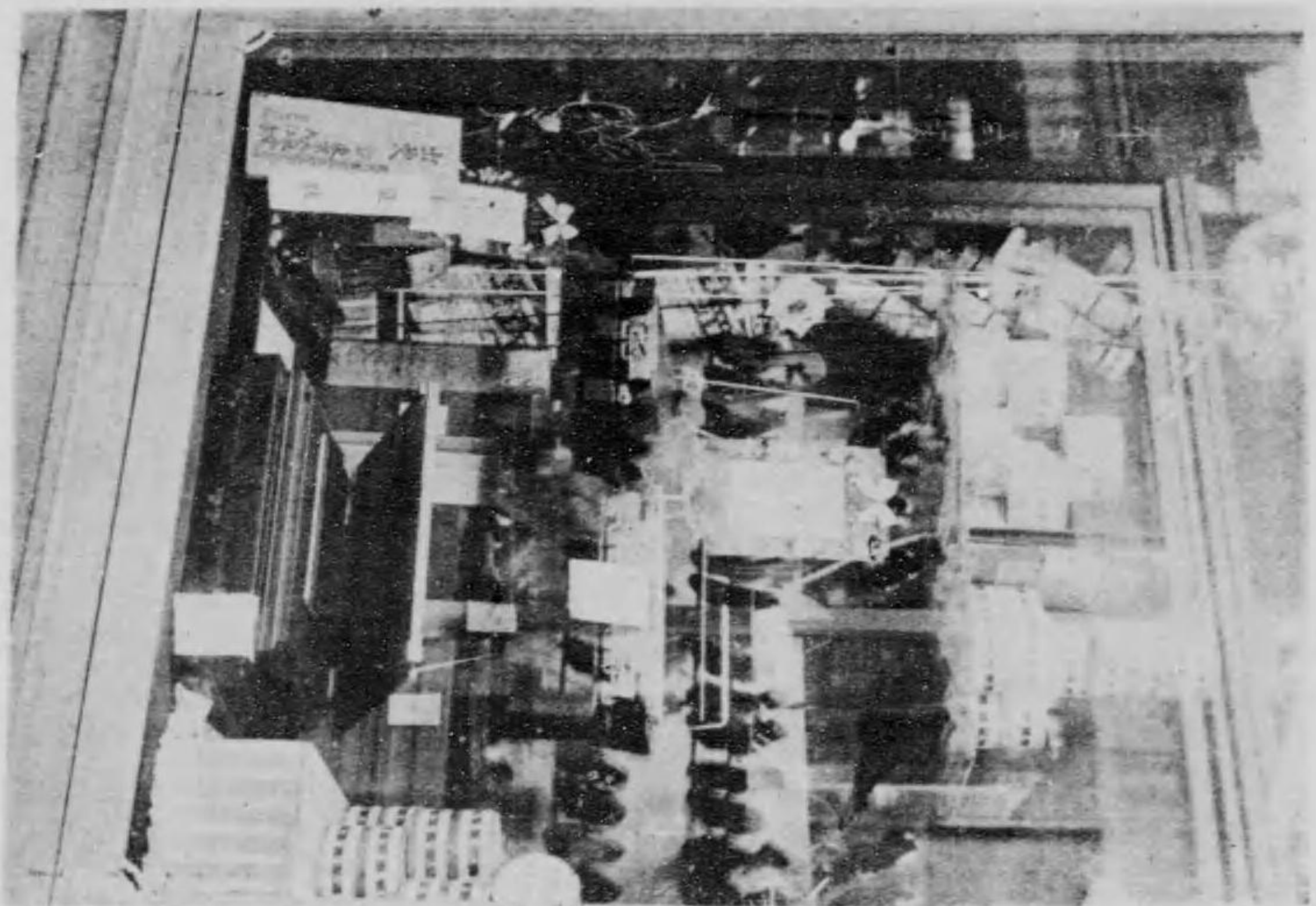
通町寺堂安區南市阪大  
氏郎治幾田柳

館築建場會一第



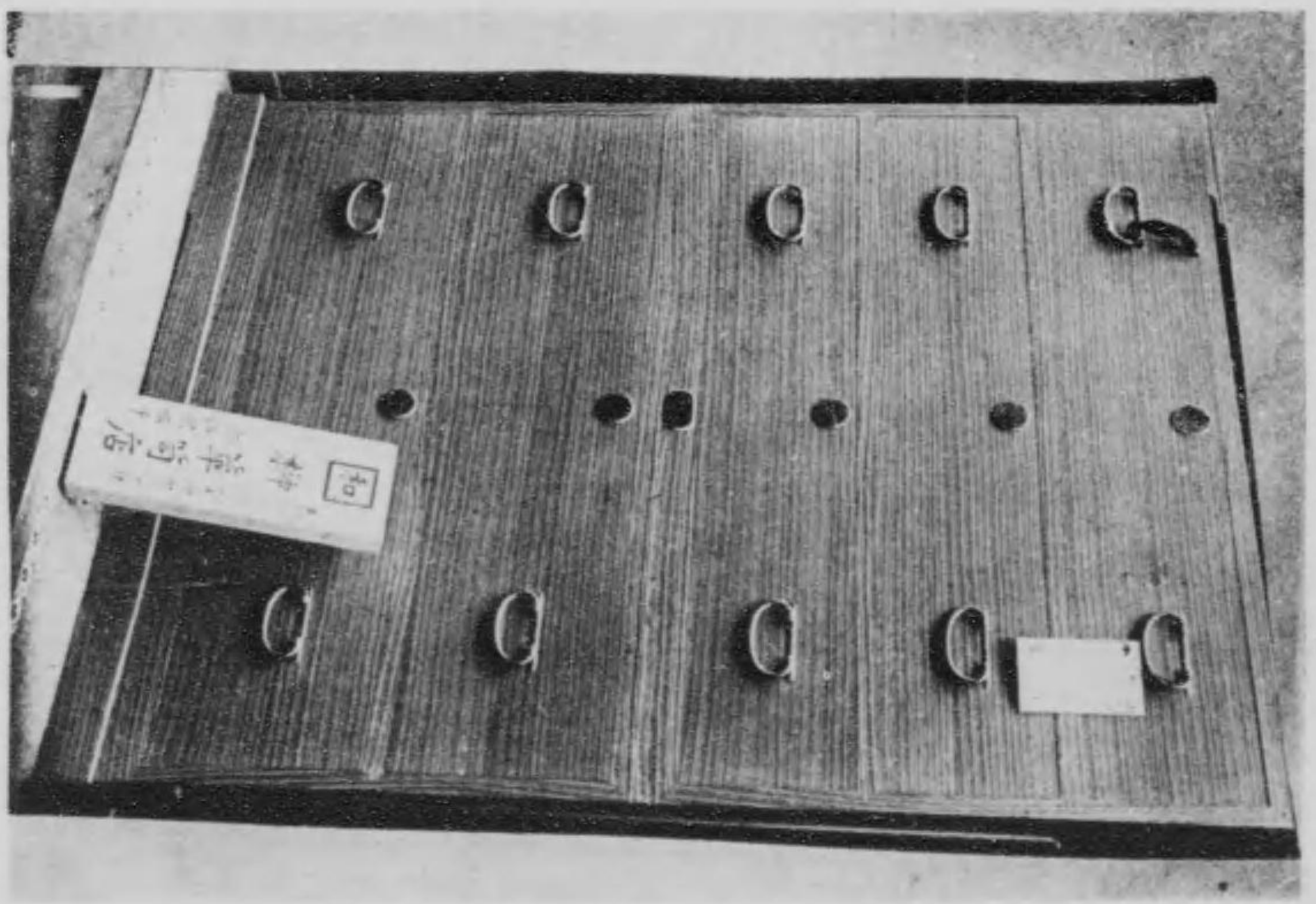
町下宿愛區芝市京東  
店商尾尾寺

館作製場會一第



十、九、八ノ二町庭御區管下市京東  
氏孝江大

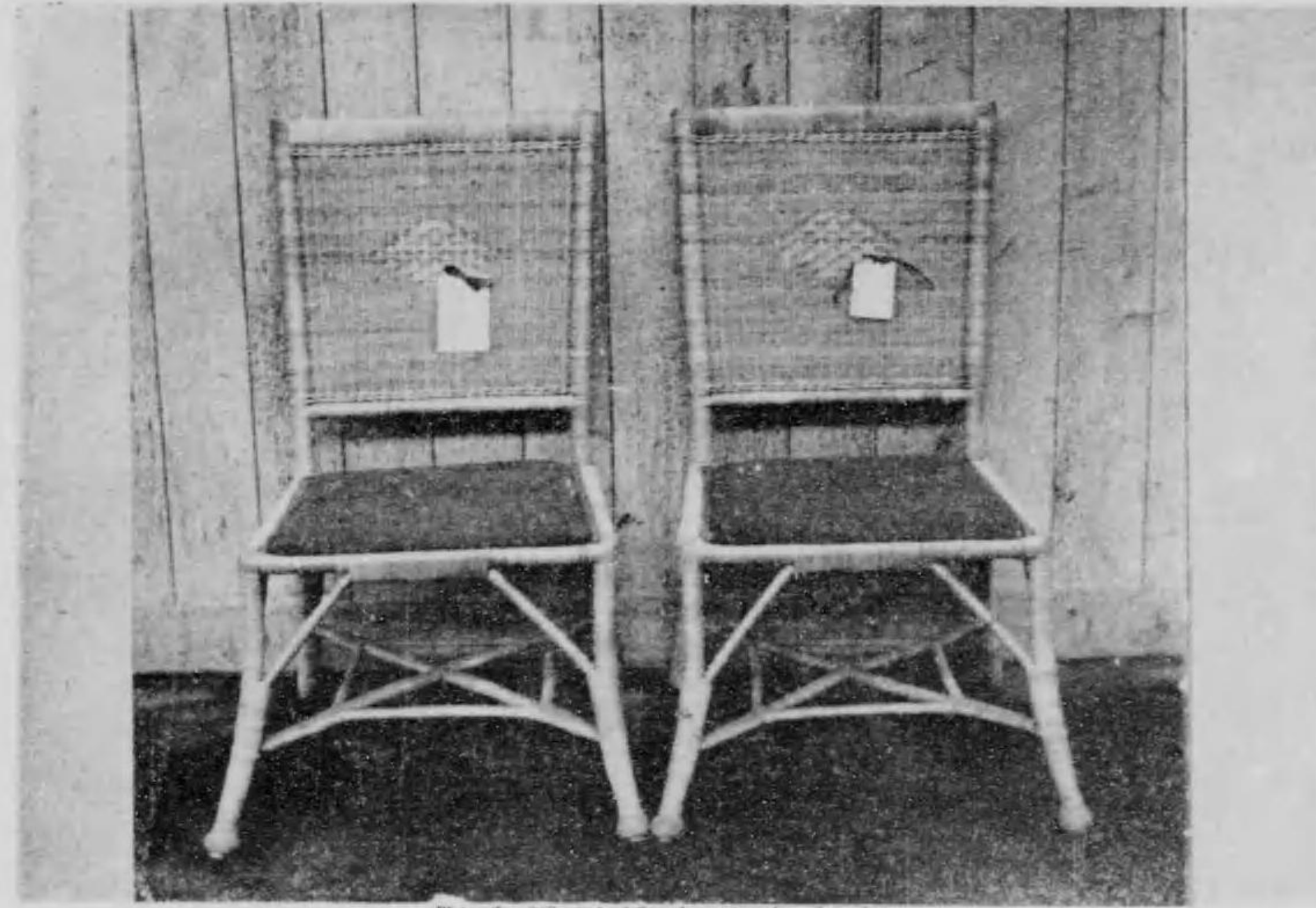
館築建場會一第



日丁三町神天島湯誠柳木市京東  
店筒筆筆柳

欠

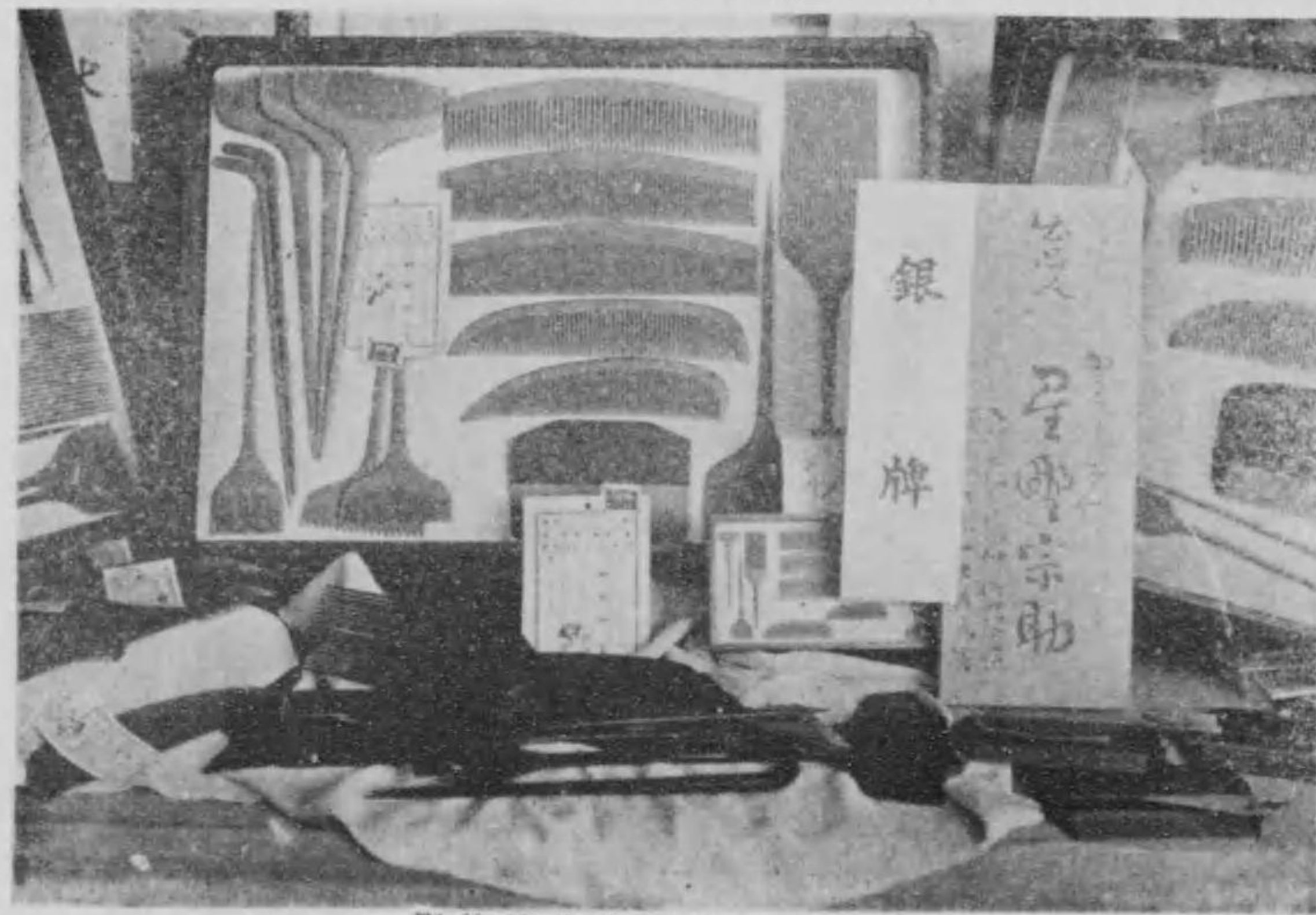
第一會場建築館



東京市日本橋區鐵道町

池田商店

第一會場製作館



東京市下谷區池之端仲町

星野宗助氏

第一會場建築館



東京市麹町區有樂町

木村富三郎氏

第一會場製作館



東京市神田區北神保町

小林末司氏

東京市本所區小梅葉平町三十八番地  
漆器指物商 岩瀬彌三郎  
電話墨田九六六番

一、出品者

名譽 金牌 大正七年十月三十日 第六回國產獎勵共進會  
名譽 金牌 同 十年十二月十五日 全國特產品審査即賣會  
一等賞金牌 大正八年八月三十一日 內閣勸業博覽會  
一等賞金牌 同 十年十月十日 北海道拓殖博覽會  
一等賞金牌 同 七年八月三十一日 第三回帝國觀業共進會  
一等賞金牌 同 六年十一月五日 第三回國產獎勵博覽會  
一等賞金牌 同 六年七月二拾日 全國名產贈答品展覽會  
二等賞銀牌 同 五年八月二十七日 帝國實業化粧品博覽會  
二等賞銀牌 同 七年三月五日 全國特產品博覽會  
三等銀牌 同 五年十月二十日 全國特產品博覽會  
三等銀牌 同 七年八月三十日 第三回帝國觀業共進會  
一等賞 同 二年十一月十日 第十一次漆工競技會  
二等賞銀牌 大正六年七月二十日 全國名產贈答品展覽會  
二等賞銀牌 同 八年八月二十七日 第十五回全國特產品博覽會  
銅牌 同 二年三月二十五日 東京進步博覽會  
本店、岩瀬漆器店と稱し發明品諸雜貨并に美術竹細工度量衡器等の製造販賣に従ふ、特に儀式用道具一式御印付紀念木盃各國塗物蒔繪御重箱菓子器御喰初祝膳椀會席膳鏡臺針箱煙草盃衣桁生花道具の製作に於て獨得の評あり支店は東京市本郷區蓬萊町四にあり本店同一の業務に従事す

一、出品者

一、所在 葛屋 本店  
東京市淺草區元町三番地  
同店獨得の象牙細工出品物にして製作館内に異彩を放てり。

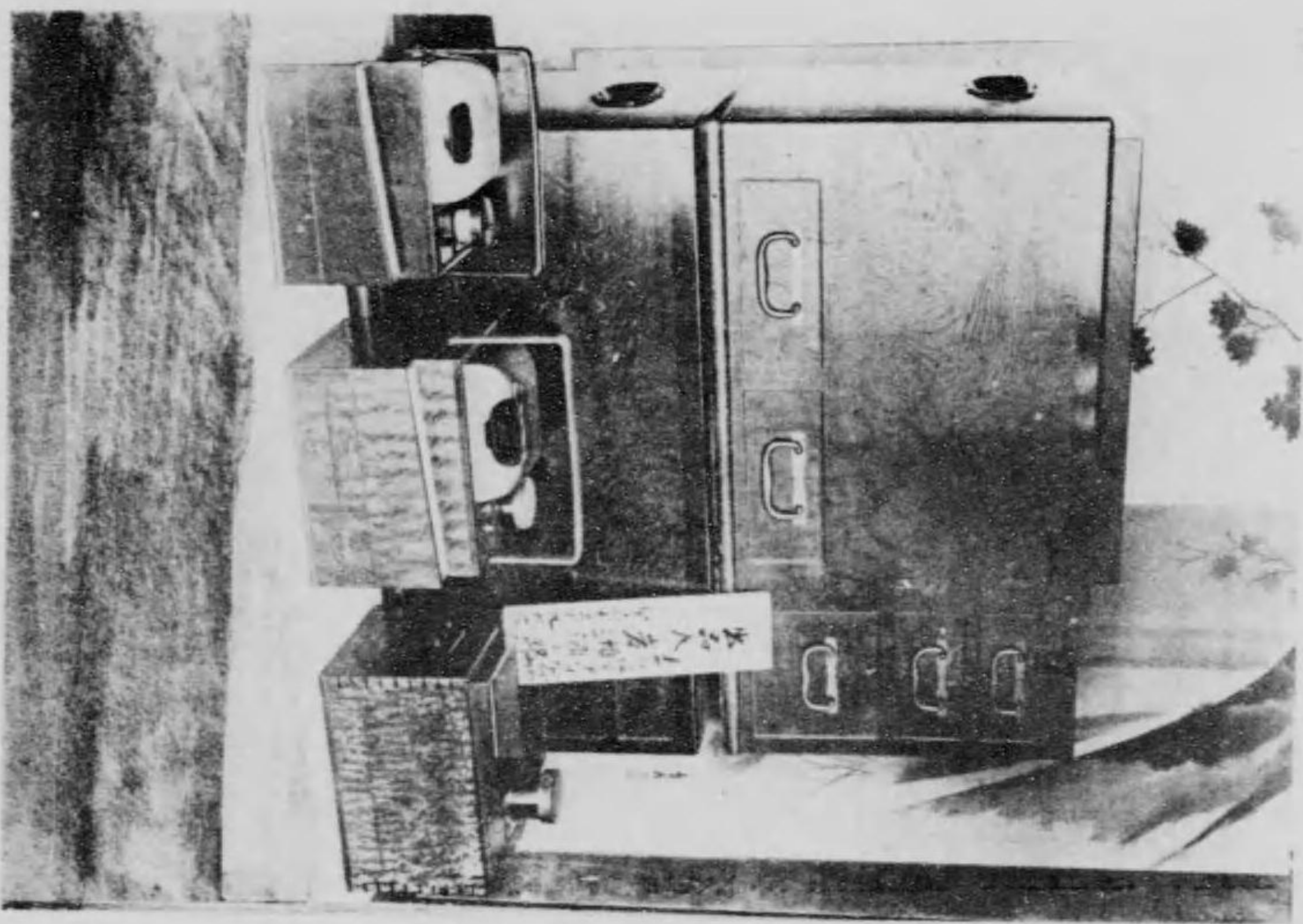
一、出品者

一、所在 關根 榮吉  
埼玉縣入間郡川越町  
一、營業 箆筒製造及販賣  
建築館に出品し好評噴々たりしものにして審査の結果銅牌を受領せるものなり

一、出品者

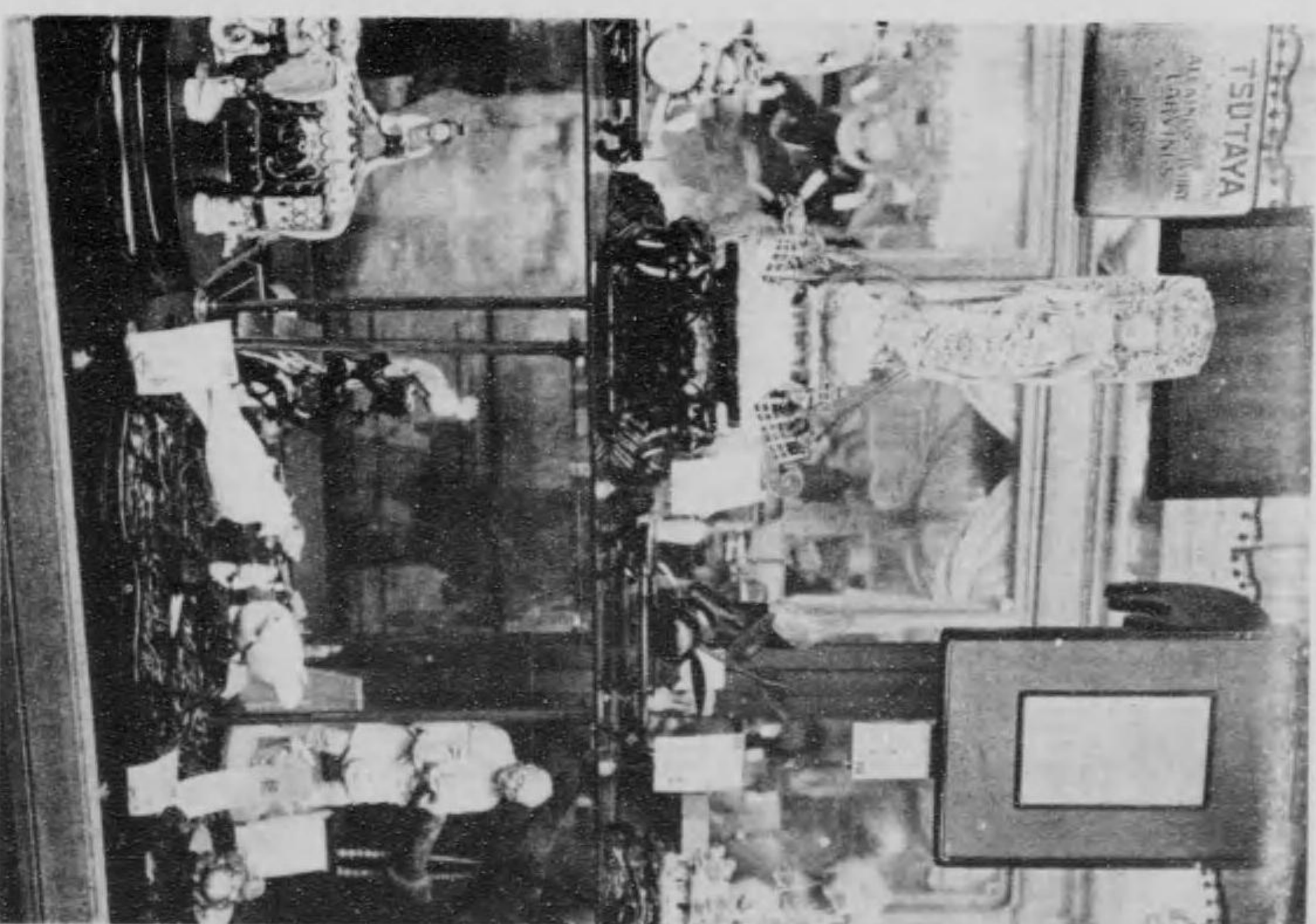
一、所在 關根 貞藏  
埼玉縣川越町  
一、營業 箆筒製造及販賣  
建築館に出品したる氏の作品箆筒は其の技術に於て材料に於て頗る優良にて一般觀覽者の注目を惹けるものなり

附築建場會一第



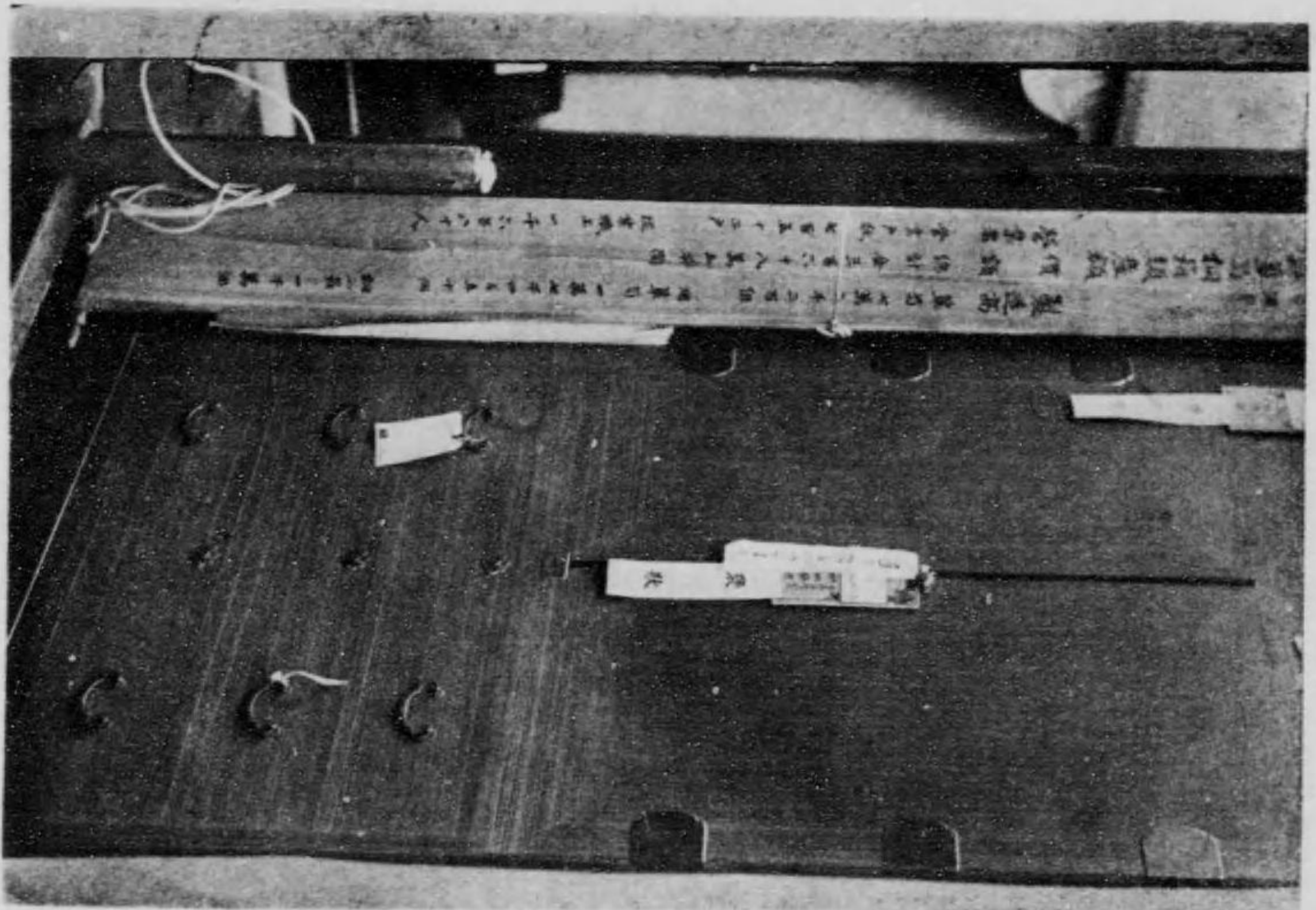
八三町平業梅小區所本市京東  
氏 郎 三 彌 瀨 岩

館作製場會一第



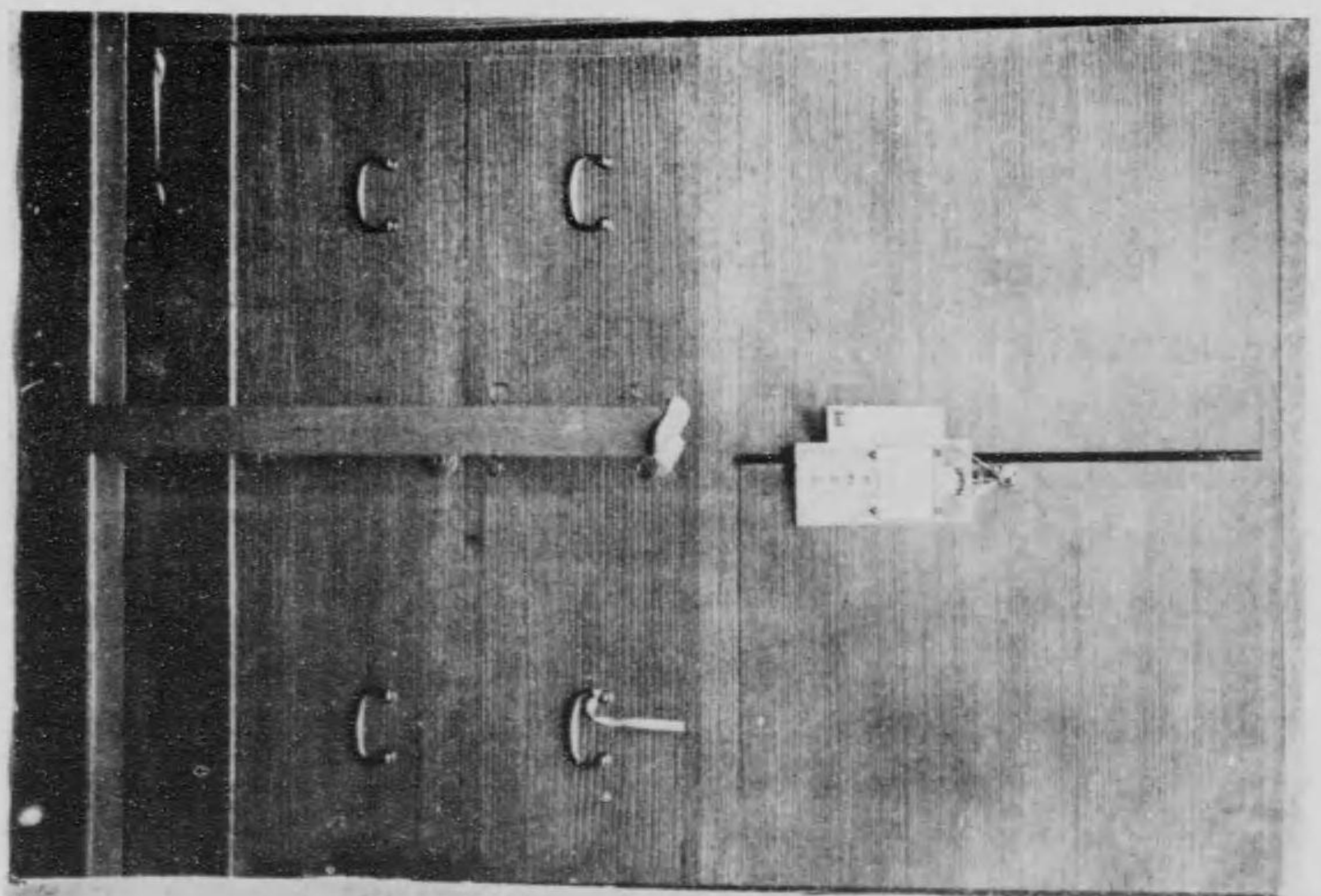
三町元北區草淺市京東  
店 本 屋 薦

館築建場會一第



縣 玉 埼  
氏 吉 榮 根 關

館築建場會一第



縣 玉 埼  
氏 藏 貞 根 關

東京市淺草區玉姬町  
小穴製作所

東京市京橋區新榮町四丁目二番地  
電氣機械 廣澤製作所

電話 京橋二九六六番  
振替口座東京四七四三三番  
電信略號(ヒロ)又ハ(ヒ)

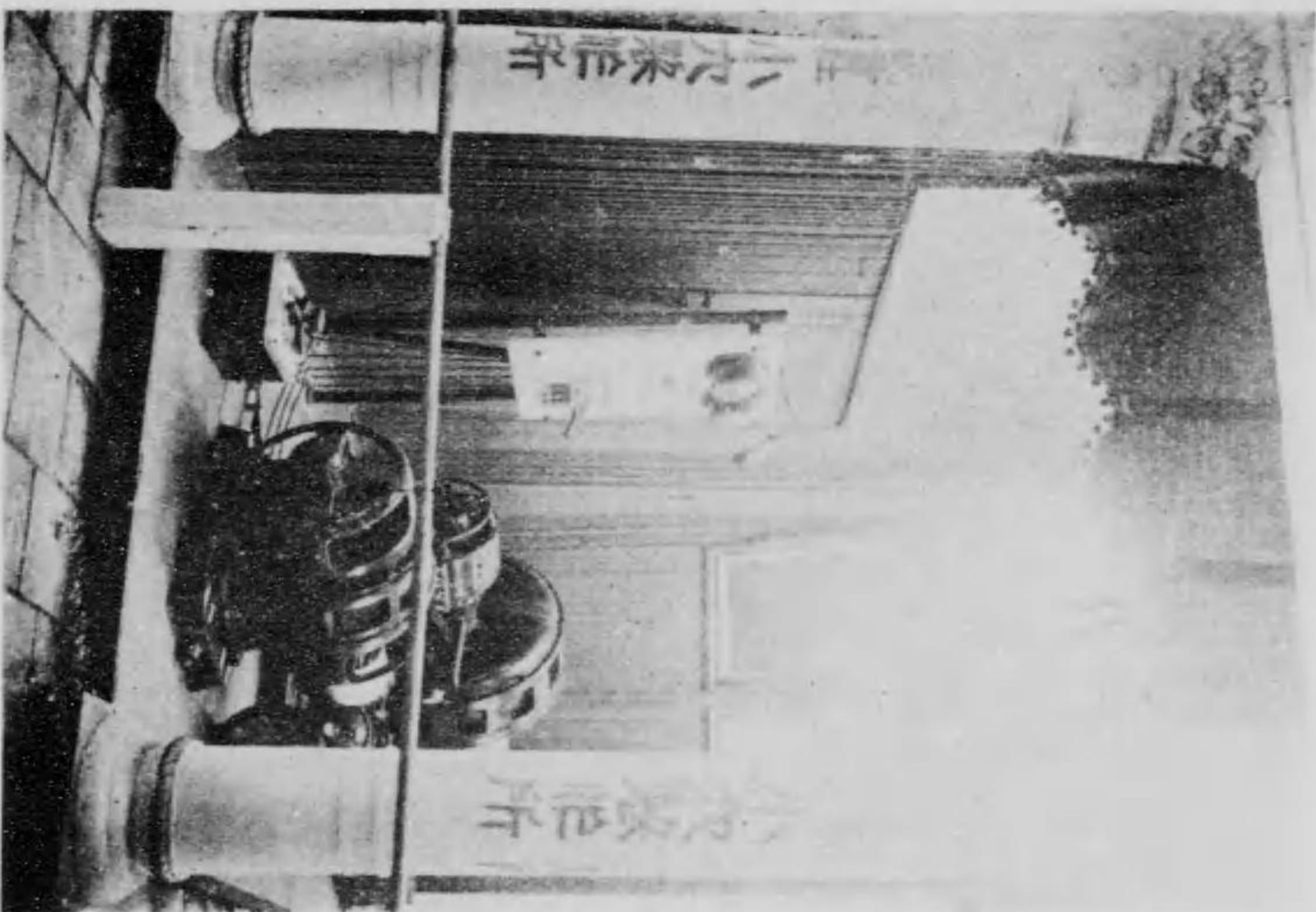
一、營業科目  
二、主要品目

製作修繕設計監督工事請負圖案其他機械器具材料一式販賣  
電燈電力 電動機、發電機、變壓器、配電盤、開閉器、抵  
抗器、電氣爐、避雷針、自動遮斷器、信號器、モートルド  
リル  
電氣計器 水位指示器、電流計、電壓計、漏電計、其他計  
器一式  
工事部 火力水力發電所設計工事、電氣暖房裝置、内外線  
工事  
電熱器具 電熱コイル、電氣アイロン電氣暖房器、電氣火  
鉢、電氣鍍、電氣湯沸器、抵抗線一式、電氣乾燥器、電氣  
消毒器、電氣煮沸器  
特種品 オゾン發生器、オゾン滅菌水器、オゾン清淨器、  
電氣滅菌器、電話機用コンデンサー

東京市神田區五軒町  
上條廣治氏



町式電場會一第



町船玉區草淺市京東  
所作製穴小

館氣電場會二第



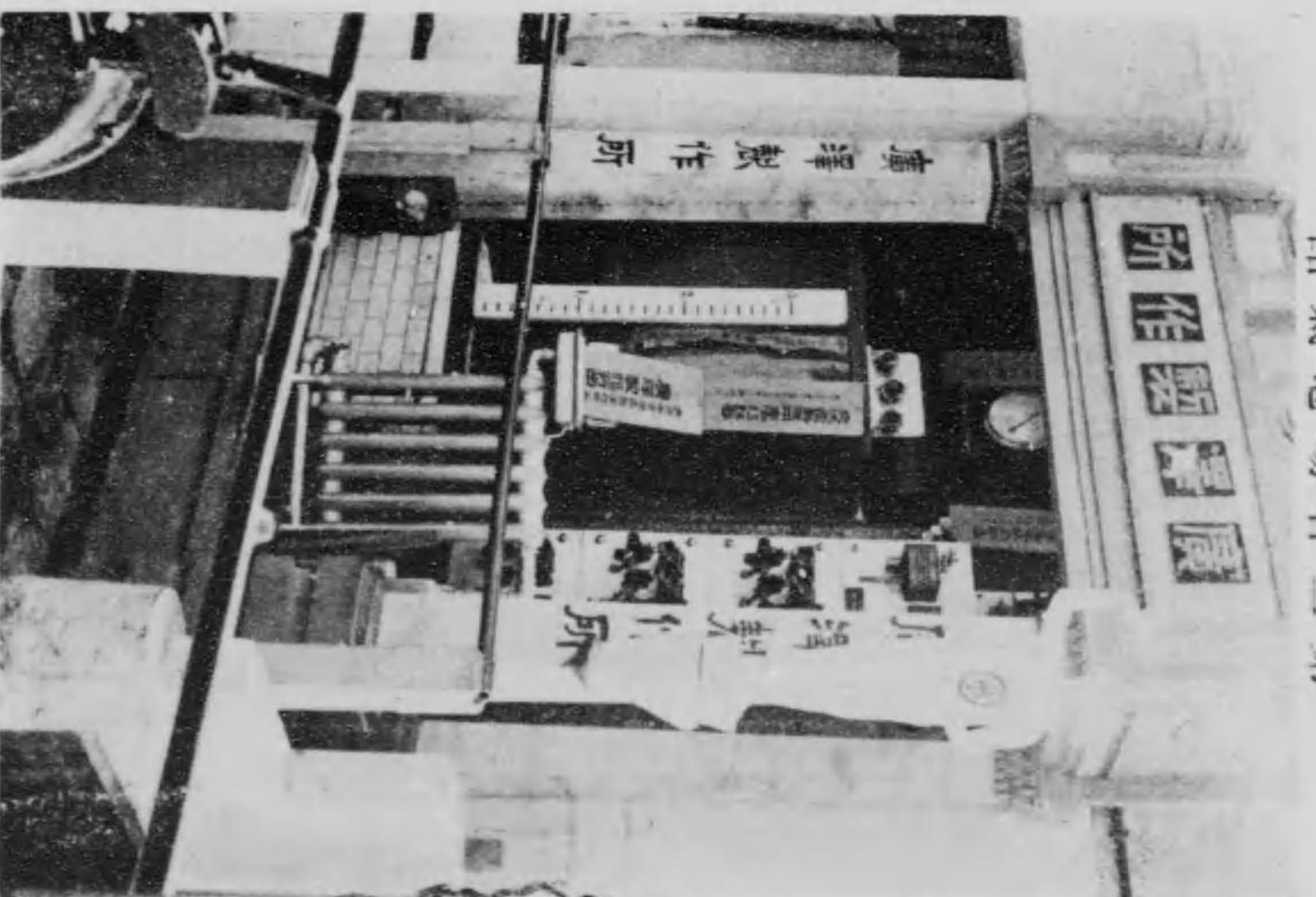
町國四田三區芝市京東  
社會式株氣電本日

館通交場會二第



町軒五區田神市京東  
氏治廣條上

館氣電場會二第



二ノ四町桑新區橋京市京東  
所作製澤廣

横浜市神奈川町

日本カーボン株式会社

一、出品者

東京市小石川町久堅町八十九番地

今泉メリヤス機械製作所

電話小石川二二二四番

振替東京三三七二番

本邦元祖今泉式自動靴下編機、今泉式自動ゴム編機等の製造所として知らる同所の發賣機は所主多年苦心研鑽努力により完成したるものにして舶來品を凌駕し且つ價格低廉にして完全なるを以つて有名なり同機は素人にて一週間の練習にて一日約八打餘の製編能率を有するといふ

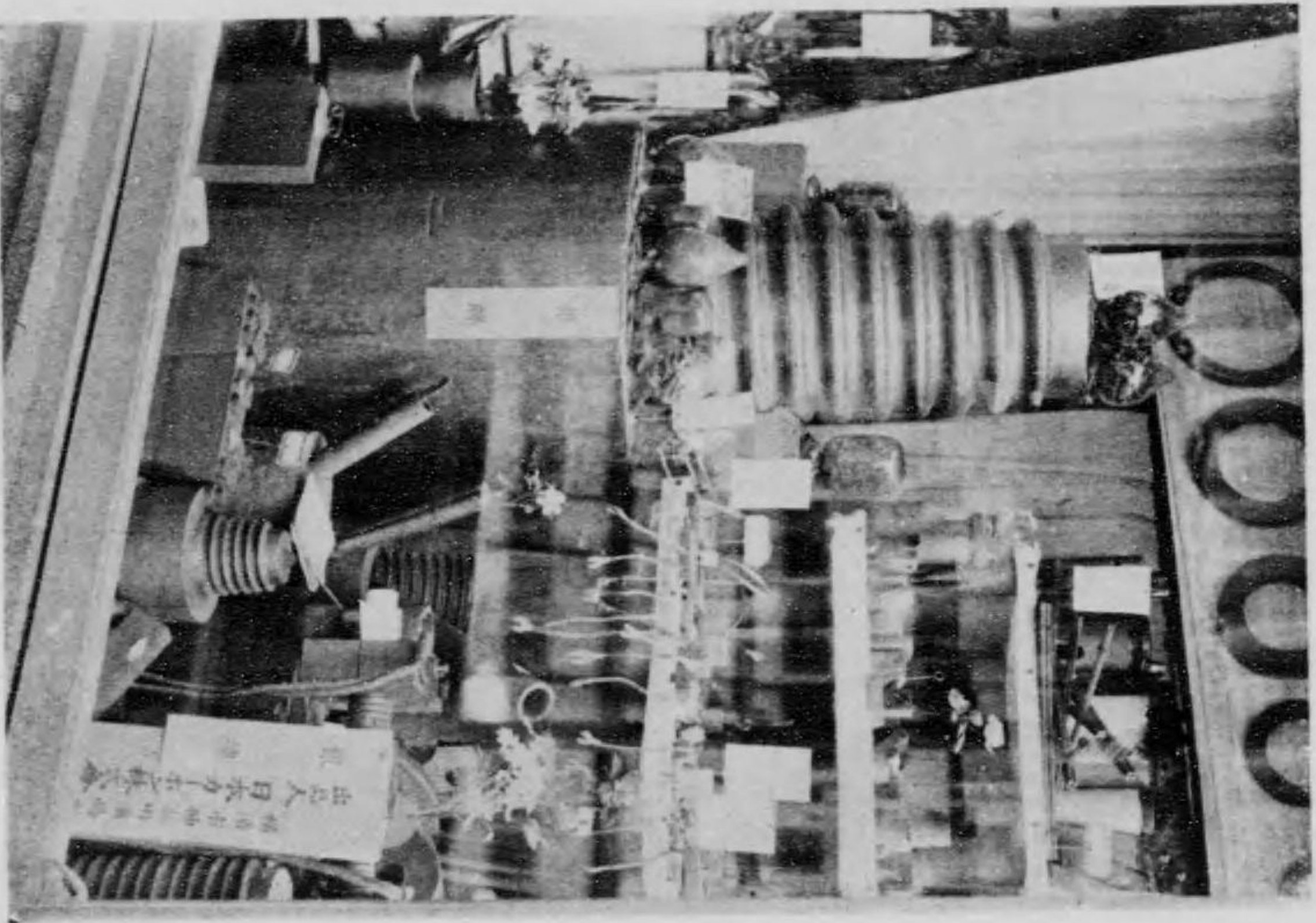
東京市京橋區西紺屋町

中島鑛業株式會社

東京府南葛飾郡寺島村

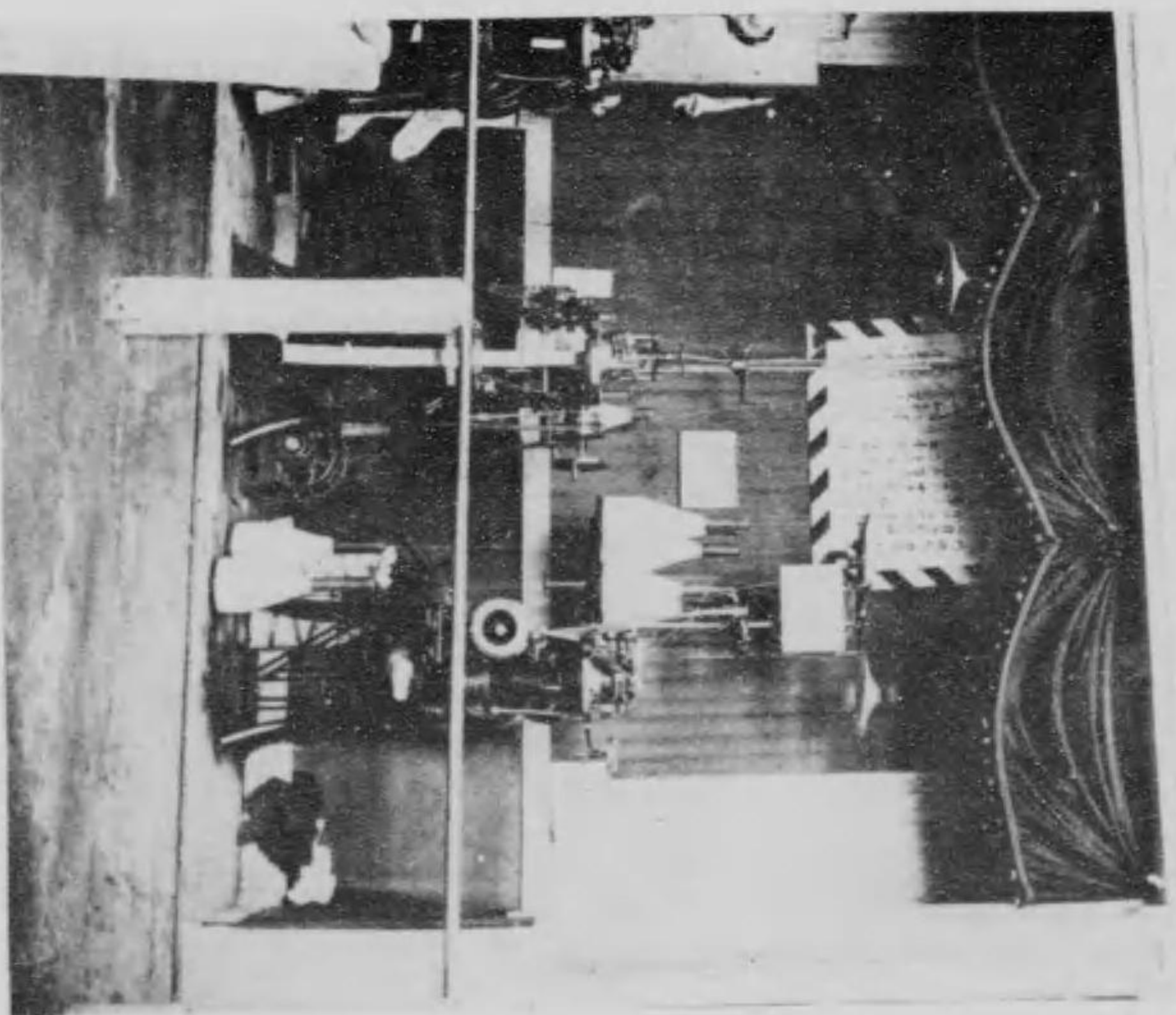
帝國發條製作所

館氣電場會二第



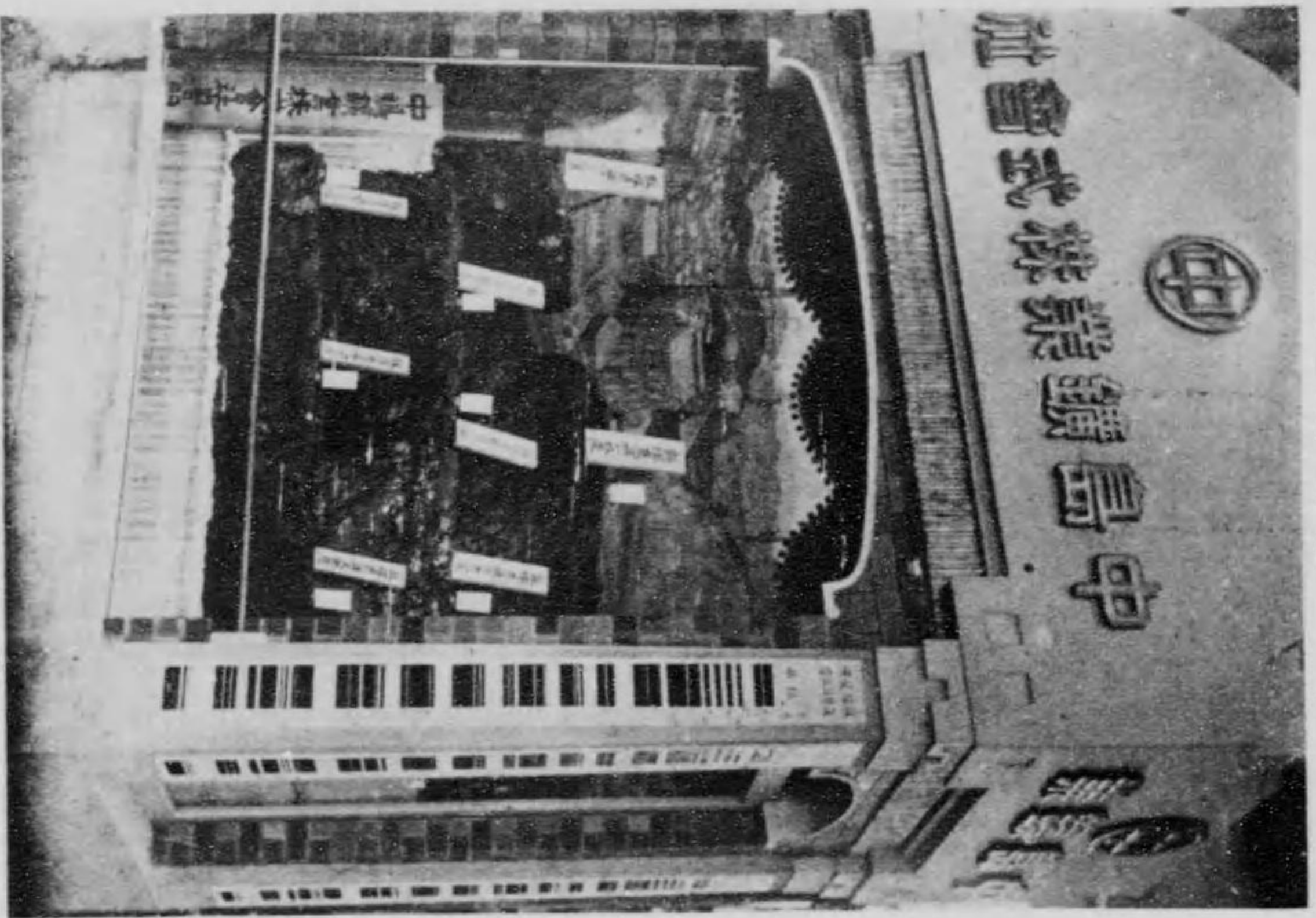
村島浦川奈崎市濱横  
組會式株ニホ一カ本日

館械機場會二第



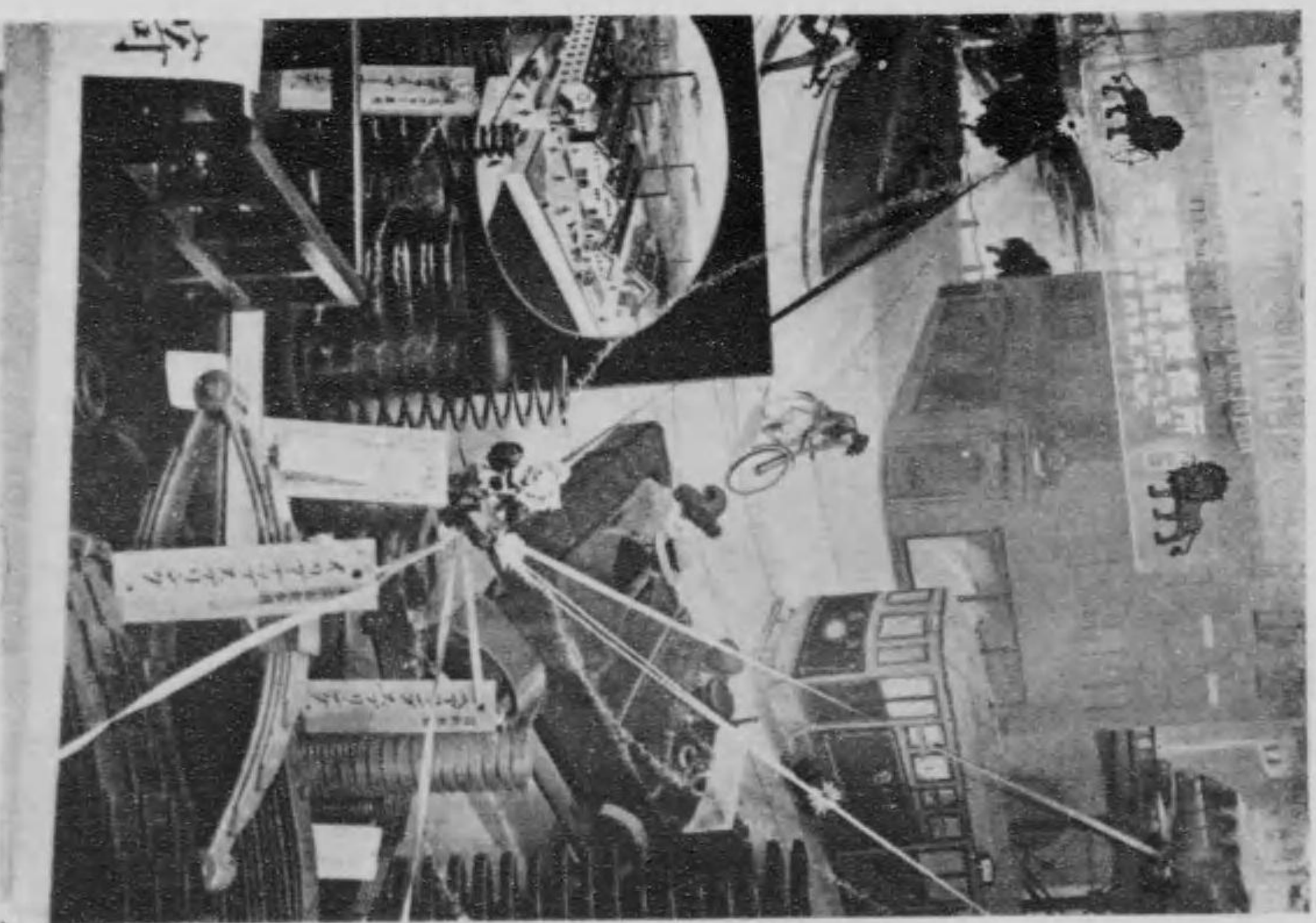
町町久麻川石小市京東  
氏郎太吉衆今

館山鑛場會二第



町屋紺西區橋京市京東  
社會式株業鑛島中

館械機場會二第



五七一二行島寺下府京東  
所作製條渡國帝

一、出品者  
大阪市東區上本町九丁目  
合資會社荻田商店  
長電話南二一六番  
振替口座大阪二八一〇七番

同店製造の鉛白は天正文祿の頃和泉堺の藥種商小西清兵衛なる者明國に渡りて其の製法を傳習し同地鉛屋市兵衛光明丹と共に之れが製造を開始せり初め化粧用繪具等に使用したるも最近に至り塗料顏料等を供給し更らに輸入防護の目的を以て原料を攻究し其資質を改良して明治四十二年三月組織を合資會社に變更し以て業務の擴張を計り専念之れが製造に従事し各官公衛會社は勿論歳と俱に多量の輸出を見るに至れり  
同店製造の唐土は原料を精選し純粹にして就中優良品は其狀恰も白色の玉の露に類似せる小粉にして之を玉露印と稱し各官公衛に於て試験の結果品質佳良なるものとして證明せられ博覽會共進會等に於て名譽賞及び金銀牌を受領せり

大阪府堺市

鉛市商店

出品者 製造所  
鉛白(酸化鉛) 製造所 鉛市商店  
鉛白(唐土) 製造所 鉛市商店  
硝子(生地) 製造所 鉛市商店  
硝子(玉) 製造所 鉛市商店  
電話堺(長)四三番 振替口座 東京七八番  
大阪七七四番

一、出品者の沿革  
五百有餘年前開祖市兵衛氏が明人の直傳に因り製丹の法を學び之を子孫に傳へて斯業を經營せしめたるに始まり其の後二百二十餘年を経て元和年間鉛丹に種別を設け乘久丹、長吉丹、勝吉丹、菊丹等の名稱に分ち販賣し更に九十年を過ぎ正徳、享保の交、堺、大阪の兩地に於て新規に同業を營む者數名に及び粗製濫造の結果其の資質粗惡に流れ名聲頓に地に委するに至れり茲に於てか徳川幕府は其弊害を矯正すると同時に又斯業保護の策として元文二年堺奉行水谷信濃守江戸參勤の際令達を出し舊新七軒に限定せり

丹製造人七軒

堺向井領町(現今市之町東六丁) 鉛屋市兵衛  
大阪道修町二 福島屋庄藏  
大阪備後町一 鉛屋吉左衛門  
以上(舊來製道家新規製法人略)

然るに其後製丹同業者漸次凋落し天保嘉永に至りて堺市に存するもの僅かに同店ありしのみ爾來幾變遷を経挽近に逮するや學術の進歩に伴ひ専門の博士學士に研究を乞ひ學理と實驗とに基き其製造方法を改良し資質の優良と製造費減少とに力め今日に至りては遂に完全なる化學工場として外國の最良品に劣らざる製品を産出するに至り爾來益々増進しつゝある需要に應じ遺憾なく供給することを得目下海軍省指定工場として外國品を防護し却つて輸出するに至れり。

一、光明丹(鉛丹)

光明丹は弊店獨得の製造法により最新學理を應用し原料を精撰したれば色澤鮮麗純粹にして化學工業用防錆塗料とに用ゐらる就中藥用光明丹は古來の秘法を以て製造しつゝあれば獨占的と云ふべく蓄電池用及洋朱用インキ用等は各官公衛會社に於て分析試験の結果其効特に優良なるものとして證明せられ各博覽會共進會等に於て名譽賞牌及金銀牌を受く

二、酸化鉛(リサージ)  
弊店製造のリサージハ純黄色を以て特長とし海外へ相當の輸出をなしつゝあり

一、出品者

森 光之助  
東京市深川區一色町十七番地

一、所在地

一、營業科目 藤アジロ表草履製造販賣

一、經營者

森光之助

一、創立年月

明治四十四年十月

一、資本

資本金五千圓

一、使用人

八名

一、製作

製作高二萬五千足(價額八千二百五十圓)

一、販路

販路、は大正博覽會時の約三倍額の向上を示す

一、大正博覽會

平和博覽會

一、同氏は

同氏は佛ラ電燈用セード(開閉反射笠)專賣特許第三三四六九番製造販賣を營む(申込次第カタログ進呈)

一、出品者

寺井 商店  
東京市本所區相生町一ノ三

一、所在地

一、營業科目 藤表草履一式製造卸賣商

一、經營者

寺井勝治郎

一、創立年月

明治四十三年

寺井氏は前記本所相生町にありて藤表工業に従事すること實に十五ヶ年に及ぶ、蓋し此期間に於て寺井氏は幾多の苦心を積み販路の開拓に従ひ、又幾多の改善に努力して今日あるを得たり、其の製品の傑出せる敢て他の一指を乘むる所にあらず、各博覽會及共進會等に於て金銀賞牌を受領する事數回に及ぶもの又故なきにあらず。

一、出品者

清水 幸吉  
東京市本所區林町一丁目六番地

一、所在地

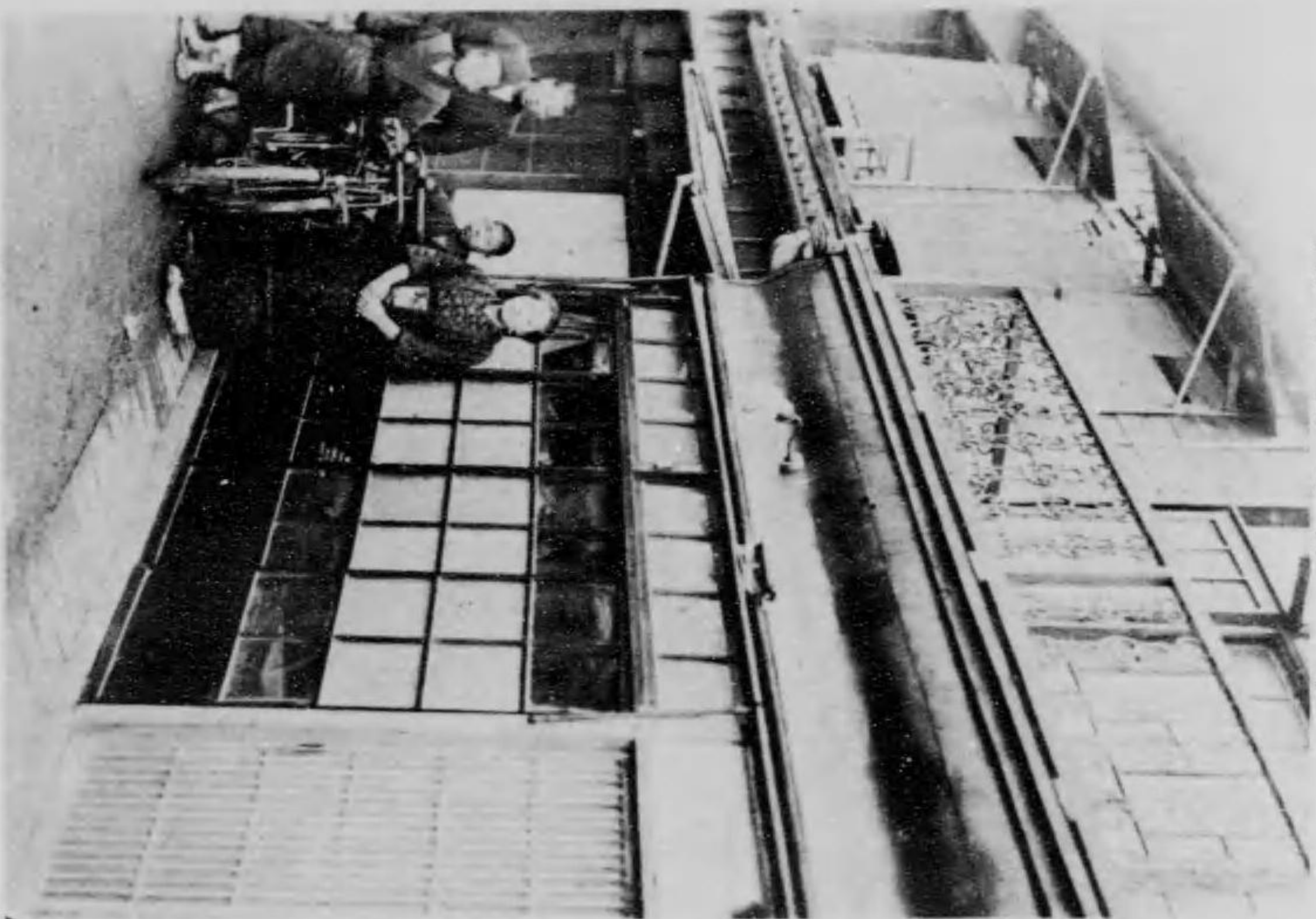
一、營業科目 藤表草履及履物類製造業

一、經營者

清水幸吉

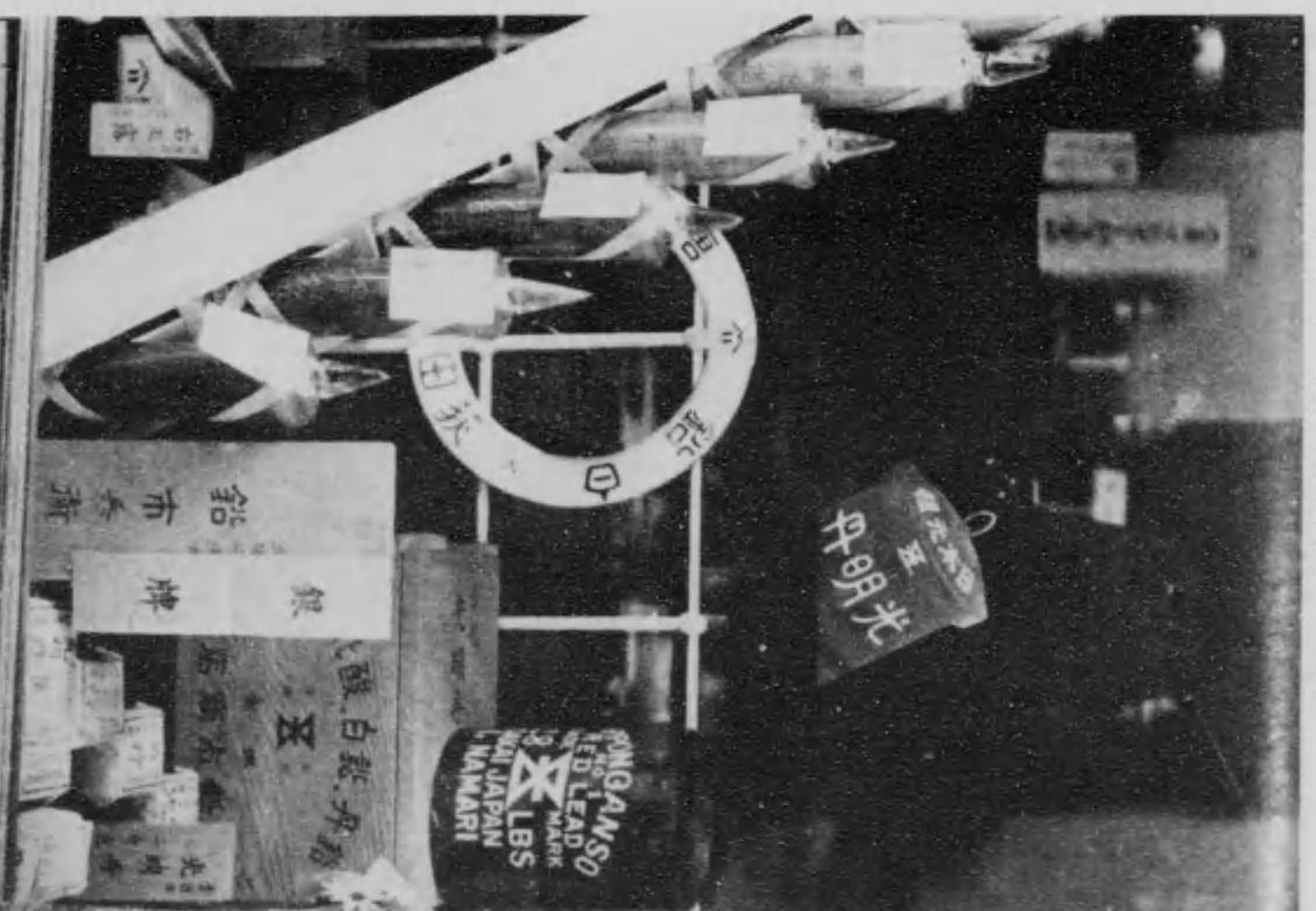
清水氏の藤工業に従ふ事茲に十數年、實情本意を確守して未だ一日も怠る事なく斯界に貢獻せる功蹟蓋し没すべからざるものあり、而して氏の商業策は「着實」の二字に基礎して目先の利に吸々たらざる所に長所を有す、其の信用の高き所以、氏が同業と伍して一步も譲らざる所以なり、眞實は氏の製品の精巧を語りて餘りあり。

館作製場會一第



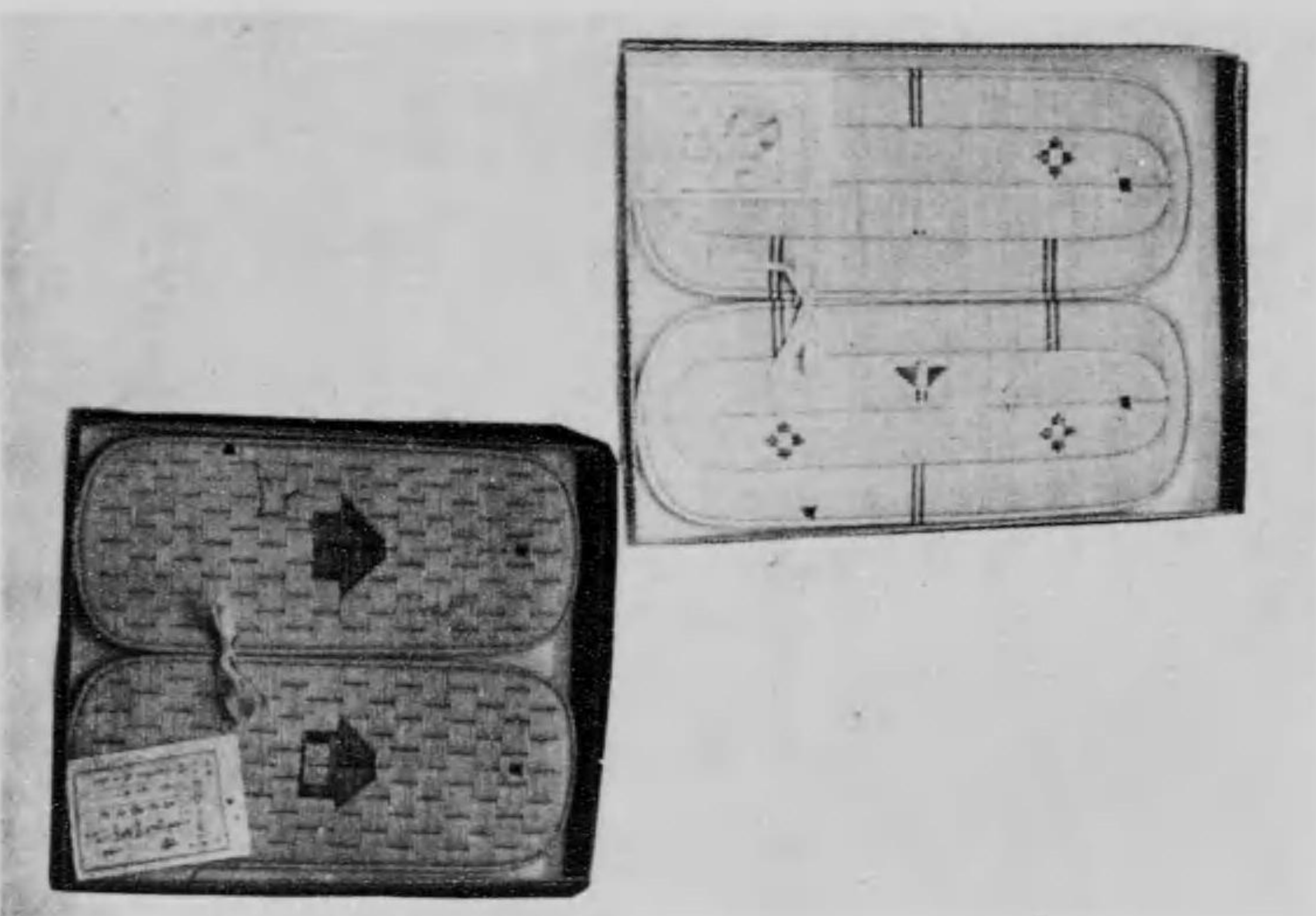
町廣木區田神市京東  
店商野奥

館作製場會一第



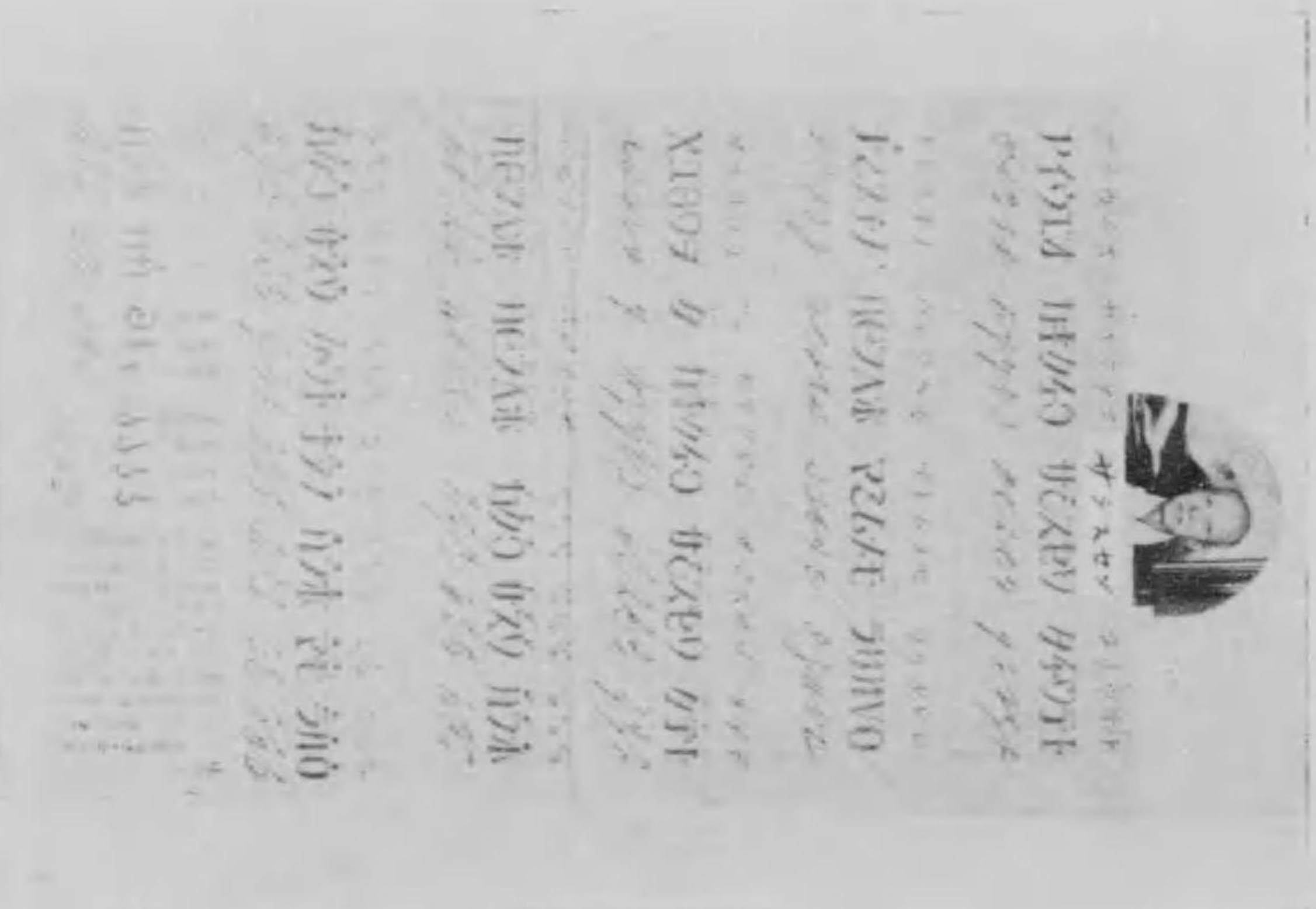
市堺府阪大  
民衛兵市錦

館作製場會一第



町生相誠師本市京東  
民郎次勝井寺

館作製場會一第



町櫻押山白區川石小市京東  
民之慈幸小

一、出品者

東京府北豊島郡瀧之川町西ケ原三五〇  
出品物麒麟五葉は東京府下北豊島郡瀧之川町西ケ原小野澤總家の愛用品で  
五葉盆栽中珍樹としての眞價を發揮せるもの本樹は福島の産で十數年前柄  
木縣鹿沼の麻間屋長谷川氏の所有たりしを大正八年四月小野澤氏の懇望に  
依り同邸に培養され曾て上野伊香保に於ける盆栽大會に出陳して諸名士の  
贊辭を得た事もある、本樹が數十年原産地の絶壁斷崖のところに於て風雨  
に晒され辛ふじて樹壽を保ち遂に側根(孫根)を以つて今日に至り猶ほ旺盛  
なる發育を見るに至れる寧ろ不思議のやうである。日本園藝社所載新聞

東京市深川區西町三十一番地

高橋 鐵次郎

東京府下豊島郡瀧ノ川町

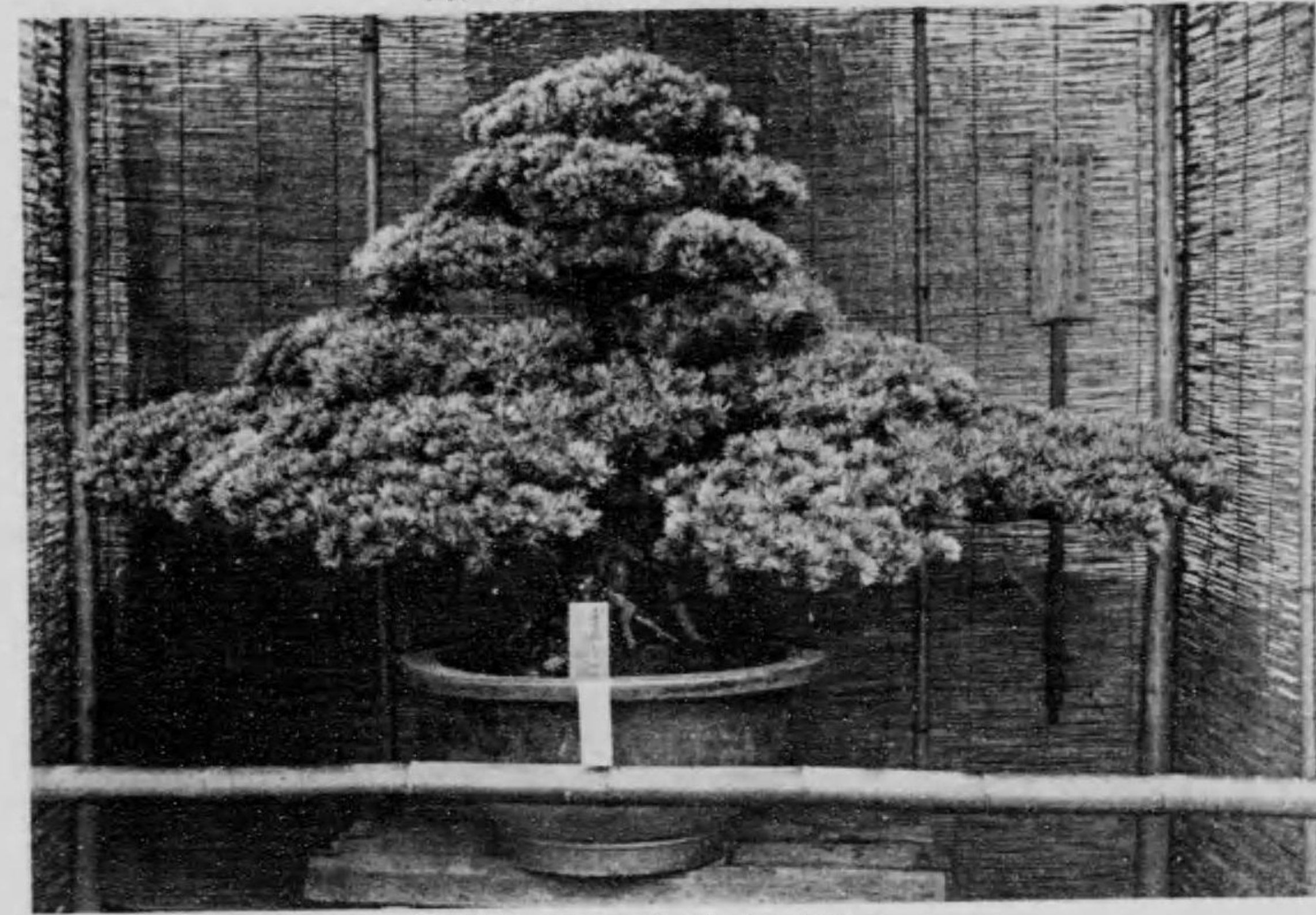
鈴木 喜代吉

館業農場會一第



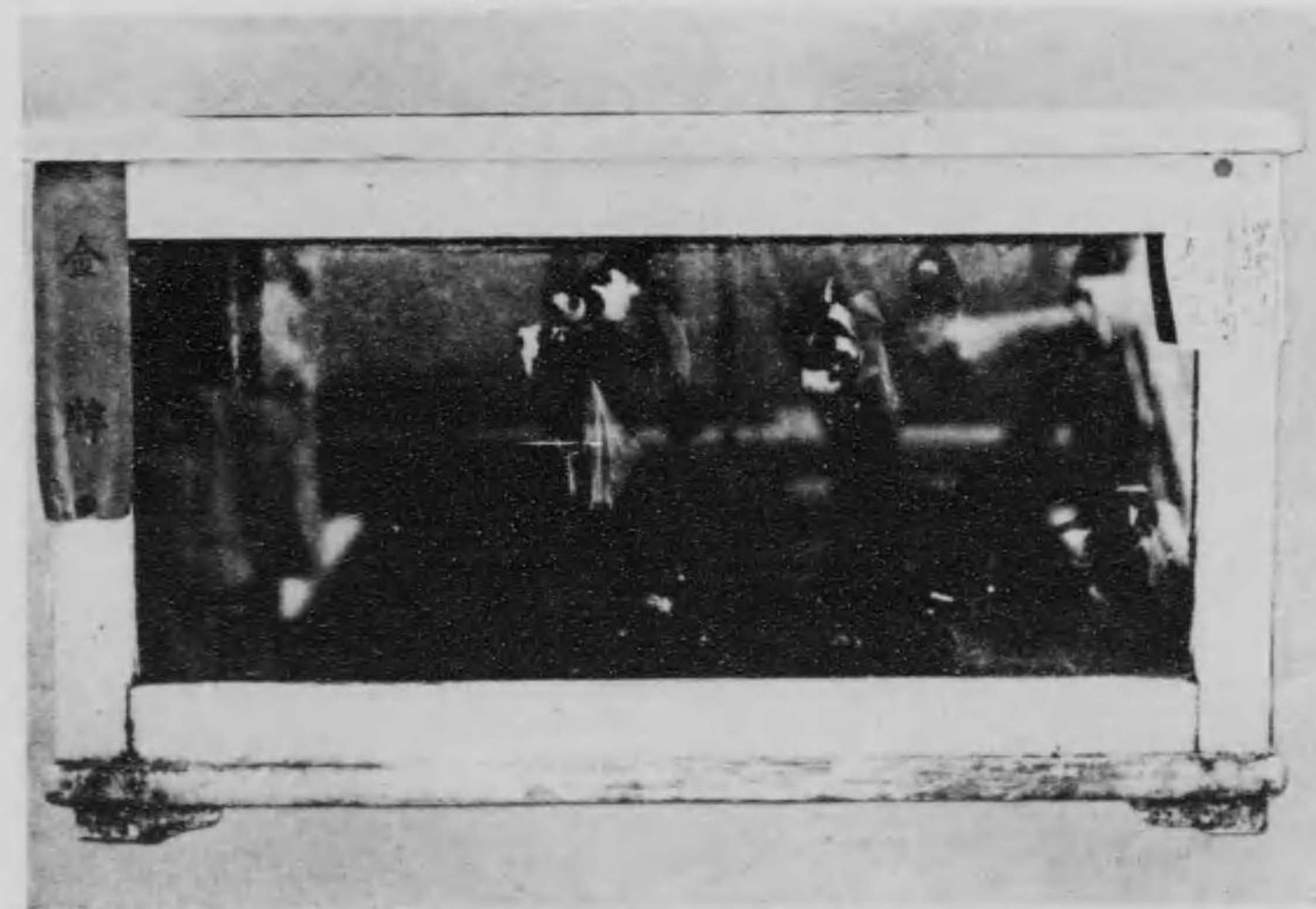
原々西町川ノ瀧郡島豊北下府京東  
氏助之齋澤野小

館業農場會一第



町川ノ瀧郡島豊北下府京  
氏吉代喜木鈴

館産水場會二第



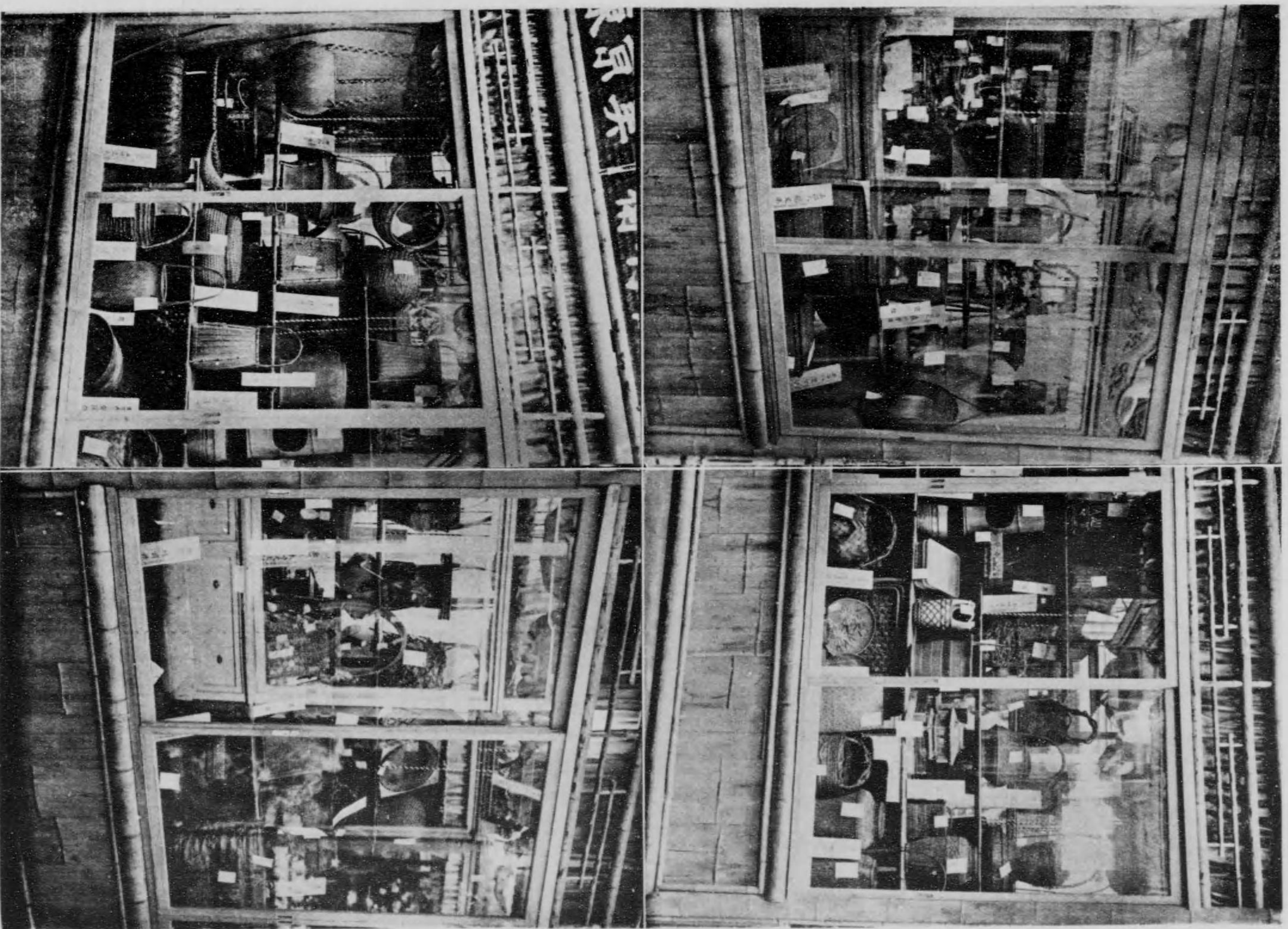
町西沢川深市京東  
氏郎次雅橋高

東京美術竹細工組合  
 製作館に於ける各組合の出品中最も異彩を放てるは東京美術竹細工組合の  
 製品となす。入賞者の主なるもの左の如し

蓑状竹製 衝立 小林庄三郎(芝罘三田豊岡町)  
 同 同炭取 稲田玉吉(神田區松住町)  
 同 同衣袋入 木村代次郎(浅草壽町)  
 同 同文庫 瀧下啓吉(下谷日暮里金杉)  
 同 同竹細工卷簾盆 黒田政一(本郷區千駄木町)  
 同 同竹網袋衣裳入文庫 原島啓次郎(浅草區千束町)  
 銅牌竹製文庫 佐々木源吾(浅草區南松山町)



第一會場製作館



東京美術工芸會同業組合

東京市

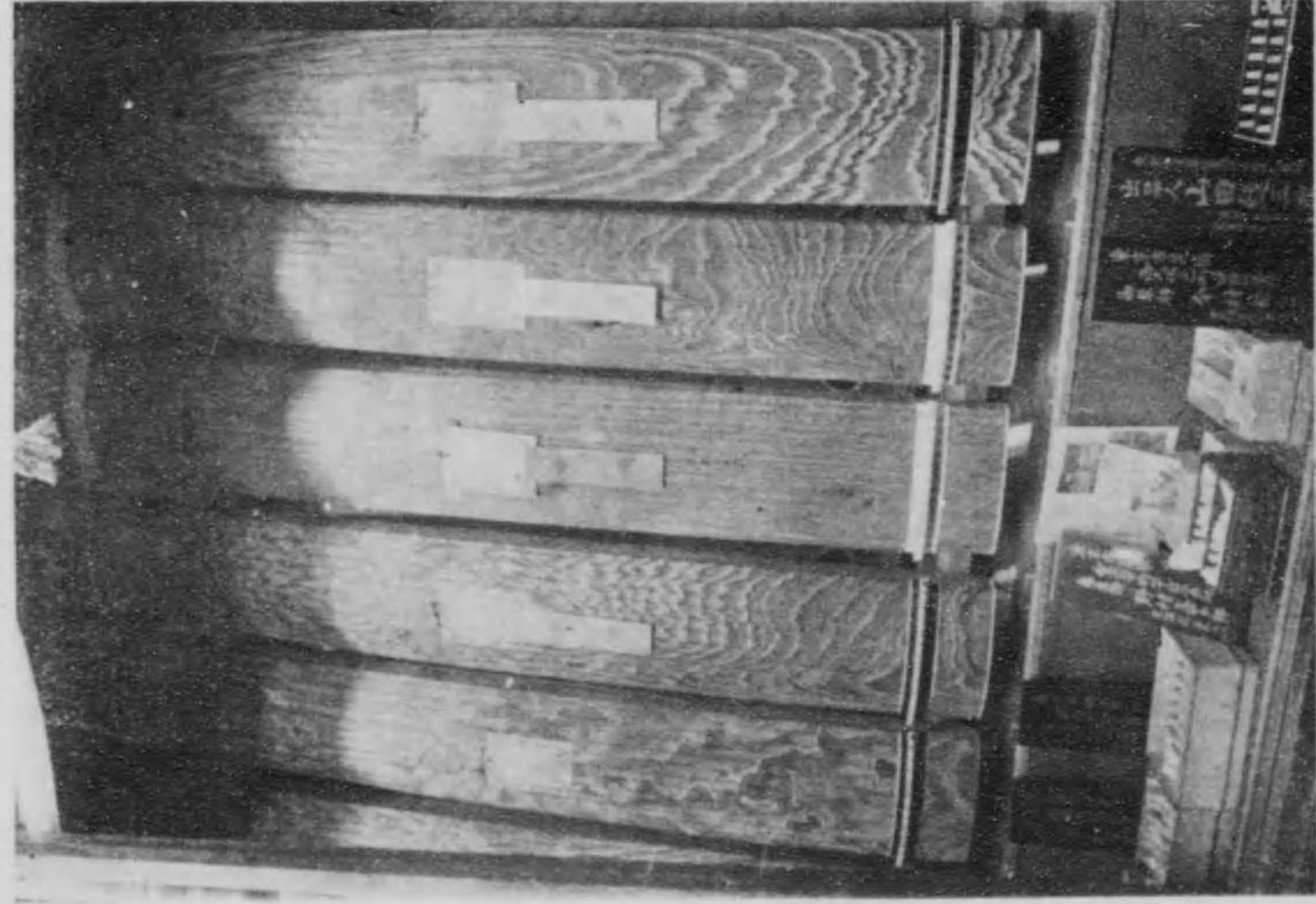
東京美術竹細工組合(其の二)

東京音楽同業組合

入賞者左の如し

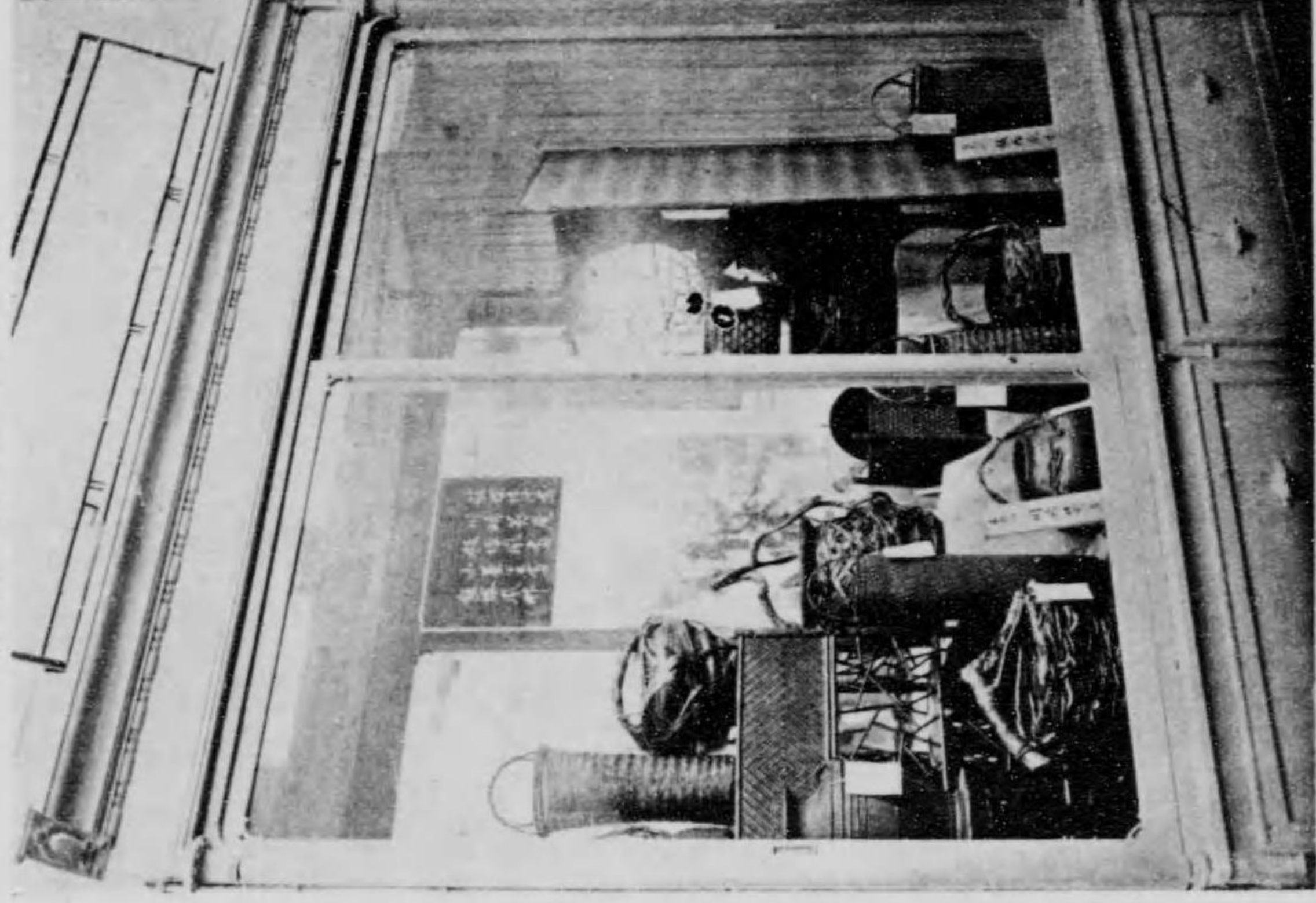
琴	東京市芝区西久保巴町	今村修二
三絃	浅草區馬道町	高木一郎
箏、三絃	同市日本橋區室町	岡戸竹次郎
同	同市日本橋區室町	岡野樂器店
箏柱箱	同市日本橋區元大坂町	重本岩次郎
箏	同市神田區鍛冶町	海保傳左衛門
同	同市神田區龜住町	重元平八
同	同市本郷區本郷二丁目	海保金次郎
同	同市浅草區藏前片町	山田縫太郎
同	同市四谷區篁筒町	大橋繁三郎
箏	同市神田區神保町	水野政次郎
同	同市芝區愛宕下町	野村嘉太郎
同	同市芝區愛宕下町	北川清四郎
同	同市芝區愛宕下町	大橋太吉
箏	同市芝區愛宕下町	齋藤三壽
以下略す	深川區黒江町	

第一會場教育館



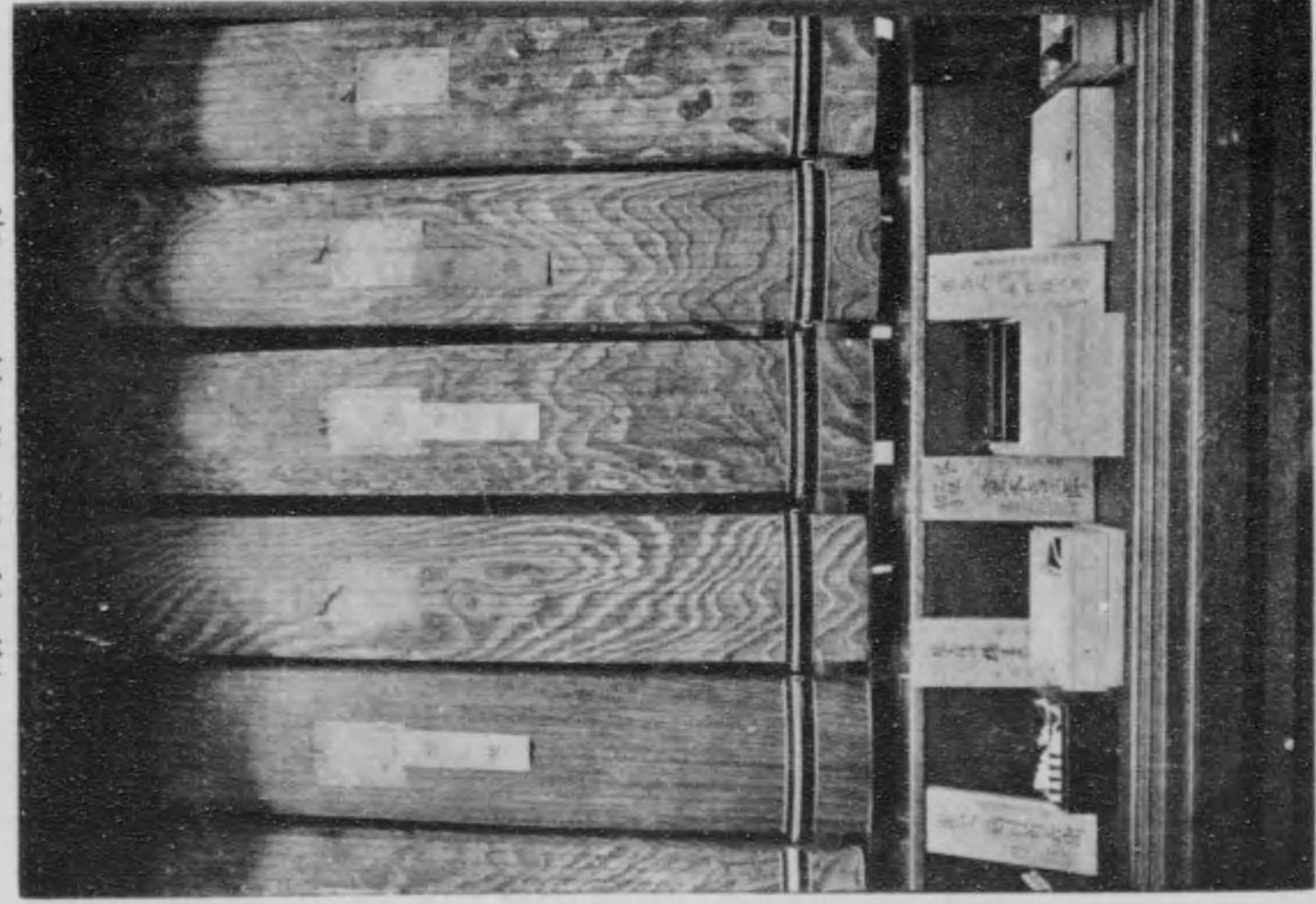
東京音樂業組合(二)

第一會場製作館



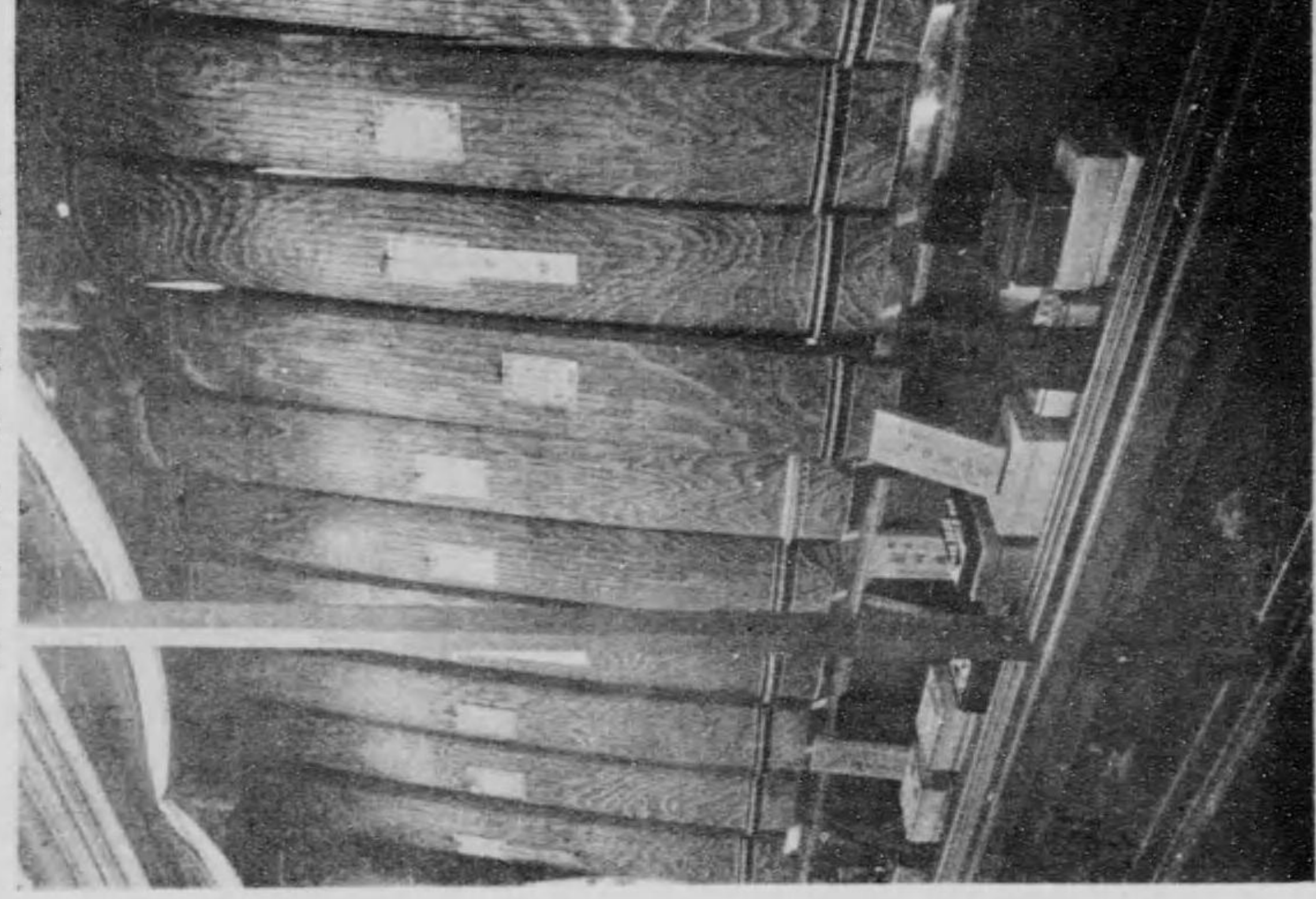
東京美術竹細工業組合

第一會場教育館



東京音樂業組合(三)

第一會場教育館



東京音樂業組合(一)

東京音楽同業組合（陳列ノ一部）

一、出品者名 クトウ蓄音機製造發賣元

工藤蓄音機商會  
電話 神田二七五六  
振替東京三六二五五

一、所在地 東京市神田區通神保町

一、營業科目 クトウ蓄音機製造發賣元

一、經營者 工藤豊治郎

音聲、動力、耐久力、音譜板、價格等あらゆる點に於て優勝者たるクトウ蓄音機の製造能率は今や同業の業を塵し内地は論なく海外に輸出せらるゝ數亦決して少なからず、音聲の原音に近くして亂暴に使用するも發音に變化なく動力の點に於て不熟練なる幼児も手廻にて自由に回轉せしむるを得る装置にして手廻蓄音機の成功せるもの、又普通蓄音機の如く「ゼンマイ」を使用せざる爲め切斷磨滅等絶體になく毎日使用するも三年の壽命あり而して實驗上音譜板の壽命は普通蓄音機の二倍にして價格の點に於て現代蓄音機中尤も安價なる事世上既に定評あり專賣特許第二五六八〇號同第三一六九九號を有す

東京市淺草區聖天町（吉野橋停留所前）

東京音楽學校御用  
各宗大本山御用

能樂雅樂器  
祭禮演劇鳴物  
神佛諸太鼓  
音樂隊樂器  
製造發賣元

商標

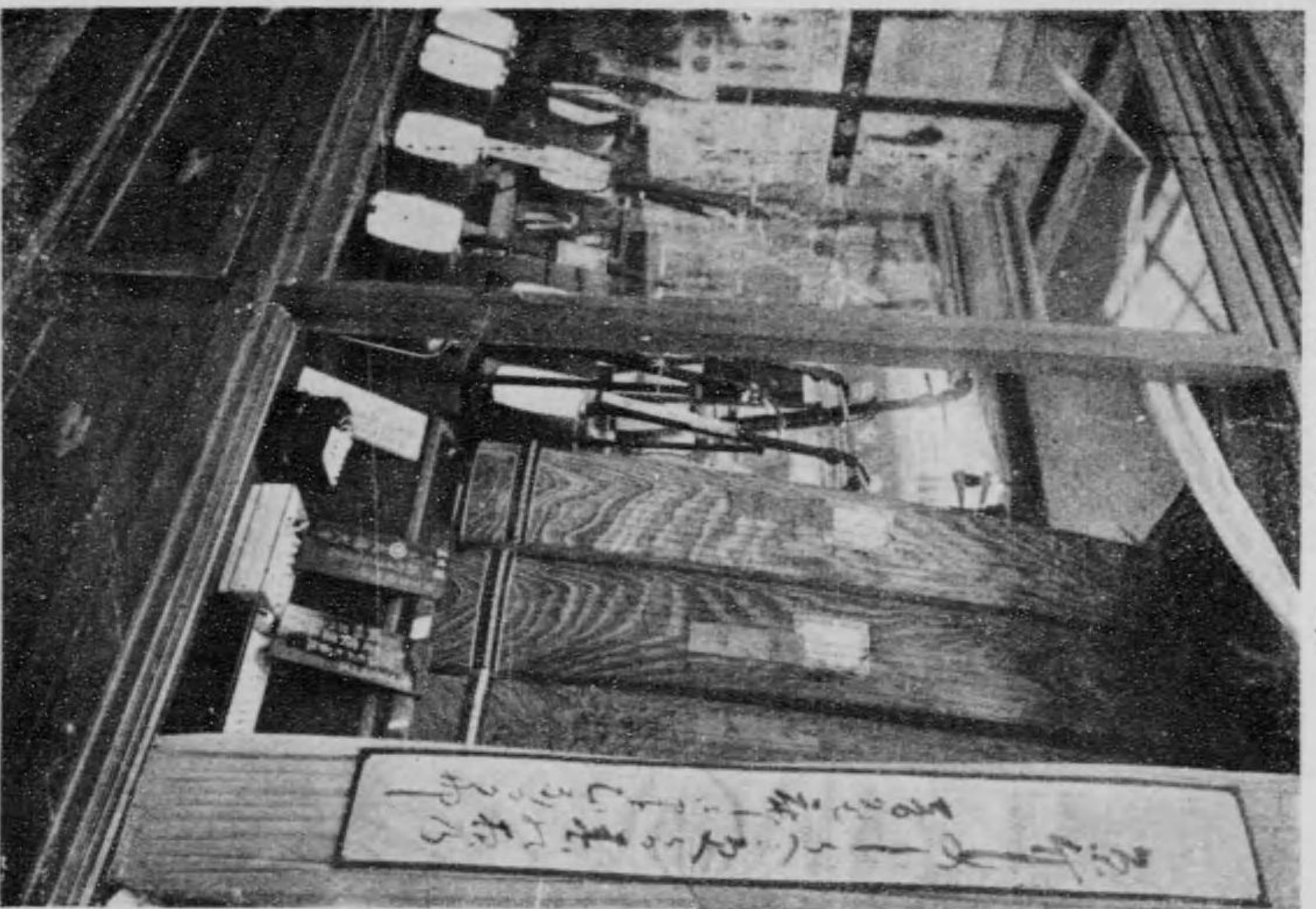
製造元

宮本卯之助

工場 東京市淺草區龜岡町二丁目

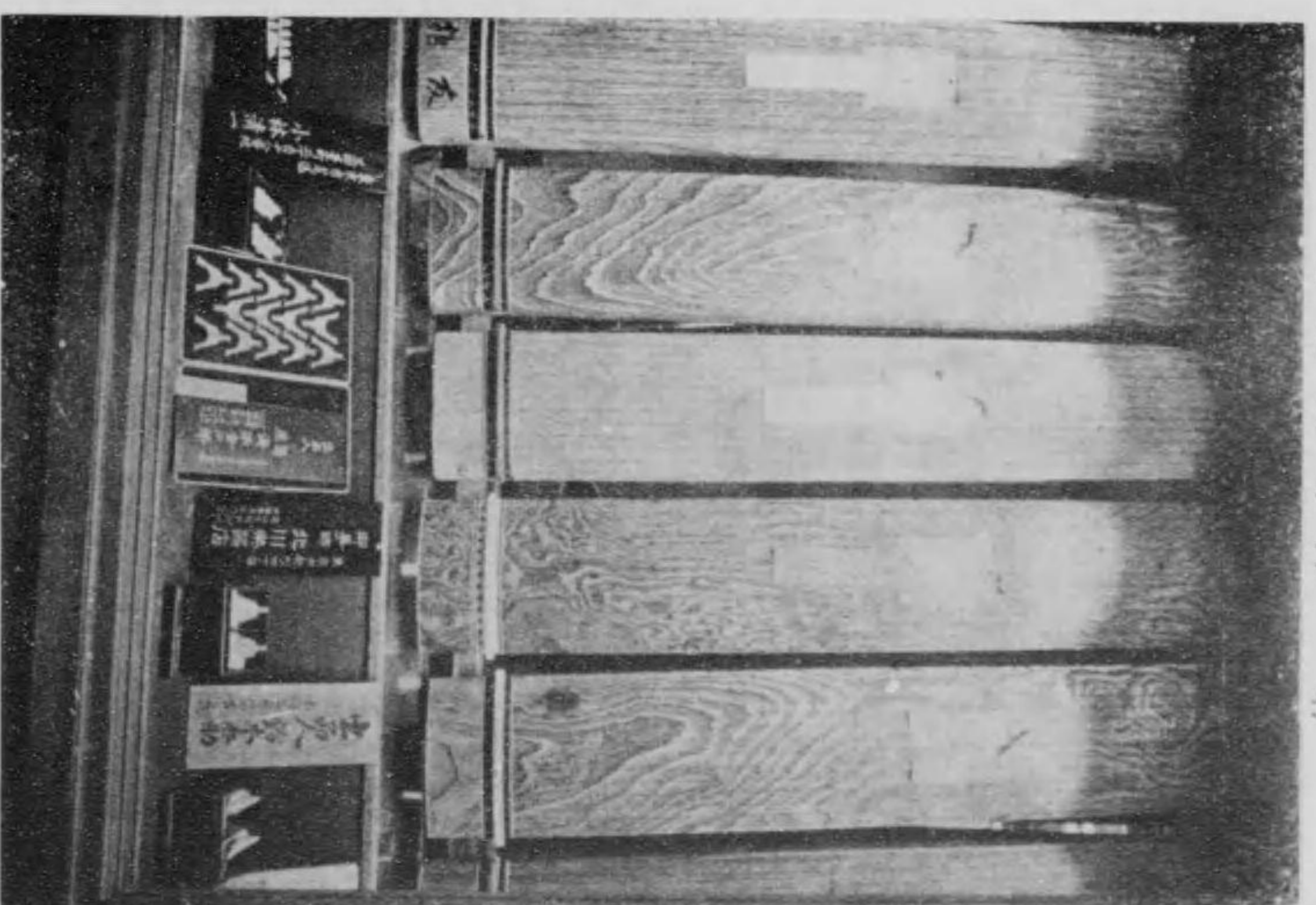
長電話淺草八五九番  
振替東京八二五二番  
電信略號（ミヤ）  
祭店工場製作に係る太鼓諸樂器は多年の經驗に鑑み革並に胴に特殊なる加工を施せるが故に優秀なる音調を生じ精撰したる原料を以て調製したるものなれば堅牢にして優良なる音調の變化せざるは祭店の特色とする所なり直段は懸引なき確實廉價なる事を誓言す

館育教場會一第



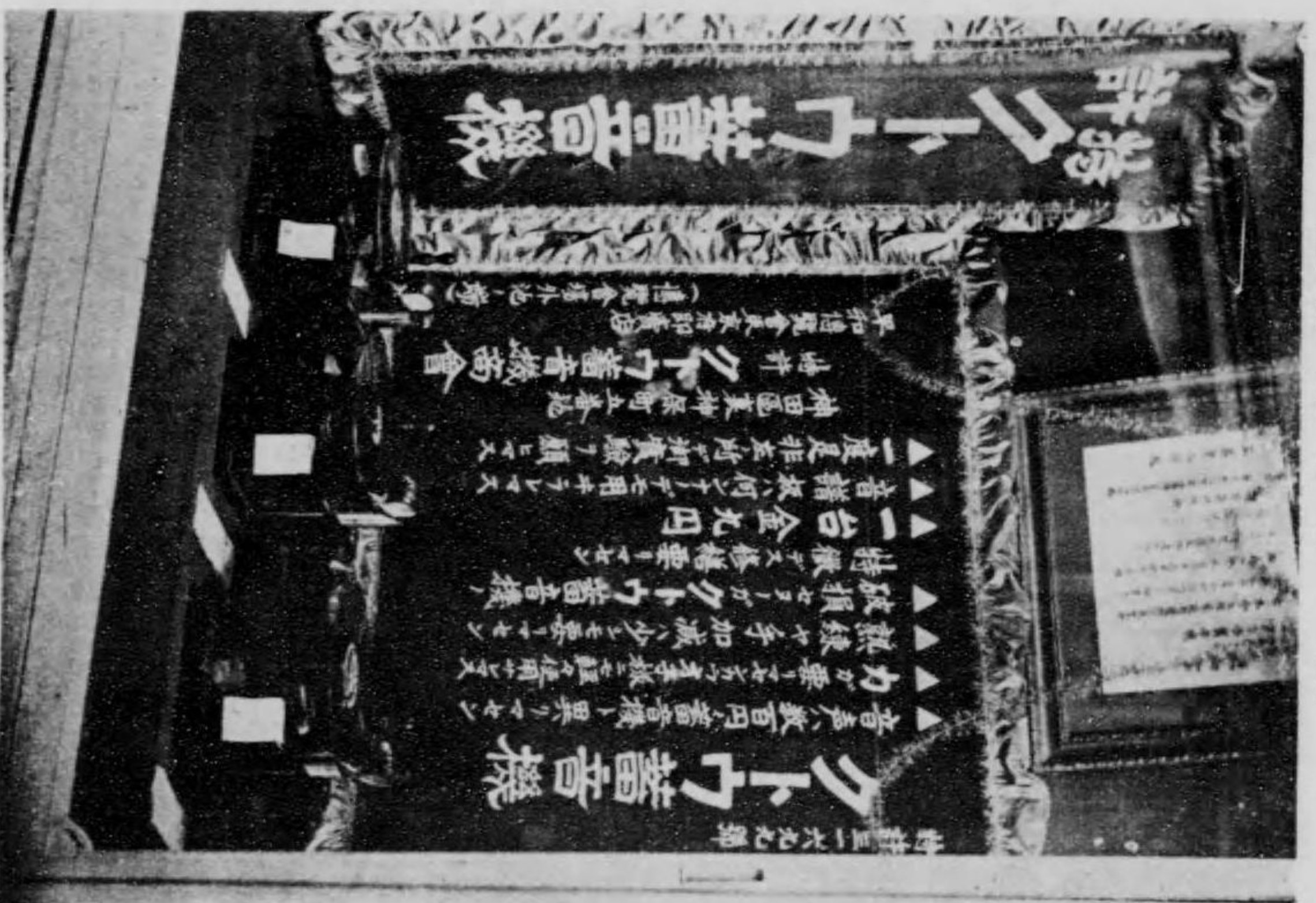
(五) 合組業同業音京東

館育教場會一第



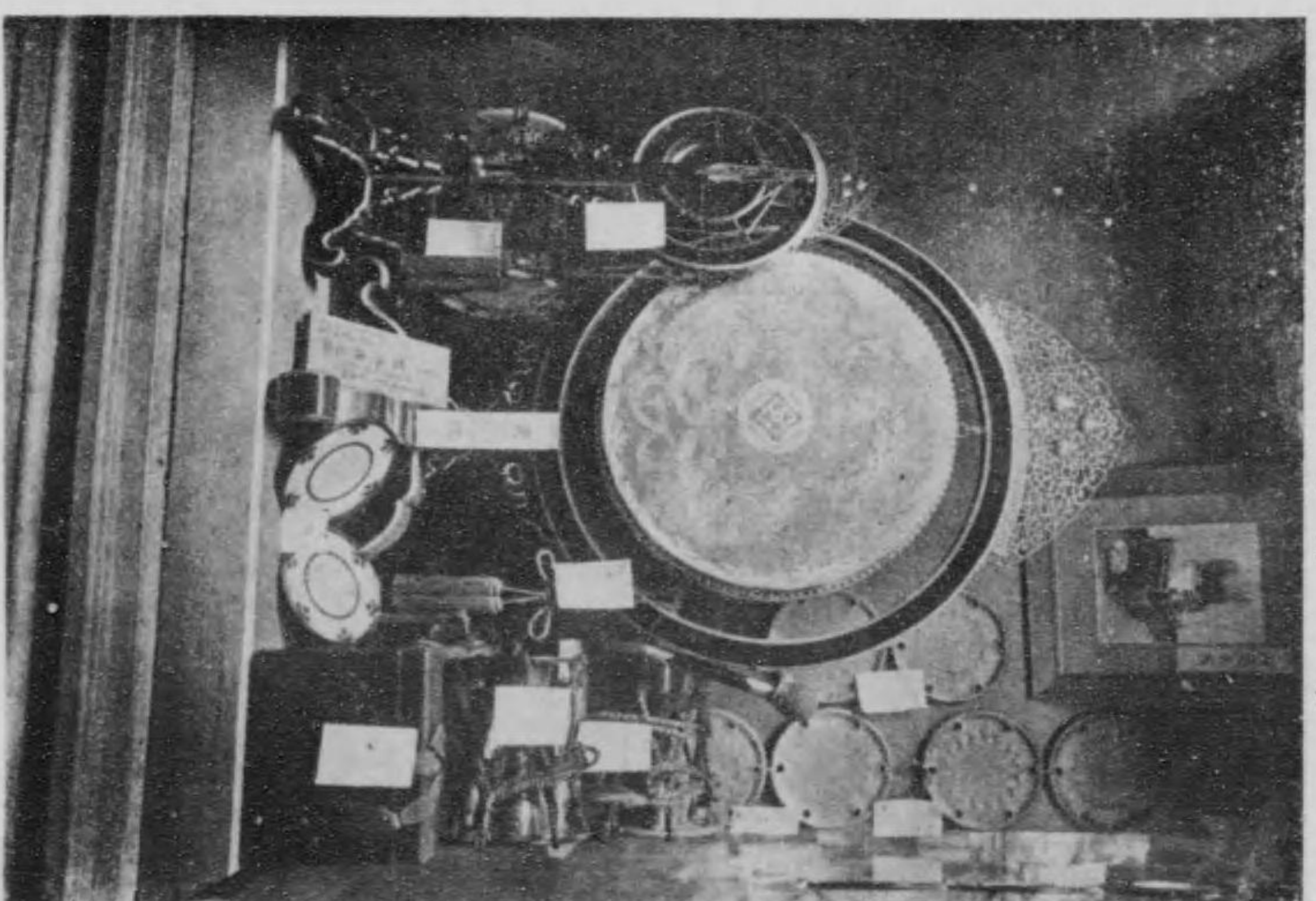
(四) 合組業同業音京東

館育教場會一第



町保神裏區田神市京東  
台商機音蓄ウトク

館育教場會一第



町天聖區草淺市京東  
氏助之卯木宮

東京府豊多摩郡下荻谷一三八二  
ラクトー株式会社

- 一、出品者  
一、營業科目 滋養飲料及食品  
一、經營者 専務取締役 三島海雲  
同社の株主は多く名門の子弟、國民の保健衛生を第一義とす。思惑や冒險を以つて一獲千金を夢想する事は同社の主義に反す、品質の向上と責任を重要視する事他社の企及する能ははざる所三宅理學博士其の説明書の冒頭に於て同會社重役は自分皆知が多く何れも責任を重んずる人々であるから其製造が親切に行はれるのもわかる」と。  
一、内容充實、味は世界的、東洋傳來の保健飲料、最近の科學加工によるもの  
一、關東食品問屋として有名なる國分商店、關西の斯界重鎮奈良商店は何れもカルピスの取引商店なり。  
一、菓子にては不成蹟なりしもカルピス發賣以來急激の發展を見るに至る

東京市日本橋區馬喰町  
細沼貴金屬株式会社

- 一、有名なる細沼貴金屬株式會社の製作館内に於ける陳列光景とす

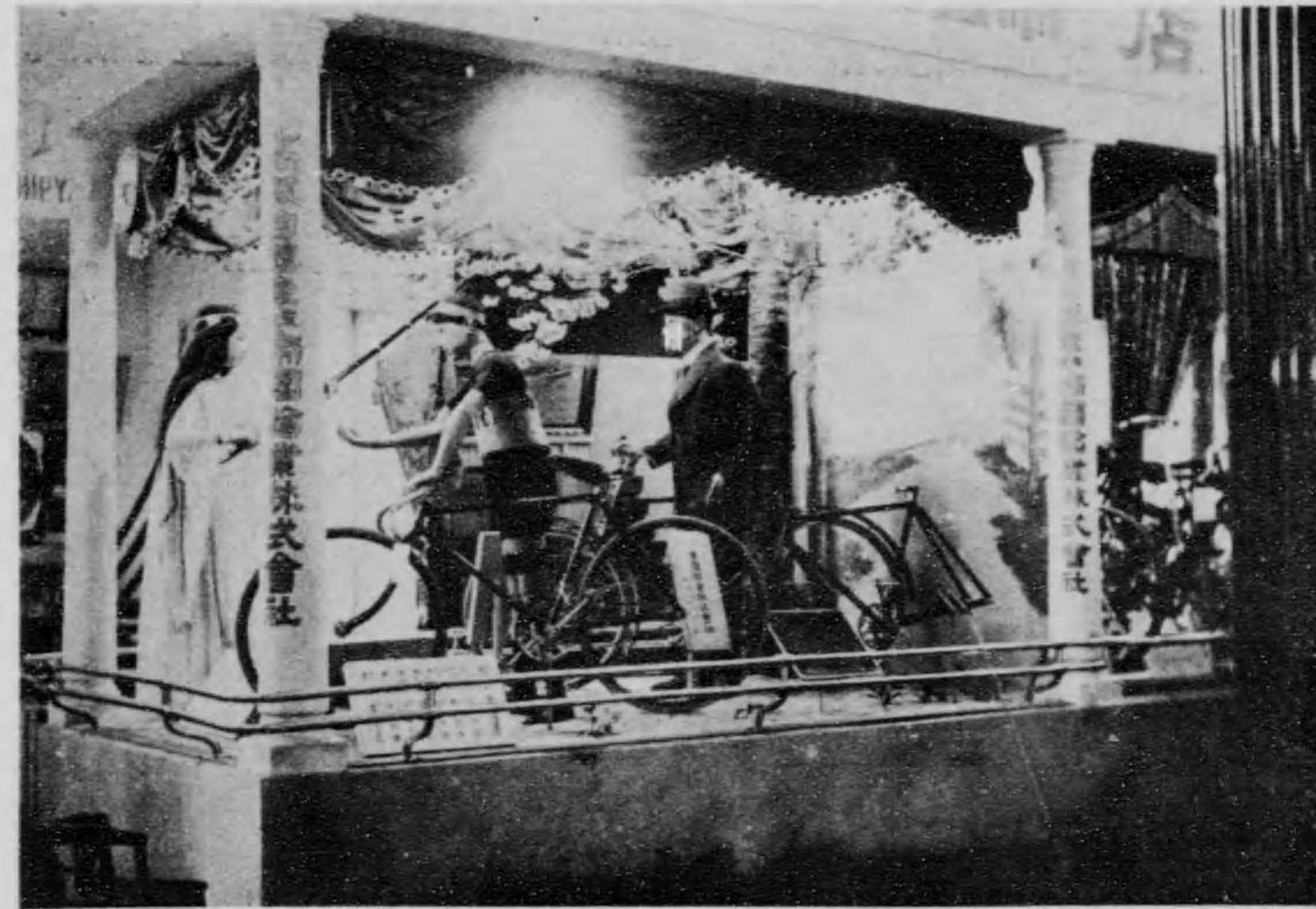
東京府下南葛飾郡吾嬬町  
帝國輪業株式會社

- 一、交通館内に異彩を放ち自轉車を遺憾なく宣傳せるは帝國輪業株式會社とす。同社出品裝飾も亦た優越の感あり。

東京市京橋區銀座  
服部時計店

- 有名なる服部時計店の製作館内に於ける陳列の光景なり。

館通交場會一第



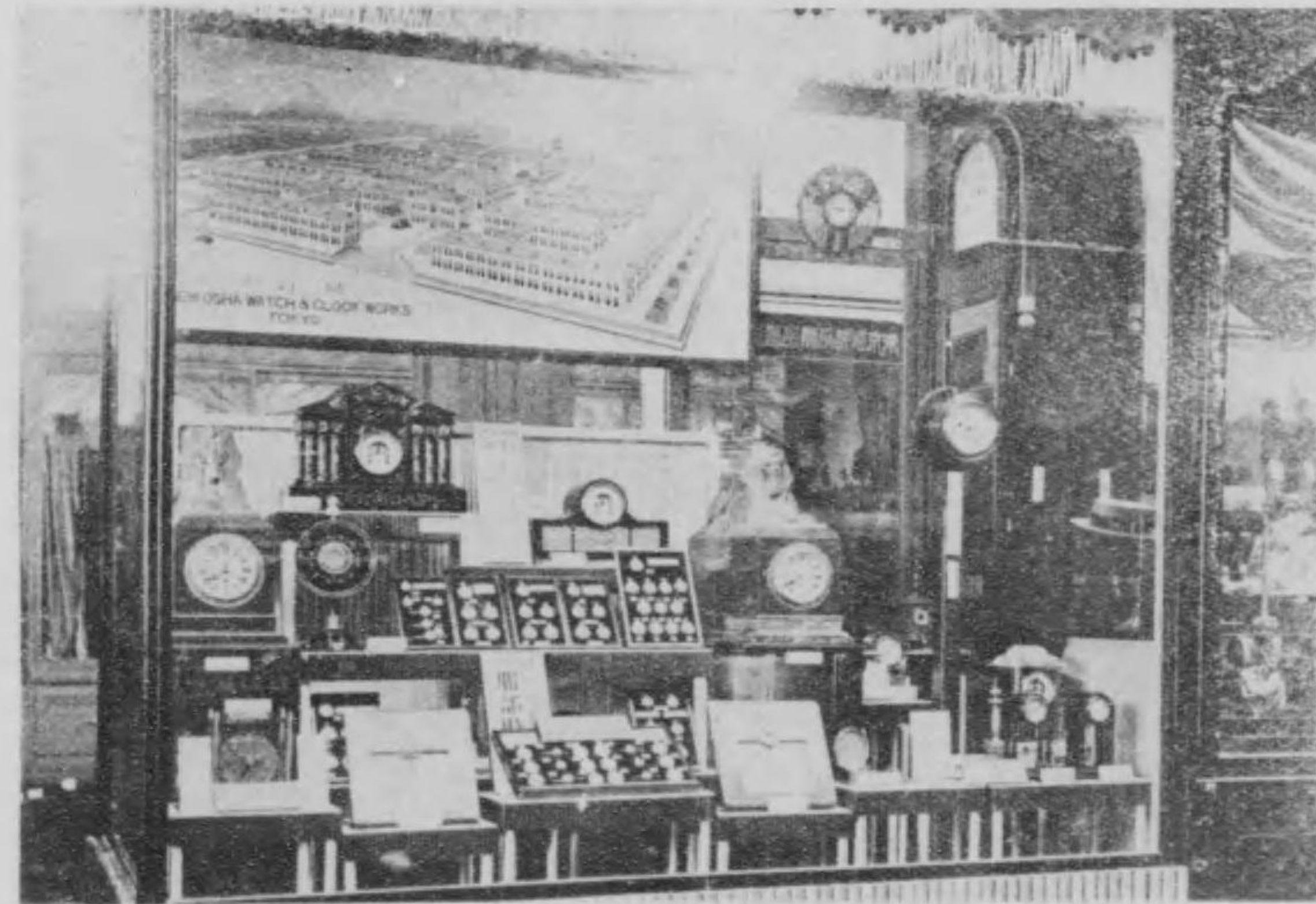
町福吉節節約南下府京東  
社合式株業輪國帝  
館作製場會一第

場會一第



町谷澁郡摩多豊下府京東  
社合式株ートクラ

館作製場會一第



座銀區橋京市京東  
店計時部服



町喰馬區橋本市京東  
社合式株業工屬金貴洋細

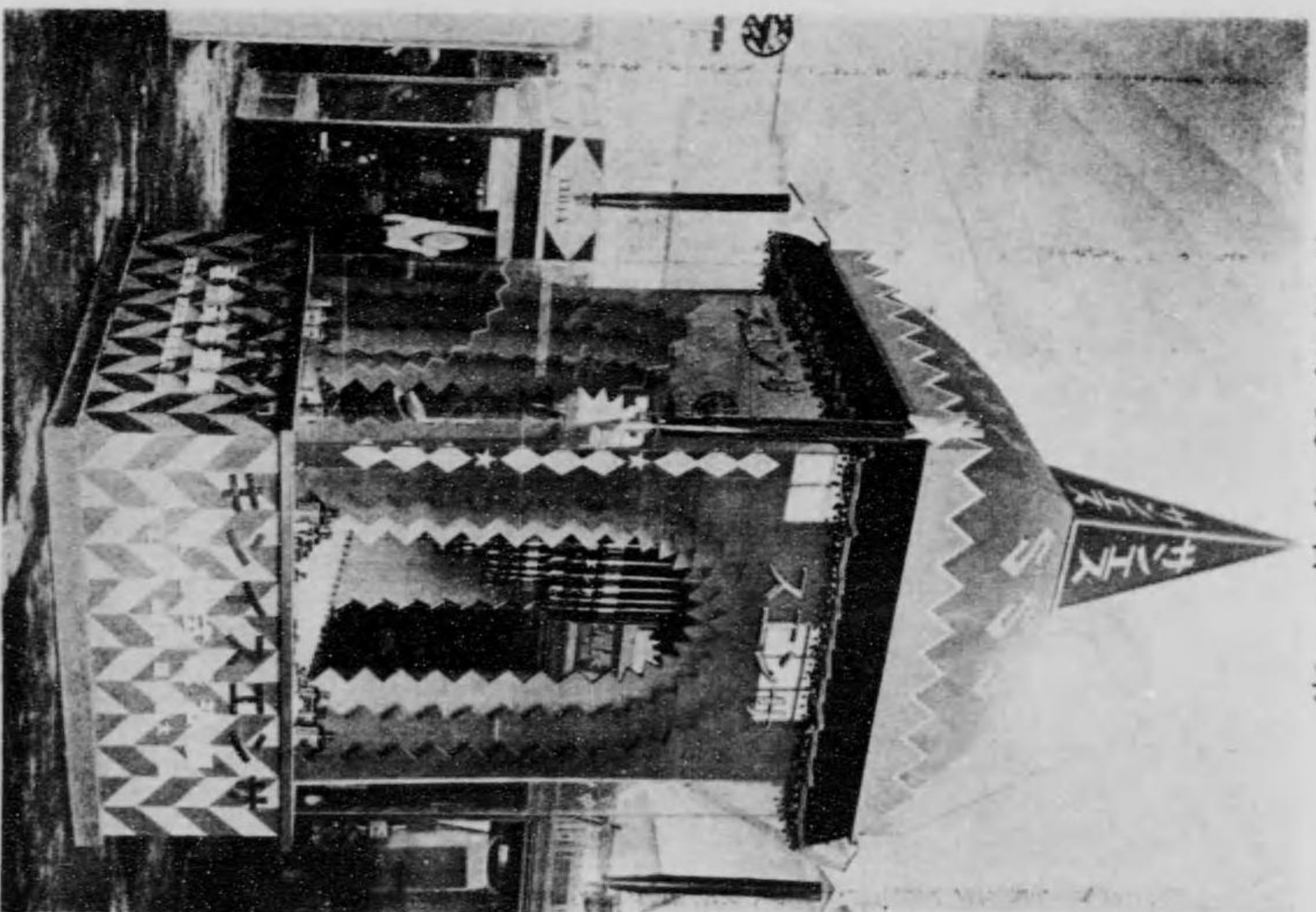
サンエス萬年筆本舗  
東京 細沼貴金屬株式會社

一、出品者 東京市日本橋區濱町二丁目十四番地  
合名會社 東洋建材社  
電話濱町百五十八番

一、營業科目 土木建築一般  
一、經營者 合名會社外山繁太郎  
一、創立年月 大正二年六月  
耐震耐火完全に生命財産を保護する能力ある近代文化的な生活様式の體現にして木造建築と同額の費用同日敷を以つて出來する特許外山式鐵筋コンクリート建築法にして左の特長を有す  
一、不經濟な假枠を廢し、鐵筋コンクリート板を代用せしめたるものにして、價格は木造建築と略同額なり  
一、施工簡便にして假枠の製作及び組立、取外し等に要する日敷を省略せらるゝが故に、最も迅速に竣工出來す  
一、鐵筋コンクリート構造が、絶對的に耐震、耐火永久的なる事は、最早や今日では明白なる事實とす  
一、硬化乾燥せる、鐵筋コンクリート板なれば、完全に外部よりの濕氣を防がれ、又換氣も充分行はる故に衛生上理想的なり



館具房文場會一第



章 東  
社會式祥業工屬金貴清細

館具房文場會一第



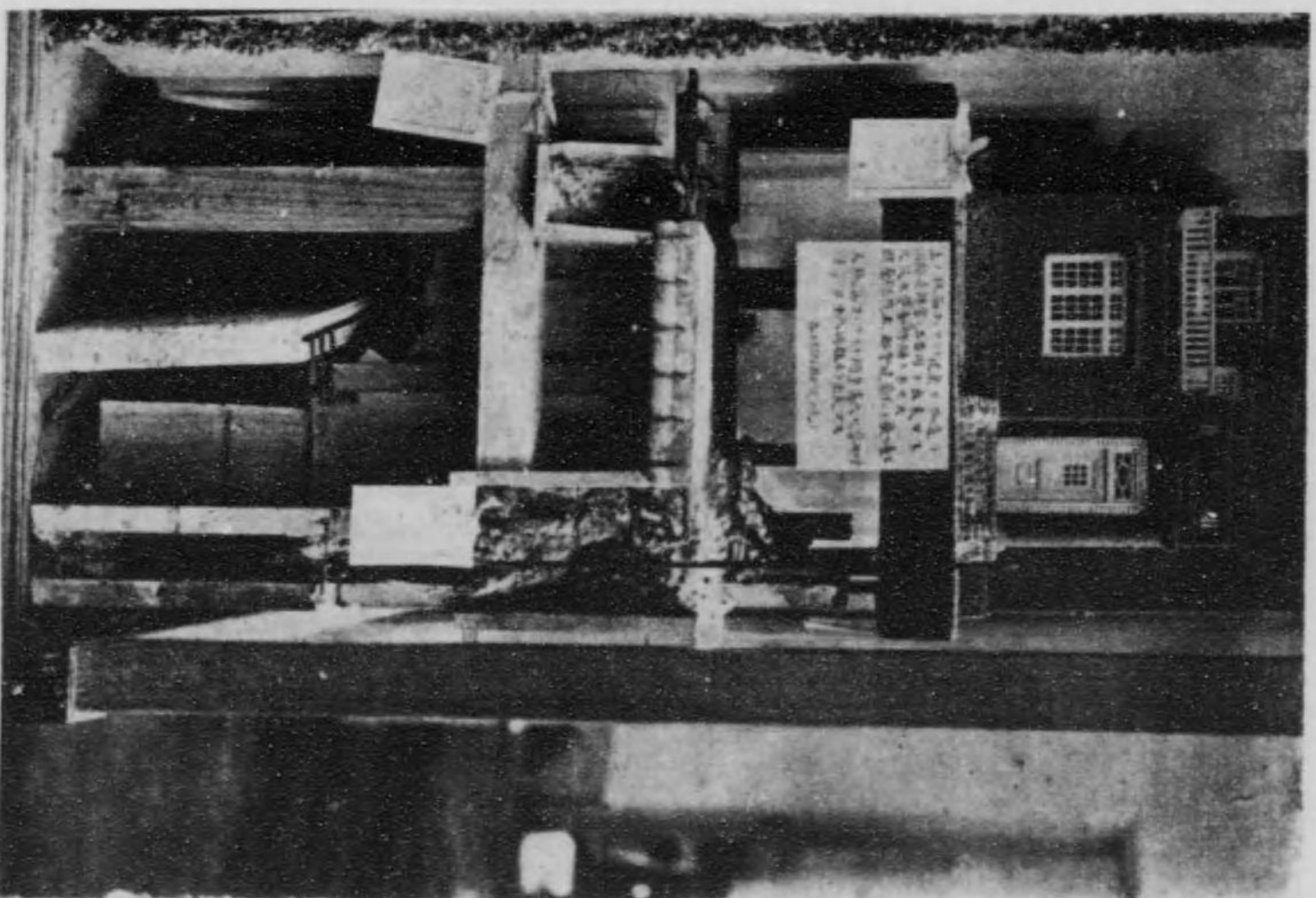
町 戸 龜 下 府 章 東  
氏 郎 次 清 野 高

館織染場會一第



町 崎 勢 伊 市 濱 横  
店 服 異 屋 澤 野 社 會 式 祥

館 築 建 場 會 一 第



四 十 二 二 町 諸 區 橋 本 日 市 京 東  
社 村 建 津 東

大阪府堺市

關西足袋カパー株式會社

東京市本所區横川町

青木染工場

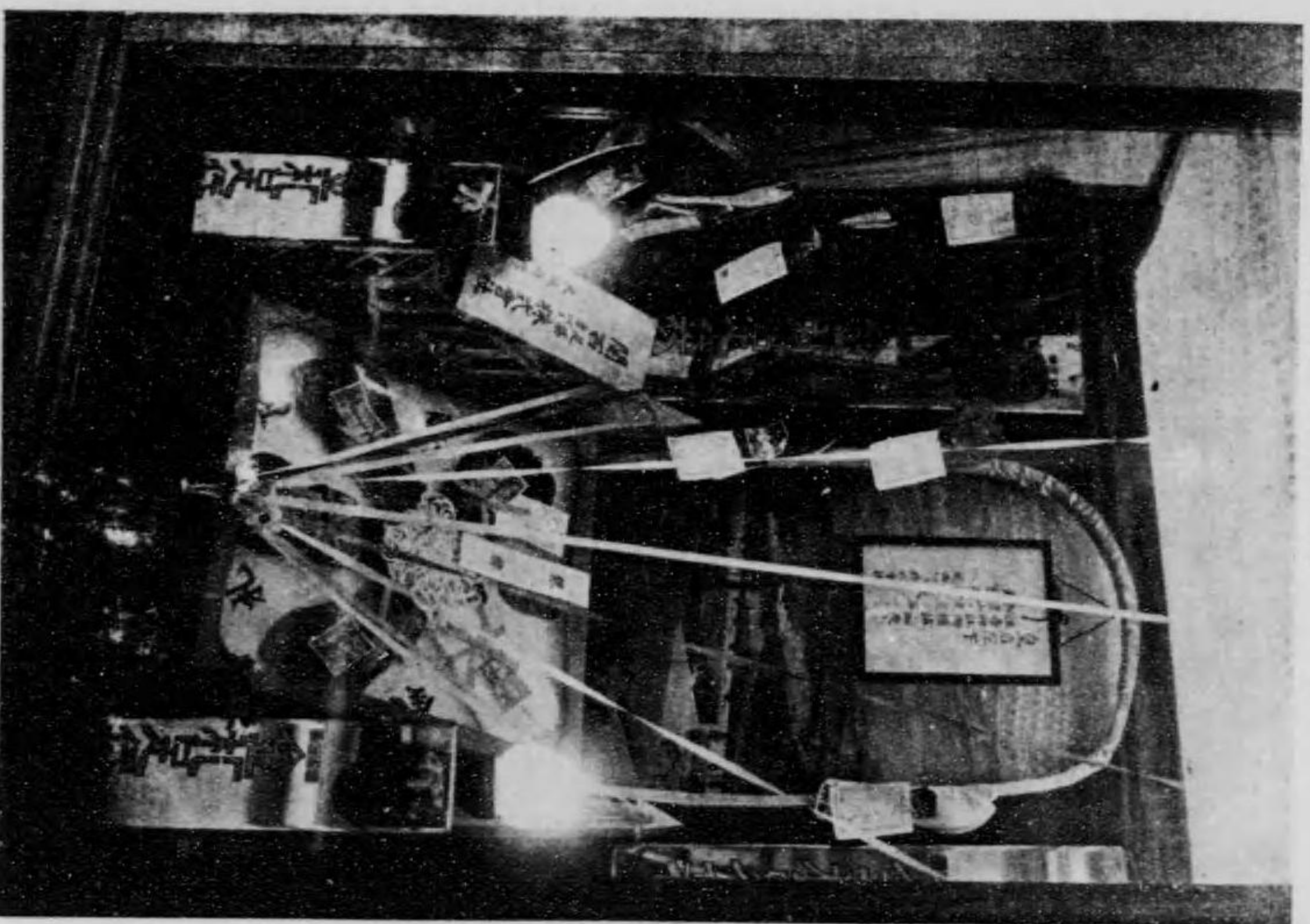
京都市

西陣織物株式會社

名古屋市

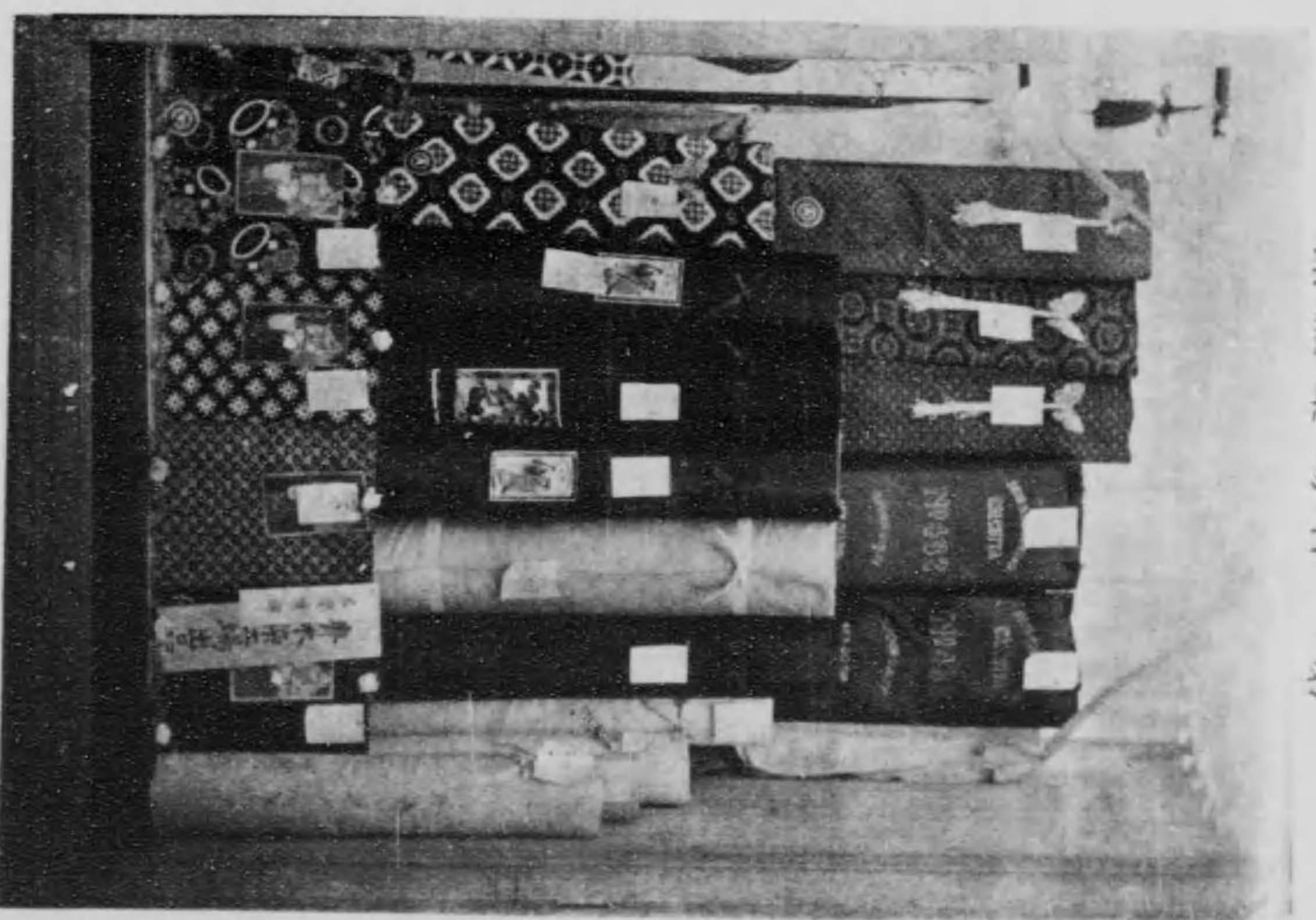
帝國撚糸株式會社

館織染場會一第



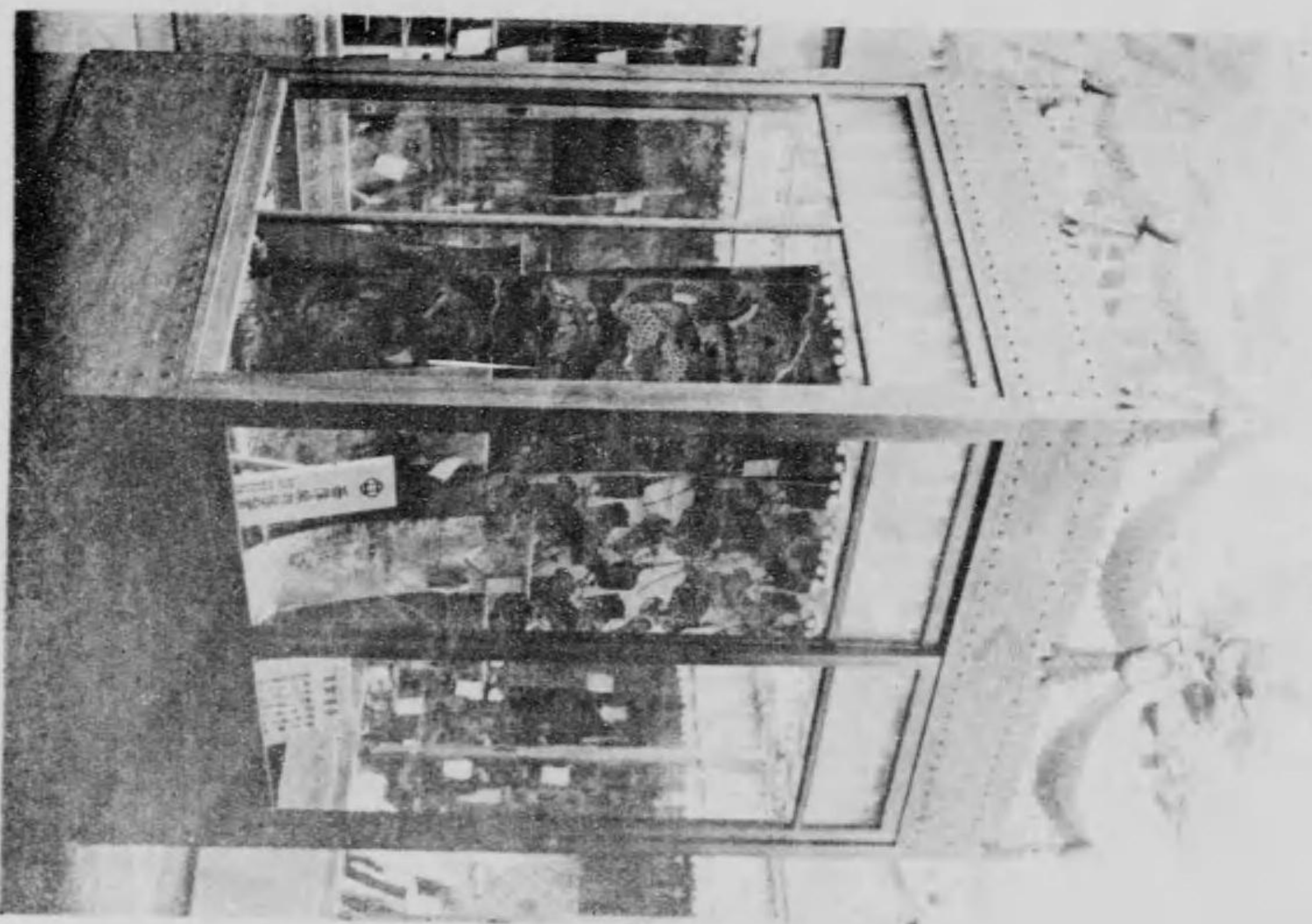
市堺府阪大  
社會式株一バカ袋足西關

館織染場會一第



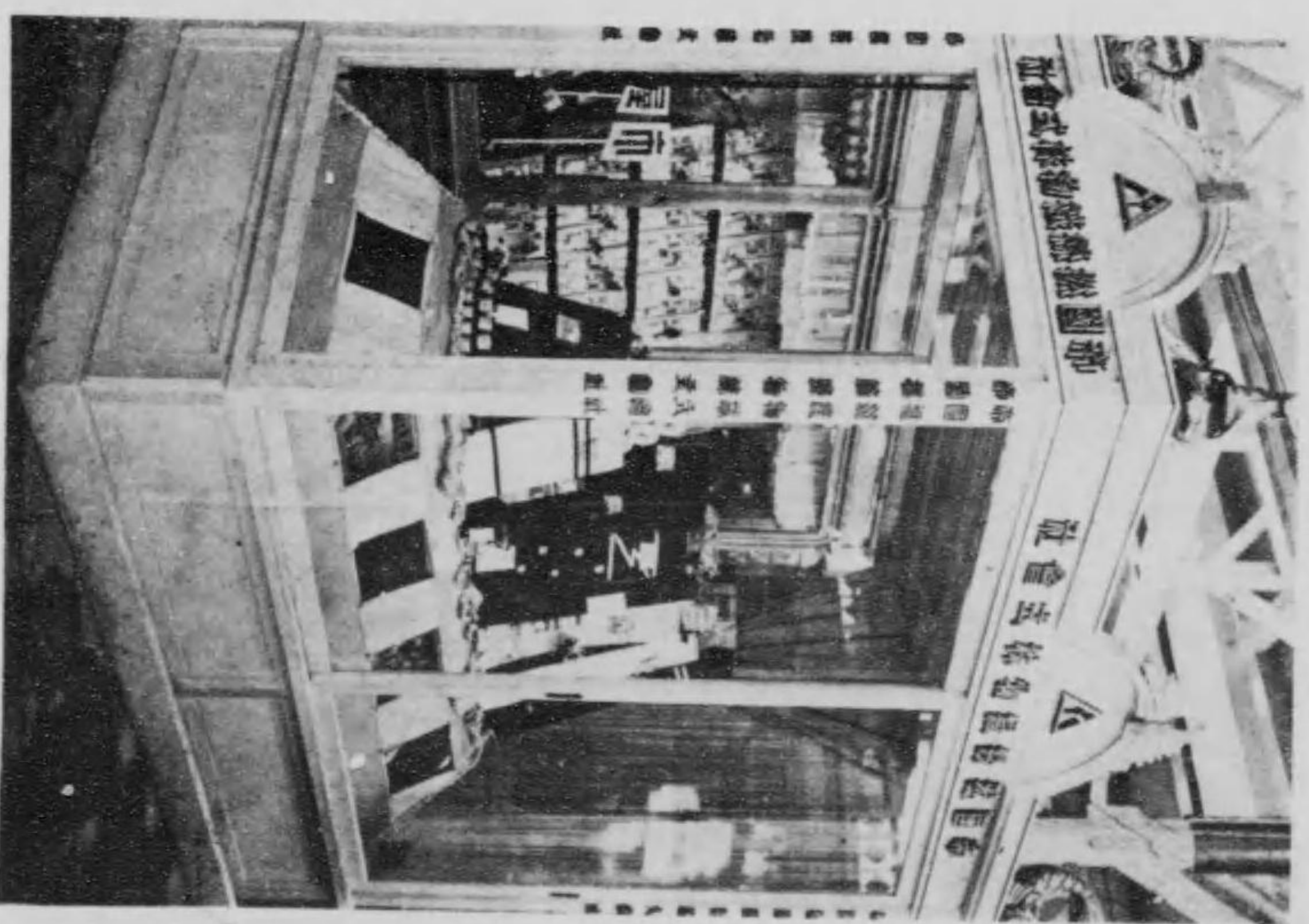
町川橋區所本市京東  
場工染木青

館織染場會一第



市都京  
社會式株物織陣西

館織染場會一第



市屋古名  
社會式株物織本無國帝

一、出品者

東京市神田區松住町

日本酒造株式會社

電話下谷 六八一六番

振替東京四六一〇〇番

工場 兵庫郡西宮町

日本酒造株式會社西宮工場

一、營業 君萬歲醸造發賣元  
日本酒造株式會社は我邦醸造界の權威にして兵庫縣武庫郡西宮町にあり君萬歲は同社の銘酒にて廣く天下に知らる。

仙臺味噌の沿革

○仙臺藩主伊達公は、戰時糧食を兼ね旁々江戸邸在勤の、士卒三千餘名に給與するの目的を以て今を去る百八十二餘年前品川なる仙臺邸内に醸造場を設け熟達せる國風の製法に則り、巧みに製造したるものに初まる、爾來擴張して今日會社組織に改め、製法改良、原料の精選に努めし結果、品質佳良風味卓絶せるの故を以て、曩に日清、日露、日獨の各戦役に於ては、陸海軍々需品として多數の御用命を蒙り、各軍艦よりは賞狀數通を賜るの光榮に浴せり、大正博に於て金牌賞を受領し尙且つ宮内省より御買上げの光榮を賜はり今日の隆盛を見るに至れり。平博に於て金牌を授けらる。

群馬縣多野郡藤岡町

高井作右衛門

東京市牛込區柳町

月見せんべい發賣元 龜屋本店

一、出品者

一、炭醬油(イゲタ高)醸造及販賣

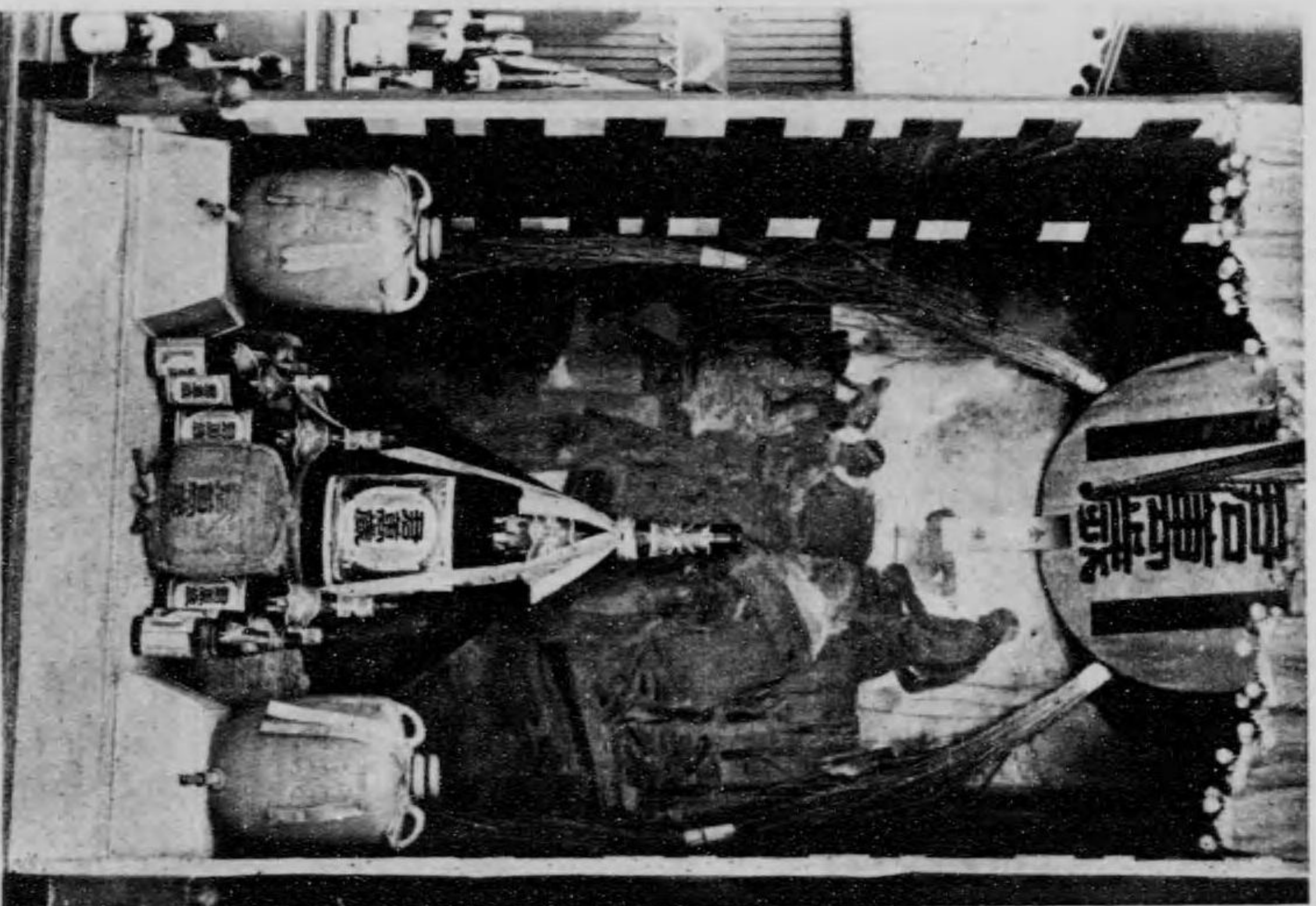
二、創立年月 享保十四年

一、一ヶ年醸造高清酒一、二〇〇—五〇〇石

醬油三、〇〇〇石内外

一、東京方面を初め上野高崎間の各縣其他に販路を有す

館料食場會一第



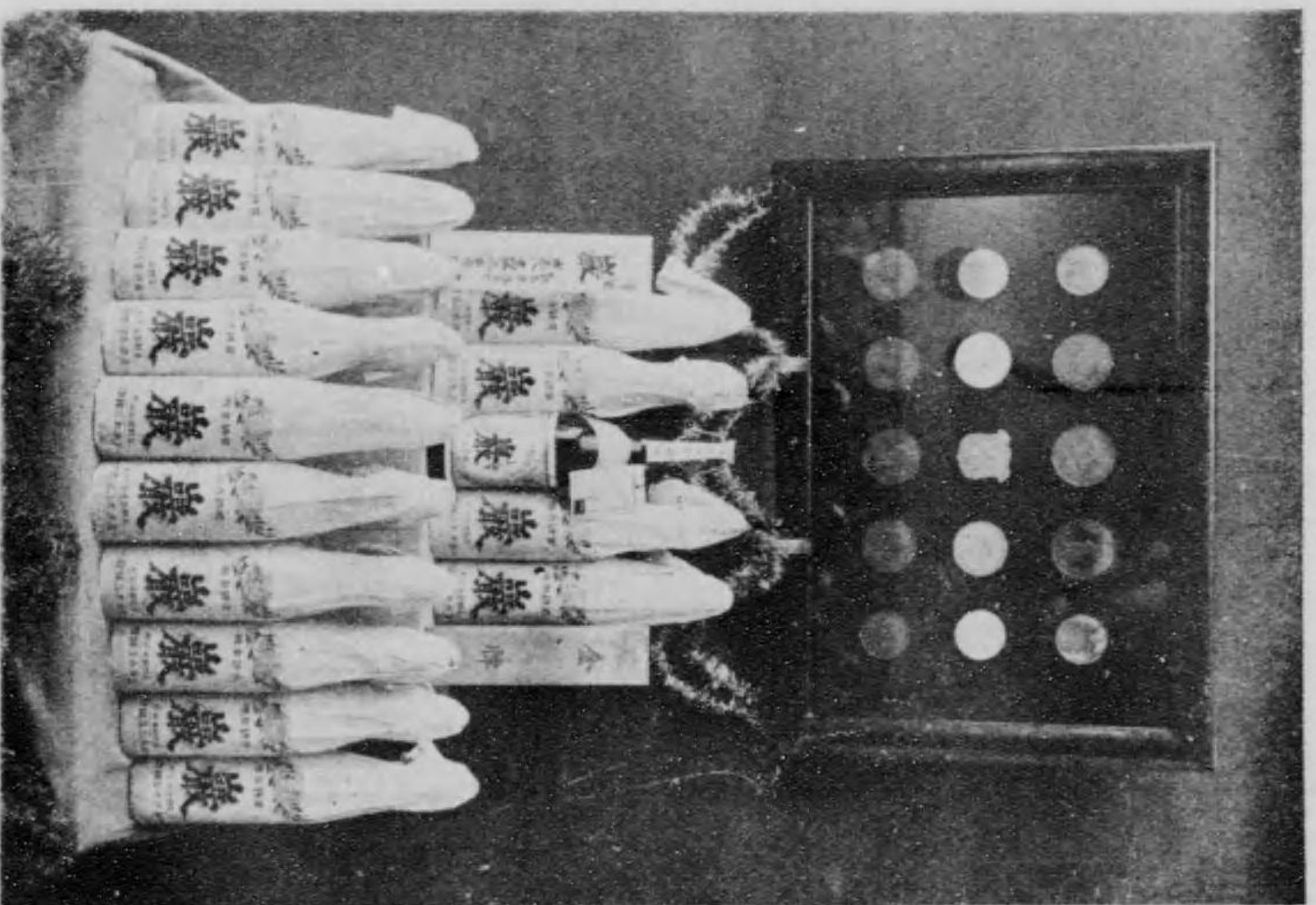
町住松風田神市京東  
社會式株造酒京東

館料食場會一第



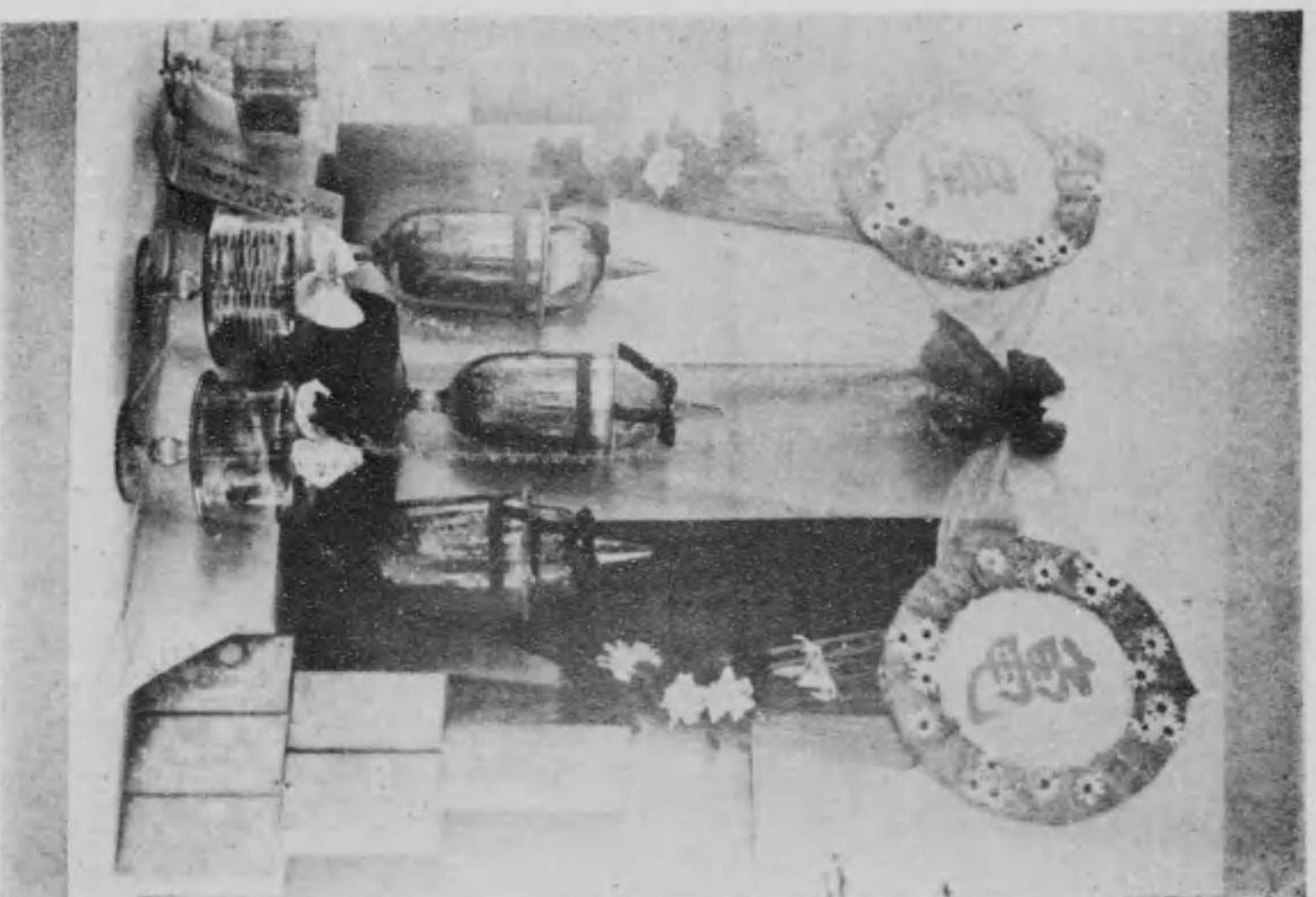
町井大下府京東  
所造釀啤味麥仙

館料食場會一第



市橋前縣馬群  
氏門衛右作井高

館料食場會一第



町柳區込牛市京東  
店本屋龜

東京  
博文館印刷所

東京市京橋區築地  
築地活版所

大阪市西區北堀江御池通

一、營業種目  
琴三味線及附屬品筑前薩摩琵琶製造唐木材木類販賣

高野 幸助商店

東京市芝區神明町  
小島印刷株式會社

第一會場教育館



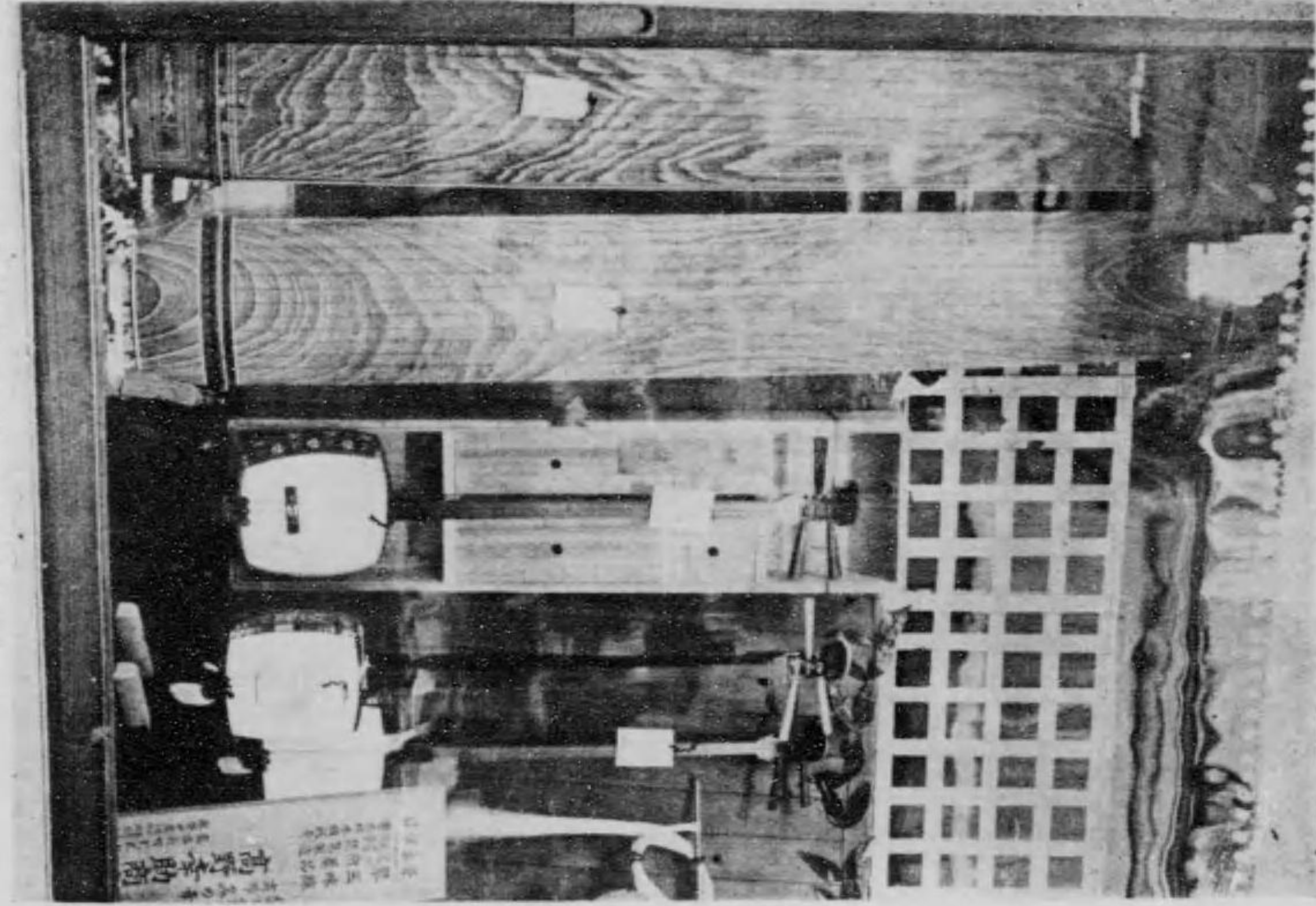
東京  
博文館印刷所

第一會場教育館



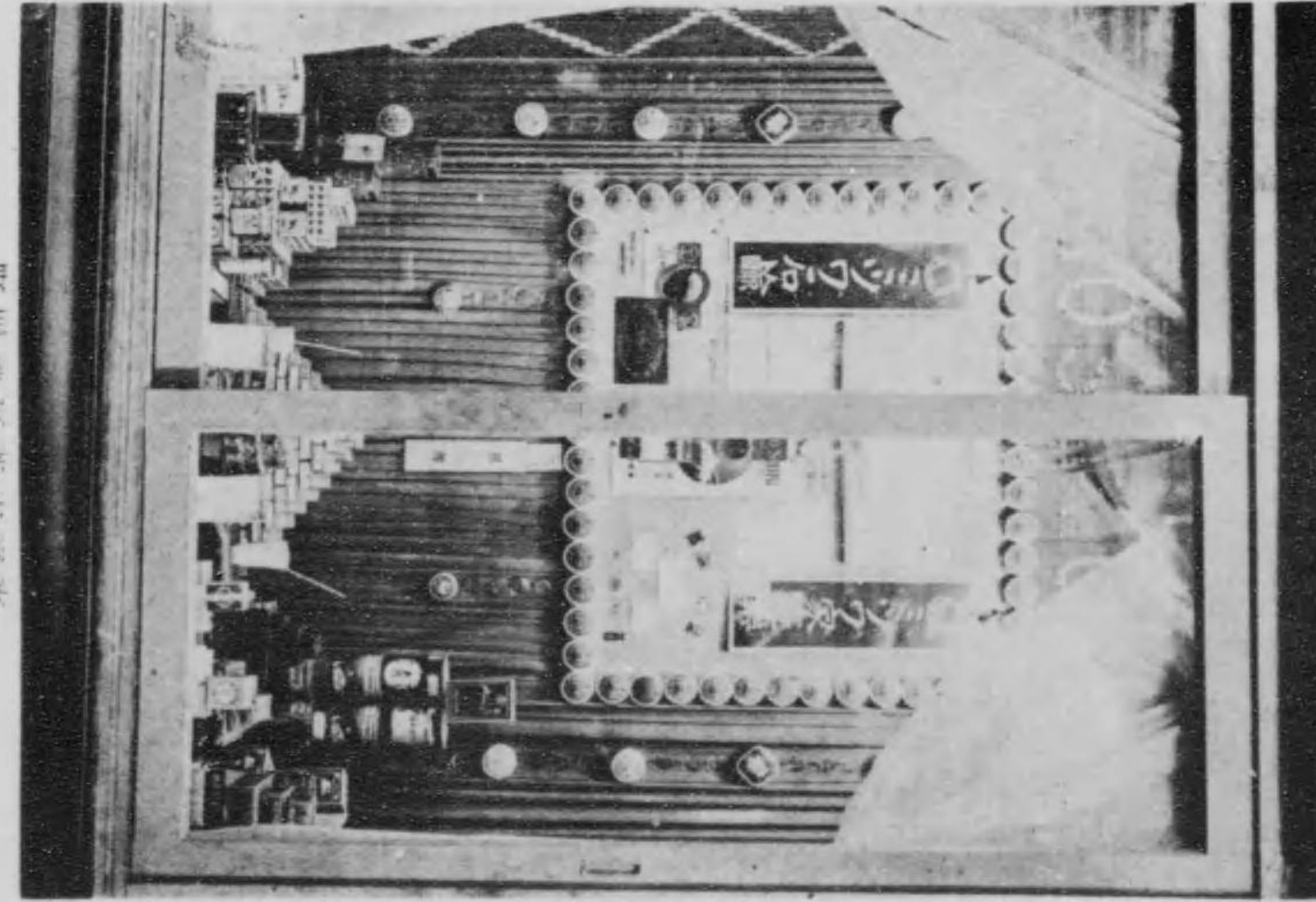
東京區橋地  
築地活版所

第一會場教育館



大阪西區北堀江御通  
高野塾商店

第一會場教育館



大阪東區芝町  
小島印刷株式會社

東京市牛込區榎町

日清印刷株式會社

一、同社の印刷に成れる大觀、主婦の友、小學生少年少女等のあらゆる雜誌を陳列せり

東京市芝區愛宕町

東洋印刷株式會社

東京市神田區美土代町

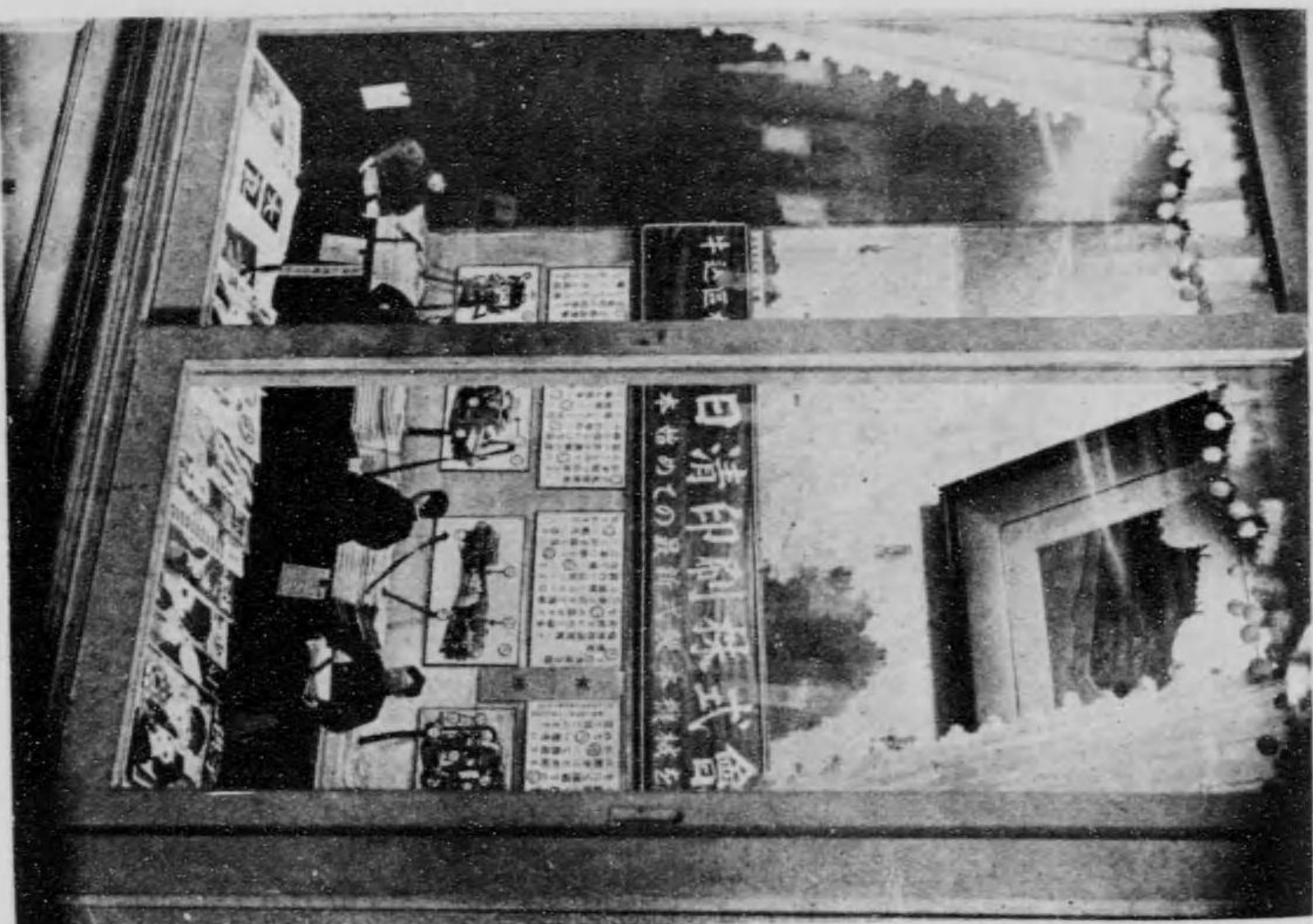
島 連 太 郎

東京市京橋區築地三ノ十五

中 屋 印 刷 所



館育教場會一第



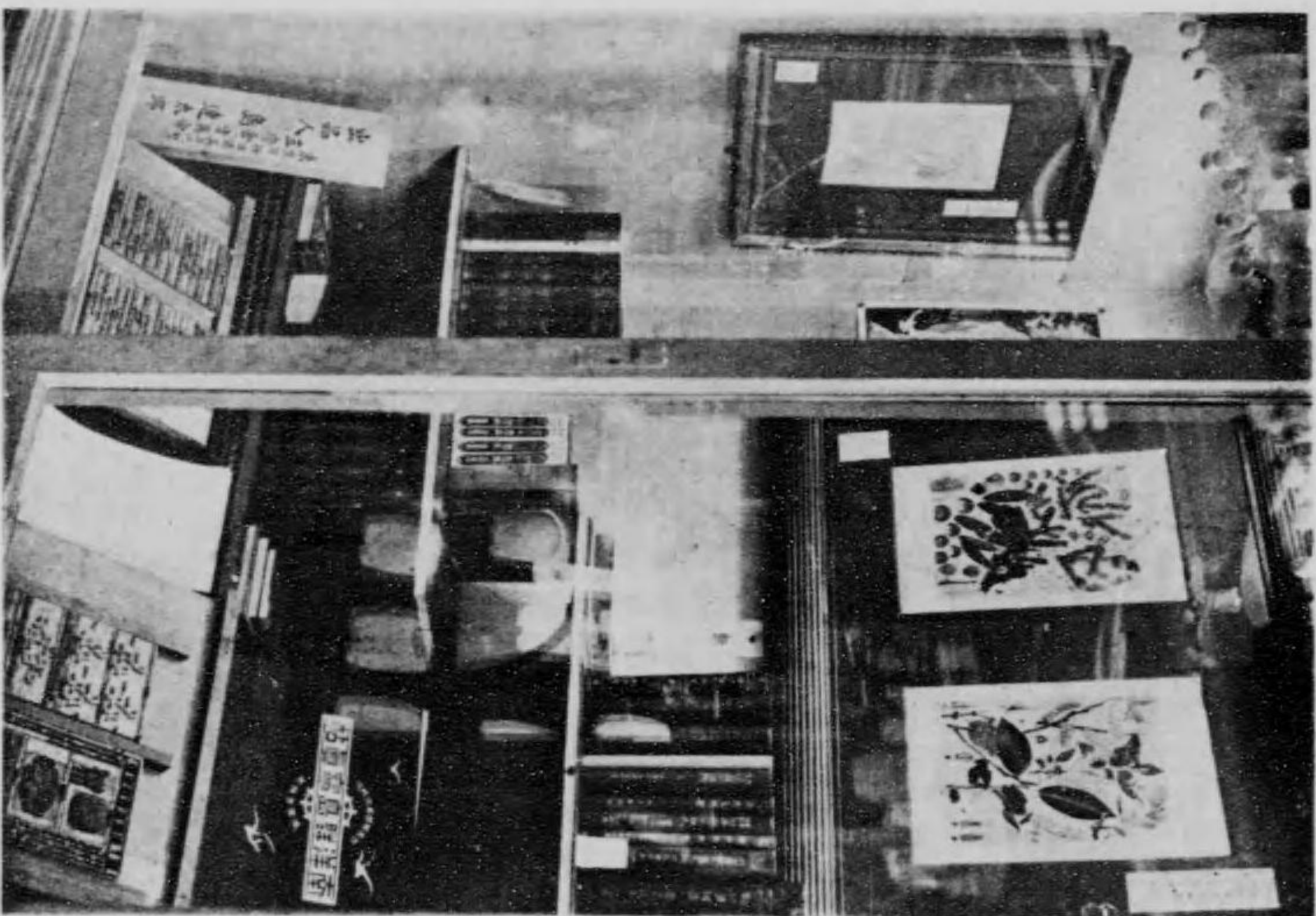
町樓區込牛市京東  
會式株刷印浦口

館育教場會一第



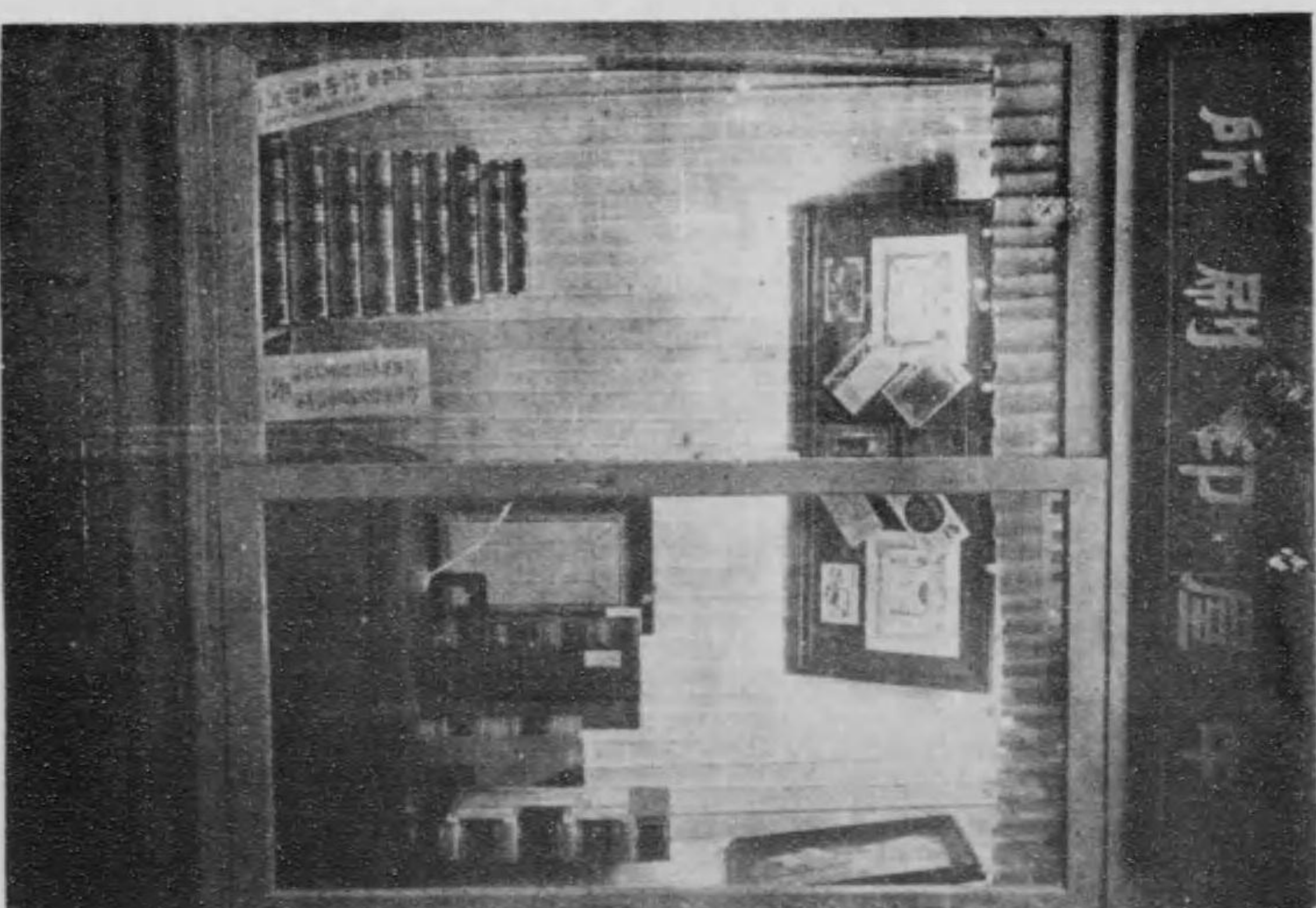
町宮區區芝市京東  
社會式株刷印洋東

館育教場會一第



町代土美區田神市京東  
氏郎太連島

館育教場會一第



町一ノ三地築區橋京市京東  
所刷印屋中

東京海草問屋同業組合

入賞者

金牌受領

寒天石花菜

同

澁布糊

同 市同 區小網仲町

森友徳兵衛

東京市淺草區花川戸町

石上 多吉

東京市神田區上白壁町

福田 翁一郎

麴町區白河町

坪川 常江

外數名

入賞者 銀牌

銅牌

同

東京市日本橋小網町

駒木 銀三郎

第一會場食料館



東京淺草問屋同業組合

東京鼻緒同業組合

出	品	者
石上 多吉	小川 權次郎	伊藤 捨吉
大熊 春吉	南永 武豊	小淵 辰之助
高橋 清作	中村 市介	米本 鐵太郎
野寄 留五郎	野寄 留五郎	田中 宇平
福田 翁一郎	木村喜代三郎	倉持 精一
伊勢平 商店	本田 由松	小林 喜三郎
加藤 字之吉	鴨野 常吉	湯淺 益
		石崎 嘉一郎
		平野 定吉
		齋藤 定次郎
		增山 金藏
		白山 商店
		坪川 常治
		吉田 嘉七
		渡邊 市太郎
		大澤 梅吉
		パナマ屋商店
		堀井 常太郎
		小川 權三郎
		若月 啓太郎
		吉村 教治
		中佐 西之助
		樋田 長造
		丸山 惣助
		齋藤 重太郎
		森戸 保一郎
		原戸 庄藏
		奥野 新之助
		二木 榮吉
		仲荏 西之助
		大野 外具治
		石崎 嘉一郎
		大石 鐵吉
		パナマ商店

第一會場製作館



東京鼻緒同業組合

製繩器販賣元  
本庄商會

東京市淺草區駒形町卅五番地

埼玉縣入間郡川越町  
筋野三吾

一、出品者

埼玉縣  
合名會社和田兄弟商會

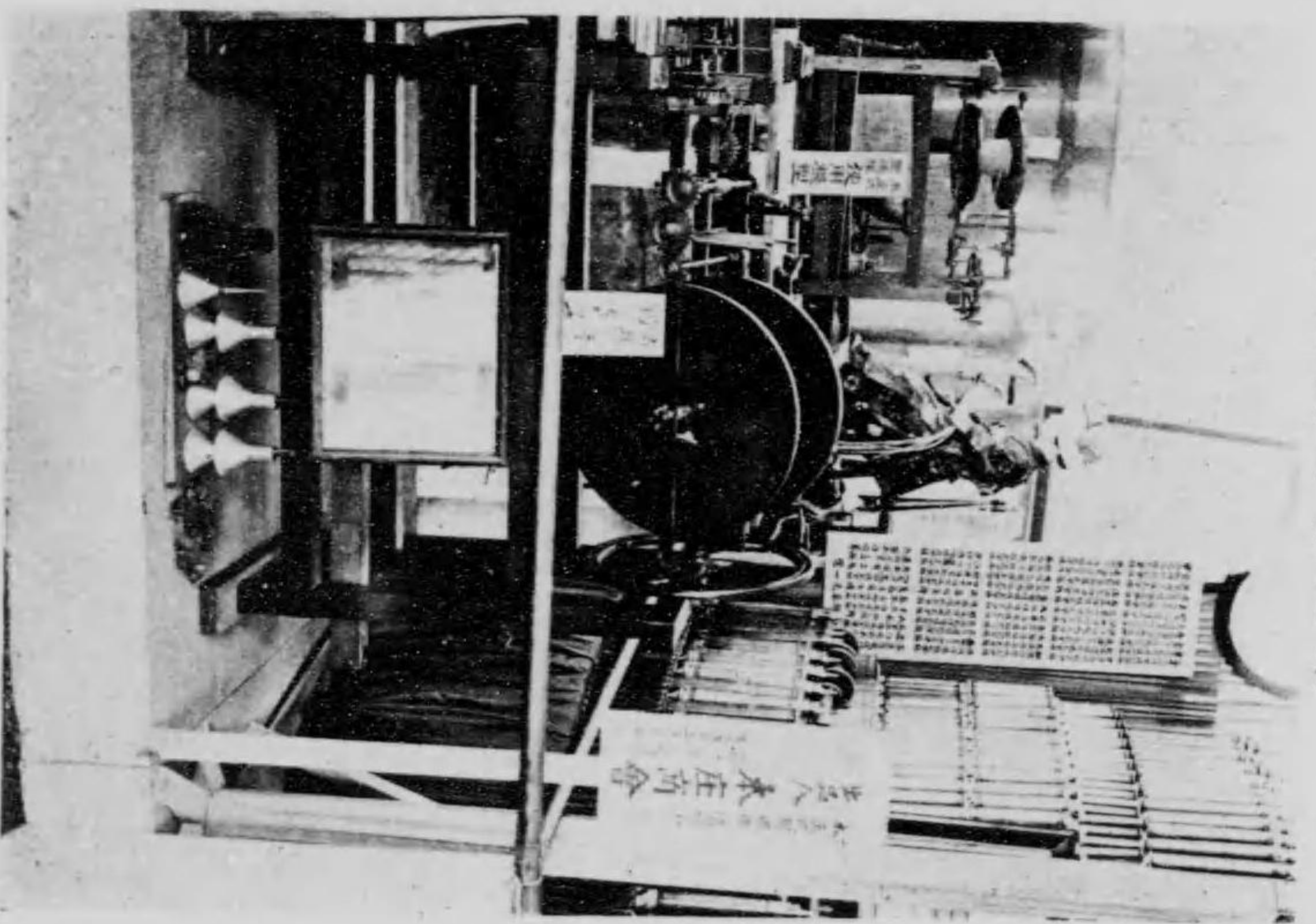
東京市本所區林町一ノ六  
清水幸吉

一、此種中最高名譽銅牌を授けられたるは實に清水幸吉氏唯一人にして蓋し多年苦心の効初めて酬えられたりといふ可し。

一、出品者

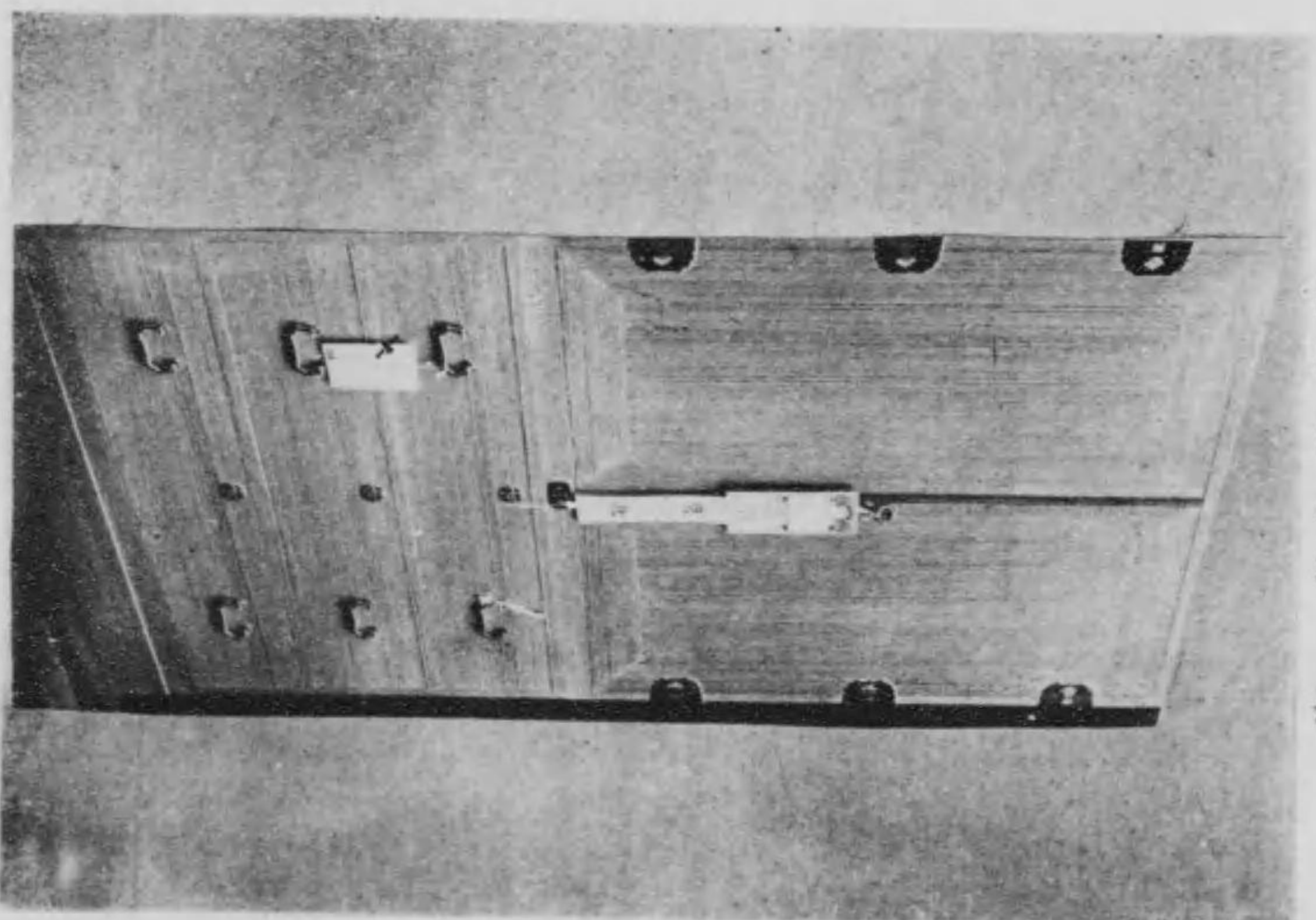
埼玉縣入間川越町  
高橋米吉

館 械 機 場 會 二 第



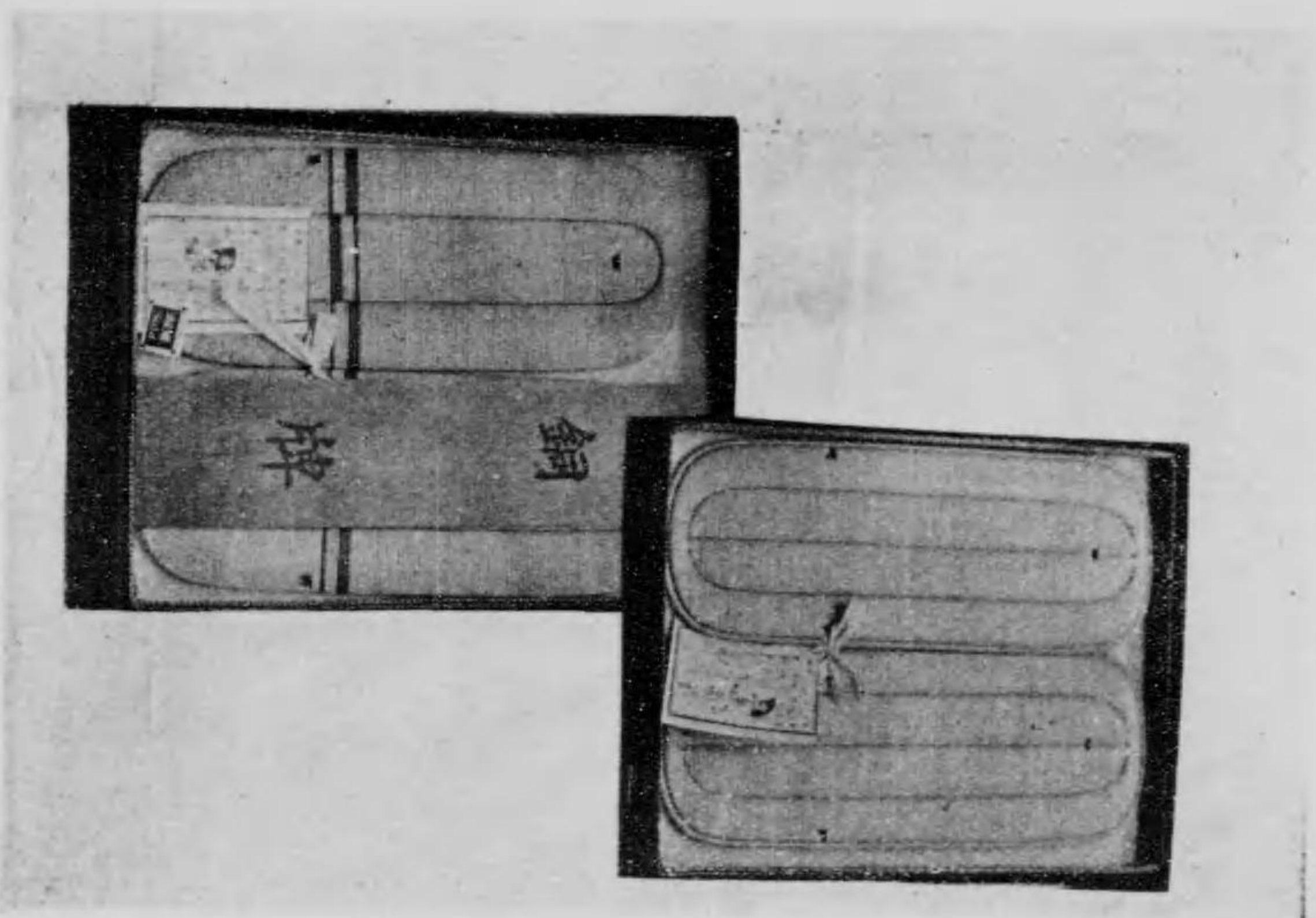
町形駒區草淺市京東  
會 商 庄 本

館 作 製 場 會 一 第



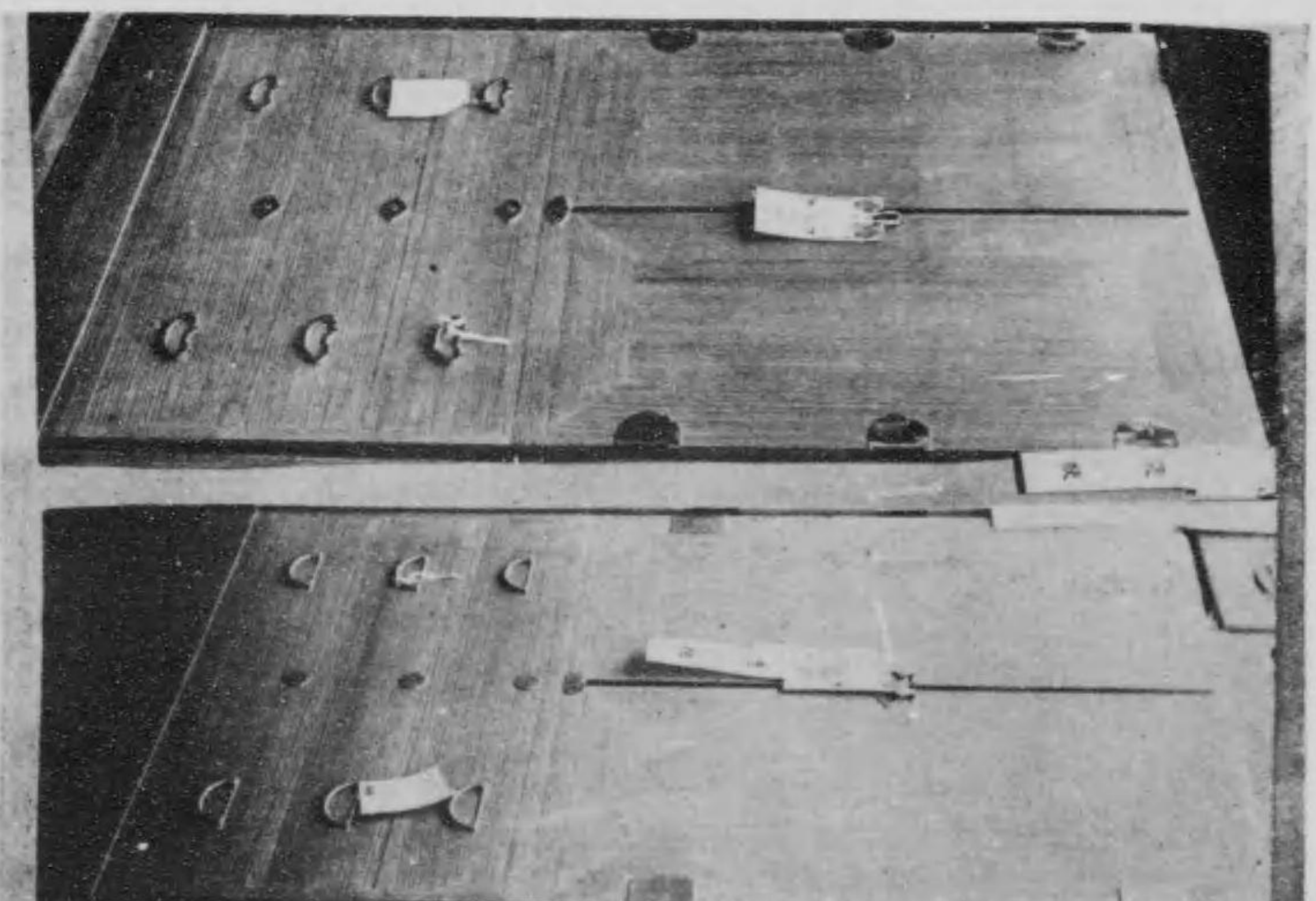
町 越 川 縣 間 大 縣 玉 場  
氏 春 三 野 筋

館 作 製 場 會 一 第



六ノ一町林區所本市京東  
氏 吉 幸 木 清

館 作 製 場 會 一 第



縣 玉 崎  
會 商 弟 兄 田 和 社 會 名 合

東京藤商工組合

入賞者 褒賞

深川區東大工町 森 光之助  
本所區林町 岩崎 新三郎  
淺草區馬道町 高橋 要助

淺草花川戸  
本所相生町  
日本橋區通鹽町

淺井 廣喜  
鴨野 常吉

東京市淺草區龜岡町

石渡五郎右衛門

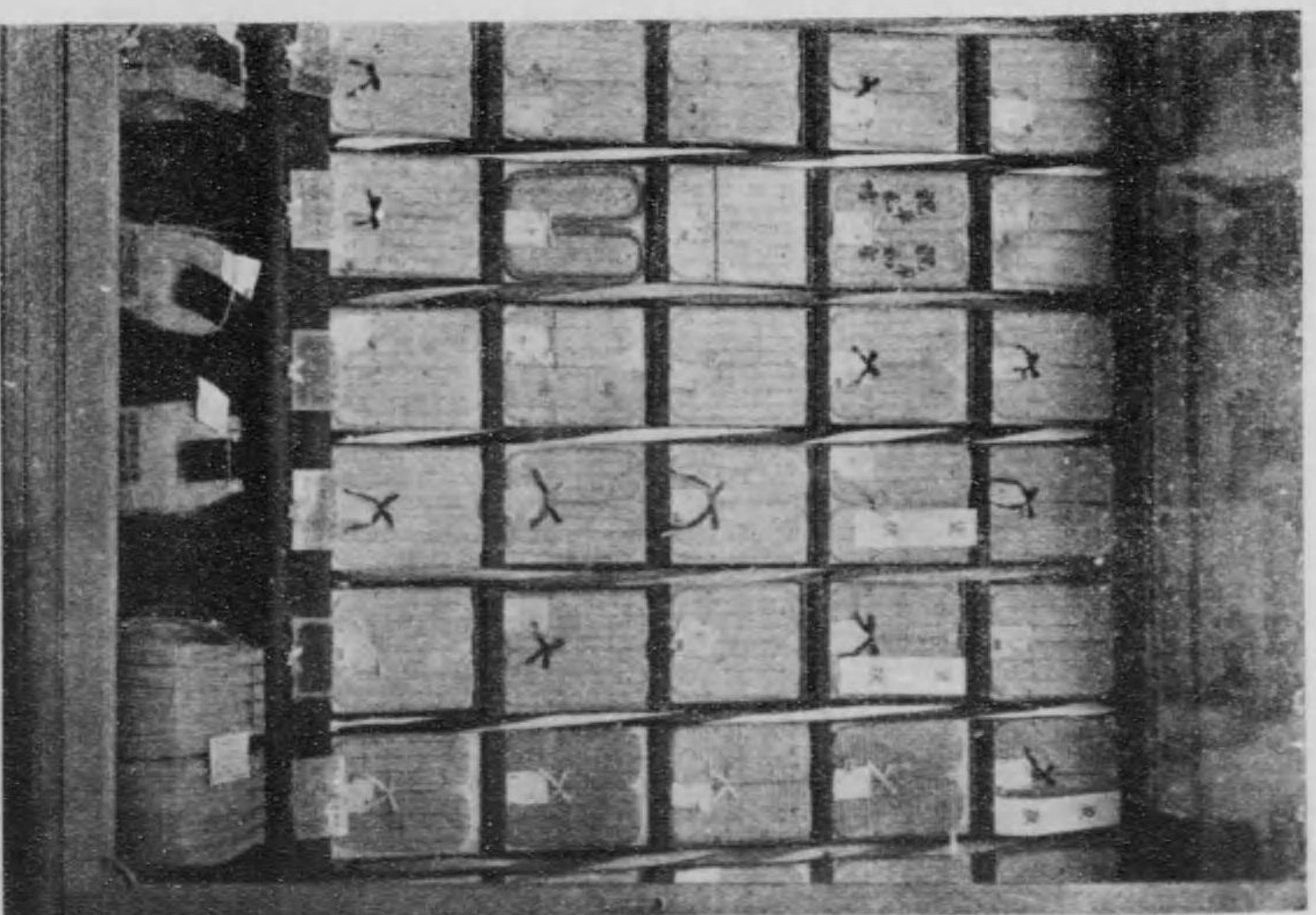


館作製場會一第



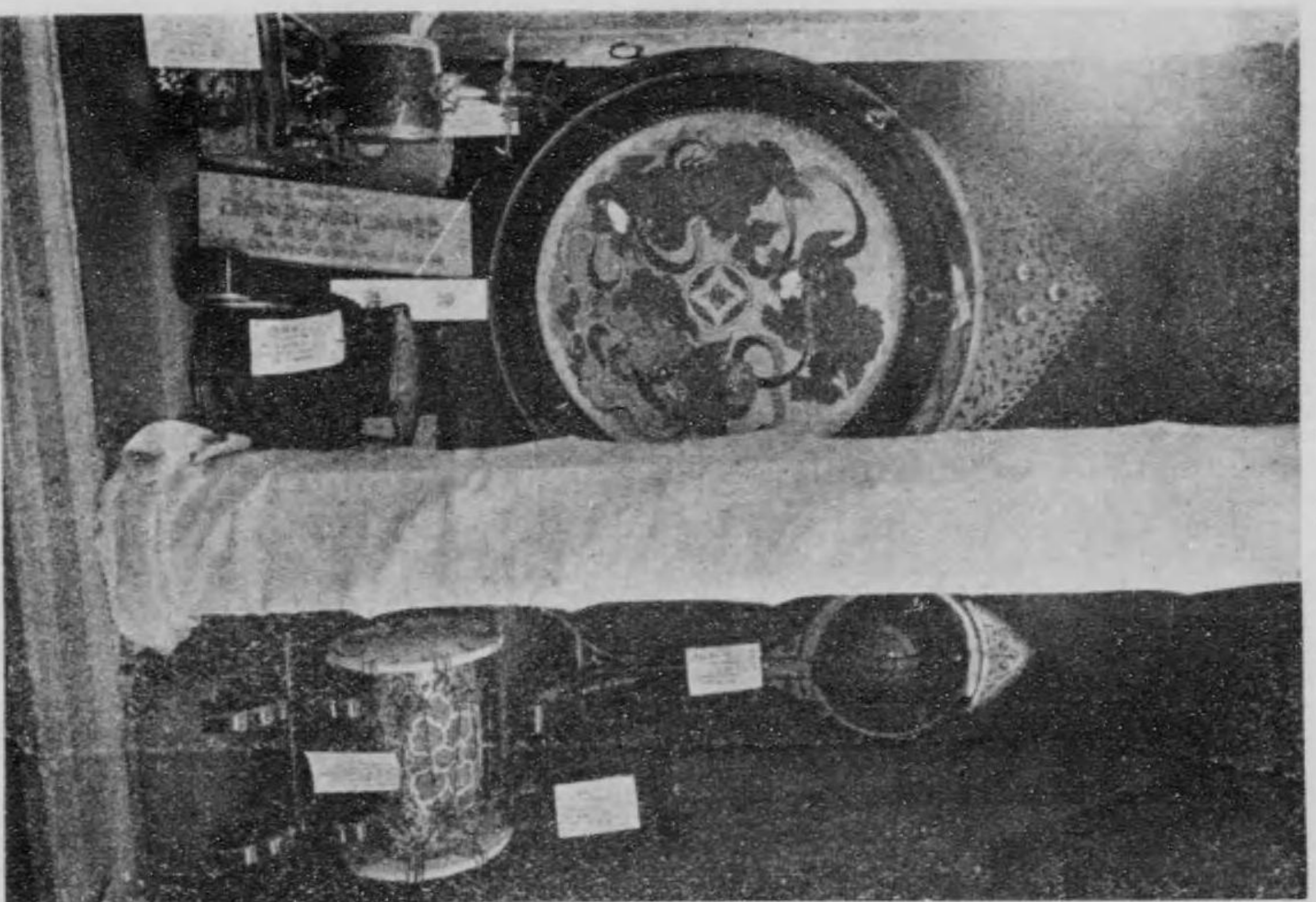
(三) 合組業同工商藤京東

館作製場會一第



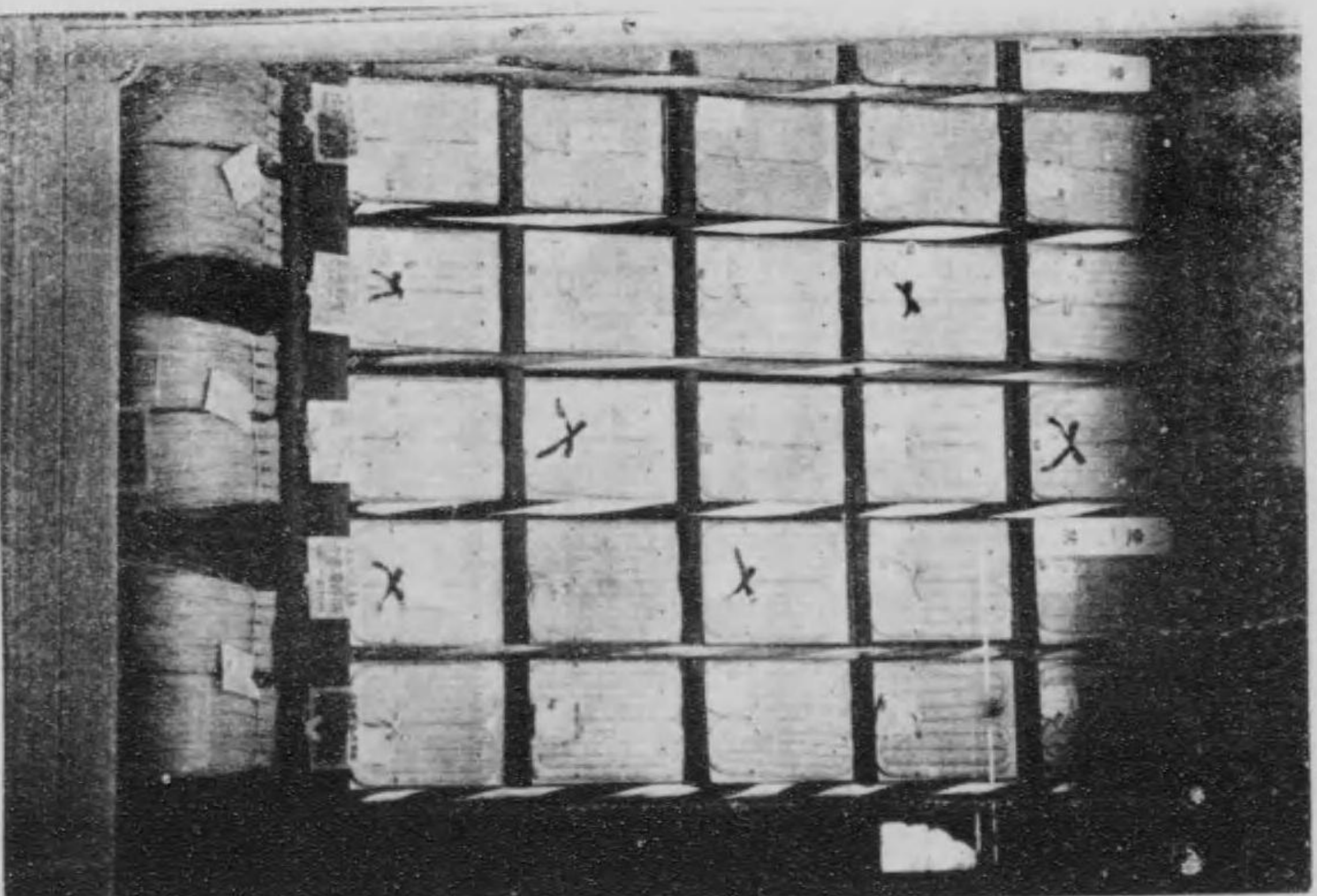
(一) 合組業同工商藤京東

館作製場會一第



町同船區草綾市京東  
門街右郎五波石

館作製場會一第



(二) 合組業同工商藤京東

一 出品者名

東京護謨工業株式會社代理店

福原七郎商店

東京市日本橋區本銀町貳丁目

一、所在地

東京市日本橋區本銀町貳丁目

一、營業科目

醫科用理化學用工業用ゴム製品製造販賣

一、經營者

福原七郎

一、創立年月

明治四拾三年四月

一、陸海軍用驅血帶(醫科用ゴム製品)純良總ゴム製第四部衛生館に於て金牌受領

審査要點は品質、耐久力にあり

右は明治四十四年より研究して大正二年發賣引續き改良を加へたる同店の發賣品にして輸入を防脈し陸海軍及各病院へ全國醫科器械店を経て供給す殊に歐洲大戰の際には陸軍より多數の注文を拜命し上納の光榮を有す

同店特長製品 スプレイゴム球、チューピング(軟質ゴム管)赤改良ゴム栓

耐酸性バラゴム栓、スプレイゴム球

大正二年試作大正四年完成發賣輸入を防脈し輸入當時の約四倍強製産を有し今や世界的製品なり

チューピング 品質優良にして内地製産の過半は弊店の有なり

赤改良ゴム栓 同店發賣以來輸入を防脈し却つて輸出するに至り今やゴム栓界には品質價格共に同品に及ぶものなく殆んど同店の獨得なり

耐酸性ゴム栓 従來耐酸性ゴム栓としては世界的に完全の品を見ざりしが同店に於て研究の結果漸く製作するを得工業試驗所に於て好評を博せり

其他醫科用ゴム製品理化學用ゴム製品一般同店の専門にして輸入を防脈し輸出するに至れり

同店は價格の競争をなさず其品質を以て競争し多年の經驗により品質常に一定せり

東京市東橋區南大工町四番地  
矢田耕造

一、出品者

一、營業科目

桑材指物一式製造販賣

一、創立年月

明治四十年

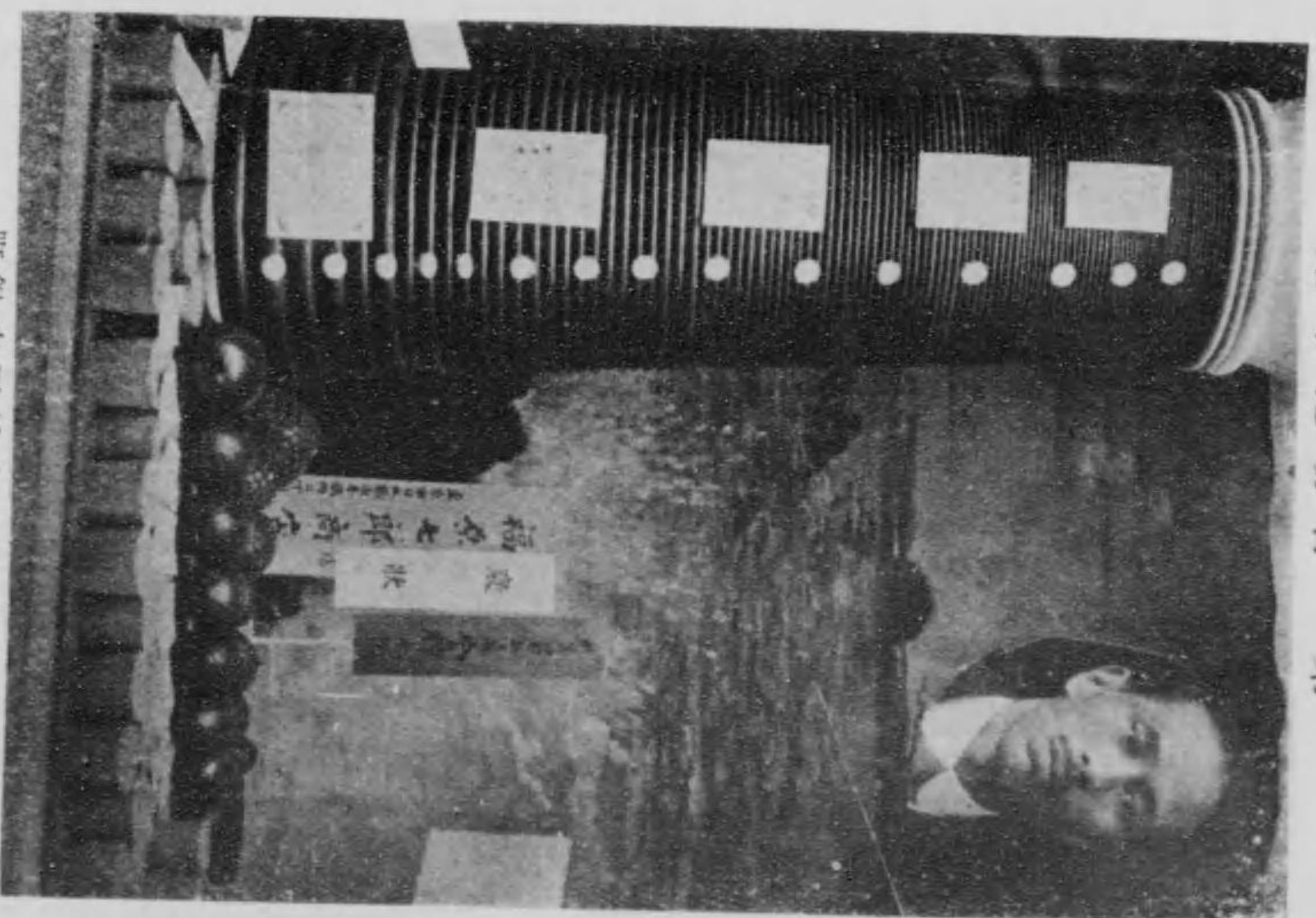
一、矢田氏は桑材指物の製作家として知らる、平和博に出品するに際し同會事務局に提出せる左記參考資料は頗る重要且つ珍とするに足るものなり。

桑材産出の由來(探検者 矢田耕造記)

我邦の銘木桑材の産地は伊豆諸島中御藏島産を木質最も良好とす、然れども左記使用統計表の如く需要増々多く前記産地のみにては到底愛用家の希望を満たすこと能はず依つて桑の探險に志し漸く大正三年九州西南方の孤島にて優良なる桑樹を發見し爾來今日に至る桑指物用材の大部分は右九州産を使用し居れり

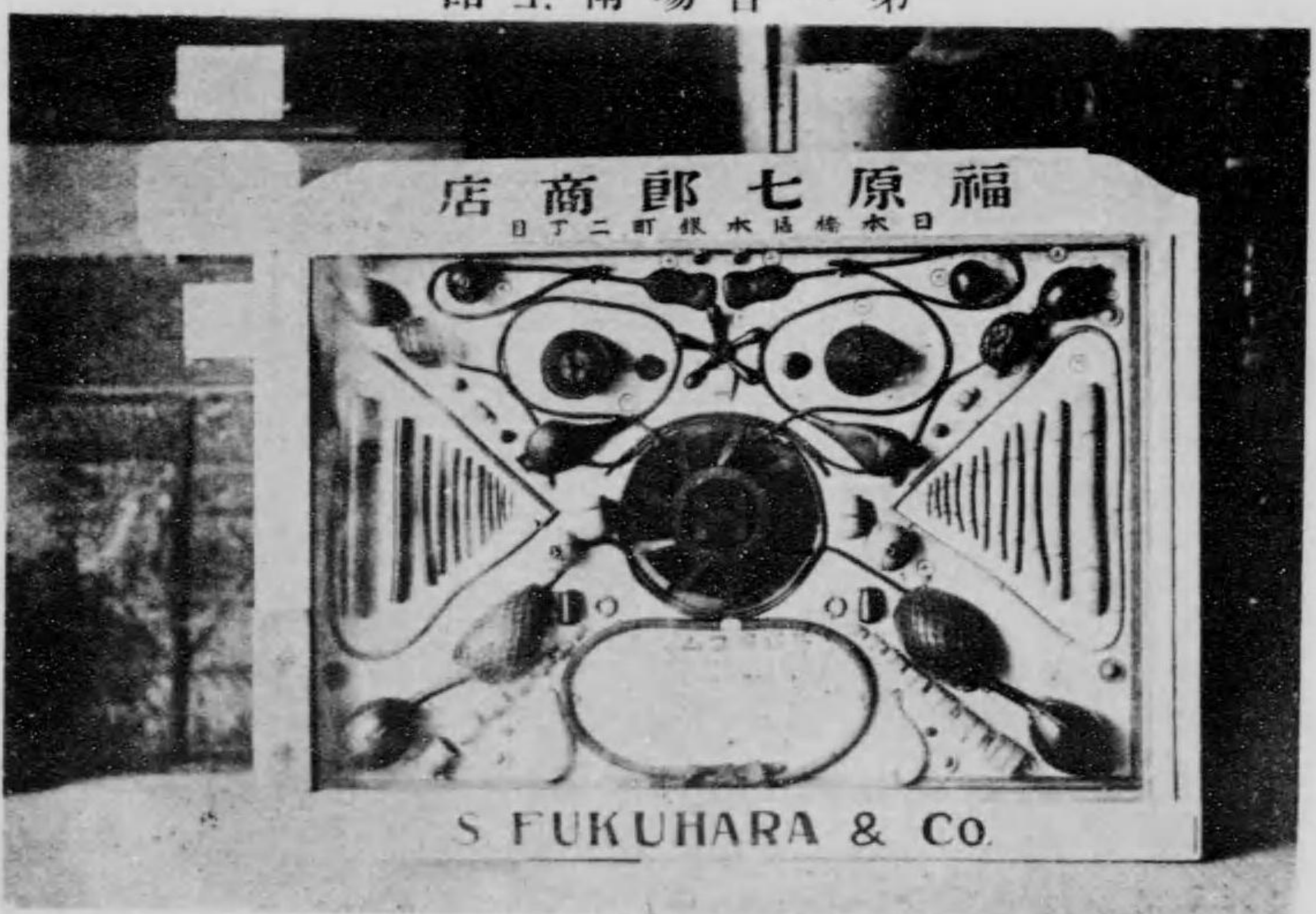
大正元年一萬才、二年一萬才、三年一萬二千才、四年一萬六千才、五年二萬二千才、六年四萬才、七年八萬才、八年十萬才、十年十一萬才

館學化場會一第



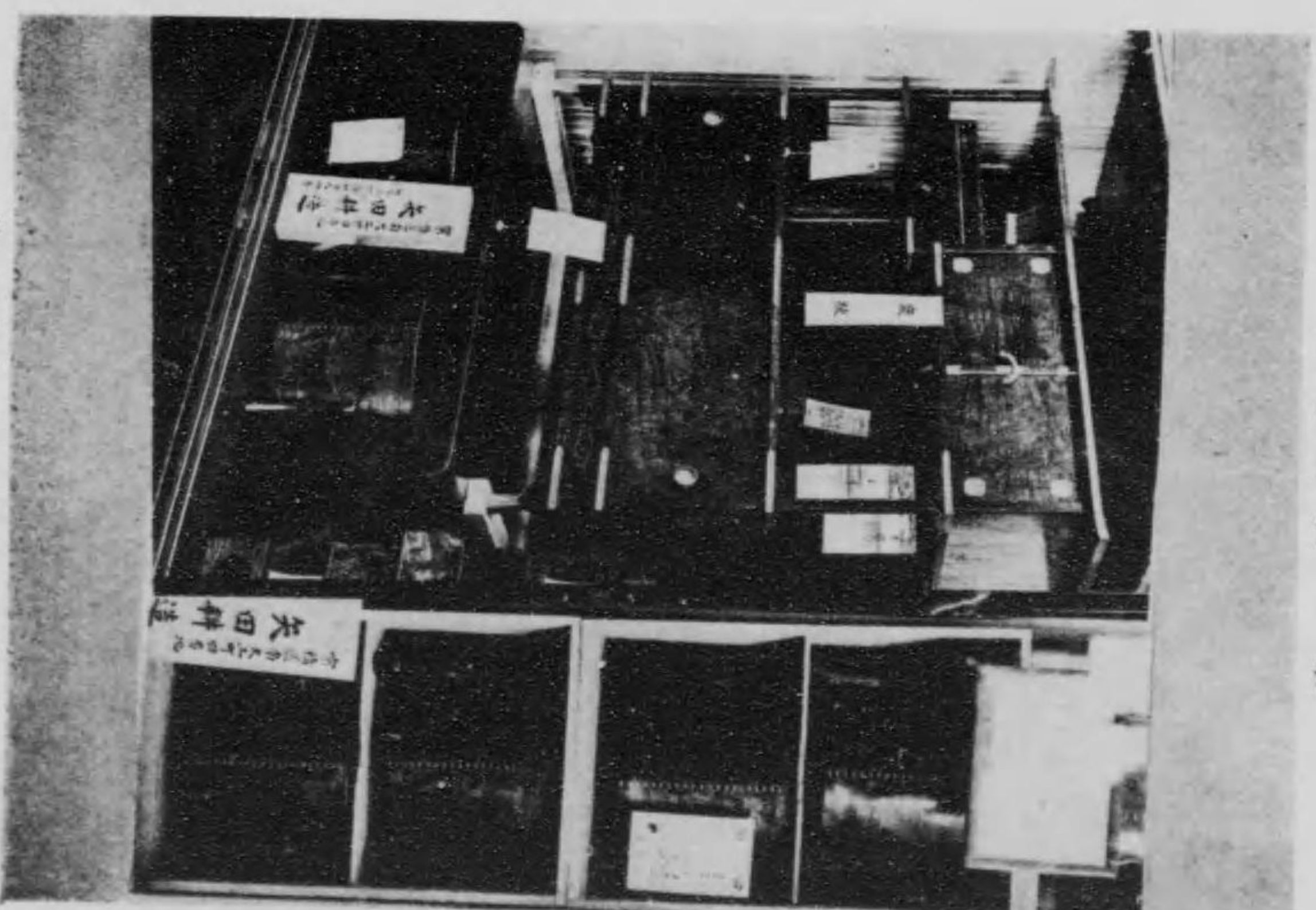
町銀本區橋本口市京東  
氏郎七原福

館生衛場會一第



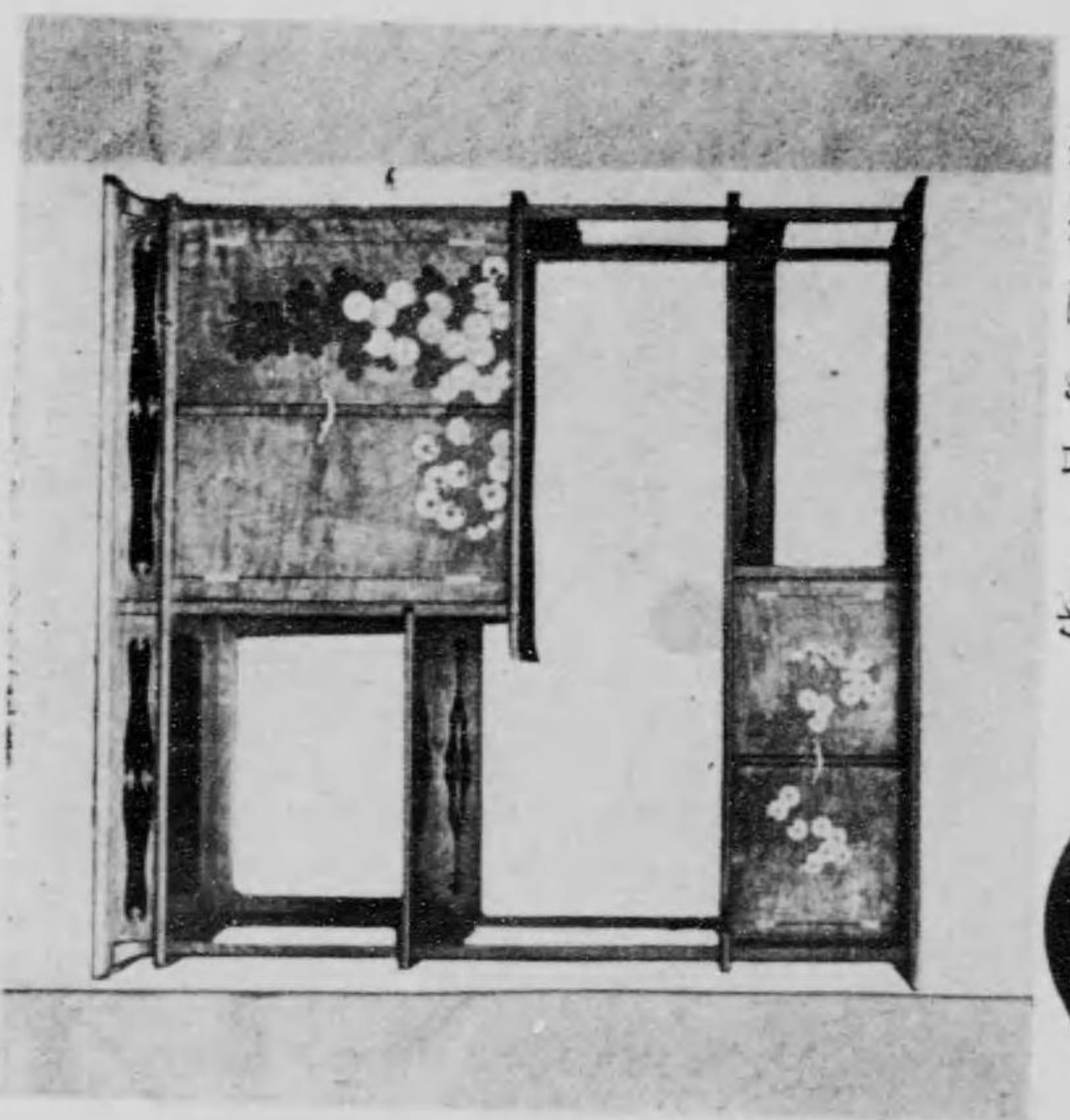
町丁二町銀本區橋本口市京東  
店商郎七原福

館築建場會一第



町工大南區橋本市京東  
氏造耕田矢

館築建場會一第

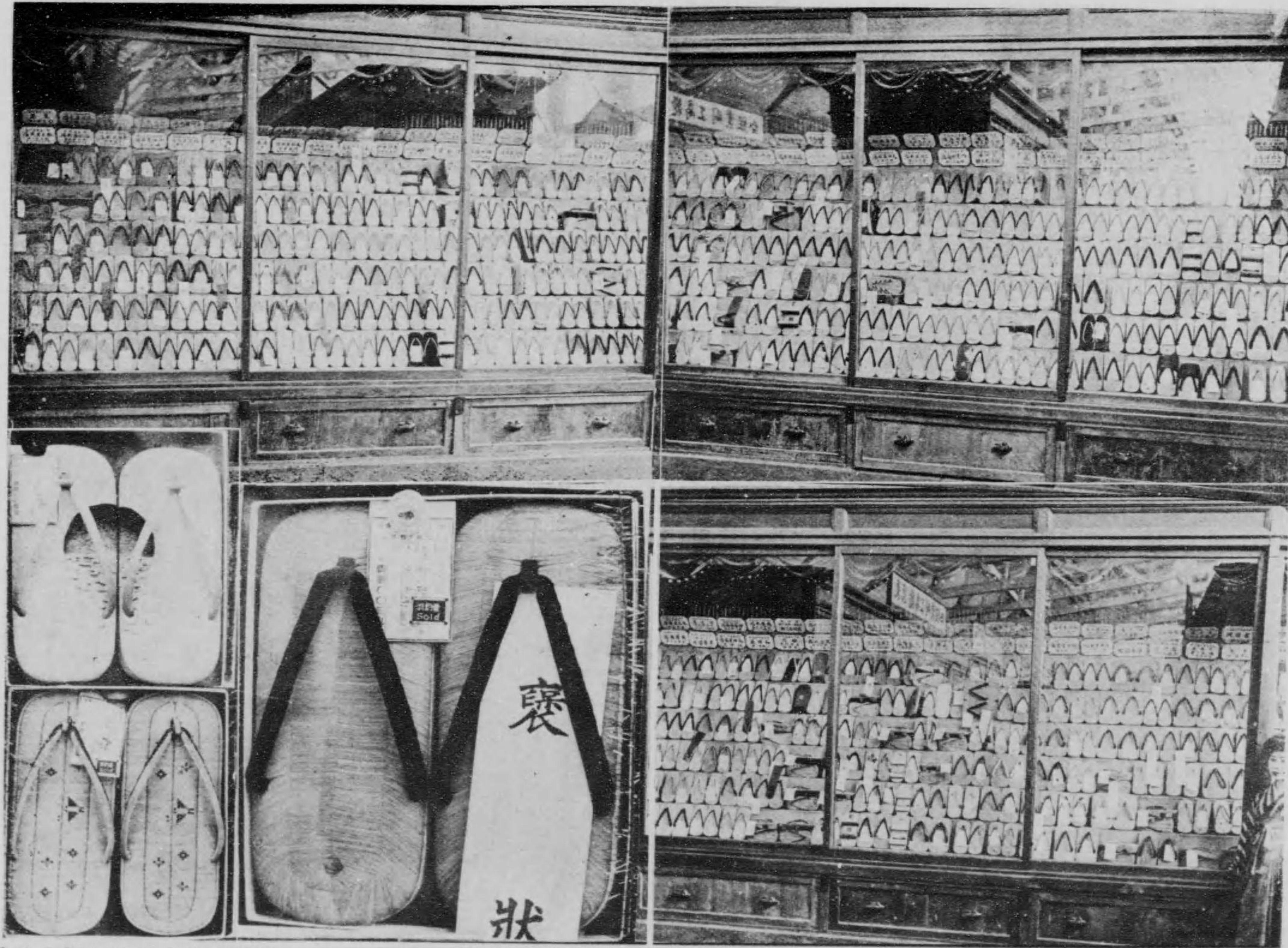


町工大南區橋本市京東  
氏造耕田矢

東京市

東京履物同業組合  
大岩英作 出品  
米山佐十郎 出品

第一會場製作館



東京市淺草區天竺町三十番地  
米山佐十郎氏

東京市淺草區馬道町六十五  
大岩英作氏

東京市淺草區同業組合

埼玉縣北葛飾郡富多村

大塚正右衛門

東京市神田區五軒町

石黒彌三郎

電話下谷千八百十七番

東京市淺草區形町十四

關口恭定

電話特長淺草二〇七三番

東京市

春秋園造花製作所

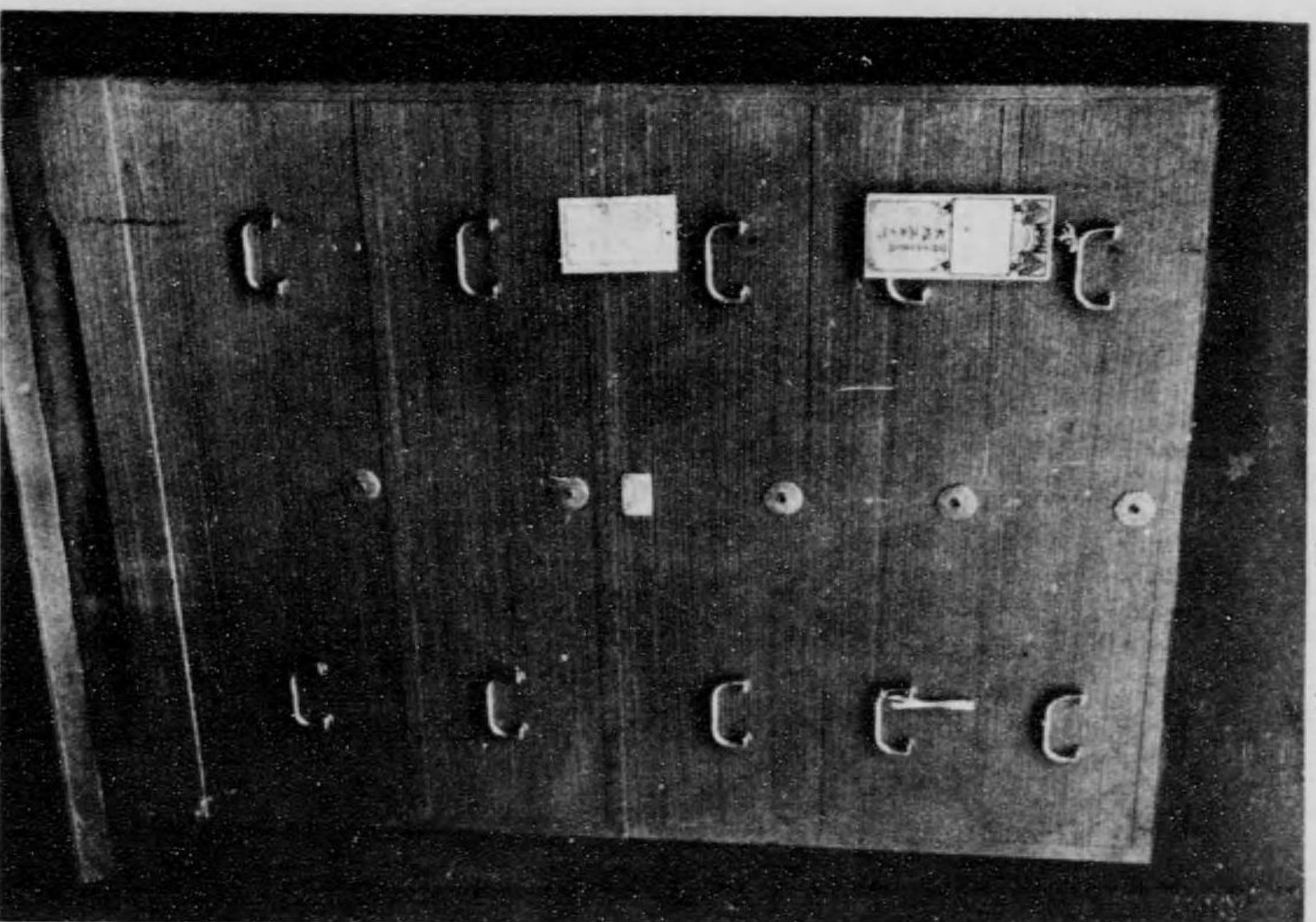
加藤良策

東京市本郷區弓町二丁目

倉持精市商店

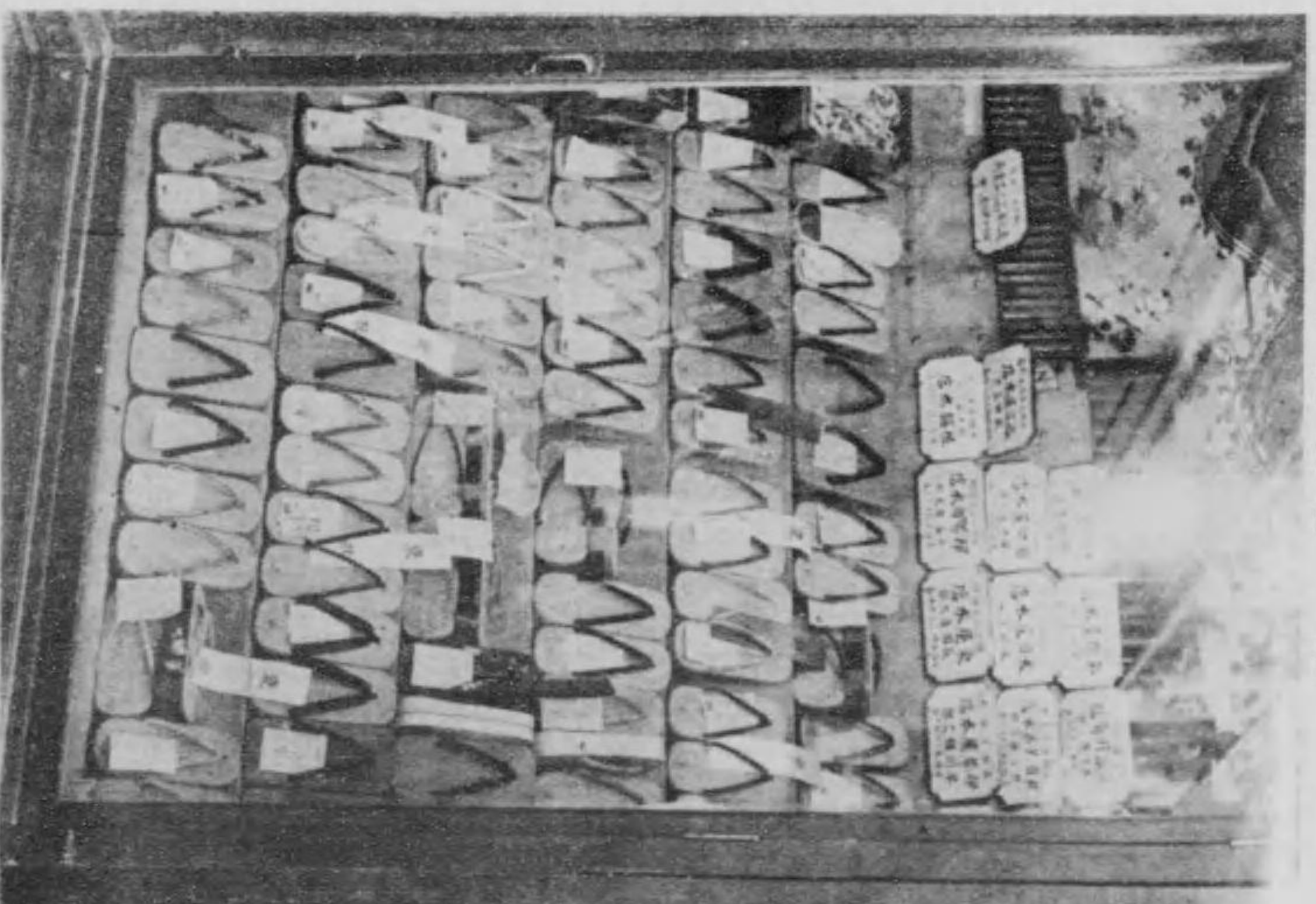
電話小石川二四二五番

館作製場會一第



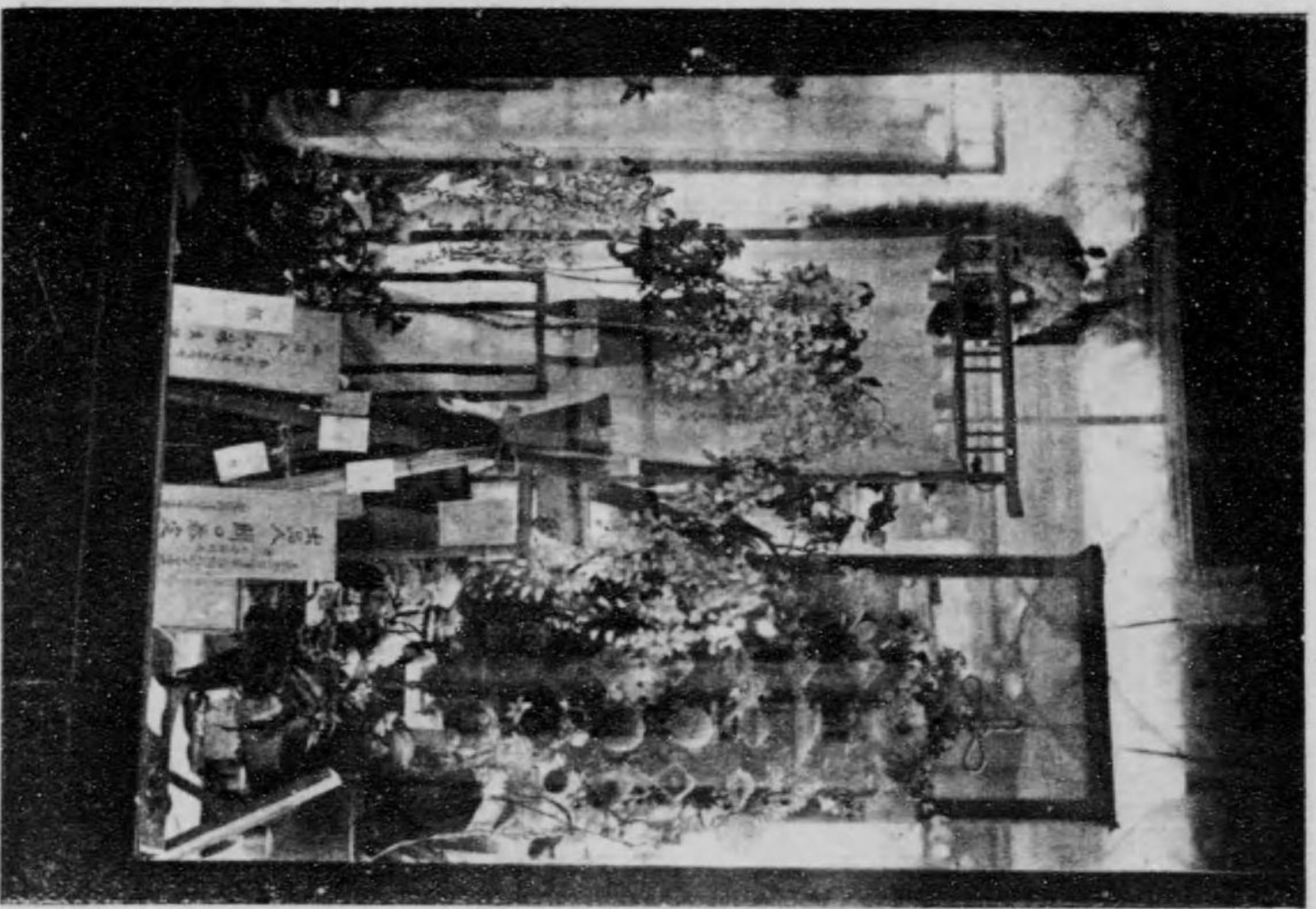
縣 玉 崎  
氏 門 南 左 正 塚 大

館作製場會一第



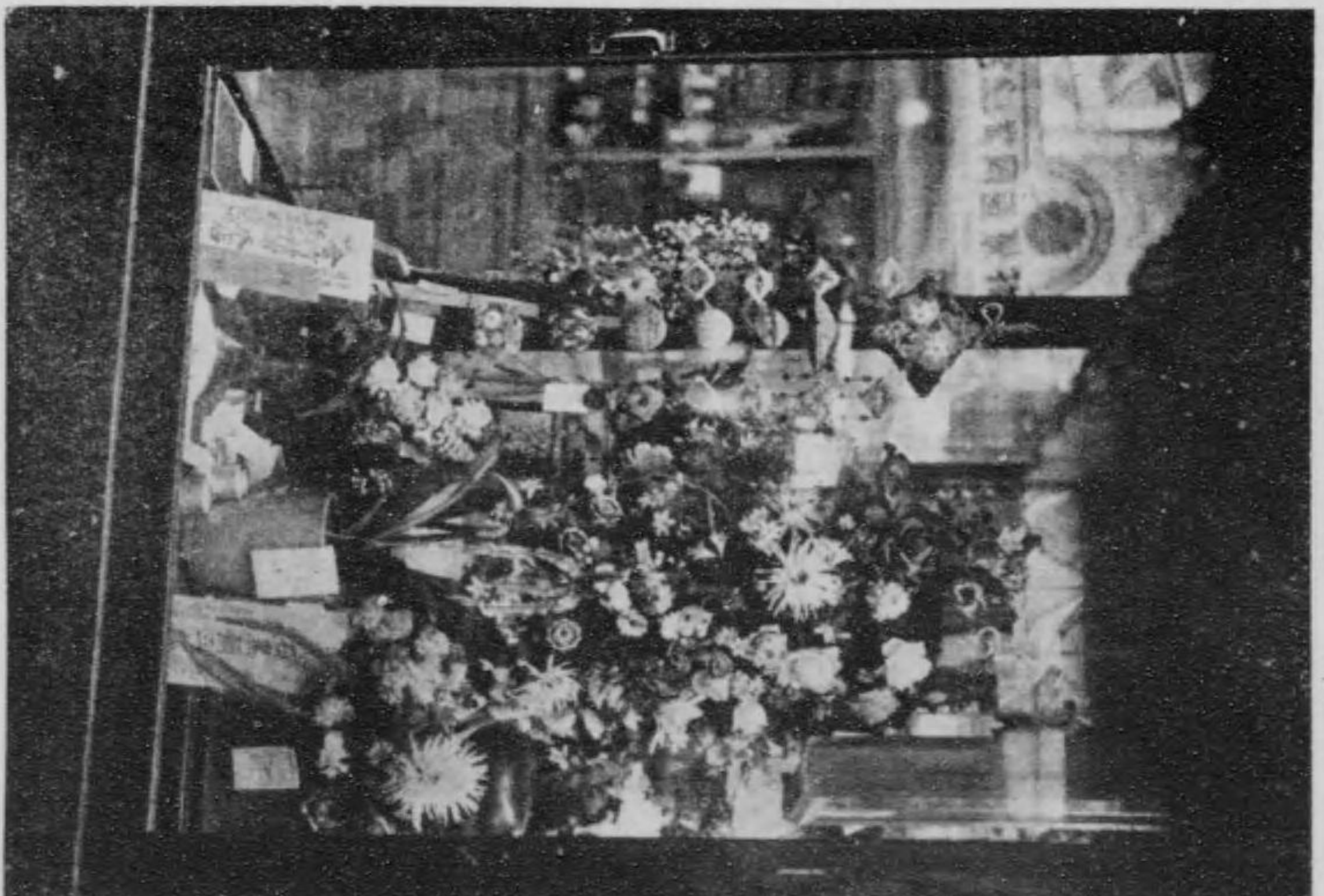
合 組 業 同 物 履 京 東

館作製場會一第



台 組 業 同 花 造 京 東

館作製場會一第



合 組 業 同 花 造 京 東

奈良市新屋町  
長島長春園

長春園の出品にして常に文人墨客足の止めたり  
一、出品者名 石鍋直太郎  
一、所在地 東京市浅草區橋場町貳〇七番地  
一、營業科目 鑄機械工具一式製造販賣  
一、經營者 石鍋直太郎  
一、創立年月 明治參拾八年二月  
販路、東京府を中心として北陸方面及各方面の需要に應じつゝあり製品は特殊の技術を要するにより店主自ら工場を監督するを常とし常に意を技術に注ぎ決して他店に劣らざるものを製出す

第一會場製作館別館建築館の館員一同にして觀覽者及び博覽會關係者一同に親切を旨とし常に好感を與へたる人々なり

東京市芝區二葉町  
象牙細工 池田嘉吉

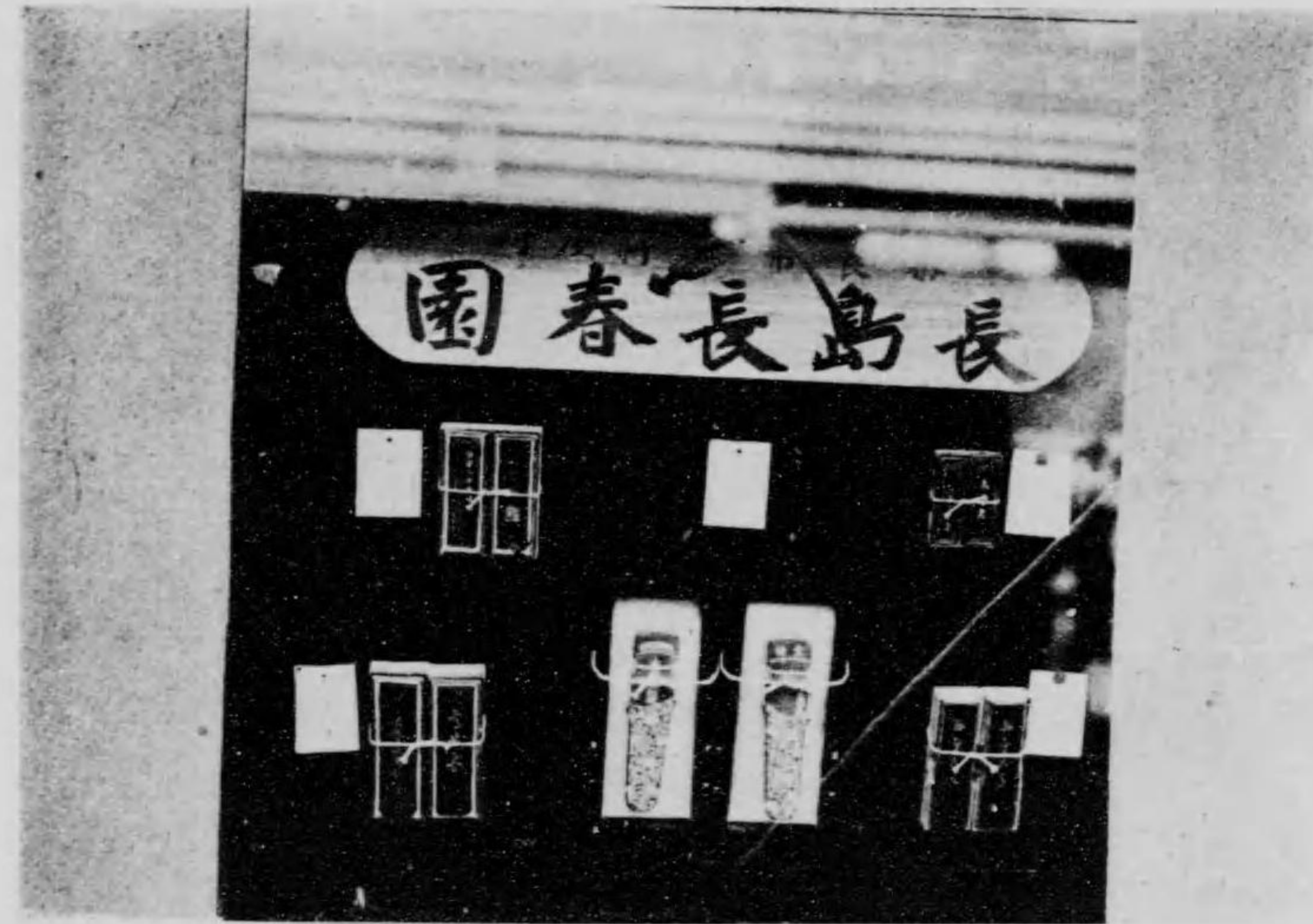


場會一第



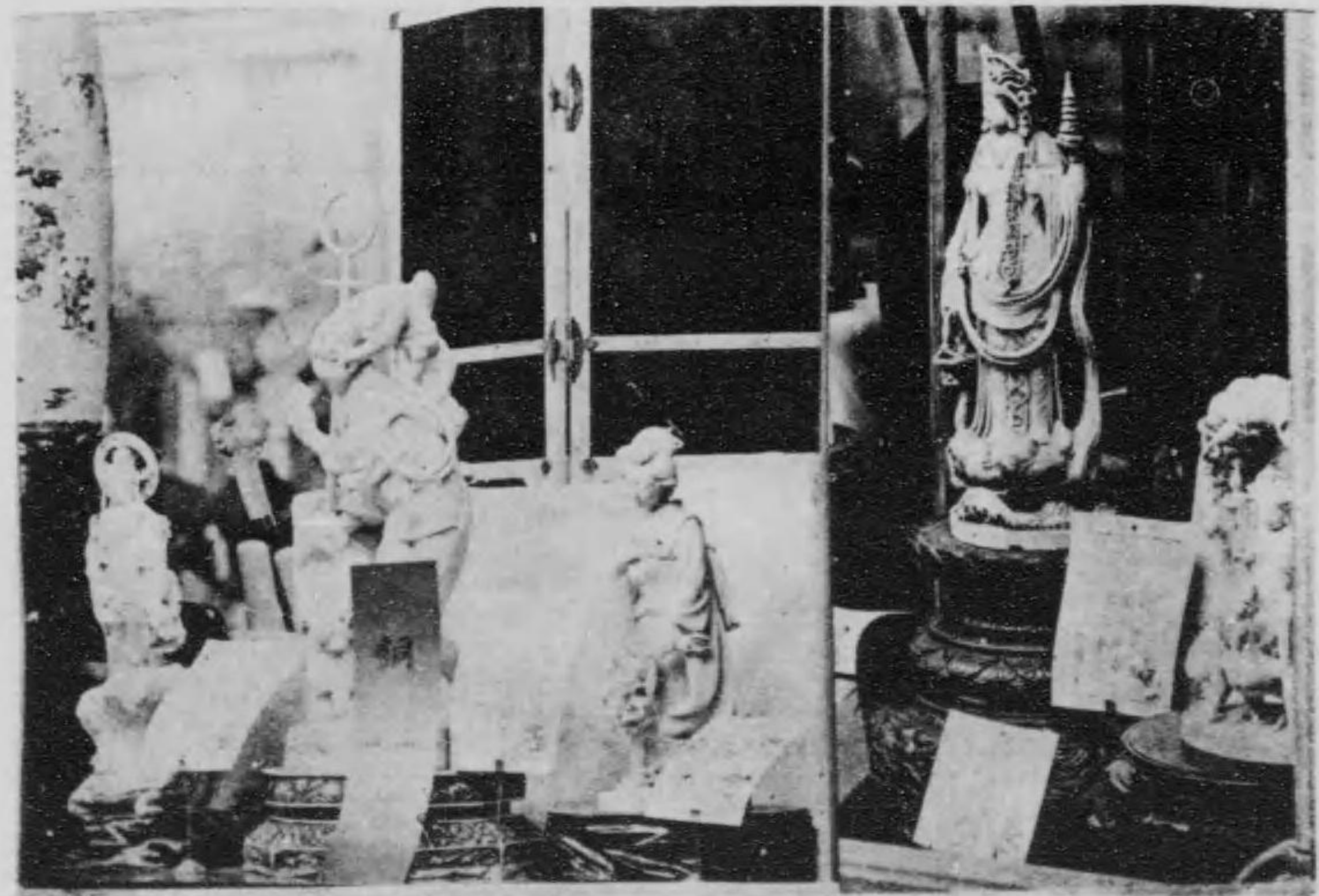
同一員館築建

館作製場會一第



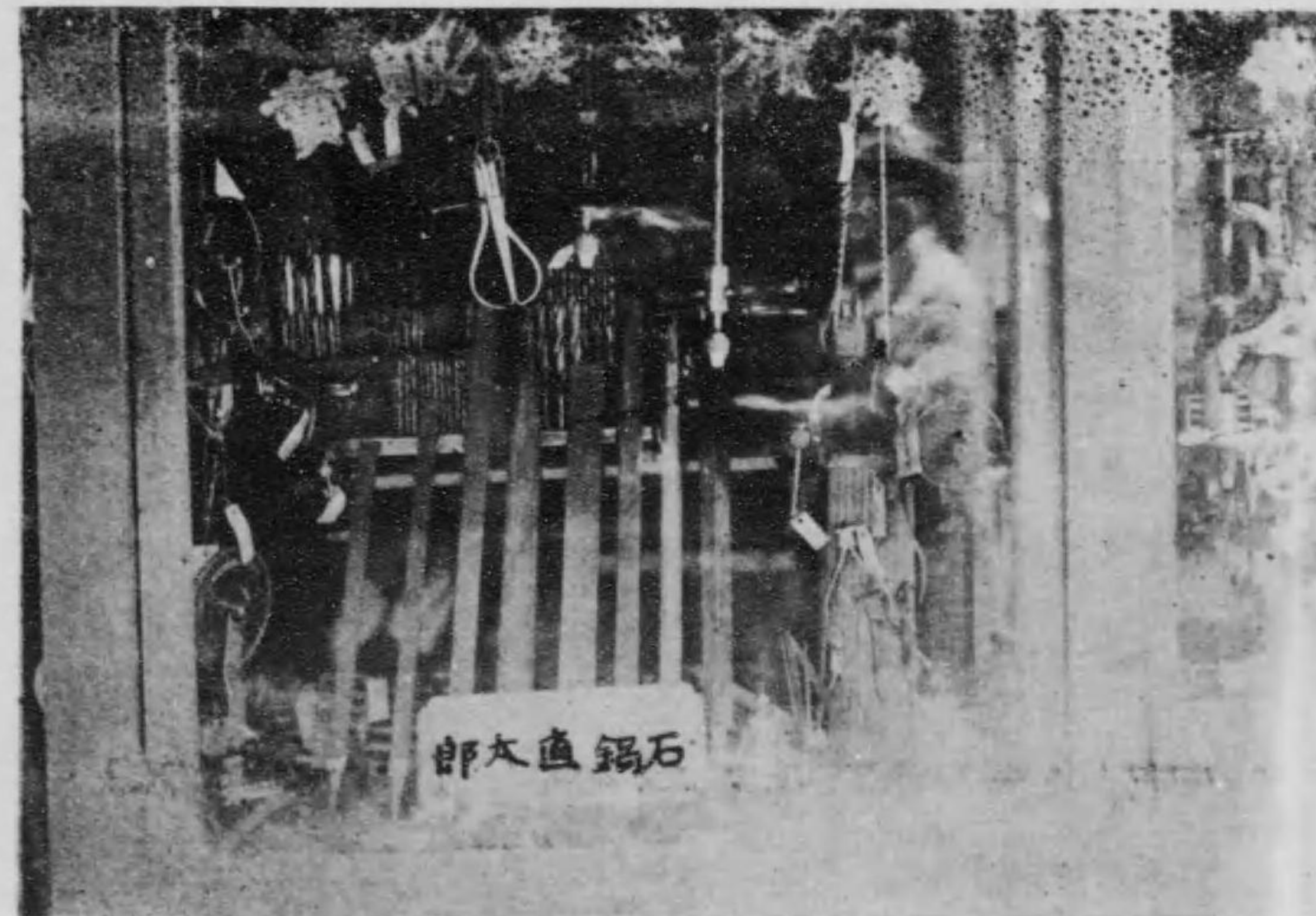
市良奈縣良奈  
園春長島長

館作製場會一第



氏吉嘉田池

館械機場會二第



町場橋區草淺市京東  
氏郎太直鍋石

東京セルロイド同業組合  
製作館に異抄を放てるものにして金牌受領千代田工業株式会社以外入賞者  
多数なり

館作製場會一第



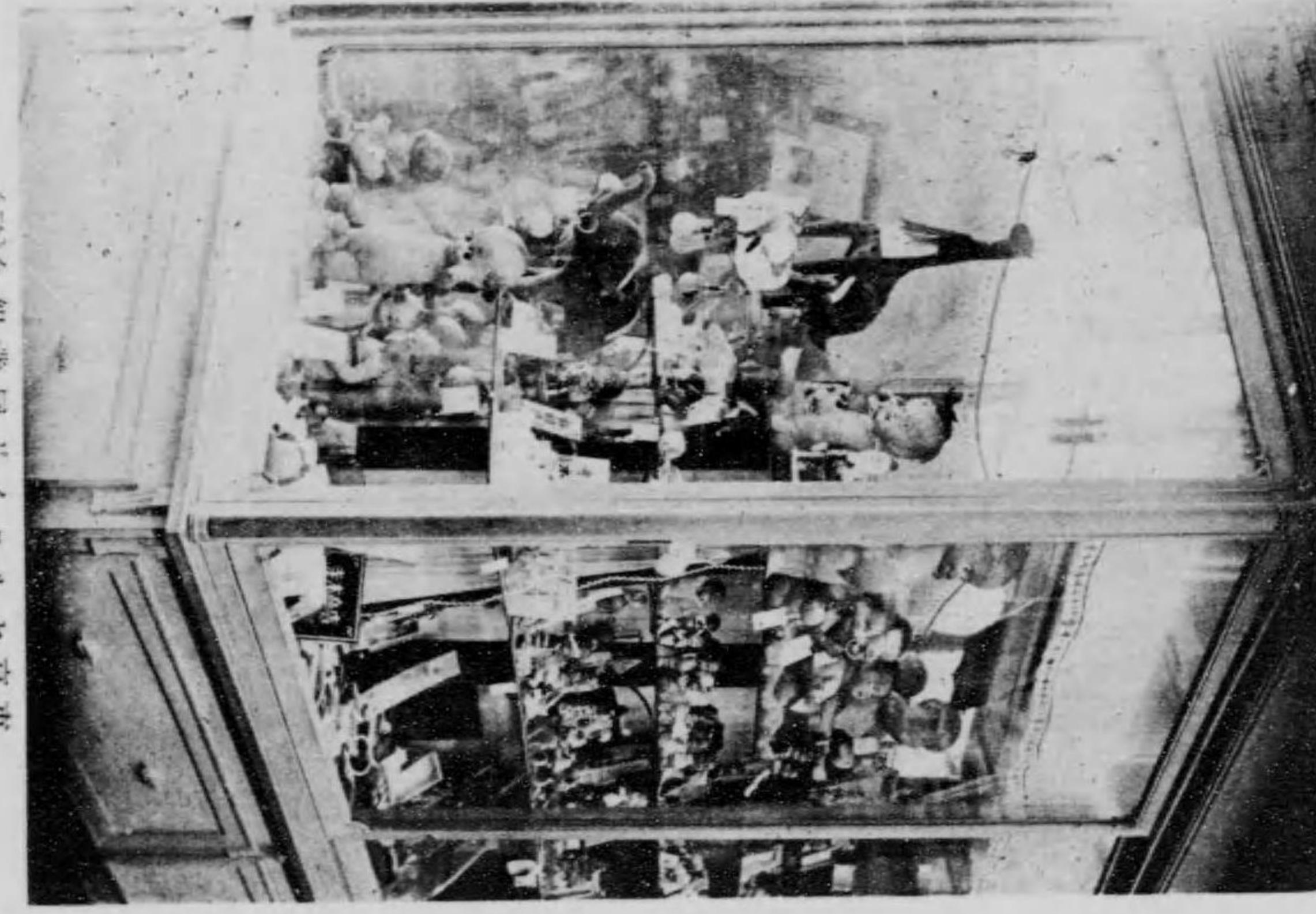
(三)合組業同下イロルセ京東

館作製場會一第



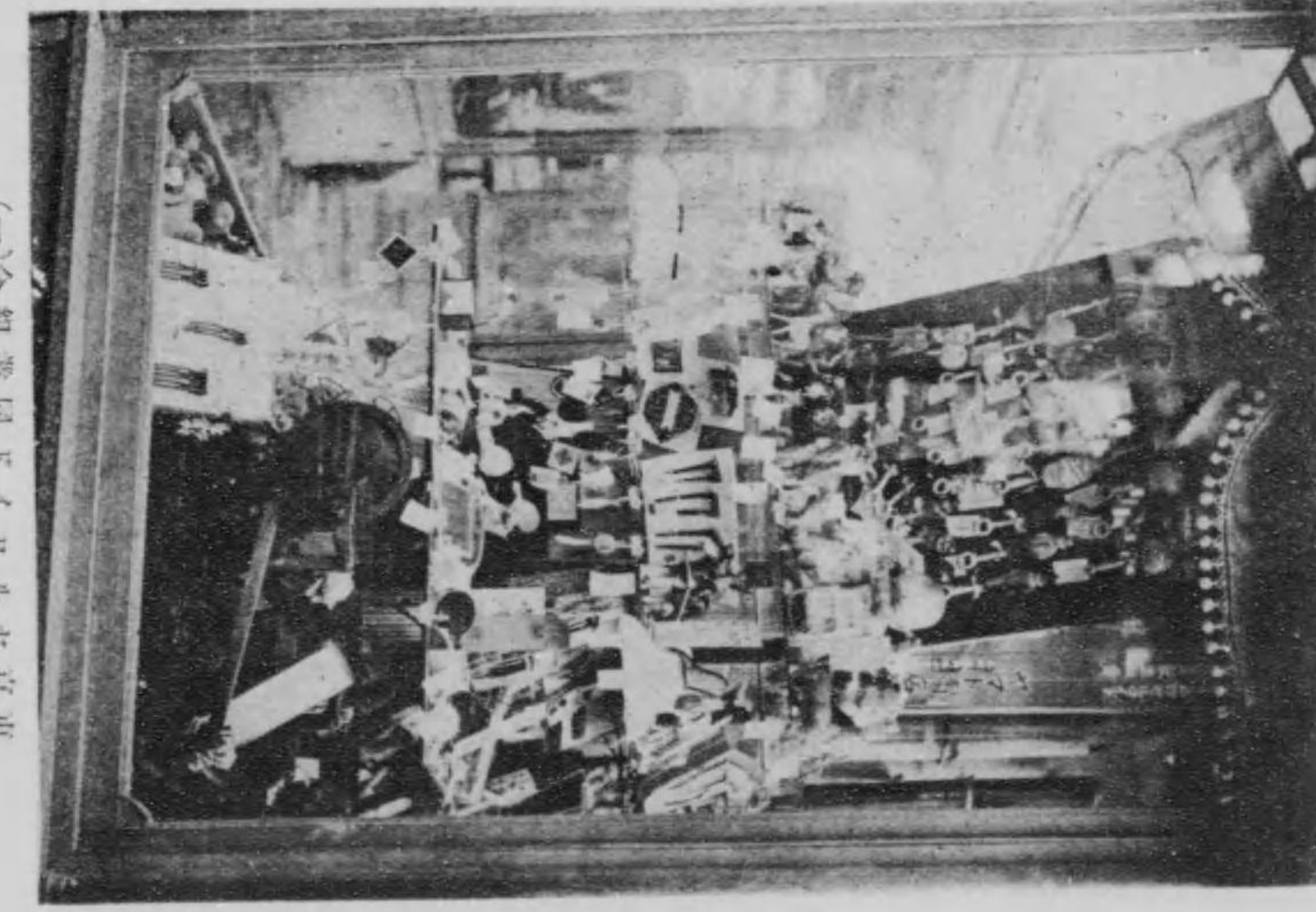
(四)合組業同下イロルセ京東  
合組業同商木材京東

(二)合組業同下イロルセ京東



館作製場會一第

(一)合組業同下イロルセ京東



館作製場會一第

合資會社三光組

一、出品者

東京府豊多摩郡澁谷町下澁谷九六〇

一、所在

業務執行社員

黒島林太郎

第一會場特設館にして同社の營業主目たる電氣應用梯子とす開會中館前常に群をなし電力に出て自由自在に階子の伸縮する近代文化の産出せる驚く可き進歩昇降機に驚嘆するを見る、畏くも攝政宮殿下の同會場に成らせ賜ふや該昇降機に暫らく御眼を留めさせ玉ふの光榮を擔ふに至れり

材木商同業組合

一、林業館内に出品せる東京材木商組合の出品尤甚なり

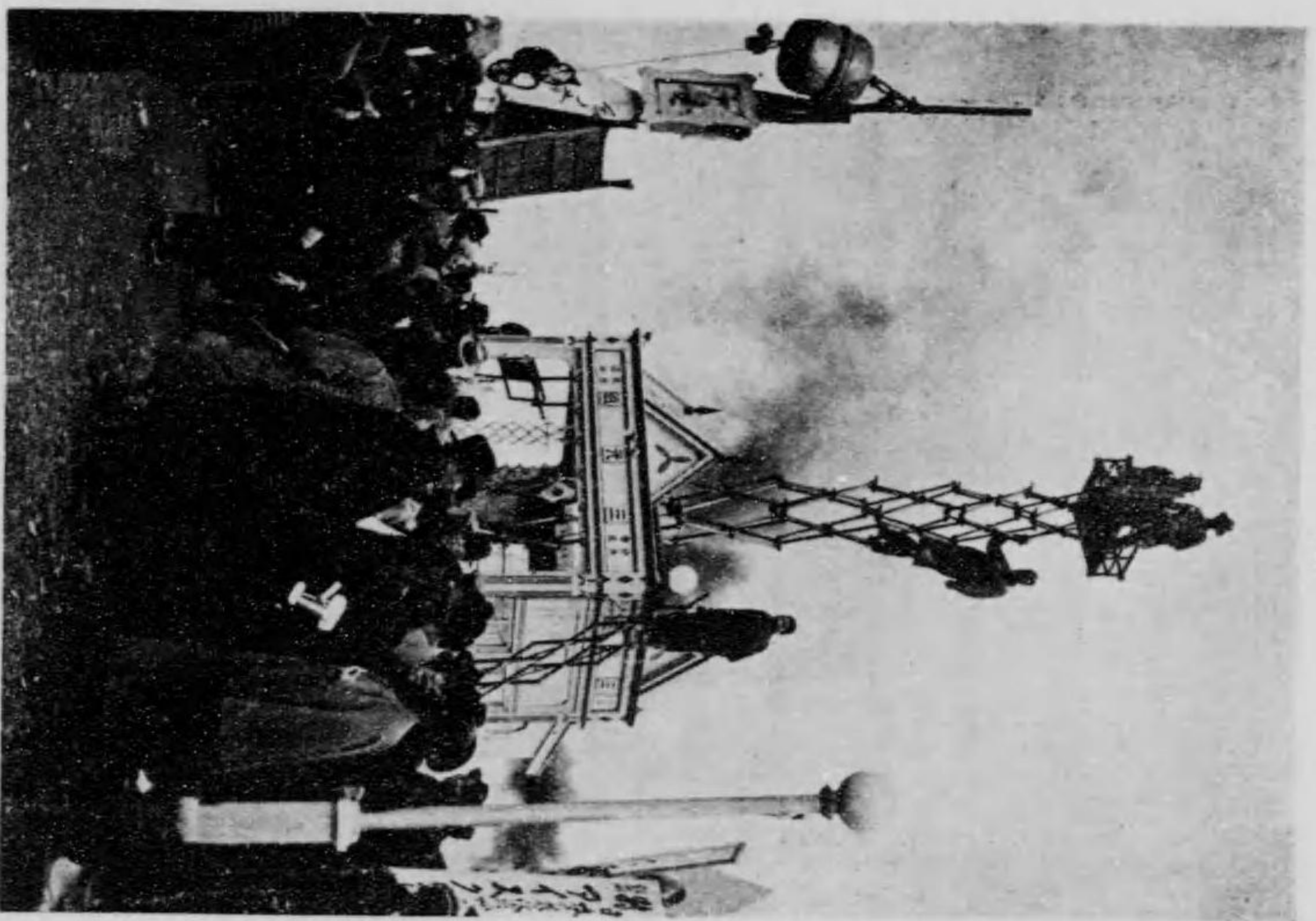
一、寫眞中の出品商店は右より

篠田政之助、青柳直次郎、梅村商店、木勘商店、郷原商店、いねや商店、前川屋本店

東京市京橋區西紺屋町  
中島鑛業株式會社

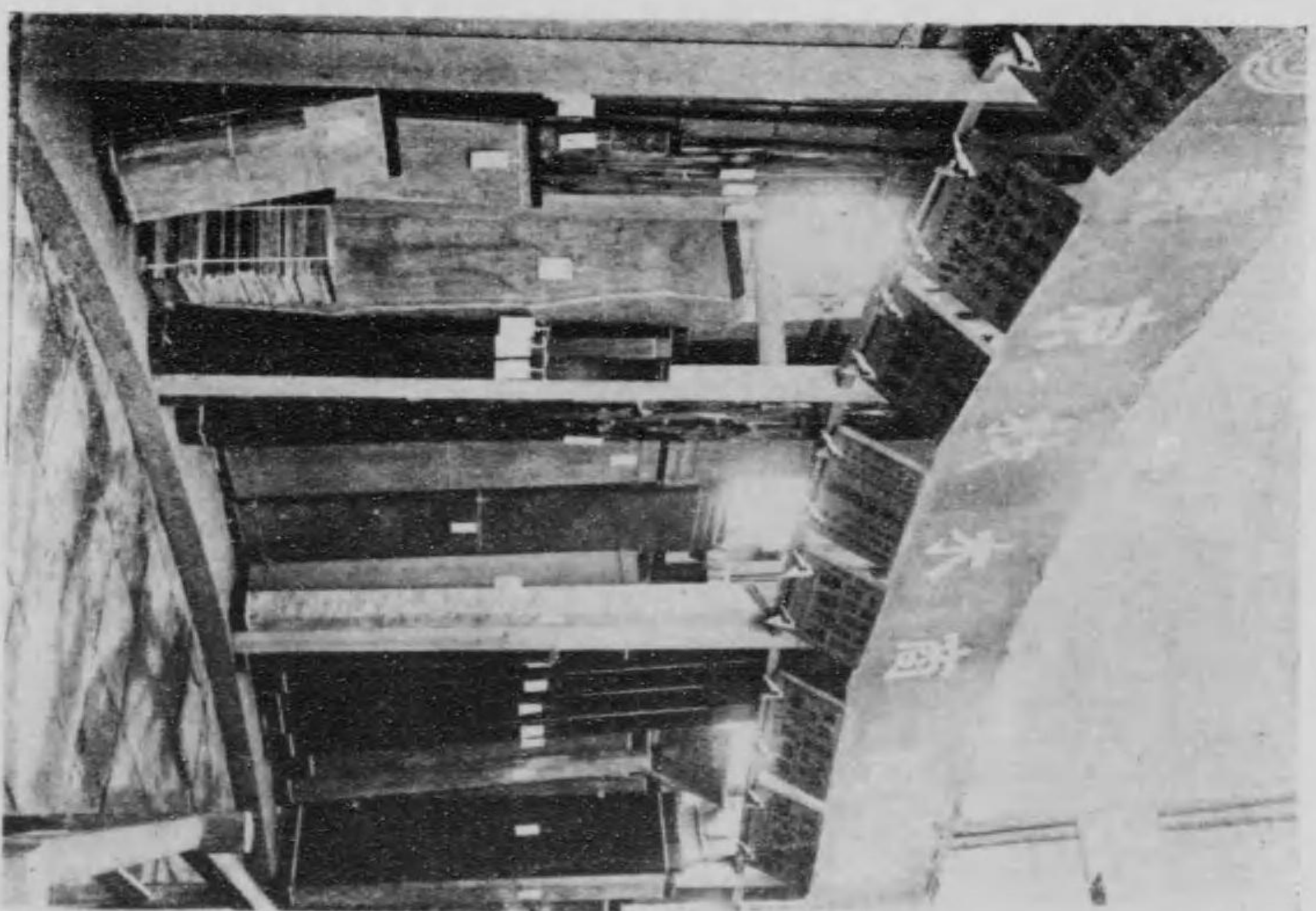
東京府下大崎町字下大崎三の七  
大崎鑛製作所

場會一第



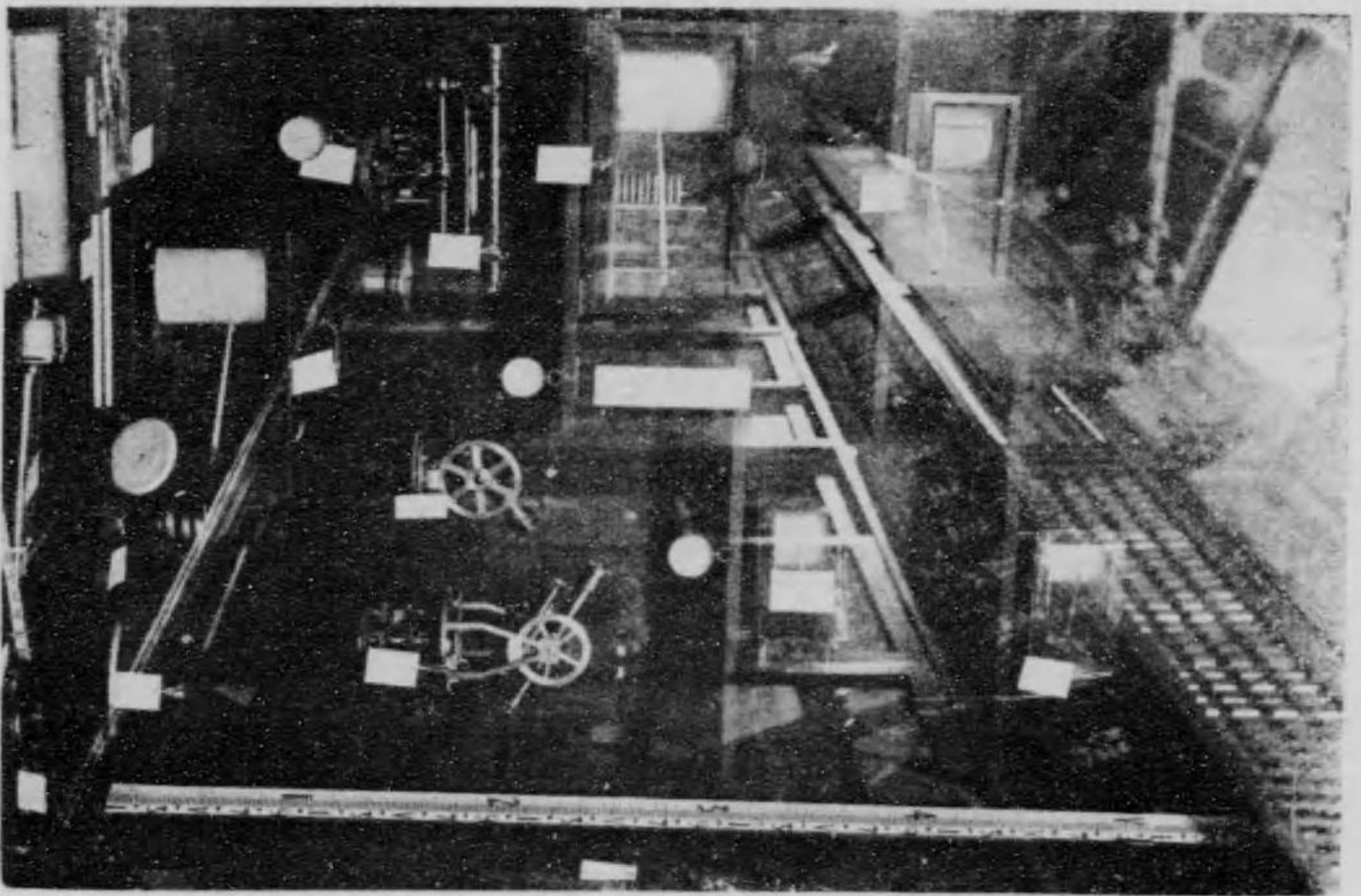
東  
京  
三  
光  
組

館業林場會二第



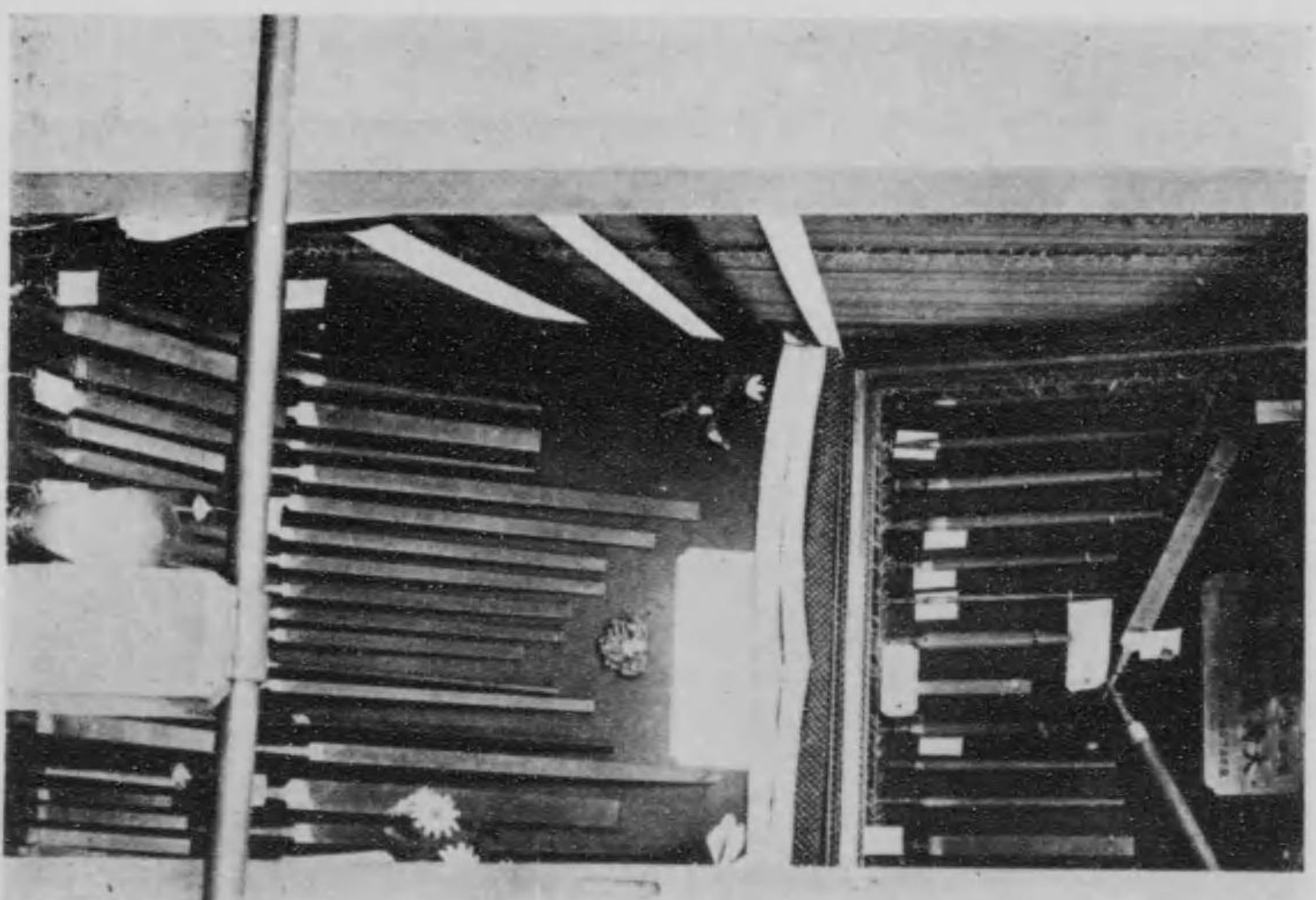
東  
京  
本  
村  
同  
業  
組  
合

館生衛場會一第



衛  
生  
館  
別  
館

館械機場會一第



東  
京  
府  
下  
井  
町  
大  
崎  
鐵  
製  
作  
所

- 一、出品者
- 一、出品物 野球用具

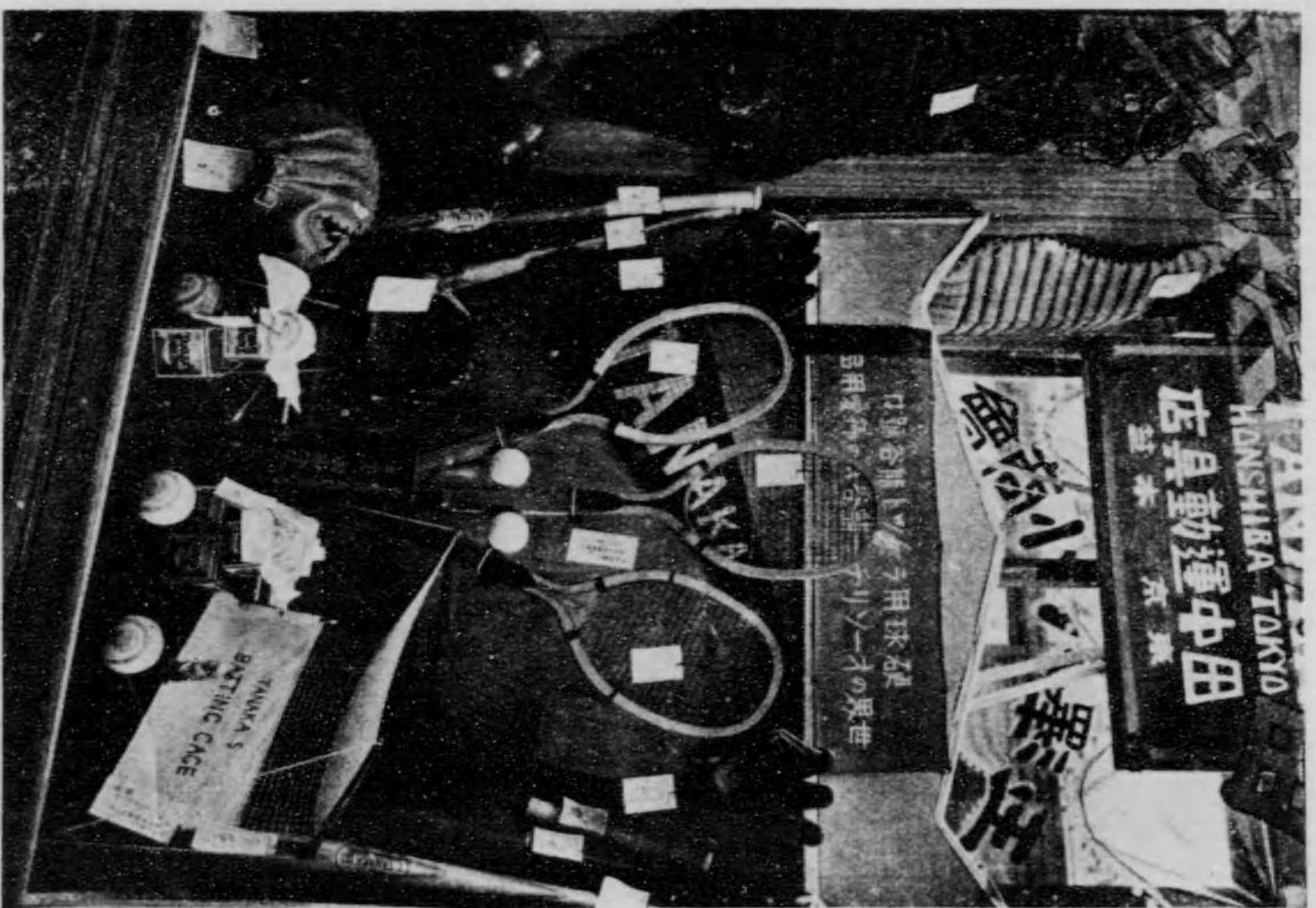
東京市芝區本芝二丁目  
田 中 常 吉氏

- 二、綿糸及綿糸網地の出品にして中央に陳列せるものなり
- 大阪  
金牌受領  
石井孝太郎商店

東京  
山田運動具店

- 一、出品者
  - 一、所在
  - 一、賞牌 金牌
  - 一、出品物は外科用持針器類にして衛生館別館に陳列せられ頗る觀覽者の注目を惹けるものなり
- 東京市本郷區元町  
染谷惣十郎氏

館生衛場會一第



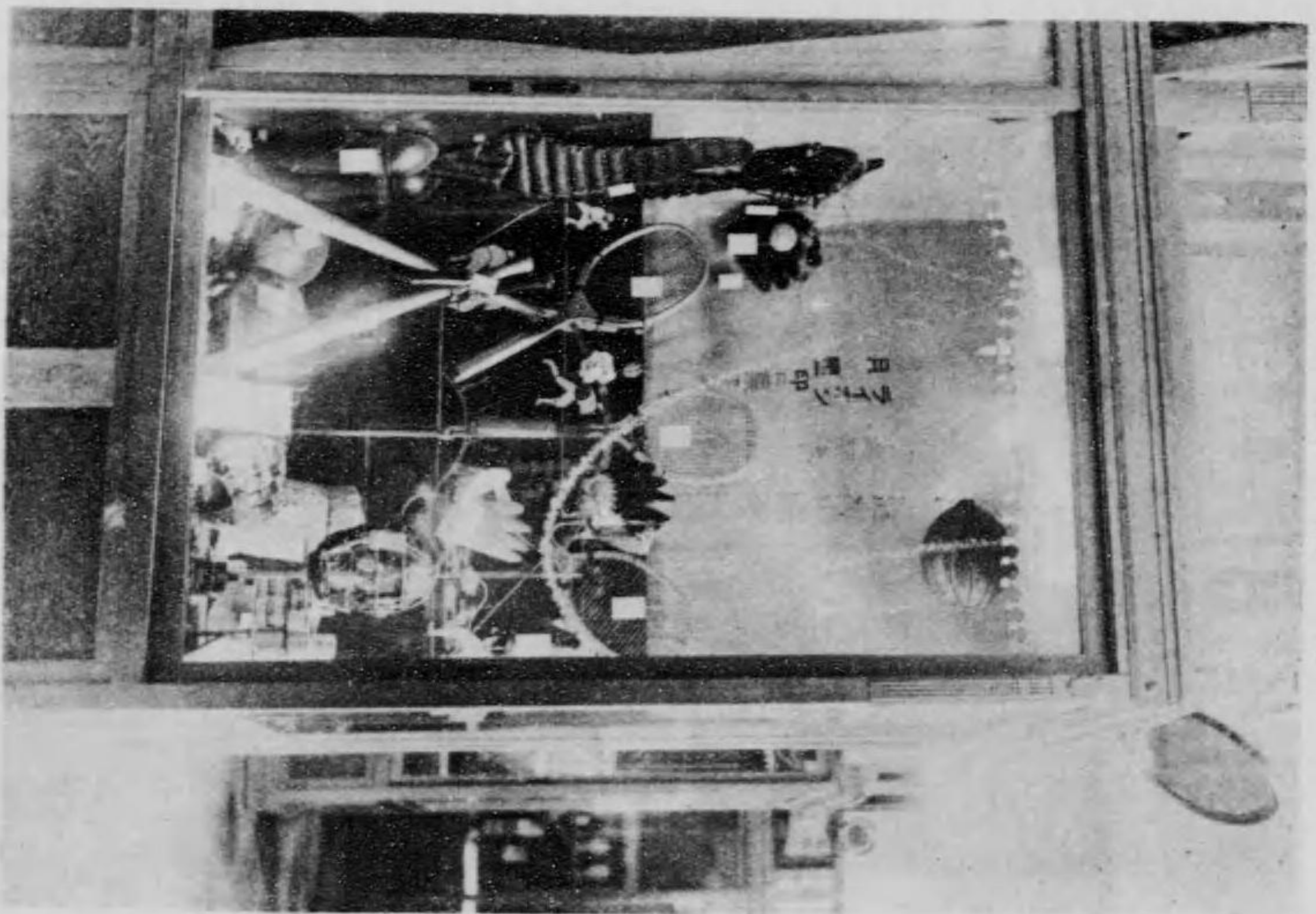
目下二芝本區芝市京東  
氏吉常中田

館生衛場會一第



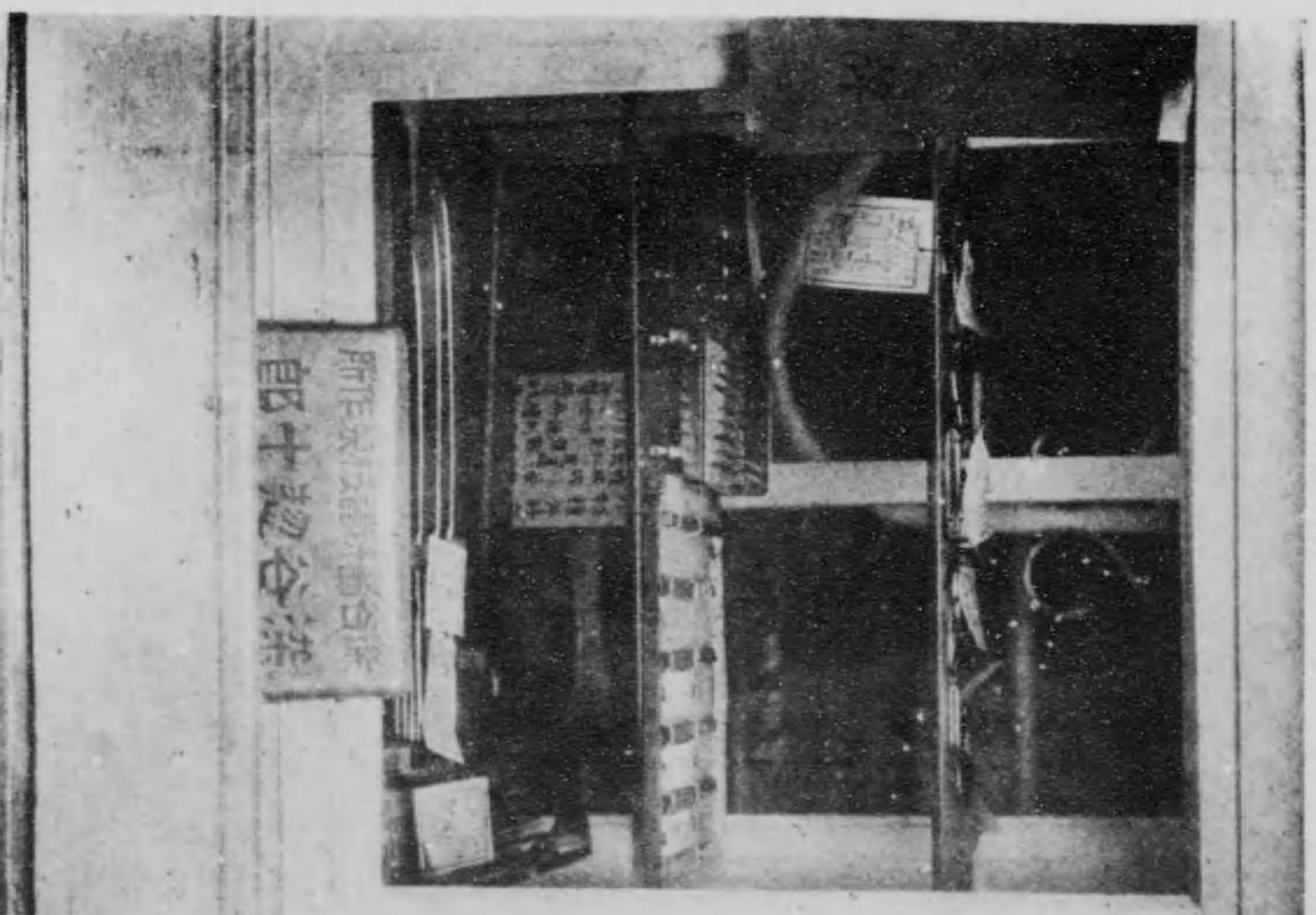
町樂塚表區田神市京東  
氏郎太彦井石

館具房文場會一第



市京東  
店商源萬

館生衛場會一第



町元區都本市京東  
郎十惣谷染

神奈川県橋本郡保土ヶ谷町

保土ヶ谷曹達工場

磯村 晋介

銀牌受領

東京市下谷區中三崎

東京根津製鉛所

本井 健吉

一、出品人

朝鮮全州

湖南製油所

電話長一六七七番

振替京城七五七七番

電話(シチ)又ハ(〇七)

一、營業科目 椿油胡麻油荳子油眞麻子油製造

一、經營者 幸田建造

一、出品物 一、荳油、一、荳子實、一、眞麻油、一、胡麻實

同所の創業は大正九年四月一日にして主として朝鮮特産物たる荳子油の製造を主眼とせり、装置は水壓式壓搾にて原動機吸入瓦斯機關二十五馬力を使用一日原料五十石産出油(荳油)八十五石、一ヶ年原料費一萬參百石一ヶ年製産高二萬二千石に達す

一、原料(荳實)仕入先南朝鮮一圓品質黒種子にして含油量分多量なると品質佳良なるを以つて特徴とす販路朝鮮一圓と九州地方、用途は主として塗料用油紙等の製造に供し油粕は肥料及飼料に供す。

一、出品者

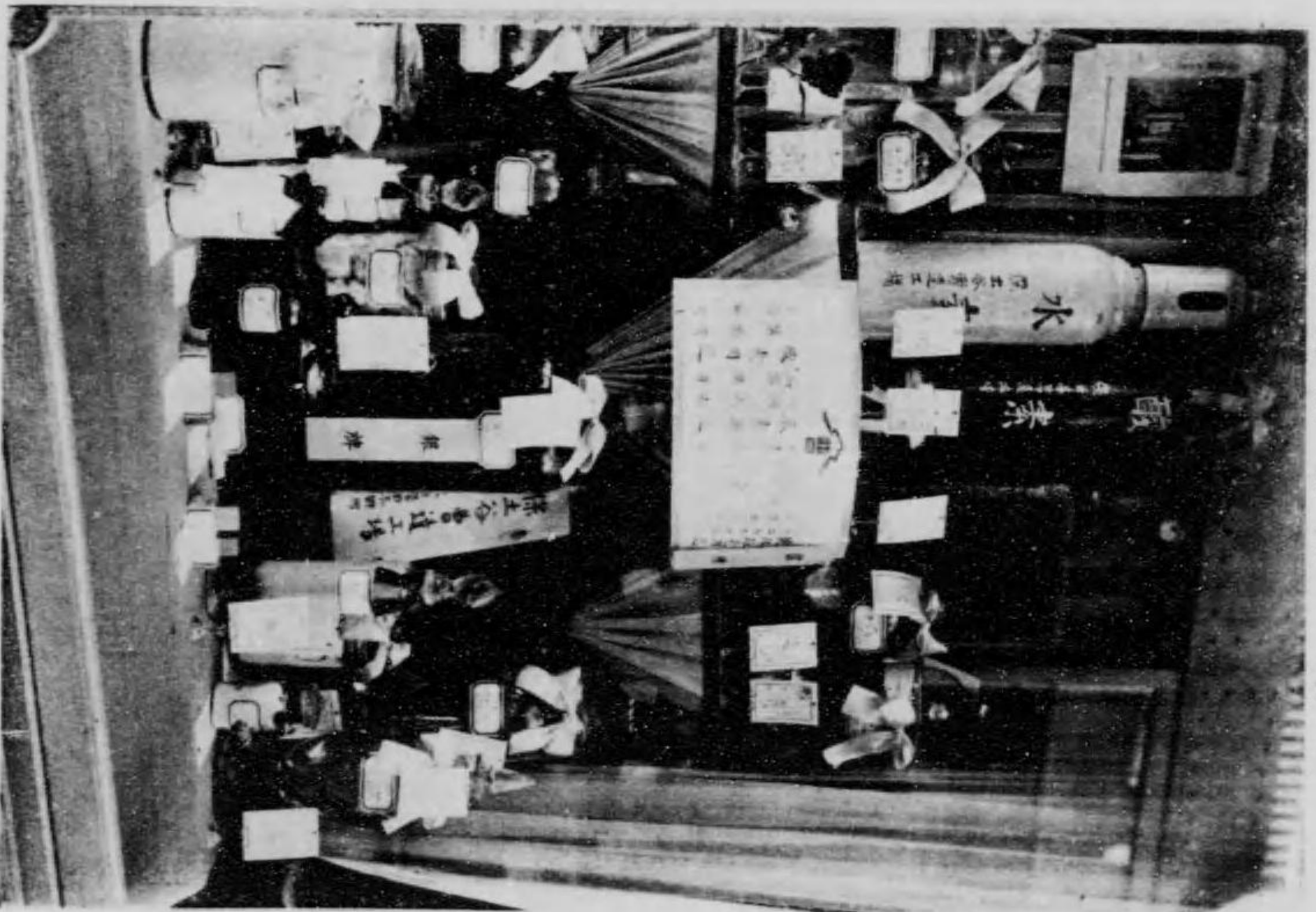
本邦ブラシ界の權威として知らる今回の平和博製作館に於ける出品はその規模に於て裝飾に於て充分同業を代表すに足るものなりき。

東京市日本橋區横山町一丁目

徳永保之助商店

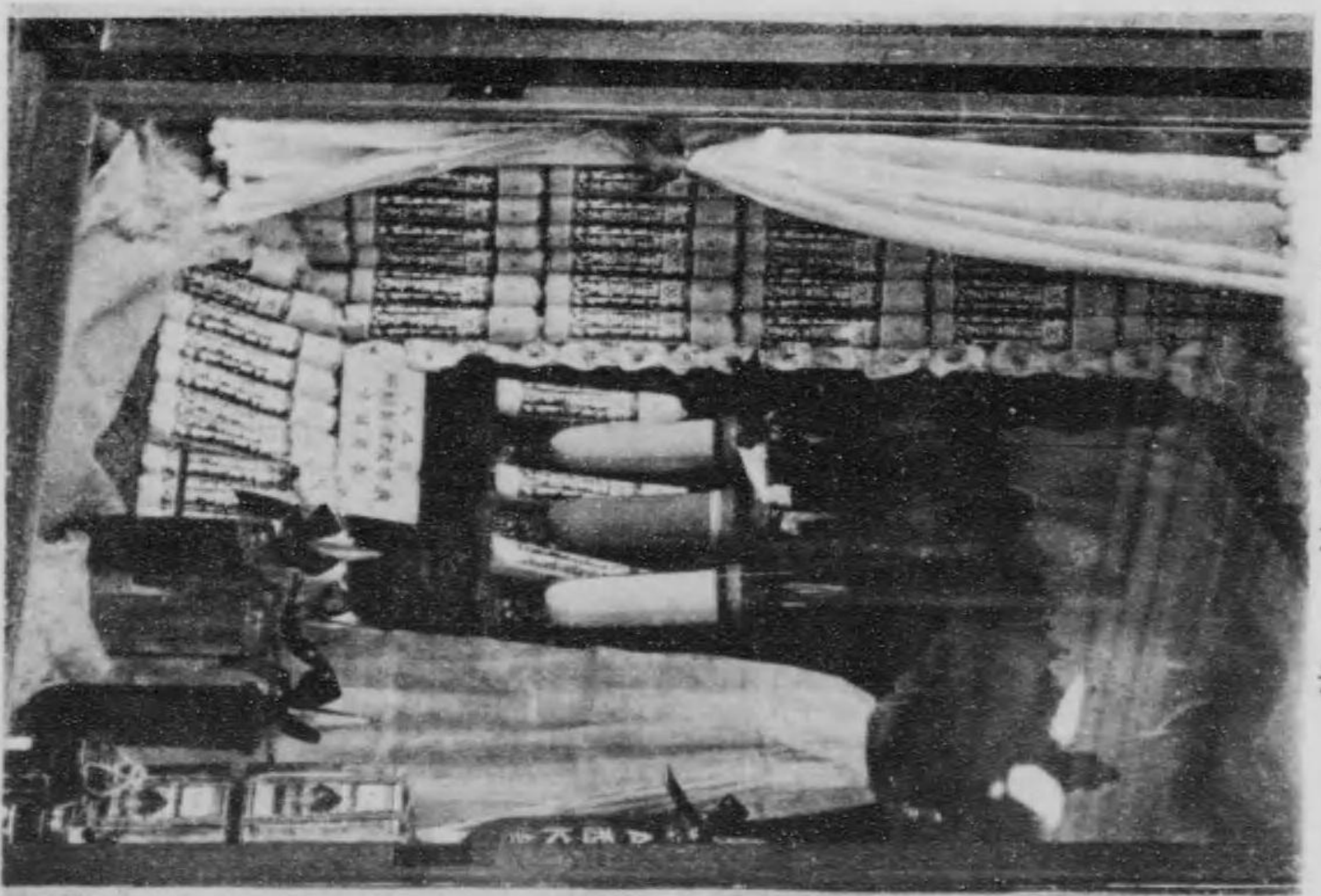


附生商場會一第



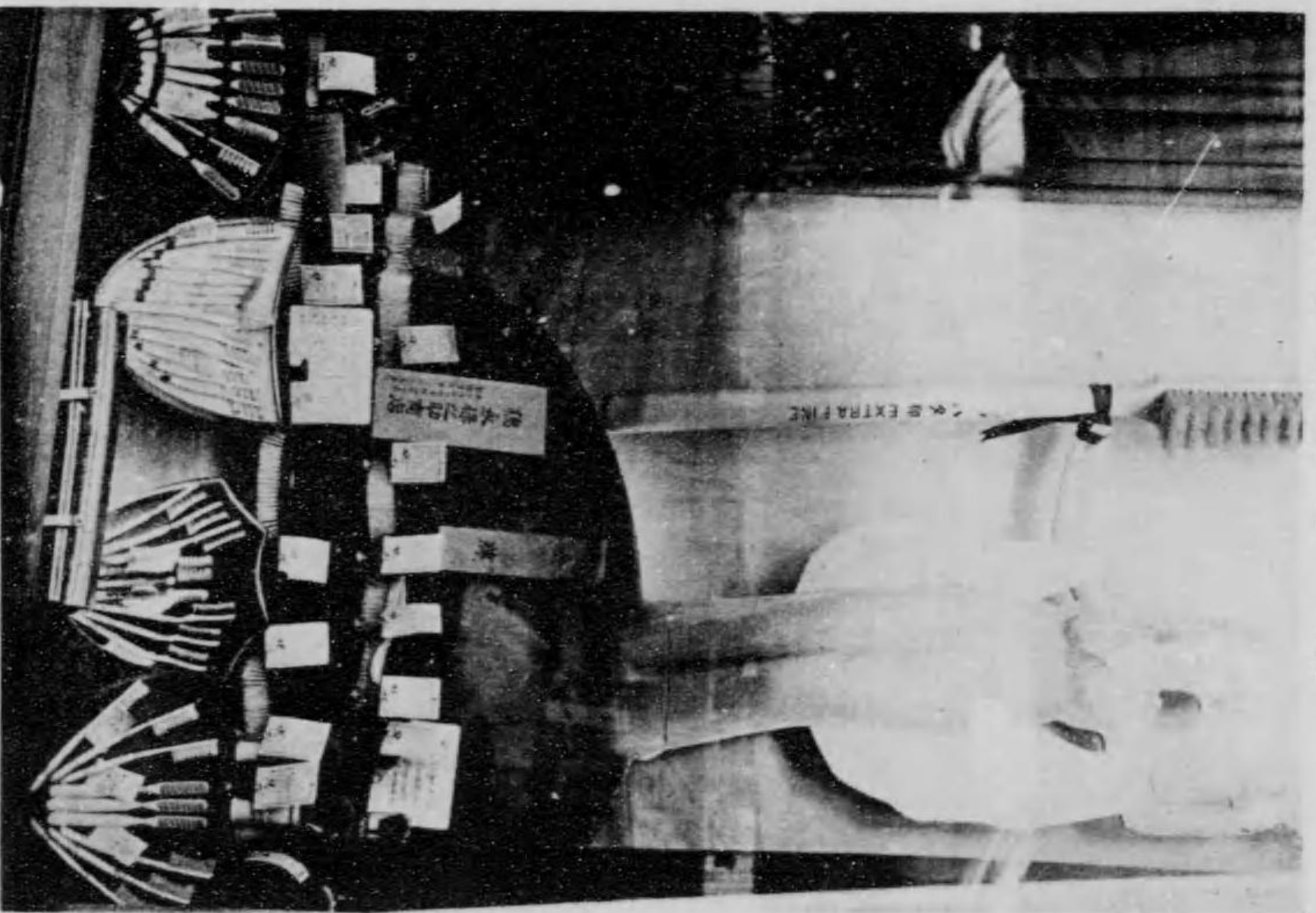
町郷本山櫻岡芝市京東  
場工達曹谷々士保

附生商場會一第



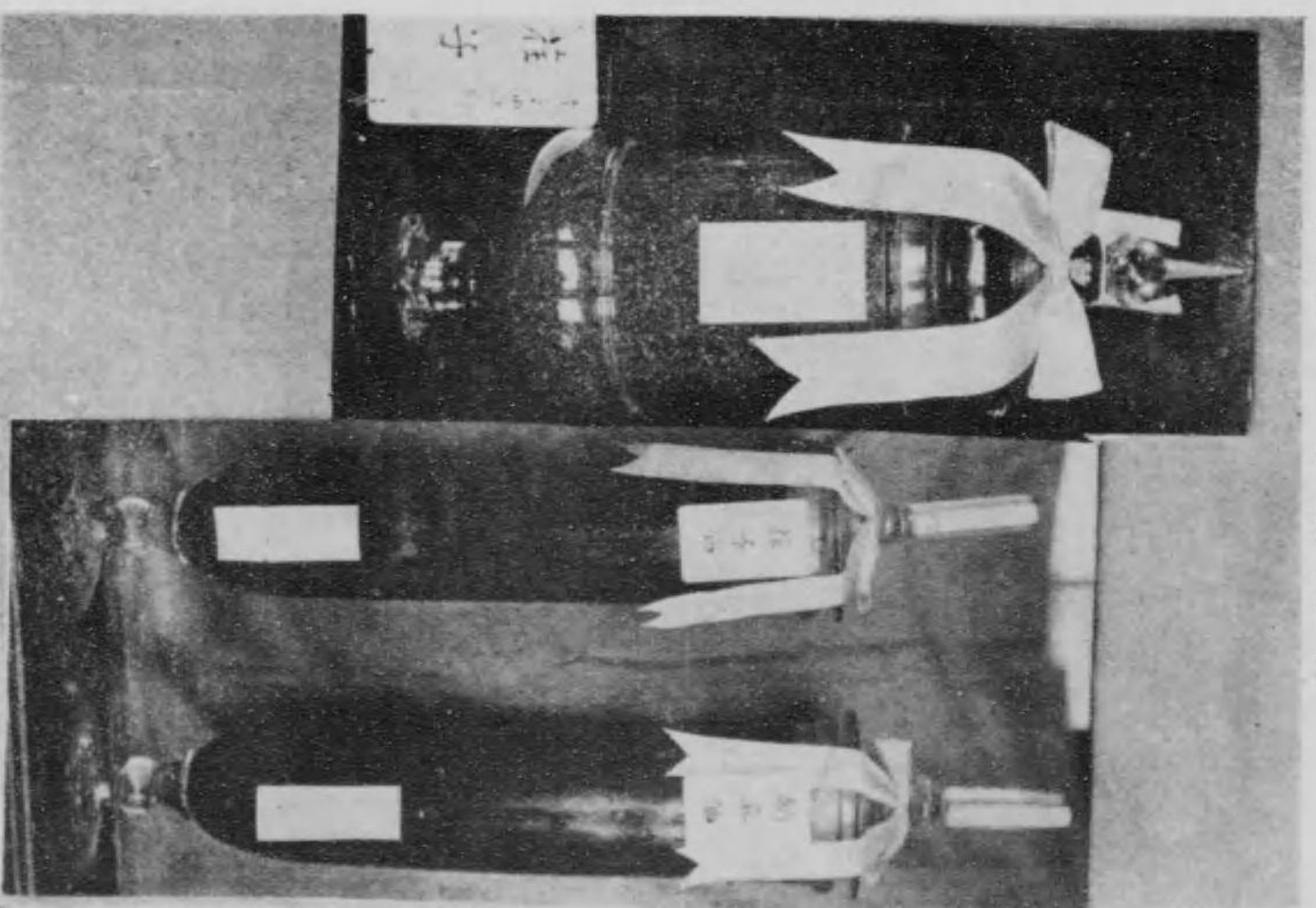
京東  
所館製津假

館作製場會一第



目了一町由横區橋本口市京東  
氏助之保永德

館蒙滿場會二第



州金道北羅金群朝  
氏造建越田幸

專賣特許玉越オブライト  
東京市京橋區  
玉越オブライト商會

一、出品者  
二、所在地

山下平兵衛  
千葉縣野田町  
電話野田二番電路(シロキ)  
振替口座 東京 五四〇三番

一、營業科目 醬油子釀造販賣  
一、醬油釀造業を開始したるは天保元年にして爾來順境を辿りつつ次第に擴張し追年製造高を増加し遂に近年貳萬數千石の造石數を見るに至れり而して常に顧客に向つては良品廉賣主義を採り原料を精選し製造改良に意を用ひ最新式の諸機械を設置して益々品質を高め製産費の節減を計りたるを以て聲價彌々揚り内地は勿論今や海外に輸出するの盛況を呈すに至り其間各地の博覽會共進會等に出品して金牌の賞牌を受くる數十個平和紀念東京博覽會に於ても金牌受領の榮譽を荷ひたり

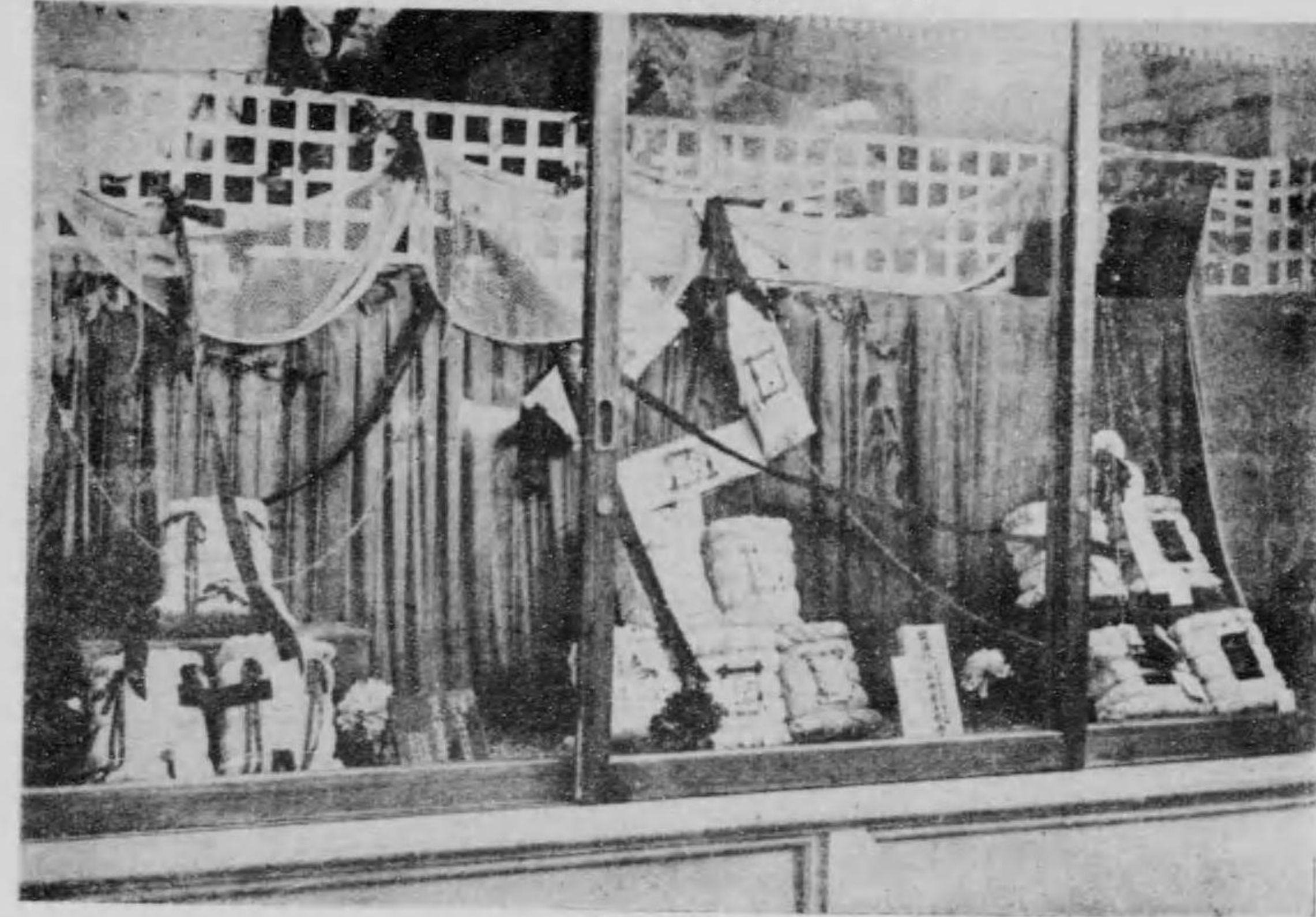
東京  
三共株式會社

館料食場會一第



氏衛兵平下山

館產水場會二第



阪大  
氏郎太孝井石

場會一第



館設特共三京東

館料食場會一第



京東  
所造製トールブオ越王

一、出品者  
一、所在

兩毛整織株式會社  
群馬縣山田郡桐生市  
電話番號長  
六五六五五

電信略號(リセ)

振替貯金口座東京二〇〇九〇番  
明治三十九年農商省に於て輸出織物整理の改良を計らんが爲め兩野の地に相當なる工場を設置せば完全なる整理機械の貸下を許可すべきの意あり即ち之を動機として資本金十五萬圓の株式合資組織を以て本會社を設立し工場の建築機械の据付を急ぎ明治四十一年九月に至り染色、整理兩部の營業を開始し續いて翌四十二年一月絹織部の營業を開始せり、明治四十五年六月資本金を二十五萬圓に増加し組織を株式會社に變更し大正五年七月再び増資を行ひ資本金を五十萬圓となして各部工場の擴張を行ひ同七年十月三度増資して二百萬圓となし新たに縮織工場を増設、翌八年十月紡績工場設備を議決し同年十二月瑞西國クエター會社より一萬錘立の紡績機械を求め工場を建築するに至る

資本金二百萬圓(未拂込十五萬圓)△積立金十萬七千圓△諸基金二萬四千九百六十二圓△固定資産償却金六萬六千圓△工場敷地一萬五千三百九十二坪△建物五千五百八十八坪△職員は七十八名作業員は七百九十三人にして其内譯左の如し

部 別	職 員	作 業 員	女
整 理 部	一〇	五九	〇
染 色 部	八	一一五	〇
絹 織 部	一八	二五	二四六
綿 織 部	六	二四	二〇三
紡 績 部	二二	二四	一四
機 械 科	三	三三	〇
機 械 部	二二	三一	〇
事 務 部	七	六一	〇
計	七八	三三〇	四六三

△生産高は整理部年額金二十萬圓染色部同金五十萬圓絹織部同金百二十萬圓綿織部同金百萬圓△縮織實用新案第三九二四五號銀液縮織實用新案三五四〇四號ボカン拔染法特許第四八〇三六號アメリン黒染に精或は耳を顯す方法特許第三七一四號の權利を確保す(大正十年七月調)社長金子竹太郎取締役森宗作飯塚春太郎大澤福太郎前原總一郎木村誠一荻野萬太郎監査役高村勝太郎茂居藤作

一、今回の平和博に於て名譽賞牌を受領す

一、出品者  
一、所在

青木藤太郎  
群馬縣桐生市桐生三九一  
電話二〇八

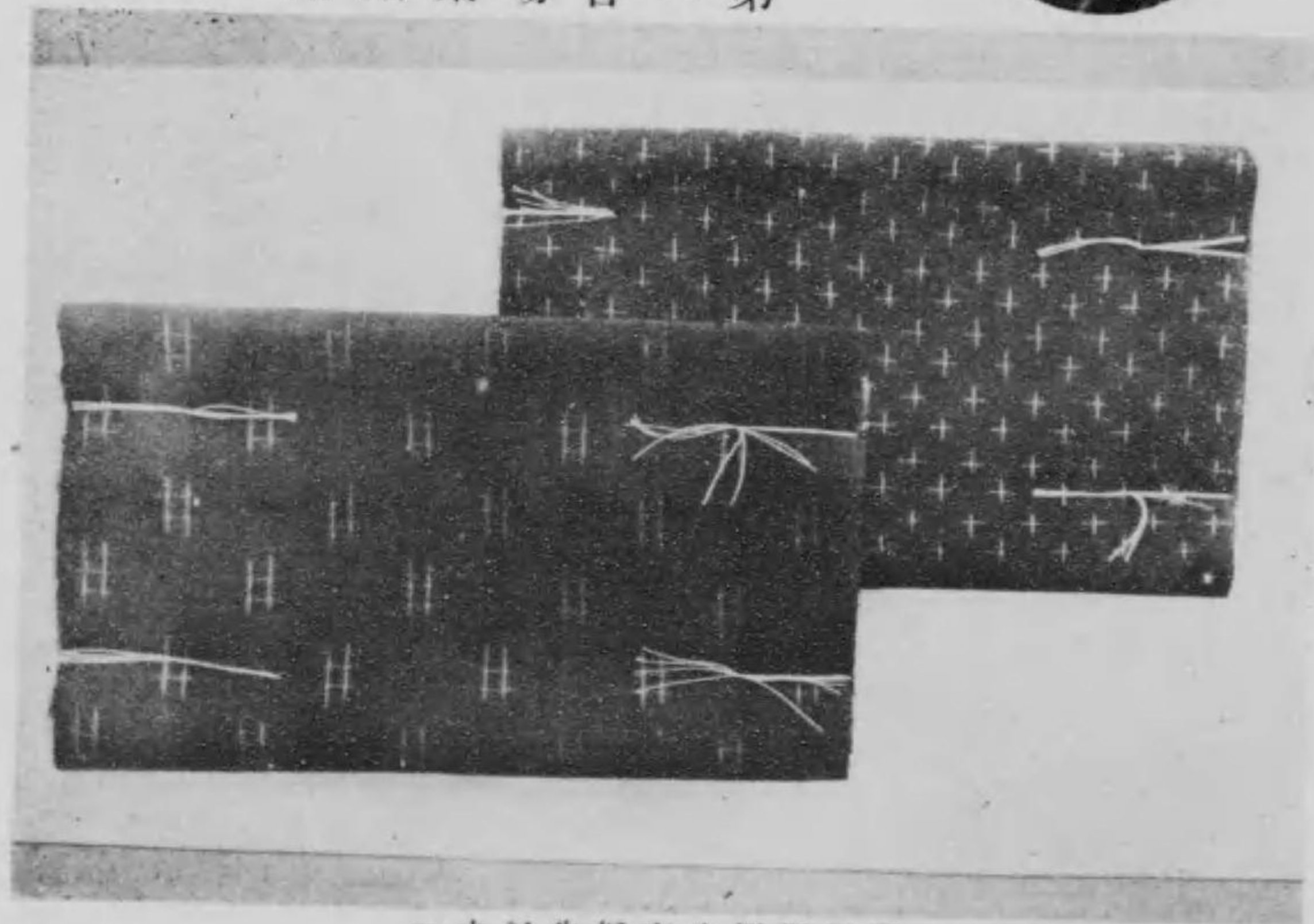
一、營業 羽織地、玉綴着尺袴地其他男向御召縮種各種製造元桐生市機業界の重鎮、其の製品は高等織物の定評あり、夏物本意を以つて知らる、氏の爲人、小事に拘泥せず大局に着眼す、括淡にして飽迄大なる度量あり、即ち其の應揚なる大紳商的態度は肥大なる氏の身幹と一致す、高落の人にして氏に接近するものは必ず快き感じを多量に受くるを常とす。明治四十三年の開業にして現今東京の五大呉服店を初め全國の各呉服店に取引を有す。



町生桐縣馬群  
景全社會式株織整毛兩

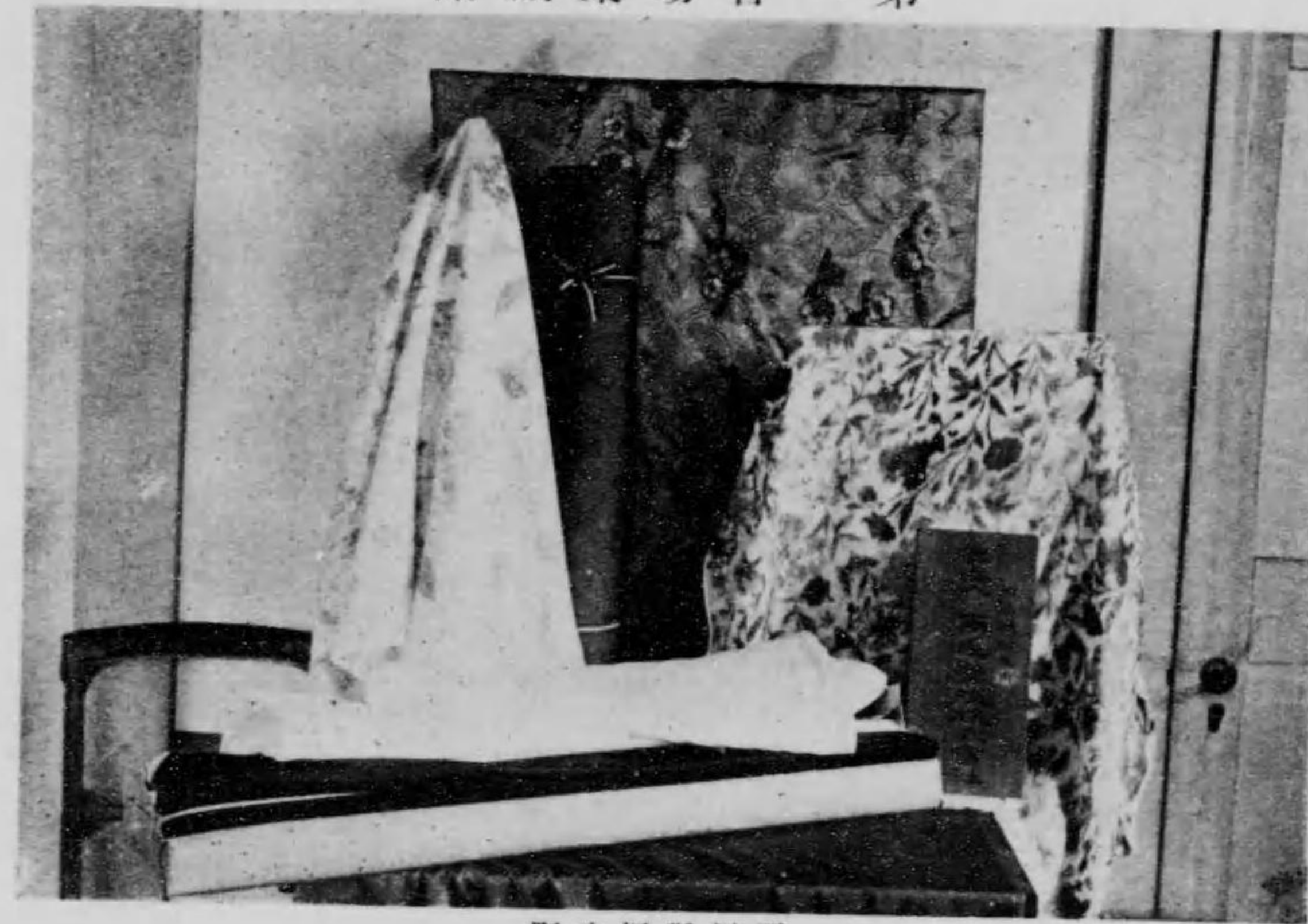


館織染場會一第



一九三三生桐市生桐縣馬群  
氏郎太藤木青

館織染場會一第



町生桐縣馬群  
社會式株織整毛兩



町生桐縣馬群  
合組業同物織生桐

繭糸本目絲線物用原料販賣

小保方榮治郎商店

本店 群馬縣伊勢崎町

電話 一三八番電話エイ

營業部 同 伊勢崎町本町一丁目

電話 二三八番電話エイ

振替口座東京五二九二七番

一、出品者

小保方榮治郎

群馬縣伊勢崎町電話二三八

一、營業

伊勢崎織物繭糸本目絲線物用原料商  
氏は國産の發展に努力奮闘せる一大恩人也。明治二十三年農勸を抛つて國産に着眼し下城彌一郎氏等と相提携し東奔西走着々として成功圏内に入り今日の大を爲せり。明治二十六年殖産村消防具小頭拜命以來勤続十有餘年二十九年村會議員に當選爾來連續五回當選同二十八年伊勢崎織物組合代議員に推され、又伊勢崎尋高校を初めとし殖産尋高校群馬縣立工業學校郡内各尋學校其他に基金を寄附し、孤兒貧民の救済に盡瘁し道路橋梁の事業に率先淨財を喜捨し、衛生事業の爲め自ら私財を投じて各縣を視察する等氏が社會的奉仕は實に特筆大書の價值あり、又資本金一十萬圓の明治商業銀行前身群馬商業銀行の創立に努力して地方金融界に貢献したる功績實に没すべからず、單り機業界の恩人にあらずして郷土の恩人也大正八年中殖産村より全部伊勢崎へ引移り繭糸製絲其他繭糸各類巨額の取引成績を占めついで大正八年には前橋市繭糸品評會に於いて一等金牌を獲得し引續き各地で名譽賞牌を受く小保方工場は伊勢崎以外桐生市新宿に小保方第二工場外拾數工場佐波郡采女村伊與久に第三工場あり實力信用共に新界に顯はる。

一、出品者  
一、所在

川島久兵衛氏

栃木縣足利市大町

電話 三四番

六一八番

一、營業

戸姫クレツプ製造元輸出綿織物業  
川島商店は明治十九年の創業にして爾來幾多苦心的徑路を経て今日の大發展を見るに至つたのである。一般に川島の戸姫クレツプと唱へられ外國は重に南米方面に取引を有す、内地は京都大、東京方面との取引頗る旺んなり。現在の織工約三百に達し今後益々發展の徴候明かなり。大正十年の製産額約十萬點價格約七十萬圓に達す、大正博覽會に於て金牌受領、平和博覽會に於て金牌受領、其他海外各博覽會に於て金銀牌受領十數回

一、出品者

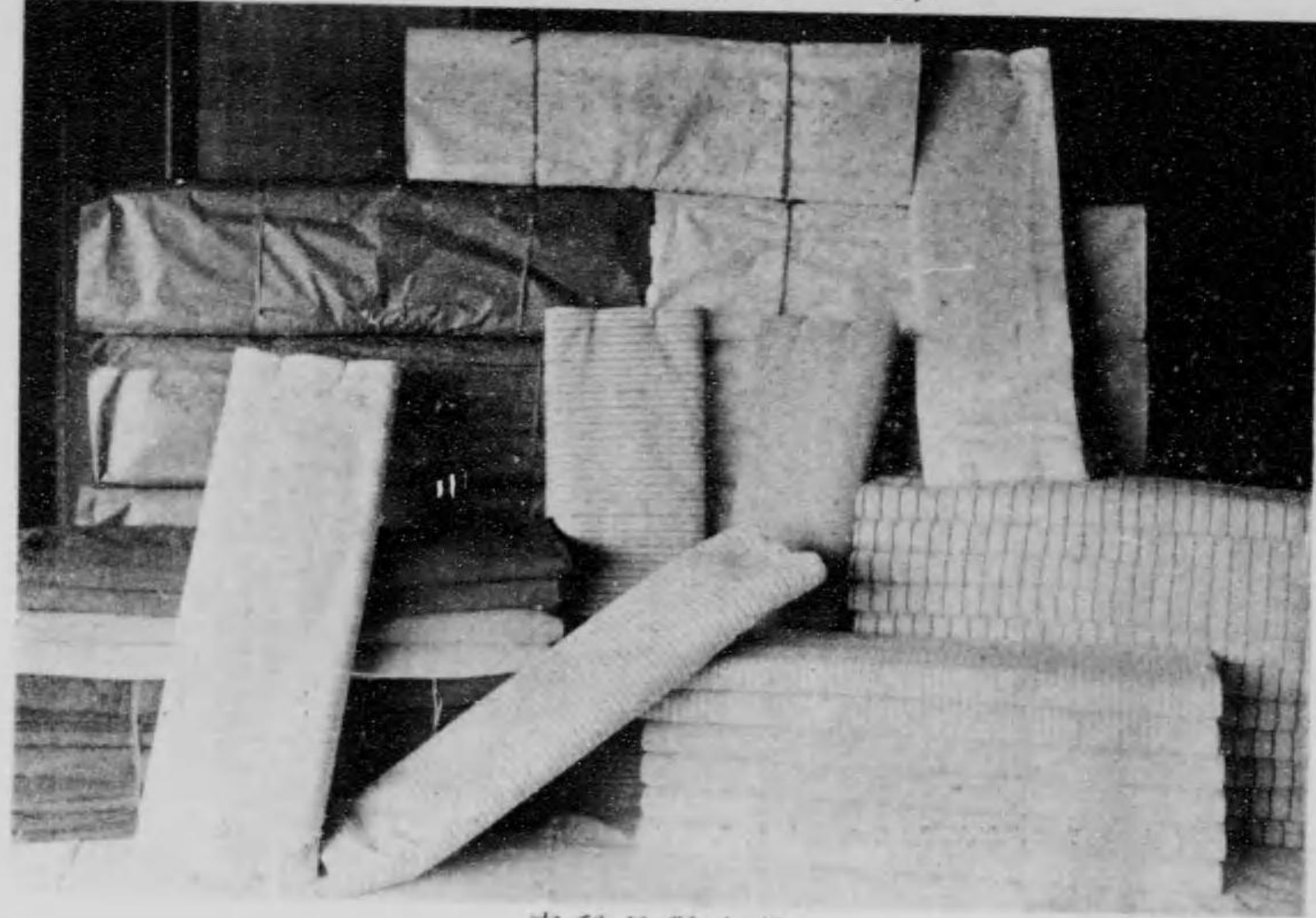
櫻井商店

栃木縣足利市通二丁目

一、所在地

一、營業

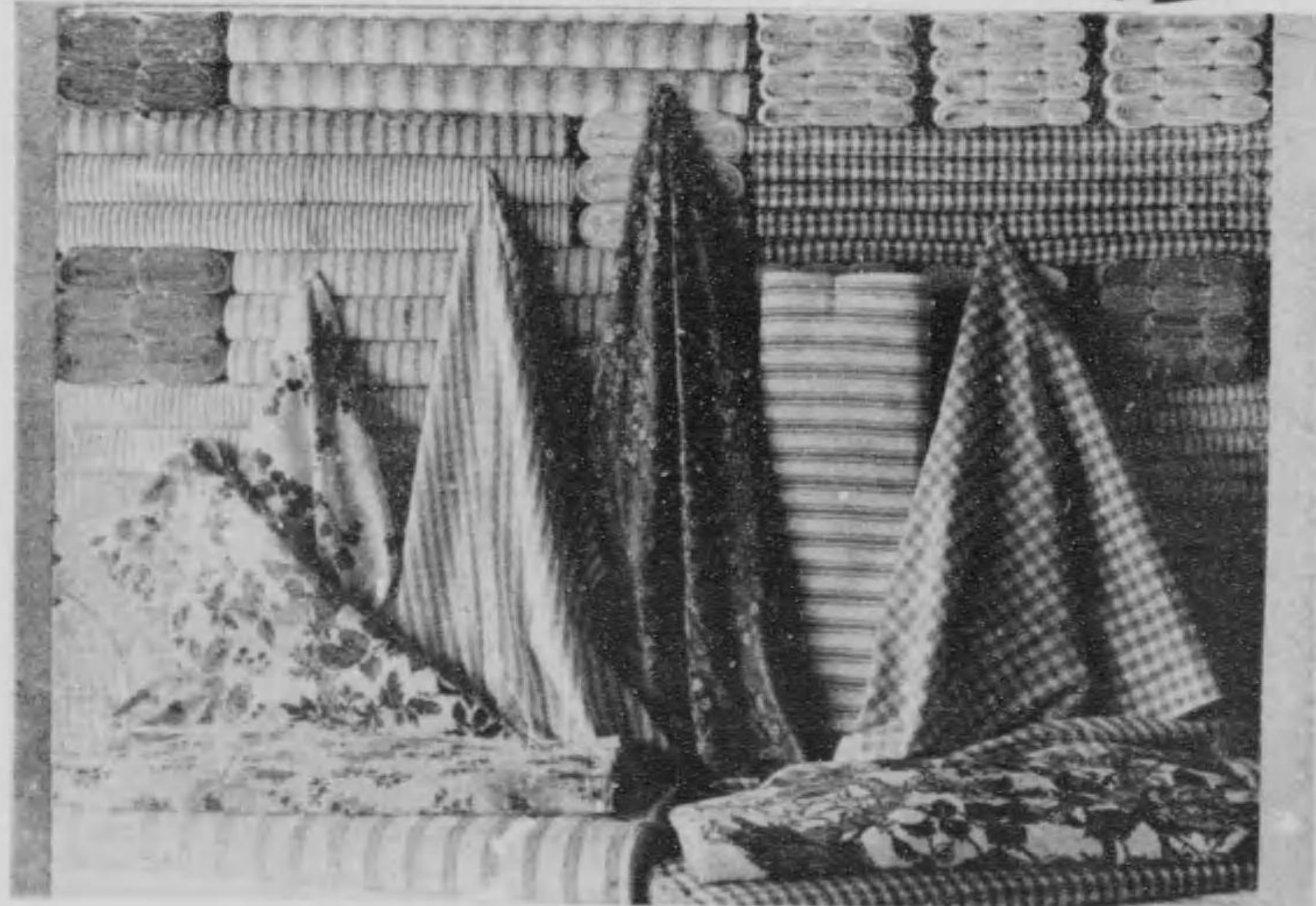
染色木綿縮製造元  
櫻井新次郎  
一、創立 明治二十二年  
櫻井氏早くも明治二十二年に於て輸出を目的とする木綿縮織に着眼し幾多の難關を突破して其の目的を達し今や、印度、支那、滿洲、孟買、ジャワ方面一帯に輸出するの好況を見るに至る、氏曾て栃木縣及び日本輸出綿布織物聯合會の囑托を受け印度及南洋方面を視察したる事あり、輸出織物業者としては氏は最早新界に於ける一權威たるを失はざるなり。



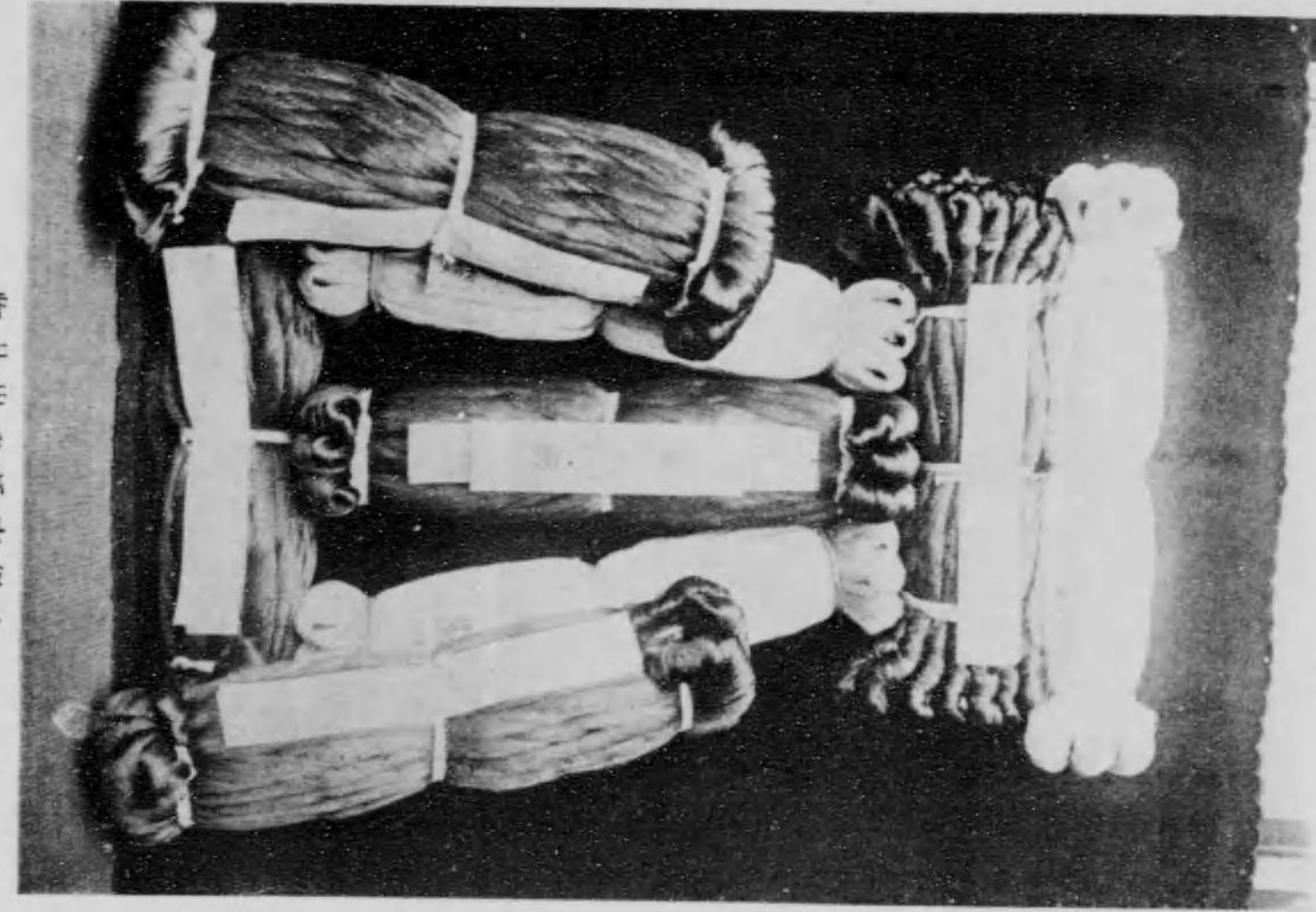
栃木縣足利市  
川高久兵衛氏



第一會場染織館



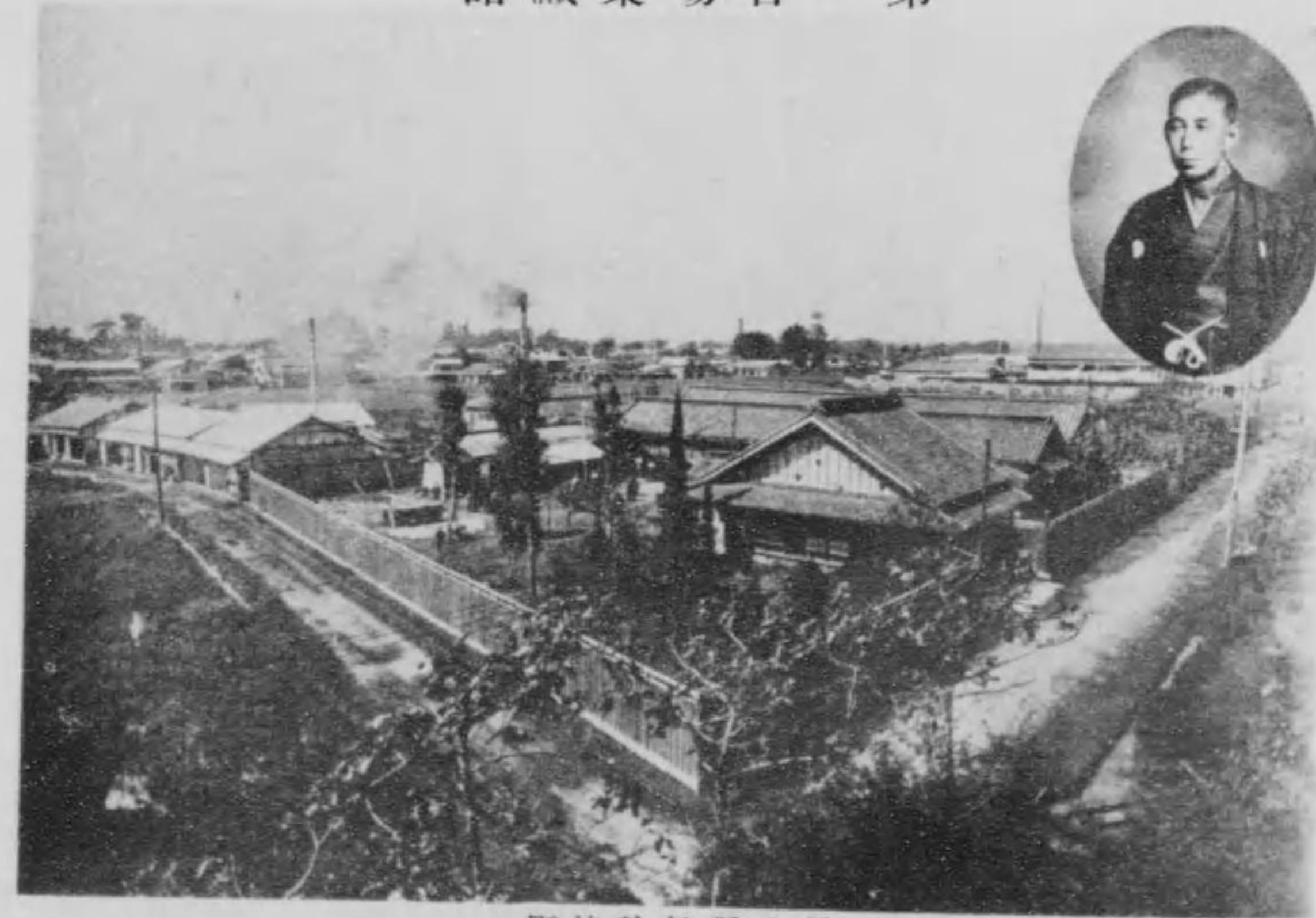
栃木縣足利市一通丁  
櫻井商店



小保方氏の出品物

第一會場染織館

第一會場染織館



栃木縣伊勢町  
小保方榮次郎氏



一、出品者

品川 光 彌氏  
群馬縣佐波郡茂呂村

一、所在  
氏の製品は賣口一定し何等増減なし、是れ即ち客筋の定まれるに依る、即ち品川氏の製品といへば如何なる場合と雖も取引先は安んじて是れを引受くる也、其の製品に信用ある事に於て氏を第一位に推すことを得べし、此故に經濟界の不況は毫末も其の影響なく、若し氏にして多額を産出するも忽ちにして一品をのこさざるに至るべし、誠實一貫の人にして社會的人氣あり。明治二十一年一月の創設に係る、曩きに明治三十九年大阪戦捷紀念博覽會に於て一等賞受領、今回の東京平和博覽會に於て銅牌を受領す。

一、出品者

商號木芳 木村傳三郎  
電話一四六番電略キヨシ  
群馬縣桐生市織姫町三丁目

一、所在  
一、營業 御召縮緬各種織物工業  
一、桐生美術の精華とも謂ふべき御召縮緬の織物工場として木芳の名頗る高きことに就いて多言しまい木村氏は斯業の經驗に於て將た又その手腕に就いて人後に落ざる人である氏は今回の平和博に卒先出品し其の作品は一般觀覽者よりも同業者の賞讃するところとなつた審査の結果斯界に於ける最高金牌を受領するに至つた

一、出品者

上毛繸糸株式會社  
群馬縣伊勢崎町

一、所在  
上毛繸糸株式會社は今より二十餘年前曾て代議士として政界に聲名ありし細野二郎氏等の計畫によりて成立せられ爾來兩毛織物界に對し原料供給を以つて其の發展を補佐し來れる會社にして關東の機業家とは不離の關係を持續し今日に至れり、現社長は島田辰雄氏にして社運益々隆盛なり。今回の平和博に於て金牌受領の榮を見るに至れり。

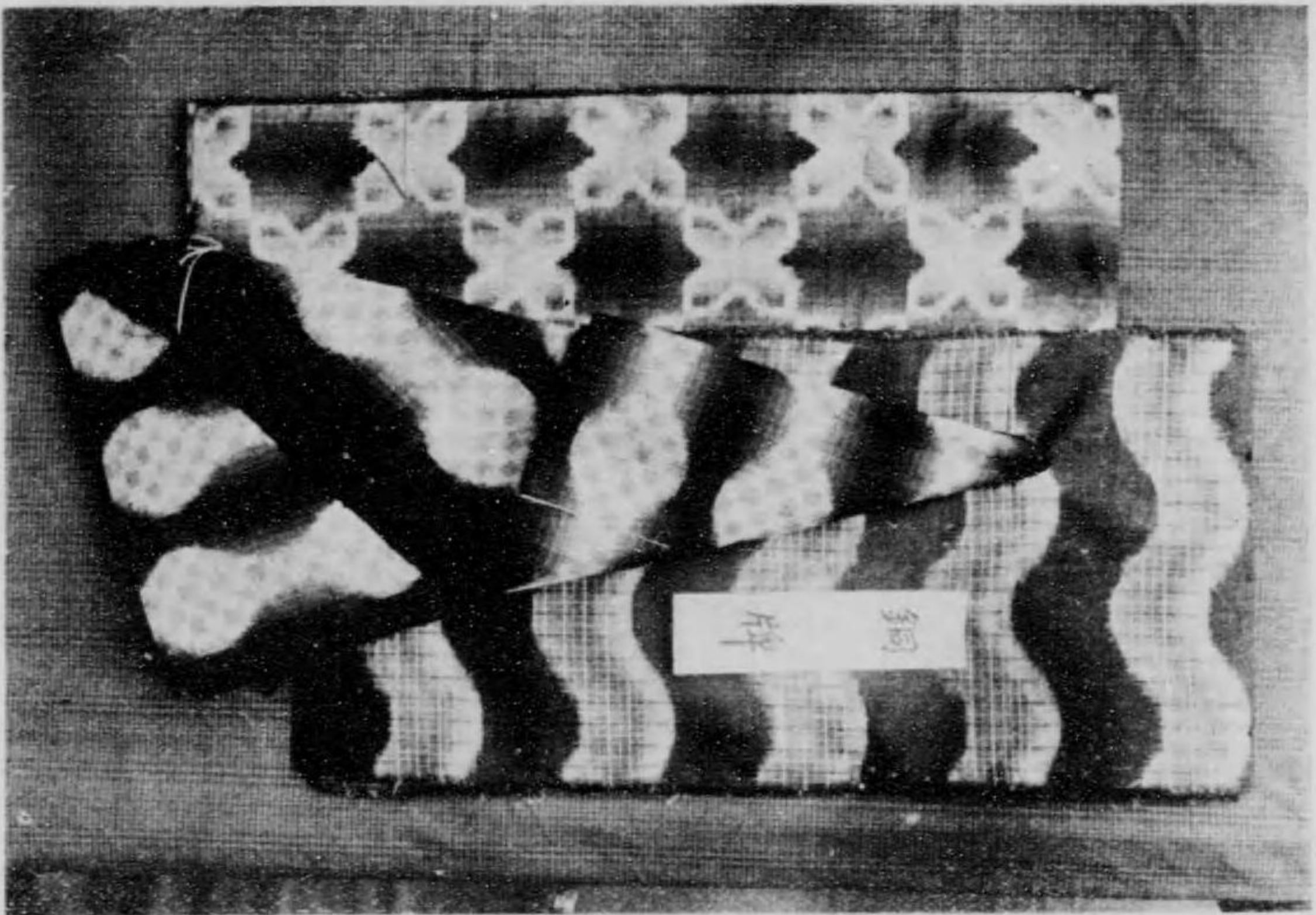
埼玉縣秩父郡秩父町  
秩父織物同業組合組長

大森喜右衛門

一、出品者  
一、營業 織物賣買業  
一、創立 二百九十年間秩父織賣買業を營み國産の功績者として知らるる  
一、商品の特長 堅牢にして實用向の定評ある國産として一般に愛用せらるる  
一、取引状態 毎月二、十一、十六、廿一、廿六の日に取引する古來の習慣今も尙ほ踏襲せらるる。  
一、授賞 各博覽會に於て授賞せらるる、事故擧に違あらず大正博に於て一等賞平和博に於て金牌を授けらるる。

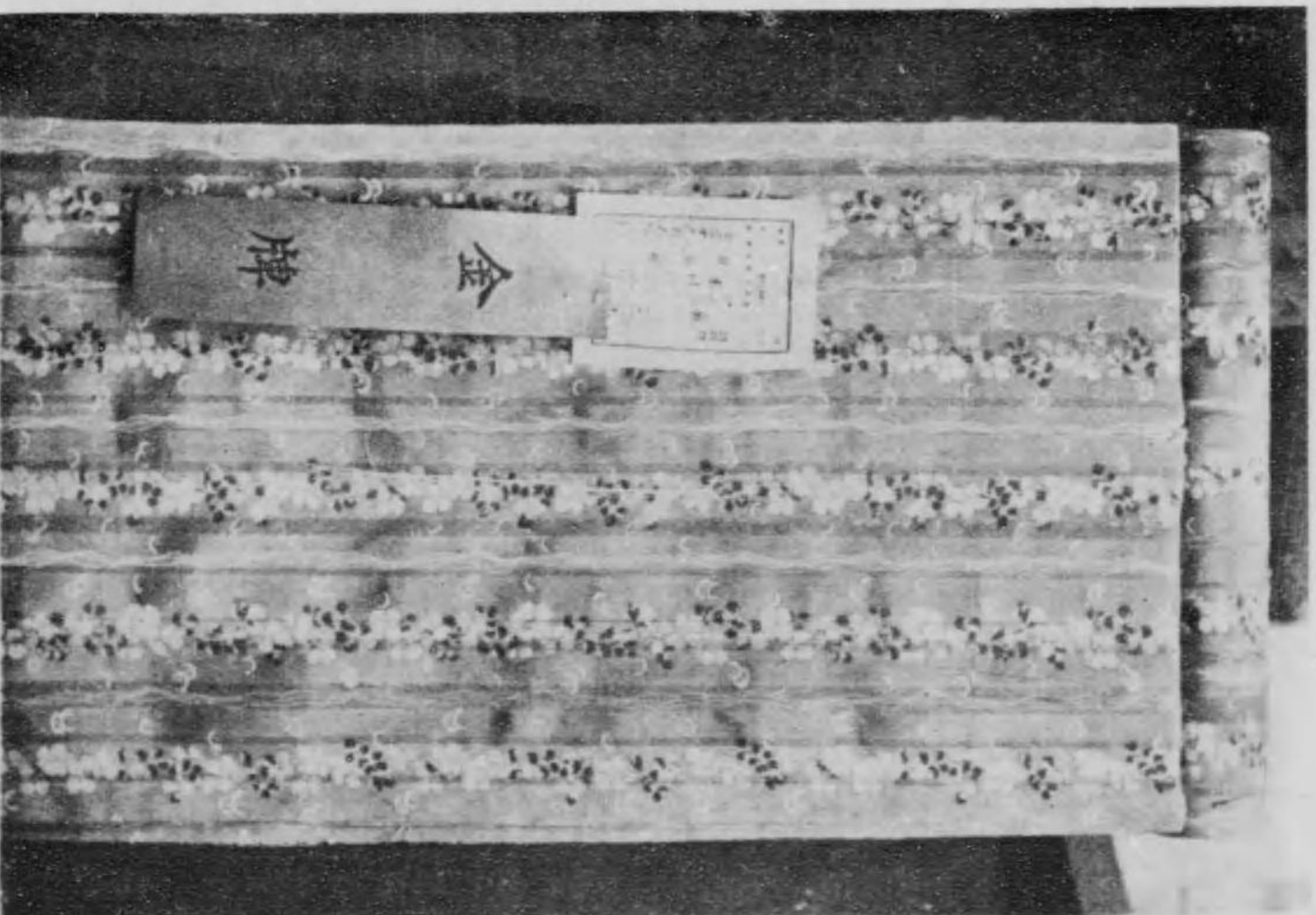


館織染場會一第



町崎勢伊羅馬郡  
氏綱光川品

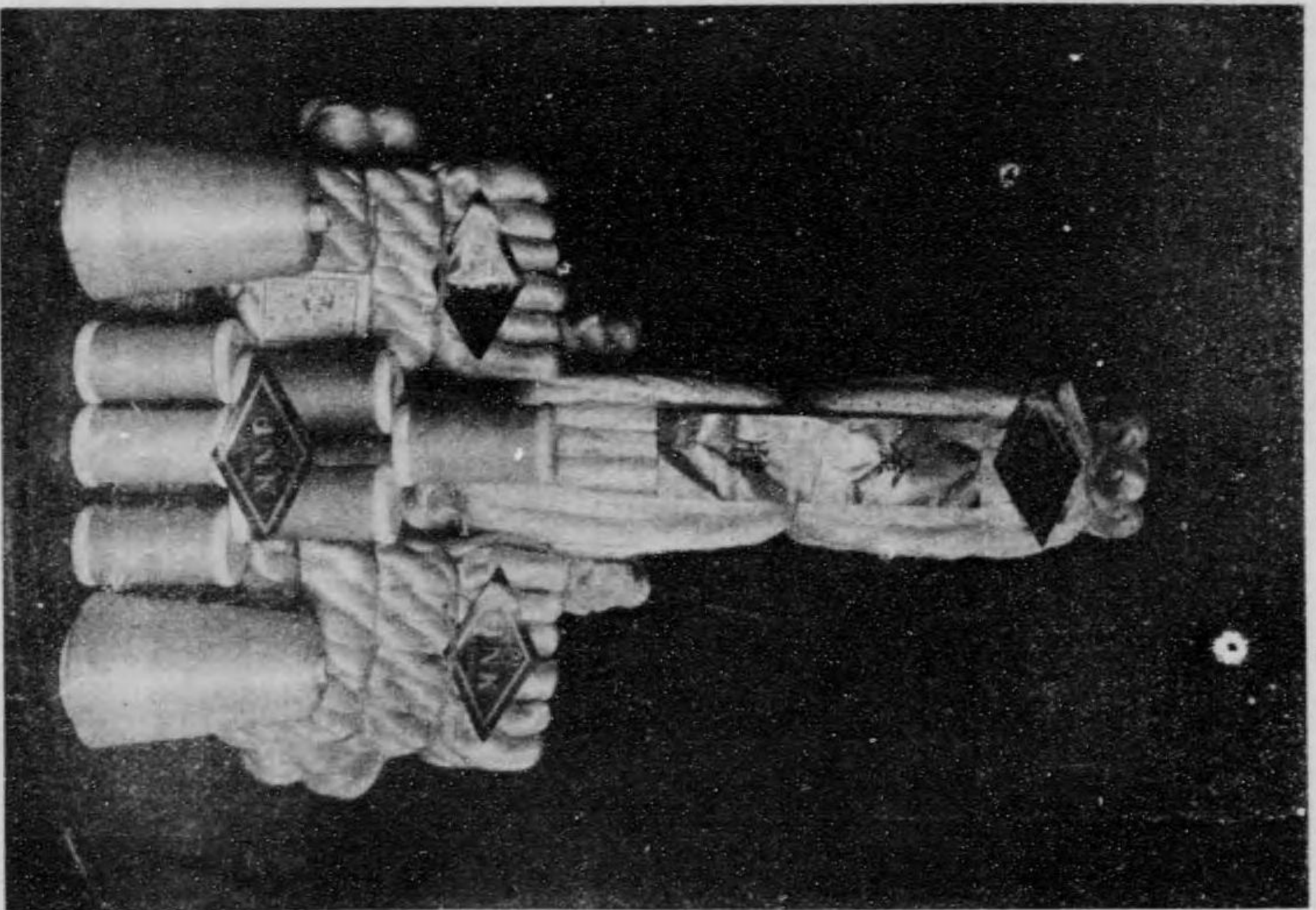
館織染場會一第



市生桐縣馬郡  
民郎三偉村木

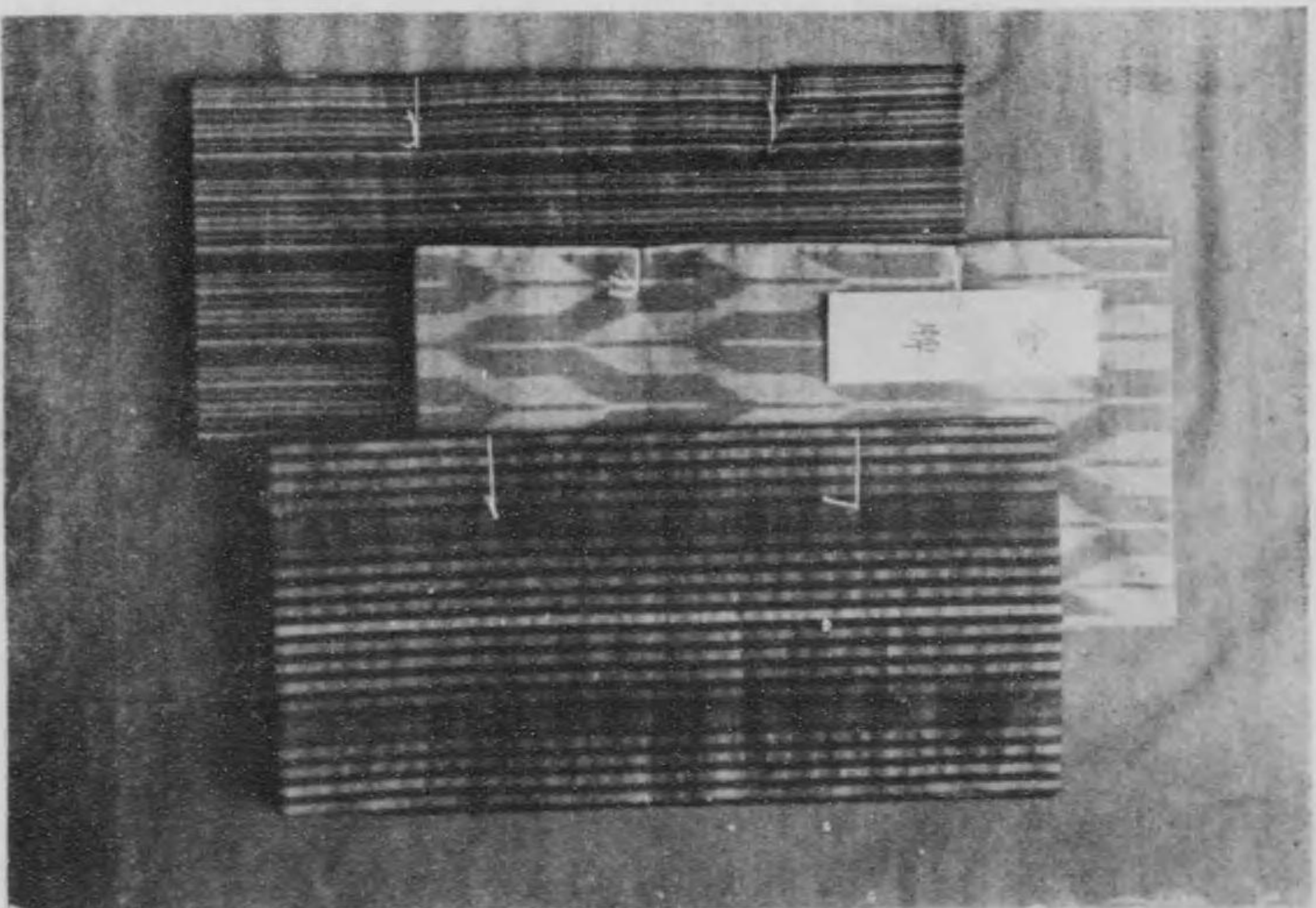


館織染場會一第



町崎勢伊羅馬郡  
社會式株糸織毛上

館織染場會一第



町父秩縣玉埼  
門新左喜森大

一、出品者

柳澤 正雄氏  
群馬縣佐波郡蓮村

二、所在

一、創立 明治二十二年

一、營業 伊勢崎珍製織業

柳澤氏伊勢崎織に從事すること實に三十餘年今や斯界に於て多大の信用と勢力を有するに至る、氏も亦伊勢崎織物の爲めには其の改善に全力を傾注し來れり、大正四年大典記念京都博覽會に於て銀賞受領東京平和博覽會に於て銀牌を受領す。

一、出品者

石井 滿吉氏  
山田郡茂野村電話四十八番

二、所在

一、營業 輸出及内地向織物各種製造

石井氏の祖父時代に創業漸次發展今日に至れるものにして曾て英國製糸を輸入し輸出用織物を盛んに製造せる事あり、今より二十年前三井物産野澤源次郎氏の經營する野澤商會等に見本を提出したる當時の如き好評頗る噴々富士紡績株式會社社長和田豊治氏の如きも同店に出張調査をなすに至る、巴里博覽會、日英博覽會其他の博覽會に於て金銀牌を受領す

一、出品人

品川 實治氏  
群馬縣佐波郡茂呂村

二、所在

一、創業 明治二十二年五月

一、營業 大島耕製造工場

品川氏伊勢崎織の機業家として活動する事實に三十年、此間の豊富なる經驗を以つて改善を重ねたる製品は今回の平和博に於て一躍金牌の最高位に入賞せり以つて其製の品の優秀を立證して餘りあり、大正二年一府八縣聯合共進會に於ては二等賞を受領し大正四年には大典記念京都博覽會に於て銀賞を受領せり。

一、出品者

株式會社互盟商會  
群馬縣伊勢崎町

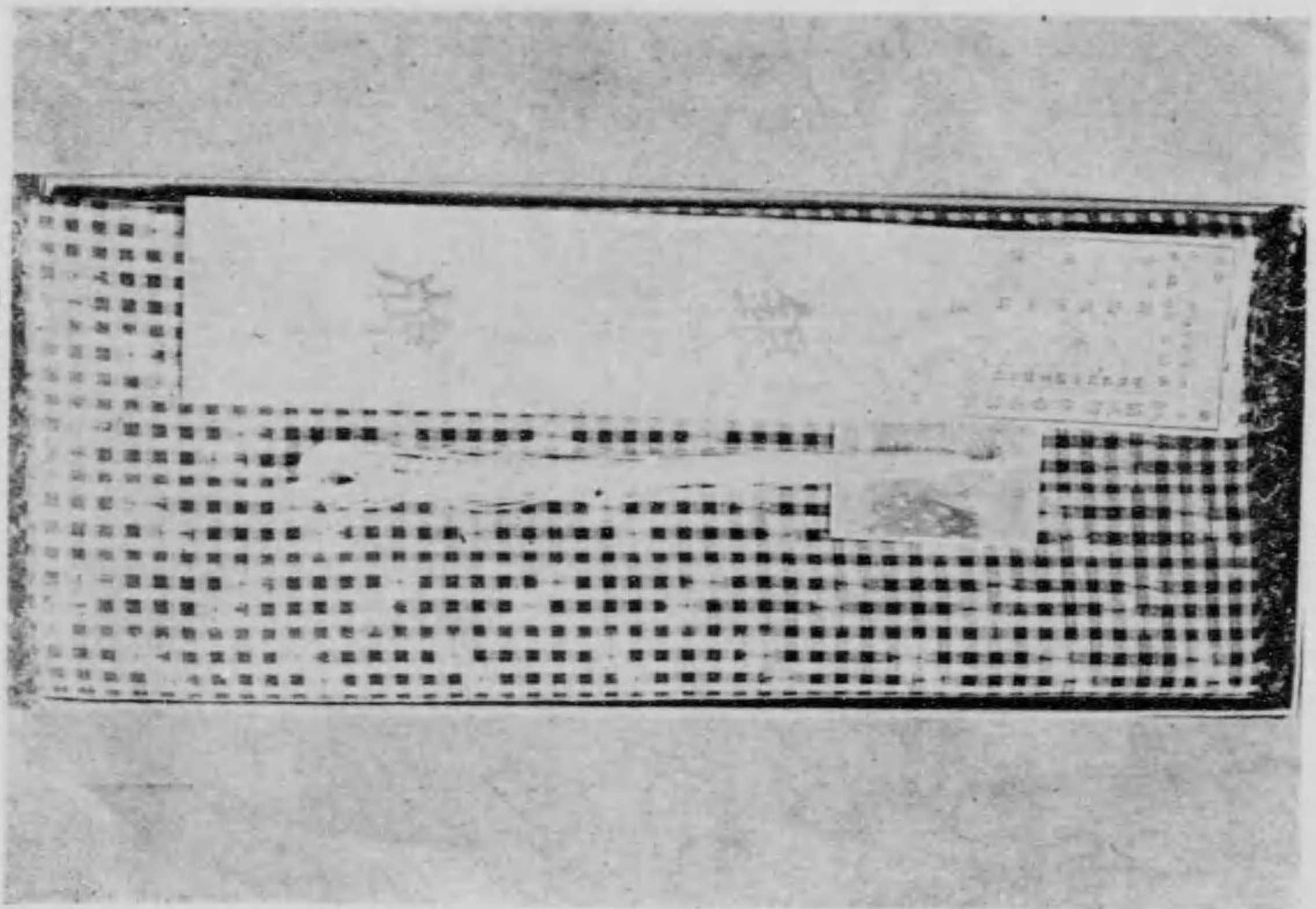
二、所在

一、創立 大正七年

一、經營者 社長 板垣源四郎

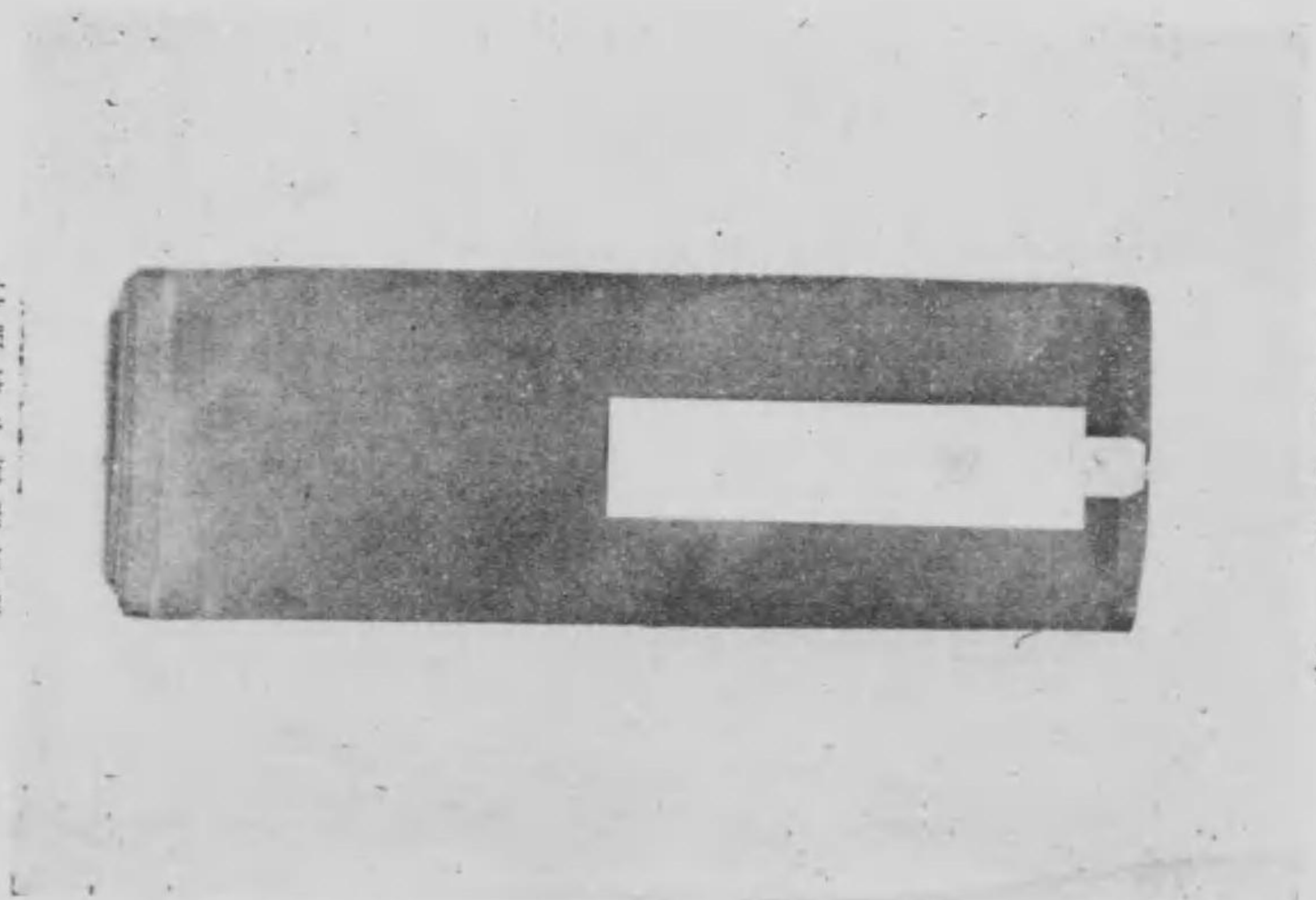
文化織に於て一躍世上に知られたる株式會社互盟商會は内地向及び輸出向の二方面に活動しつゝある株式會社にして白木屋呉服店の三階は常に同商會の製産品を以つて満たさるゝ好況を呈するに至れり。抑も同商會は常に廣巾物を唱導する會社文々に此點に於ける先驅者にして伊勢崎方面が漸次廣巾物に推移する徵候あるは同商會の力といはざるべからず、今回の平和博覽會に於て一躍銀牌の賞に入れるを以つて見るも會社の前途益々旺盛なるを卜知することを得べし。

館織染場會一第



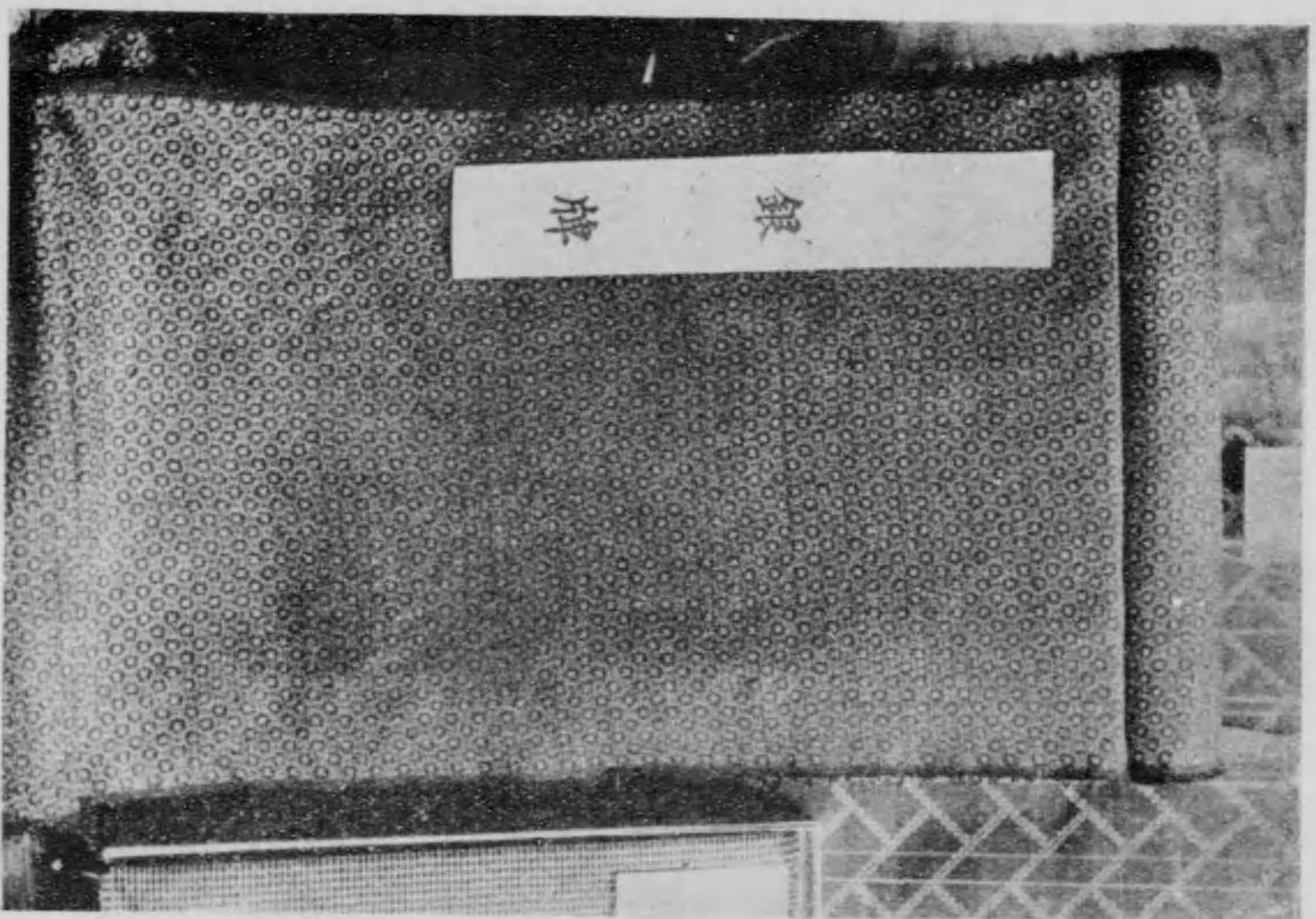
町崎勢伊縣馬群  
氏雄正澤柳

館織染場會一第



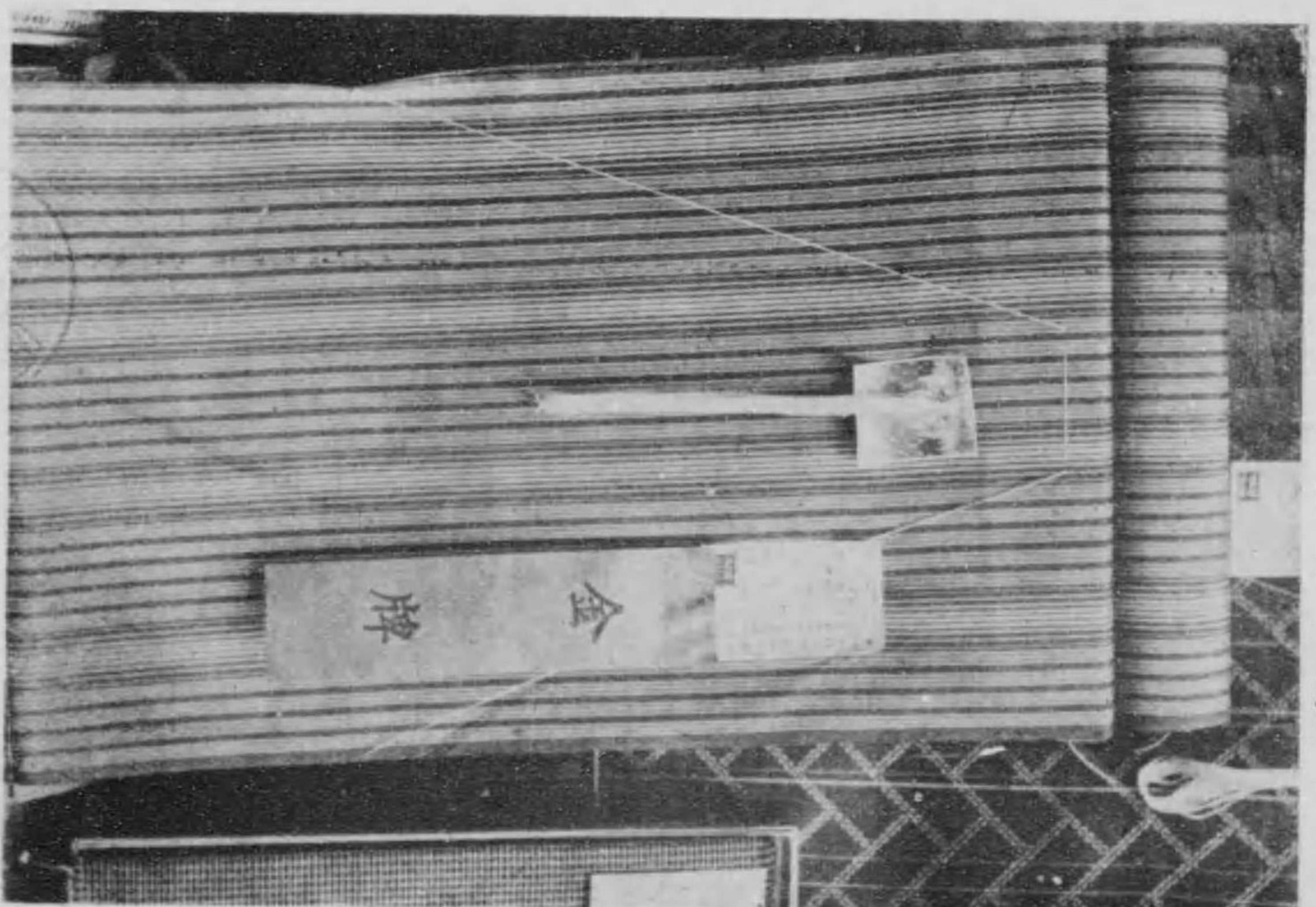
村野境生柳郡馬群  
氏吉謙井石

館織染場會一第



村呂茂郡波佐縣馬群  
氏治實川品

館織染場會一第



町崎勢伊縣馬群  
會商盟互



一、出品者  
一、所在地

阿部 徳次 郎氏  
群馬縣佐波郡伊勢崎町  
電話三十八番

阿部氏は織物に對し卓見を有する経験家なり、常に氏の工場より産出せらるゝ織物は最新にして圖案の巧妙に至りては超然一等地を抜くの概あり、明治二十三年の創設に係り、大正三年東京大正博覽會に於て二等賞受領、大正四年大正紀念京博覽會に於て銀賞受領、今回同の東京平和博覽會に於て銅牌を受領す、伊勢崎織珍柄各種製造業として知らる。

一、出品者  
一、所在

松井 傳吉  
群馬縣伊勢崎町

氏は現伊勢崎織物同業組合評議員として、幹部の一員たるのみならず、上毛織物株式會社の重役として常に伊勢崎機業界に貢献しつゝある斯界の一重鎮であつて柄模様の案出に於て獨特の天才的能力を有する事は人の皆知る所である氏が亦た頗る義俠的美性の所有者で従來幾多の人を救助せる事も克く人の知るところである、曩きに全國染織工業博覽會に於て金牌を受け今回の平和博出品物に對し銅牌を授けられた。

一、出品者

大和 廣吉  
群馬縣佐波郡茂呂村

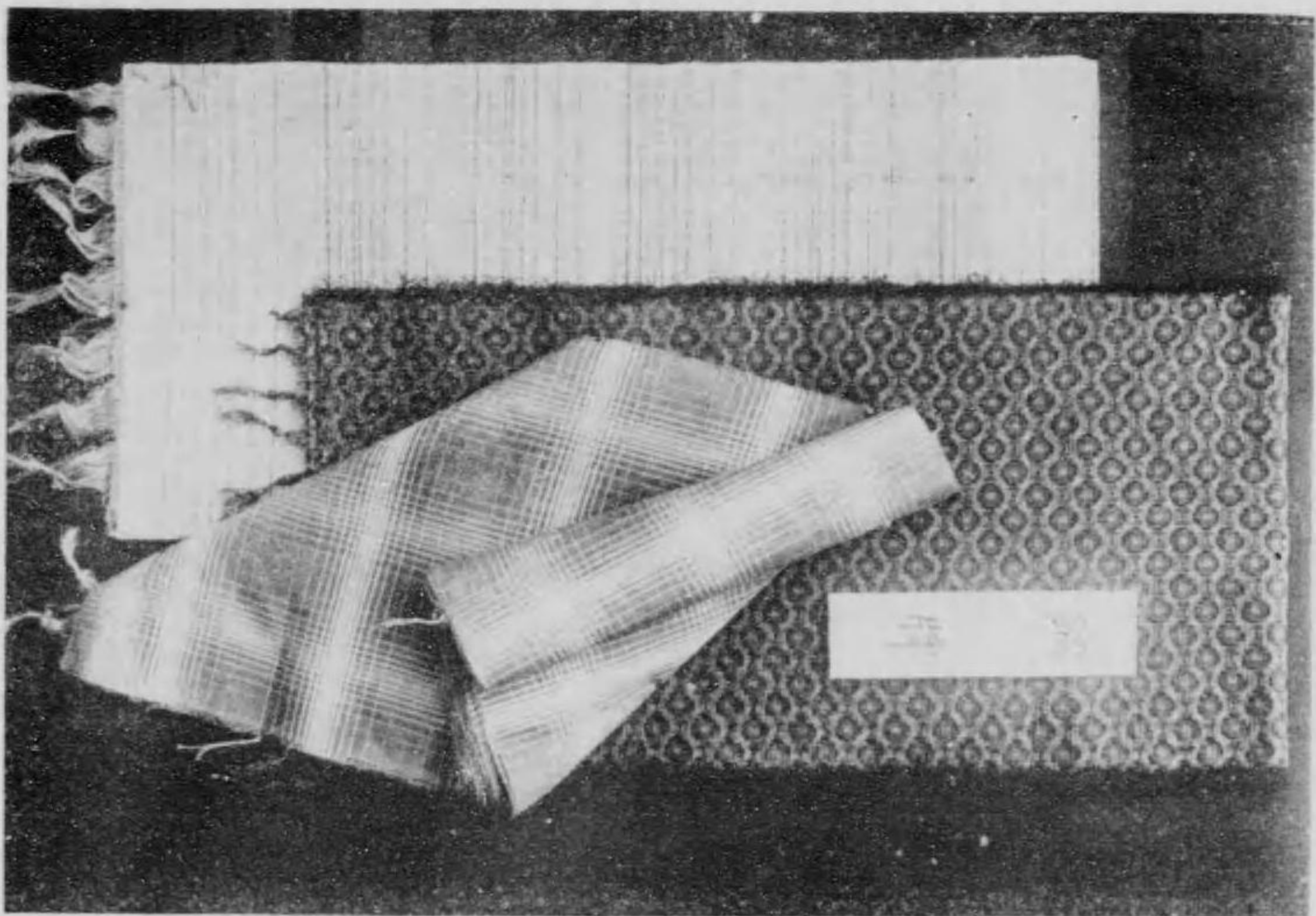
一、營業 伊勢崎織絹もの製造業  
大和氏は伊勢崎織發展の爲めに一身を犠牲に供し奮闘したる人研究心頗る旺盛にして柄柄の技巧染色の研究に専ら努力し常に優品の製造家として知らる明治二十四年の創設にして同四十三年一市十四縣聯合共進會に於て二等賞受領大正八年全國染織工業博覽會に於て銀牌受領今回同の平和博に於て銅牌を受領す

一、出品者

天田 機業部  
代表者 天田 清三郎

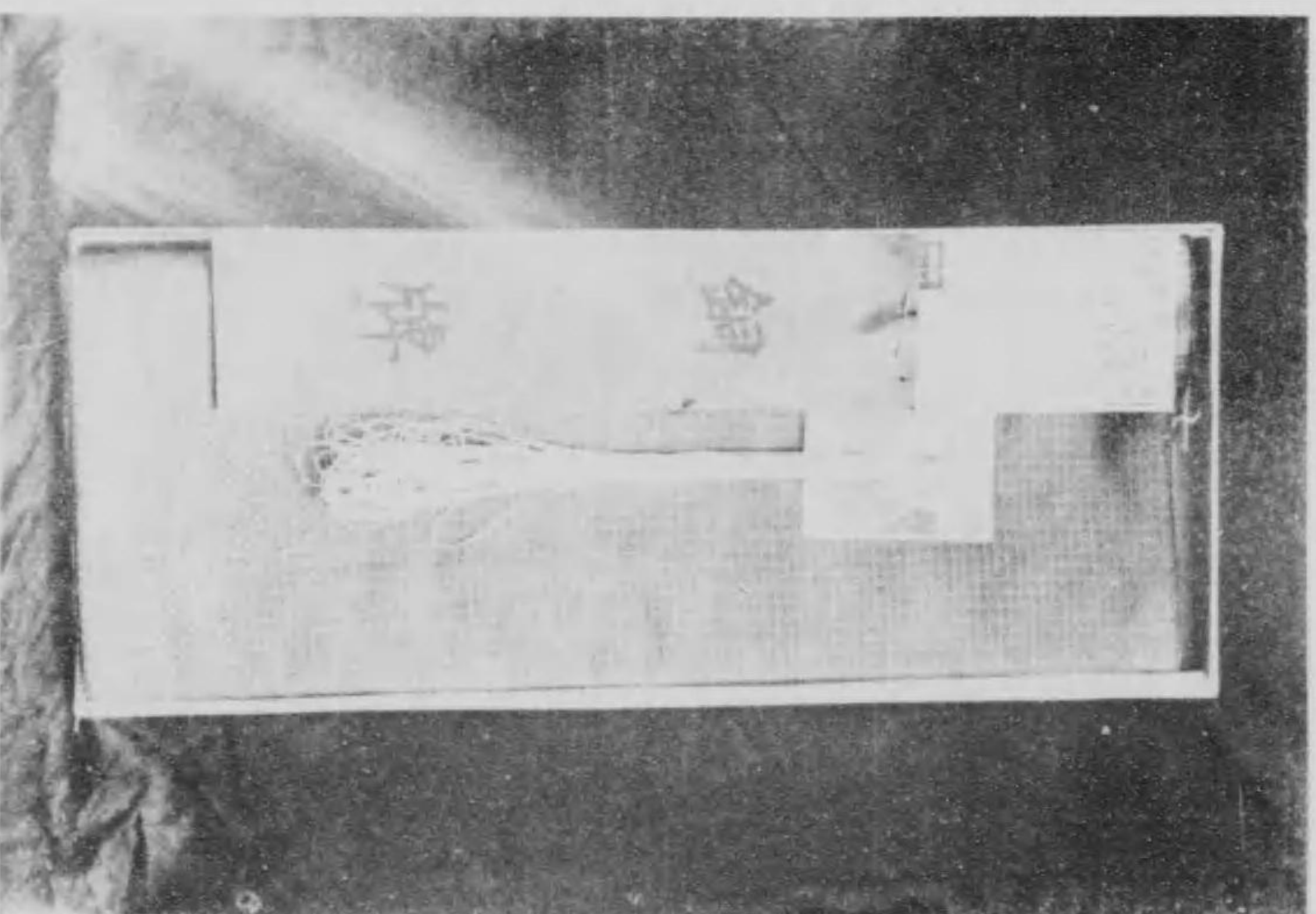
年齒漸く不惑に過ぎざる青年機業家にして而も十數年來一貫して一萬疋以上の大製造を續行し現時一萬五千疋の大産額を産出せる群馬縣郡剛志村宇小此木村天田清三郎氏は眞に立志傳中の一人物、氏は幼少早く居村権名金次郎氏方に見習として勤務し成年に至りて獨立機業を營み、明敏なる頭腦と熱烈なる努力とに仍つて遂に東部機業會の重鎮たるに至りしもの定に其の半生の奮闘に據るものと謂ふ可し、而かも令弟正賢包道の兩氏阿兄を扶けて共に俱に献身的努力を以つて現時の名聲を得る眞に模範的機業家と稱すべし、長兄清三郎氏は衆望に推されて現に東部機業會副會長伊勢崎織物同業組合評議員たり。  
抑も現今伊勢崎關係機業者にして一萬疋以上の産産をなすもの僅かに五人に過ぎず而して同部は銘仙織物を専門とし所謂純粹の伊勢崎銘仙機業家として今日に至れるものなり。

館織染場會一第



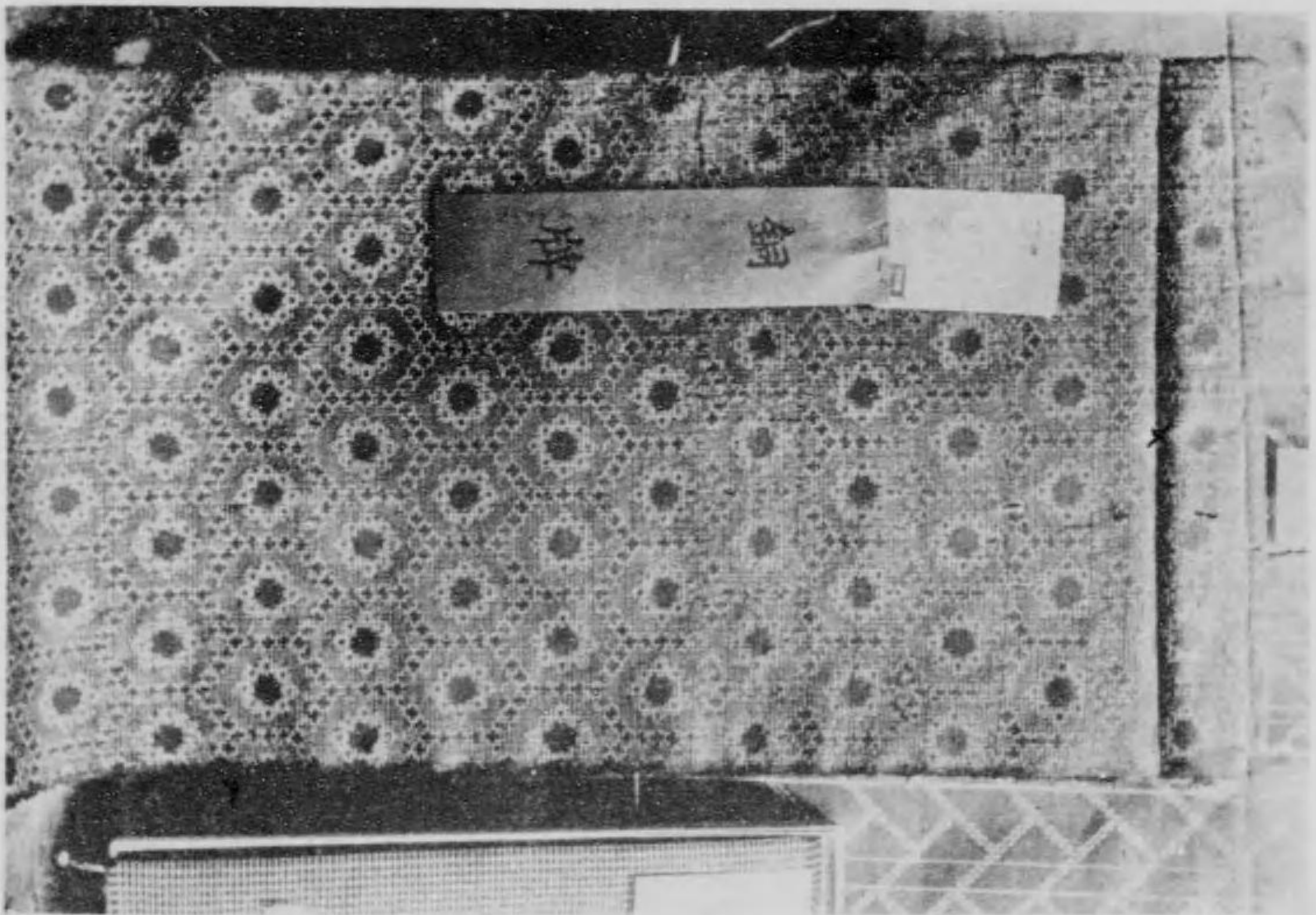
町崎勢伊郡波佐縣馬郡  
氏郎次徳部阿

館織染場會一第



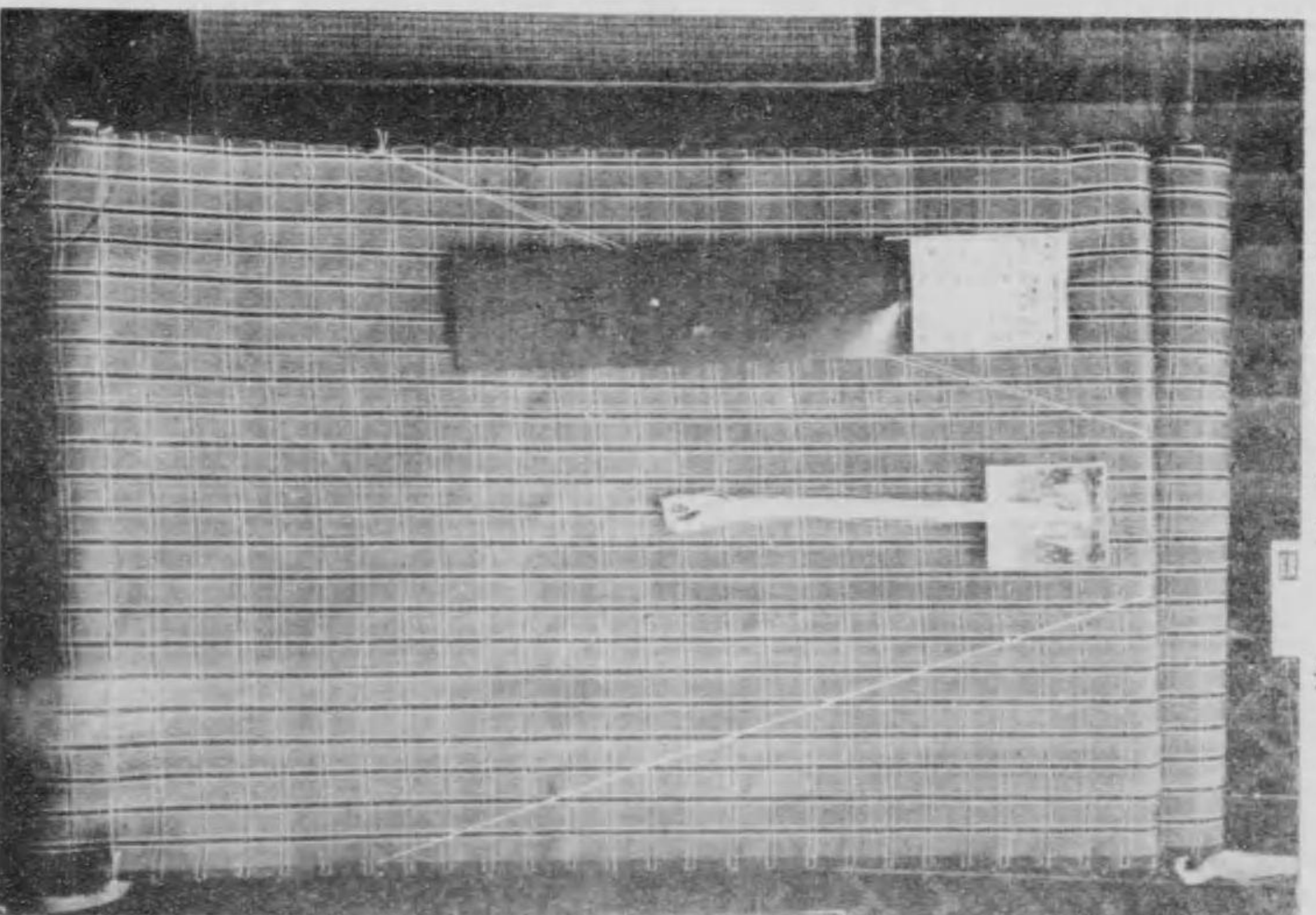
町崎勢伊縣馬郡  
氏吉傳井松

館織染場會一第



町崎勢伊郡波佐縣馬郡  
氏吉廣和大

館織染場會一第



村志剛郡波佐縣馬郡  
氏郎三清田天



一、出品者

群馬縣桐生市大字新宿百貳拾番地  
江原商工株式會社  
專務取締役 江原貞助

一、部類及品名 ショーセツト、ニロン、紋紗

一、事業創立年月日

内地向織物創立 正徳元年 貳百拾壹年前  
輸出向織物創立 安政五年  
大正拾年六月現在江原商工株式會社に組織を改む

一、資本金貳拾萬圓也

一、使用人員壹百六拾參人

一、製造高壹萬六千八百正(六拾八萬五千餘圓)

一、取扱高(製造高を除く)壹萬八千壹百正(五拾六萬參千餘圓)

一、歐洲各國、北米合衆國、加奈陀、濠洲、南米各國、印度各地、南洋各地、支那、朝鮮

一、滿洲の大連及臺灣の臺北には支店の設けありて直接販賣をなす

一、已に受けし褒賞

- 一、西歷千八百七拾三年(明治六年)澳國維府大博覽會に於て有功賞を受く
- 一、明治拾年第一回内國勸業博覽會に於て花紋褒賞を受く
- 一、明治拾四年第二回内國勸業博覽會に於て一等有功賞牌を受く
- 一、明治拾八年第三回内國勸業博覽會に於て一等金牌を受く
- 一、明治拾九年七月第五回内國勸業博覽會に於て一等金牌を受く
- 一、明治三十九年十一月一府十縣聯合共進會に於て一等賞金牌を受く
- 一、明治四十一年十一月一府十縣聯合共進會に於て一等賞金牌を受く
- 一、明治四十三年六月愛知縣主催第十回關西府縣聯合共進會に於て一等賞金牌を受く
- 一、明治四十三年十一月群馬縣主催一府十四縣聯合共進會に一等賞金牌を受く
- 一、西歷千九百拾年(明治四拾參年)日英博覽會に於て金牌を受く
- 一、大正二年十月富山縣主催聯合共進會に於て功勞賞を受く
- 一、大正三年七月東京大正博覽會に於て銀牌を受け宮内省より御買上品となる
- 一、西歷千九百拾五年(大正四年)パナマ運河紀念博覽會に於て金牌を受く
- 一、大正七年二月群馬縣知事の中川友次郎より海外へ輸出織物の發展を圖りたる功勞に依り木杯一組を受く
- 一、大正七年四月日本織物協會に於ける重要輸出織物博覽會より有功賞を受く
- 一、大正拾一年七月平和記念東京大博覽會に於て一等賞金牌を受け宮内省御買上の榮を賜ふ

一、出品者

一、所在

一、營業 大島耕珍製造工場

八田氏、伊勢崎織物同業組合に評議員、組長、顧問たる事實に數回、一度氏の組合長たるや、染織物検査を嚴重にして製品の統一を圖り、克く組合員を統禦して製品の改善に努力する等其の功蹟實に没すべからず、氏の組合長に就くや伊勢崎織物の品質一變せりと傳へられ組合員亦克く氏に従はざるものなきに至る、氏の信認の厚き他の織物原産地に於て其改善の應援を乞ふに至る、氏の如き將さに日本織物界の一至賢たるを失はざる也。

氏個人としては大島耕珍製造工場を經營す、大正三年東京大正博覽會に於て二等賞受領、大正四年大典記念京都博覽會に於て銀賞受領、大正八年全國染織工業博覽會に於て金牌を受領す。

八田 榮 藏氏

群馬縣佐藤郡茂呂村

一、各種織物製造

桐木縣足利市助戸一丁目 木村 淺七 商店

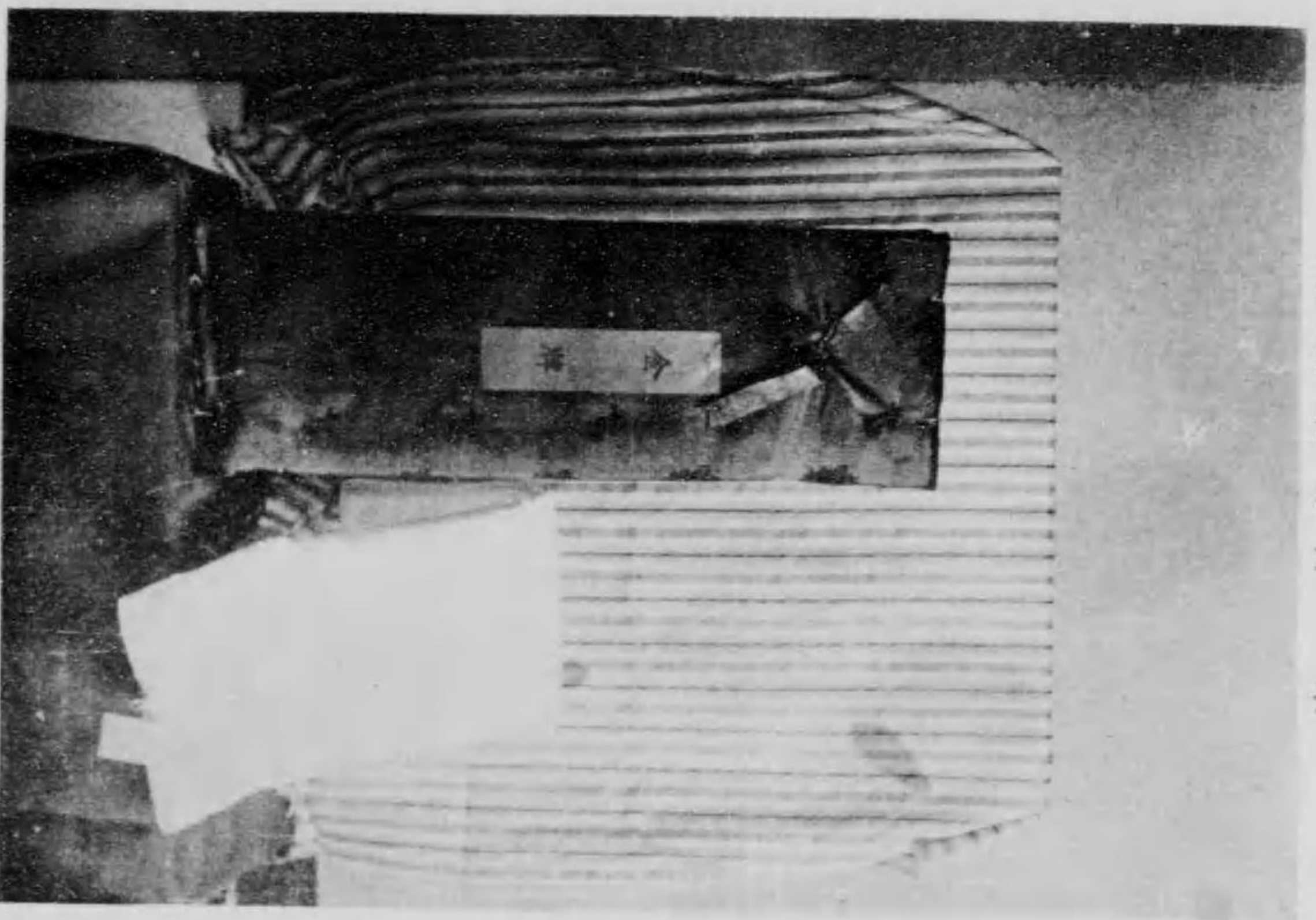
電話 九〇〇番

電略(キアサ)又ハ(キ)

木村淺七商店 (Y. Imase) は一八三五年絹織物製造を創始し一八八三年以來輸出絹織物製造に着手し本邦輸出絹織物の先驅をなす、工場設備も順次擴張せられ其生産も又年々増加し爾來輸出絹織物界の權威として噴々たる名聲を博す、兩毛地方輸出絹織物今日の發達は實に先代木村淺七氏の努力並に指導によること大なるものにして明治四十三年皇太子殿下親しく同工場に行啓あり産業御獎勵の意を以て侍從を差遣せらるゝこと前後三回に及び又實業界の功勞者として勅定の綠綬褒章を下賜せらるゝ其名譽實に大なりと云ふべし

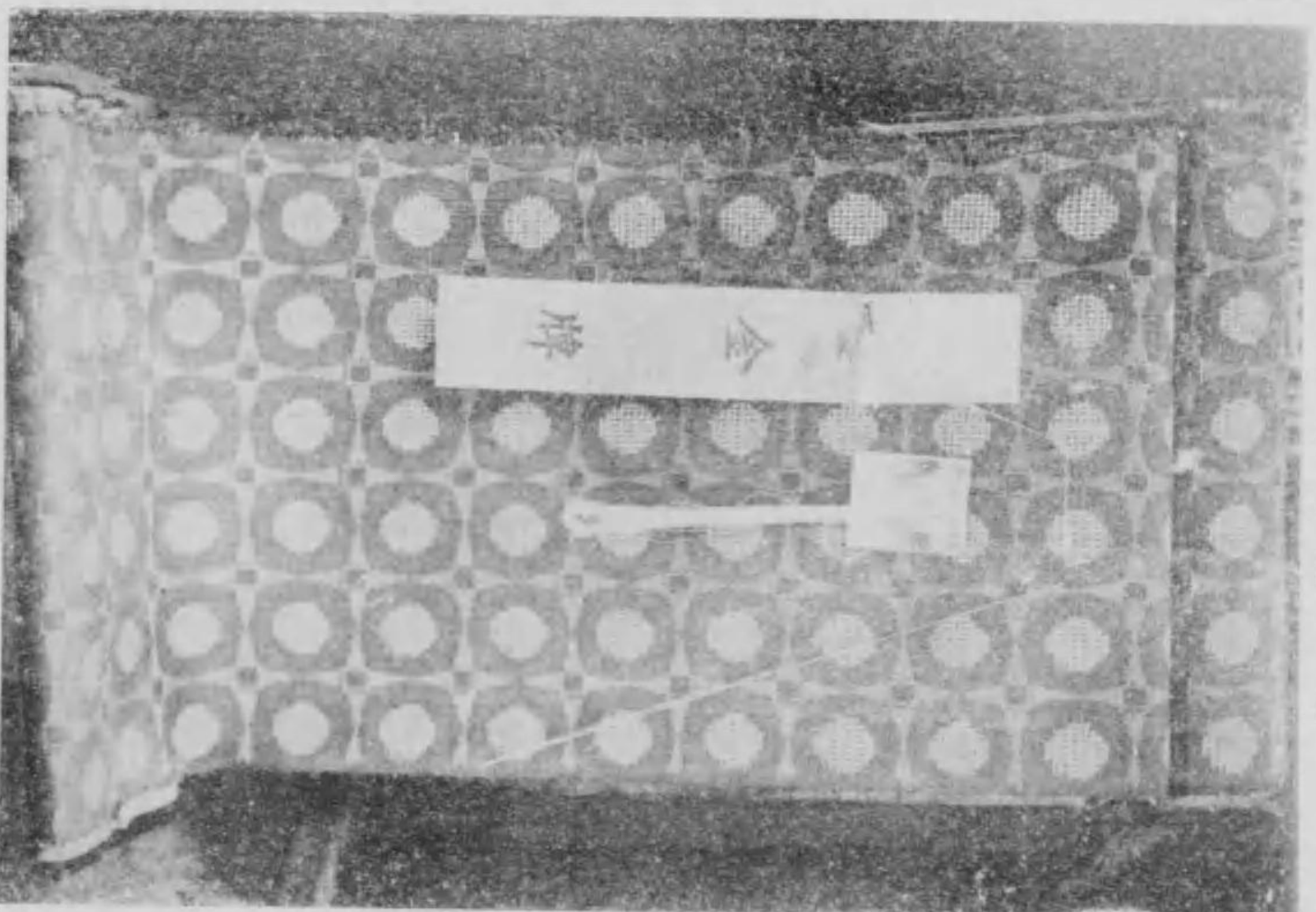
同工場の製品は、縮緬、朱子、タフタ、シャツ地、其他變り織物 (Kintabé Tokkeppoo) にして歐米、濠洲、印度、朝鮮に輸出し其品質の優秀技術の卓越なる海外市場に定評ありて年々其販路を擴張しつつあり、而して今日迄内地の博覽會は勿論海外に於ける幾多の博覽會に出品して受賞せざることをなし今平和博に於て名譽賞牌を受くる又宜なりと云ふべし。

第一會場染織館



群馬縣馬場市新宿一  
江原商店

第一會場染織館



群馬縣伊勢町  
八田染屋氏

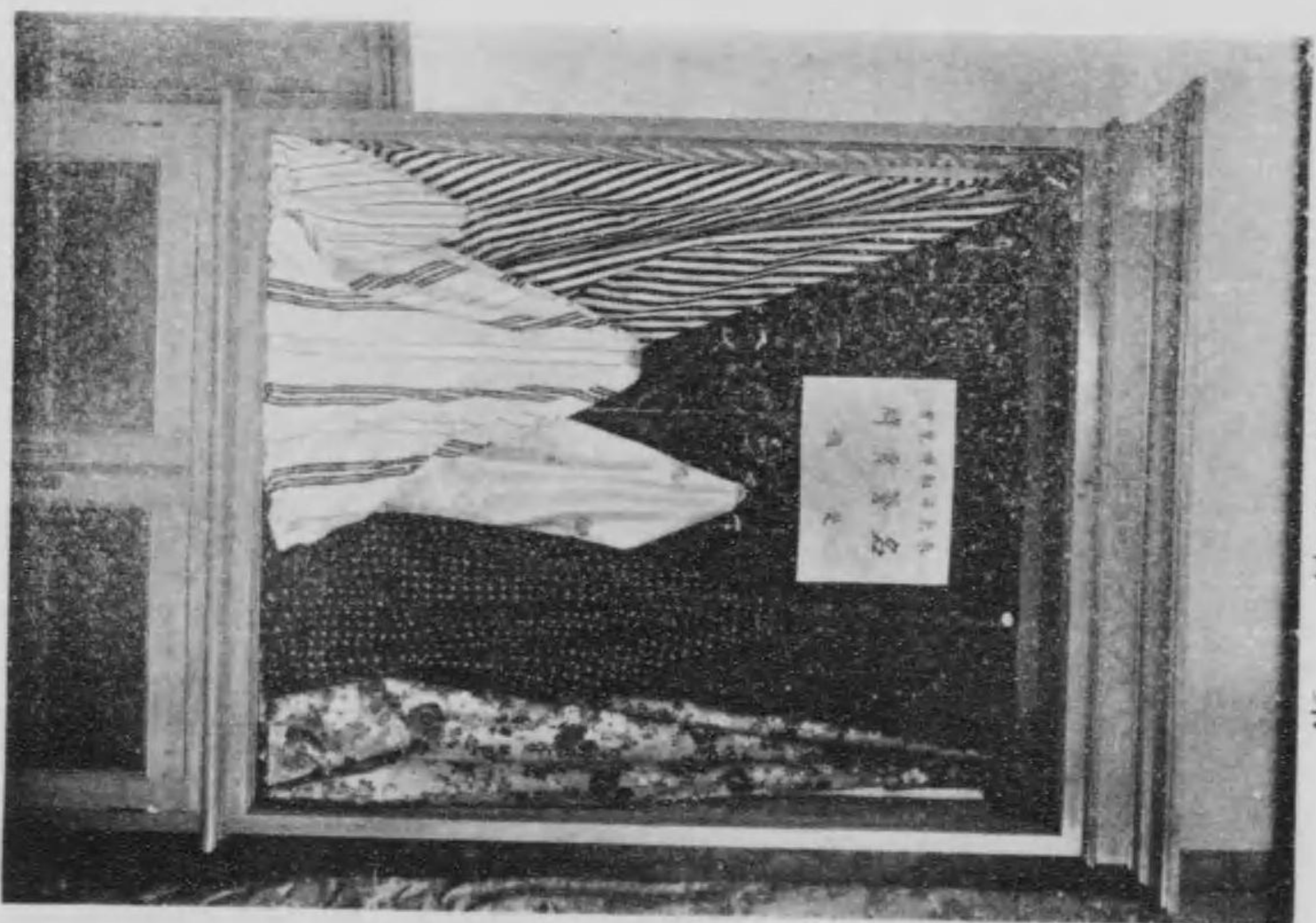


第一會場染織館



木村工場全景

第一會場染織館



群馬縣伊勢町  
木村七商店

一、出品者  
一、所在  
一、經營者

上毛織物株式會社

群馬縣佐波郡茂呂村大字今泉甲五五二

取締役社長 羽尾 正三

専務取締役 田島瀧三郎

常務取締役 松井 傳吉

取締役 星野 貞治

取締役 平田 吾郎

同 渡邊邦太郎

同 星野 善作

同 監査役 奥山勳三郎

同 平野新三郎

同 大和 廣吉

(相談役略す)

上毛織物界の人々によりて組織せられたる會社にして特製平和八端織、其他の優秀銘仙の織元として知らる資金五十萬圓(一株に付二十七圓五十錢拂込)にして現在株主三十七名、同社は機業界の變遷常なき間に處し鏡意品位の改善と能率の増進とに努力し生産品の節約を圖ると共に原絲の購入に一段の注意を拂ひ比較的低廉なる仕入れをなし本年上半期の如き敢て損失を免るゝ等經營常に宜しきを得平和八端織を初め同社獨得の雙織銘仙織等の擴張に努力しつゝあり。

一、出品者  
一、所在

板垣 藤吉氏  
群馬縣佐波郡豐受村

氏は伊勢崎大絨製造工場主として知らる。織物に對する豊富なる經驗と、動かすべからざる定見とを有し爲人温厚にして篤實、常に圓滿至淳の紳士にして業務に熱心なり。明治十六年の創設にして大正三年東京大正博覽會に於て銀牌受領、大正八年全國染織工業博覽會に於て銅牌受領、今回の東京平和博覽會に於て銅牌を受領す。

一、出品者  
一、所在

石原 善平氏  
群馬縣佐波郡剛志村

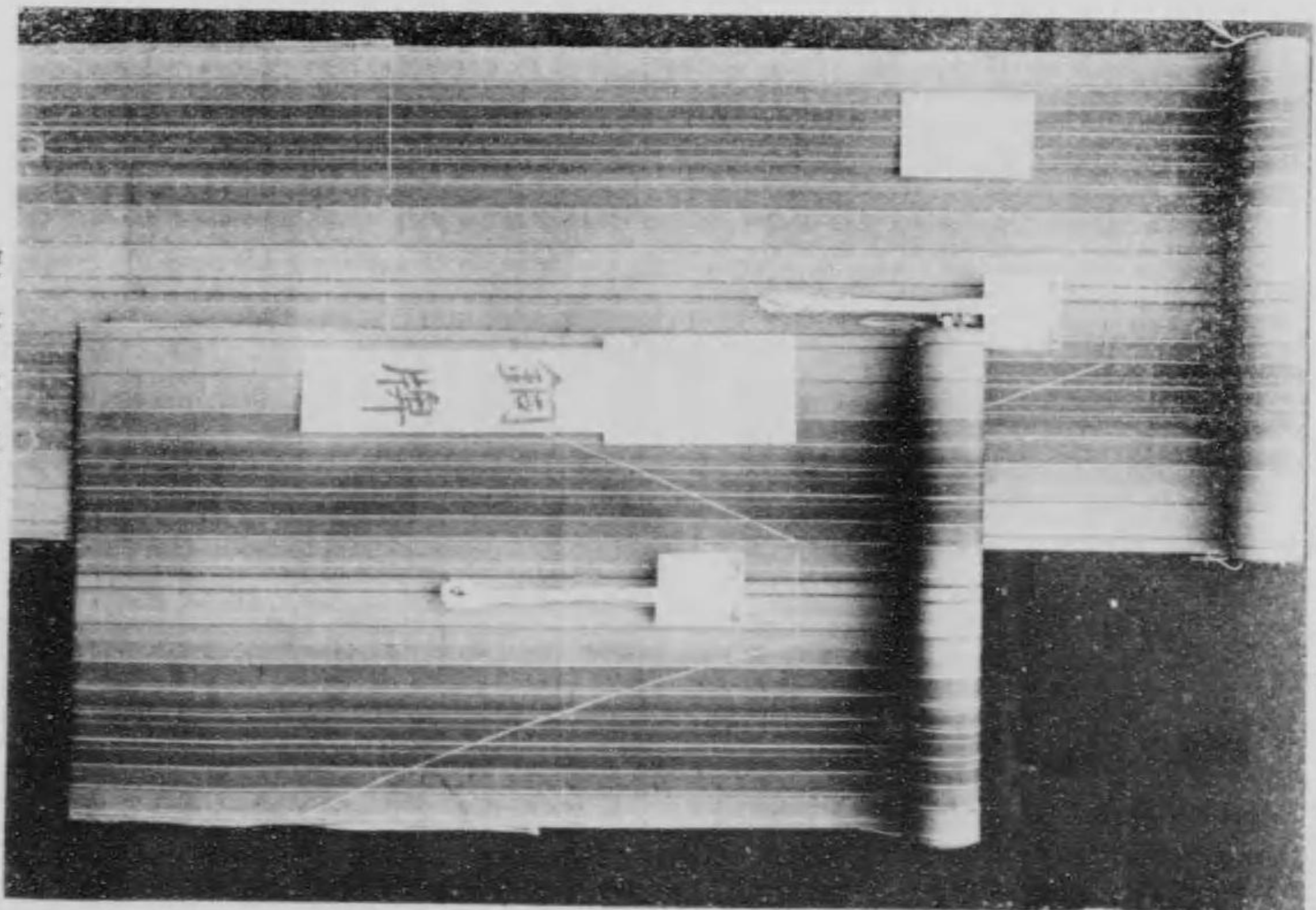
氏は伊勢崎各種の製造家として知らる、東部機業組合の幹事として機業界に貢獻するところ少なからず、氏も亦た優品主義者にして常に製品の改善に努力す。今回平和博に出展せるものゝ如き其の柄に於て染色に於て寧ろ銀牌受領品を凌駕せる感なき能はず、銅牌の入賞公平ならずとさへ傳へらる。



町崎勢伊縣馬群  
社合式株物織毛上



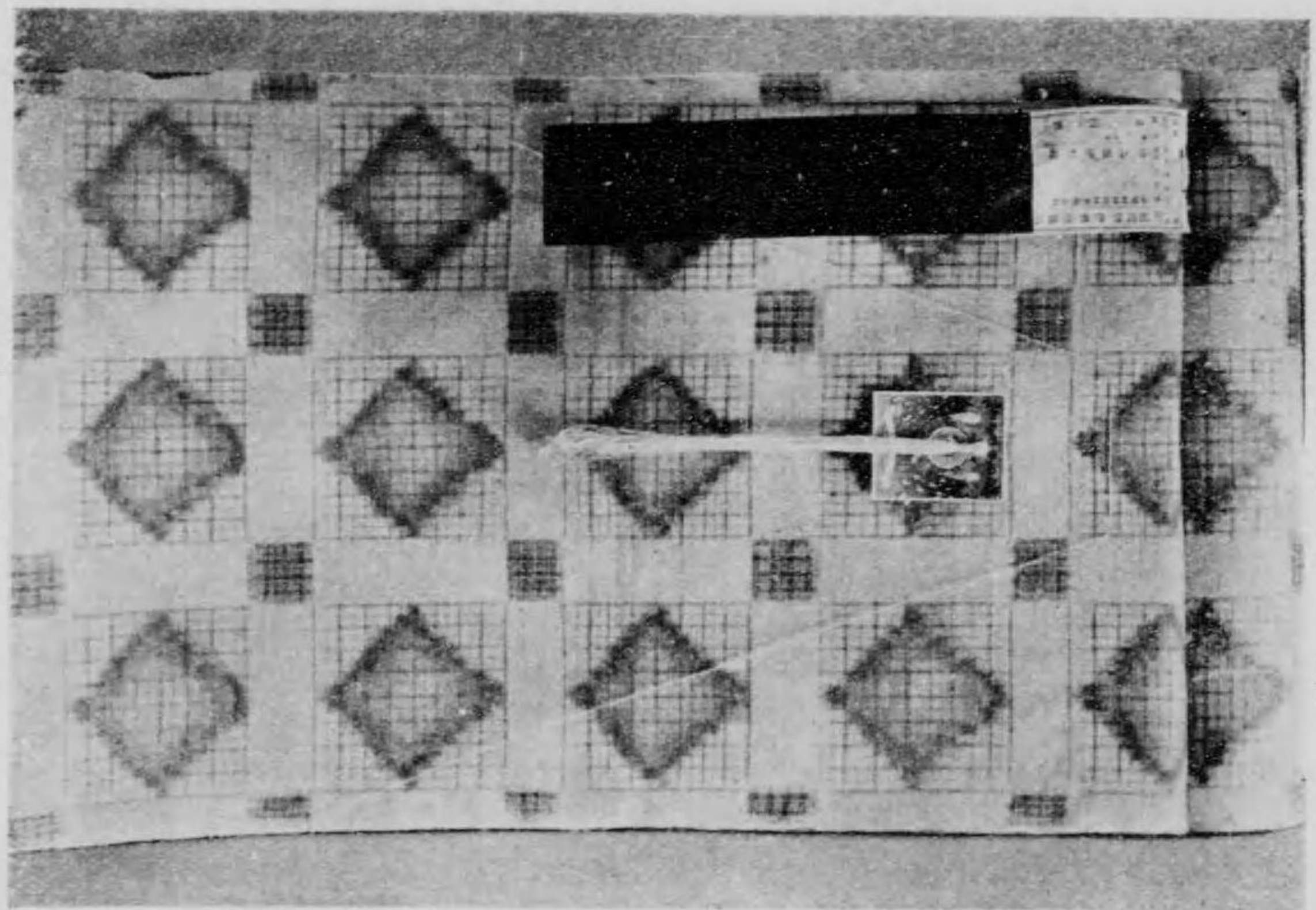
館織染場會一第



町崎勢伊縣馬群  
社合式株物織毛上

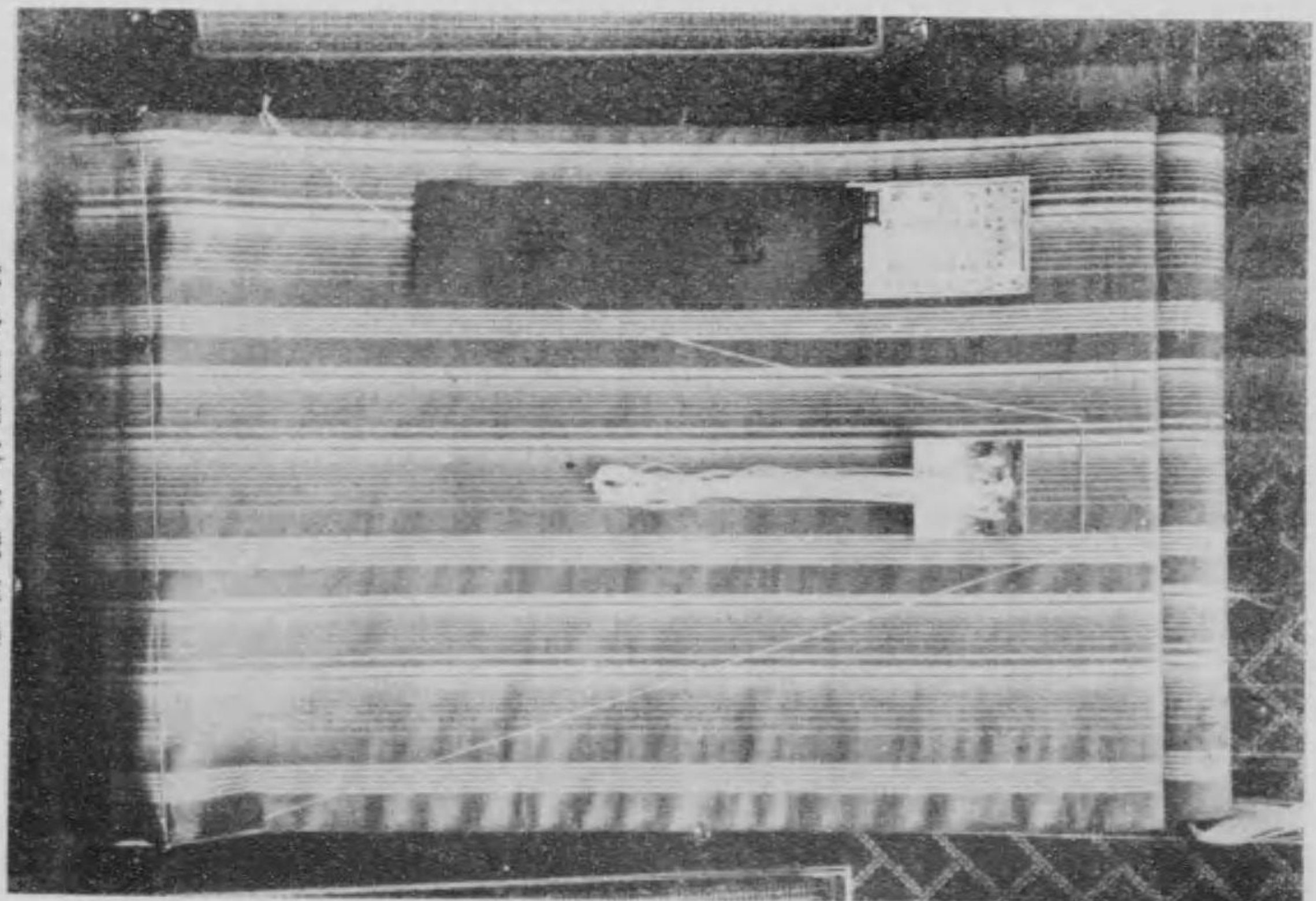


館織染場會一第



町崎勢伊縣馬群  
氏古藤垣坂

館織染場會一第



村志剛郡波佐縣馬群  
氏平善原石



一、出品者  
一、所在

伊勢崎織物株式会社  
群馬縣佐波郡伊勢崎町

電話二十八番  
電略(イセ)

前記の如く伊勢崎織の首府ともいふべき伊勢崎に存在する株式会社にして現社長は下條好雄氏事務取締役は新井精四郎氏なり。創業以來社運頗る順調に進み、今や兩毛機業界に於ける三大織物會社の一たるを失はず、株主の多くは斯業に豊富なる經驗を有する機業家にして鋭意伊勢崎織の發展に努力しつゝあり。

一、出品者  
一、所在

金子仲次郎  
群馬縣塙町

氏は群馬縣塙町に於ける機業家、否伊勢崎織物同業組合員中に於て最も新なる織物製造者として知らるる。氏は縣立工業學校の出身にして資性頗る濃厚、亦着實機業界の先進者として特殊織物の製造に技巧を有す曾て三越の注文に應じて織出したる袴地三樂平(雨に逢ふも縮まぬ御召)の如きは好評噴々たるものにして今回平和博に對しても亦袴地を出品せり。是れを以て氏の作品は殆んど三越呉服店の特約品たり。染色の堅實を以て社會に信用を博せる伊勢崎織物にして技巧の優秀たる氏の作品は織物界に特異の地位を擲得て注文殺倒の盛況を呈せり。氏年齒而立を出づる事僅々而かも模範的青年機業家として多大なる將來を囑望せられつゝあり、而かも氏事に處して用意周到苟も輕率冒動を敢てせず、一步より二歩と堅實なる基礎を築きて怠りなし故に青年機業家中の白眉として多大の信用を有す。

一、出品者

永仙合名會社  
栃木縣足利市大町

電話二三〇番

代表者 永井仙太郎  
大島耕、高等裕衣地

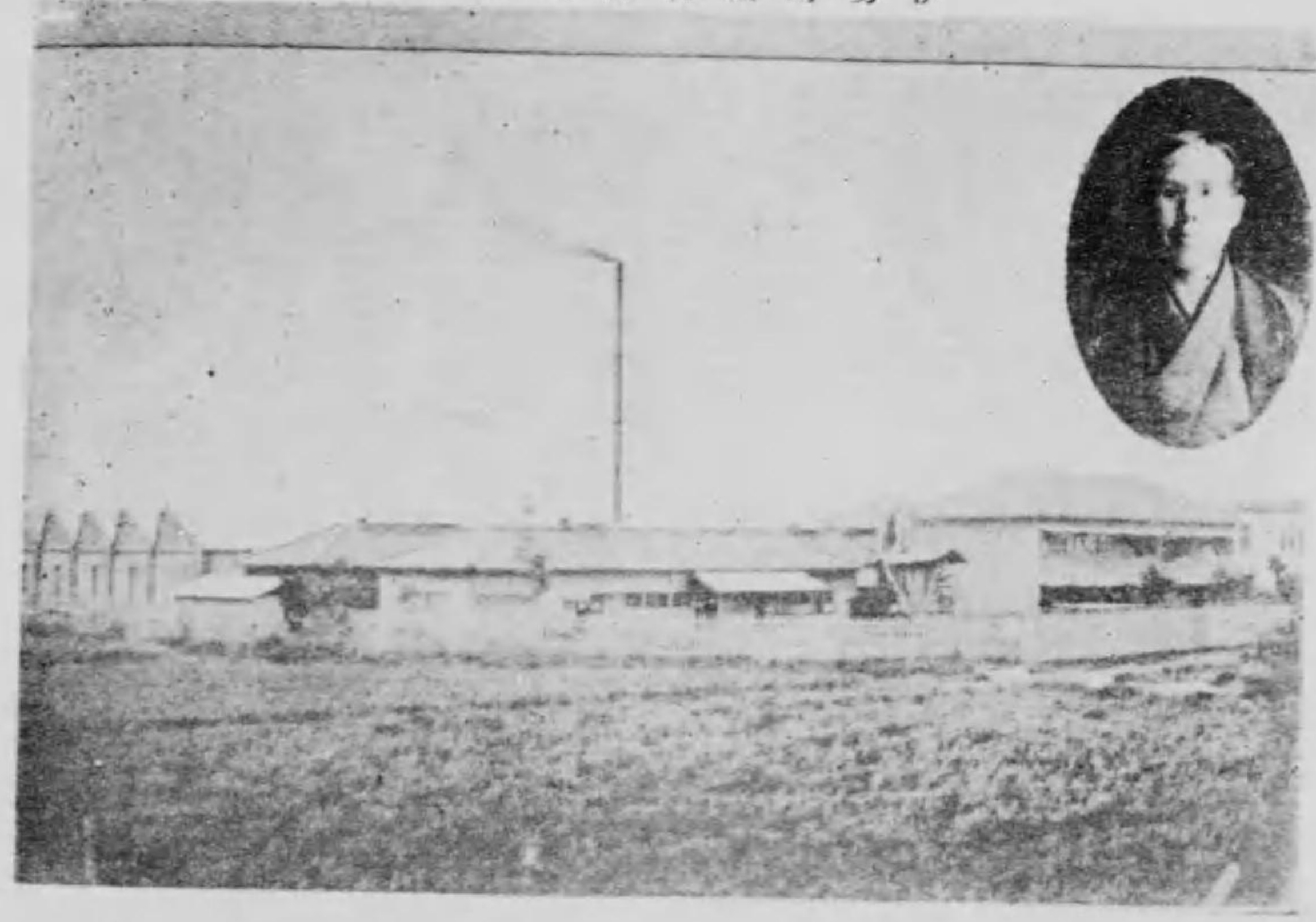
一、營業 登錄奧綾織、同花形銘仙、同永仙耕、大島耕、高等裕衣地製造元

一、創立 明治二十年

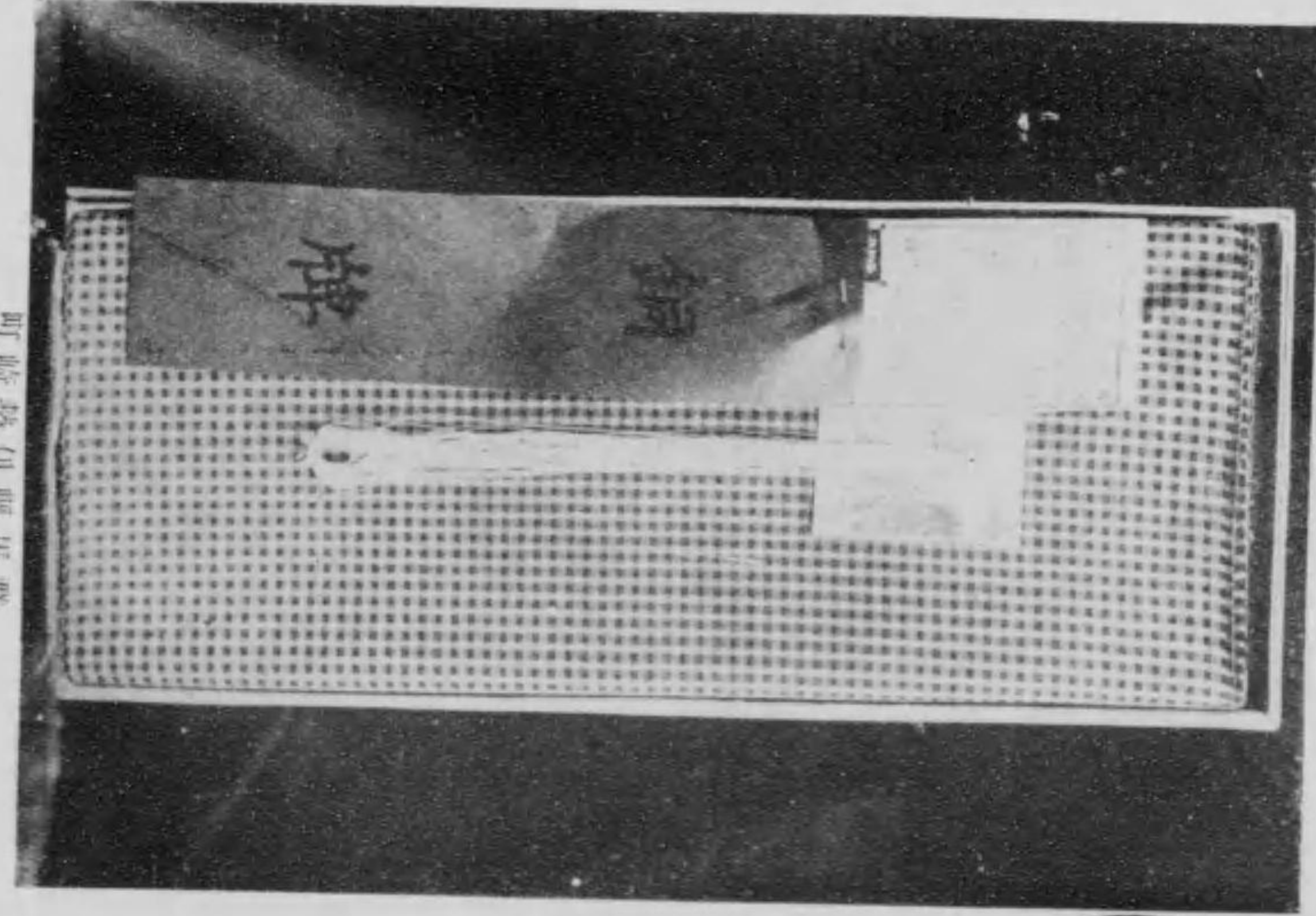
足利町織物界の權威として知らる、其の取引先は広く東京、名古屋、大阪九州、中國に亘る、各種博覽會共進會に於て金牌を、大正博に於て同じく金牌を受領す、永井氏は斯界の論客にして斯業に關する論議少なからず、殊に織物を基礎として見たる將來經濟界の趨勢を論ずるに至つては氏獨特の壇上にして斯界の一人者たるを失はず。

永仙合名會社は明治二十年の創設、取引先は全日本に及び殊に東京、名古屋、大阪、中國地方を主たるものとす。

町勢伊縣馬群  
社會式株物織勢伊

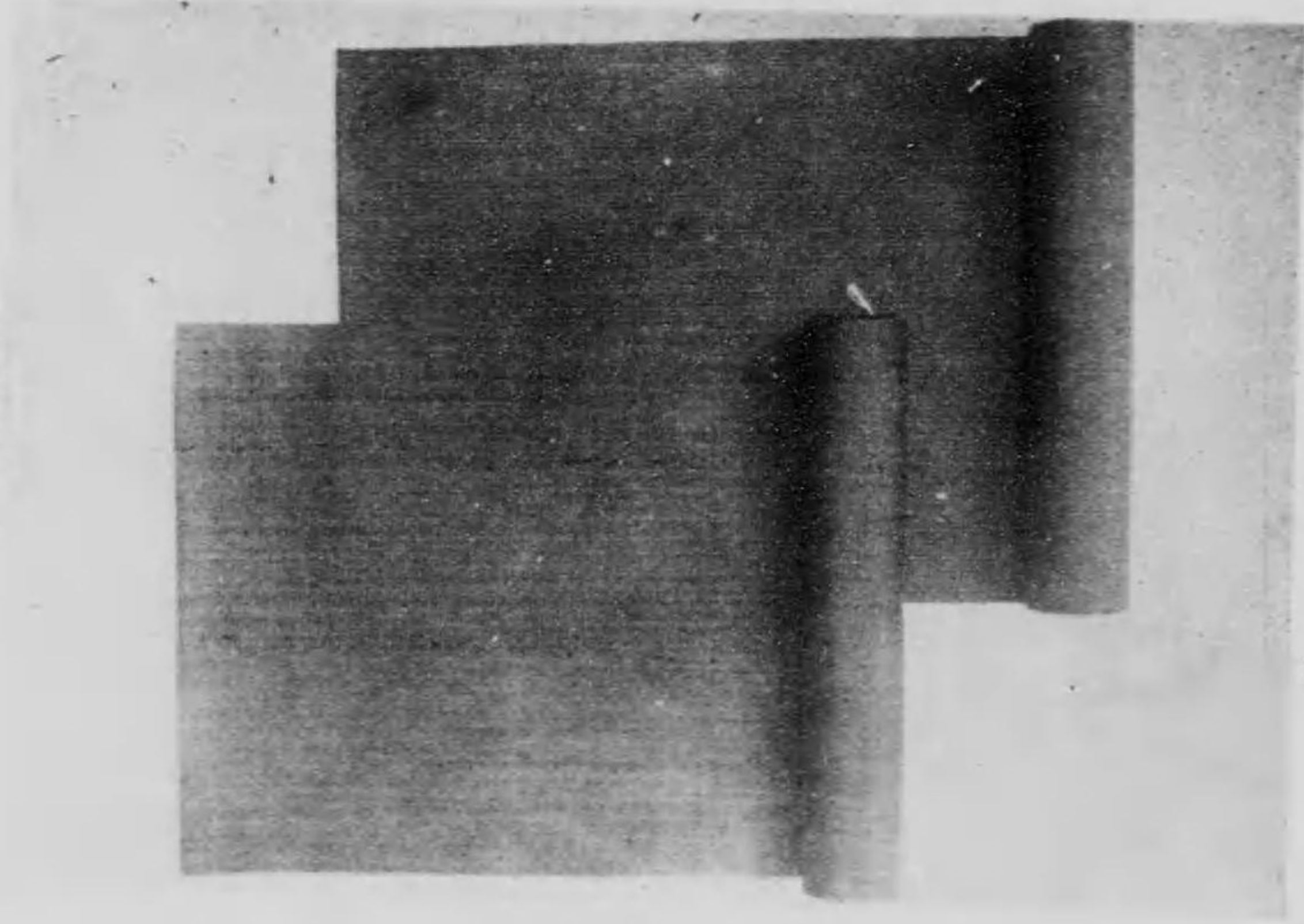


館織染場會一第



町勢伊縣馬群  
場工社會株物織勢伊

館織染場會一第



町境縣馬群  
氏郎大仲子金

館織染場會一第



町大市利足縣木柄  
社會名合仙永

群馬桐生市大字今泉町  
森山文三郎

一、出品者  
一、營業 輸出絹織物  
一、明治二十九年の創業にして輸出絹物業者として知らる、君資性温良にして篤實、圓滿にして大量あり、海外輸出織元として資格充實す、今回初めて平和記念博覽會に出品す

菊地順之氏  
群馬縣佐波郡茂呂村

一、出品者  
一、所在  
一、營業 伊勢崎編及大島耕珍柄各種製造  
伊勢崎織物の今日織維工業的地歩の確定に至れる迄の苦心慘憺たる歴史は織物界の上に意義ある光彩を放ちつゝあり。然して伊勢崎織物をして今日に至らしめたる二大功勳者を撰ぶ時は何人も其の開拓者の使命の下に活動せる故下條彌一郎氏及び現伊勢崎織物同業組合長菊地順之の兩氏を擧げざるべからず、氏の組合長に撰ばるゝ事數回、其間必死の勢を以つて製品の改良、販路の擴張に従ひ、亦染色の研究、技術の進歩に銳意し。今日の如く伊勢崎織の隆盛を來さしめたる功蹟没すべからざる也。伊勢崎織は實に下條氏によりて開拓せられ氏によりて成長したりといふも過言にあらず、氏個人の營業としては伊勢崎織及大島耕珍柄各種製造元にして、大正三年東京大正博覽會に於て二等賞受領、大正四年大正大典紀念京都博覽會に於て銀牌受領、大正八年全國染織工業博覽會に於て金牌受領、今回平和博覽會に於て再び金牌を受領せり。

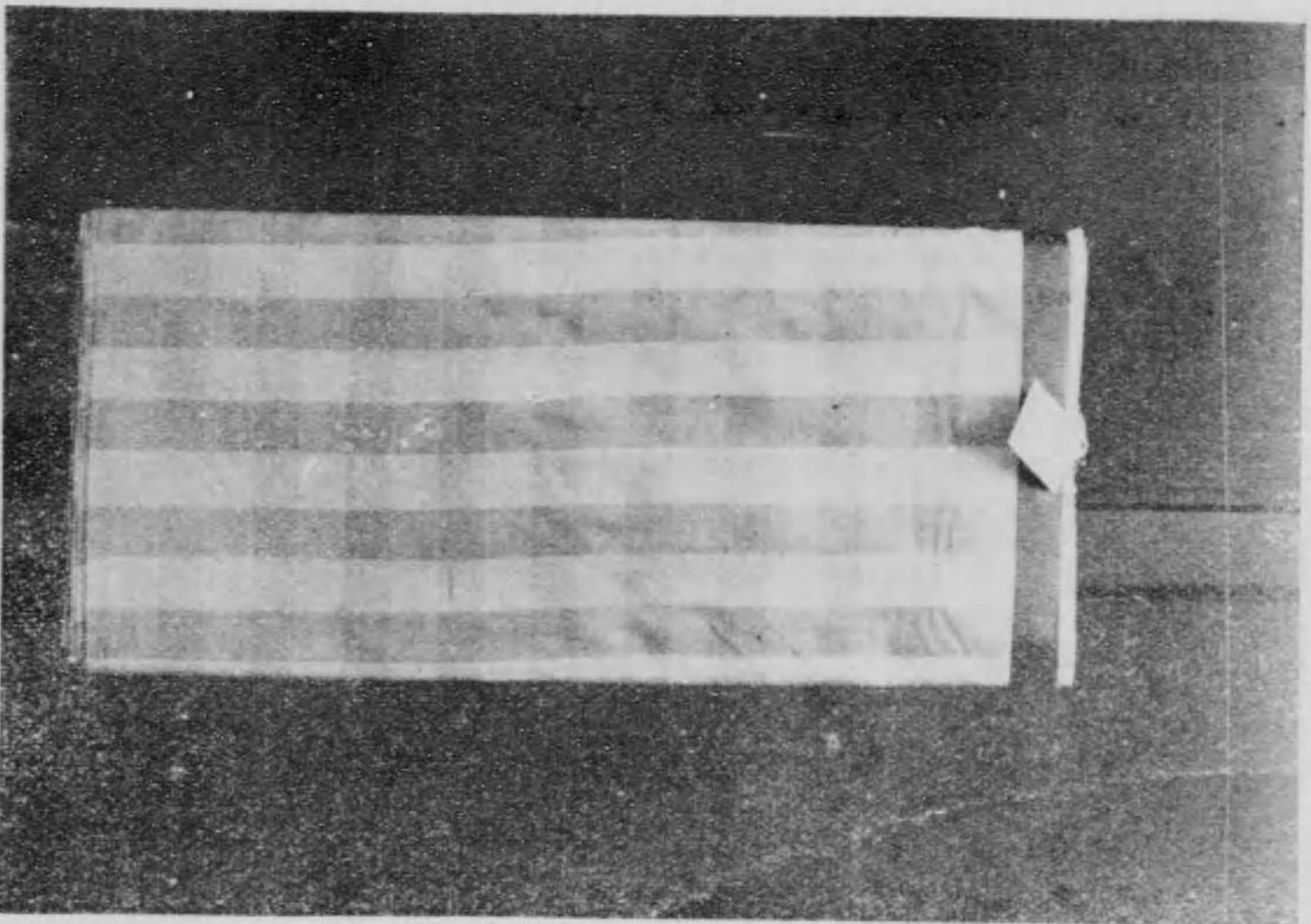
吉野鷹藏氏  
群馬縣境町

一、出品者  
一、所在  
氏幼時家貧にして纔に薪炭の業を營みつゝありしが青年の頃より小資本を以つて機業を開始し、勤儉力行經營慘憺あらゆる世路の風浪と戦ひ、逐次事業の發展に努め遂に伊勢崎織物同業組合機業家中の第一人者となり、現に組合副組長、東部機業會會長に推選せらる、其製産高一ヶ年二萬疋以上に達し機業家中の新記録を開きたるもの君の手腕の凡ならざるを窺ふに足るべし超越せる頭腦と、稜山倒海の勇とを以つて、高低常に側り難き業務に處して泰山の礎を築きたるもの如何に老練にして且つ機才縱横なるかを知らざるところを得べし而して氏の特長は其の英斷にあり。逡巡は氏の甚だ執らざることを失はず。熱慮勇斷は氏の或一面を語る、機業界立志傳中の第一人者たることを失はず。

白石機業店主 白石海氏  
群馬縣佐波郡伊勢崎町

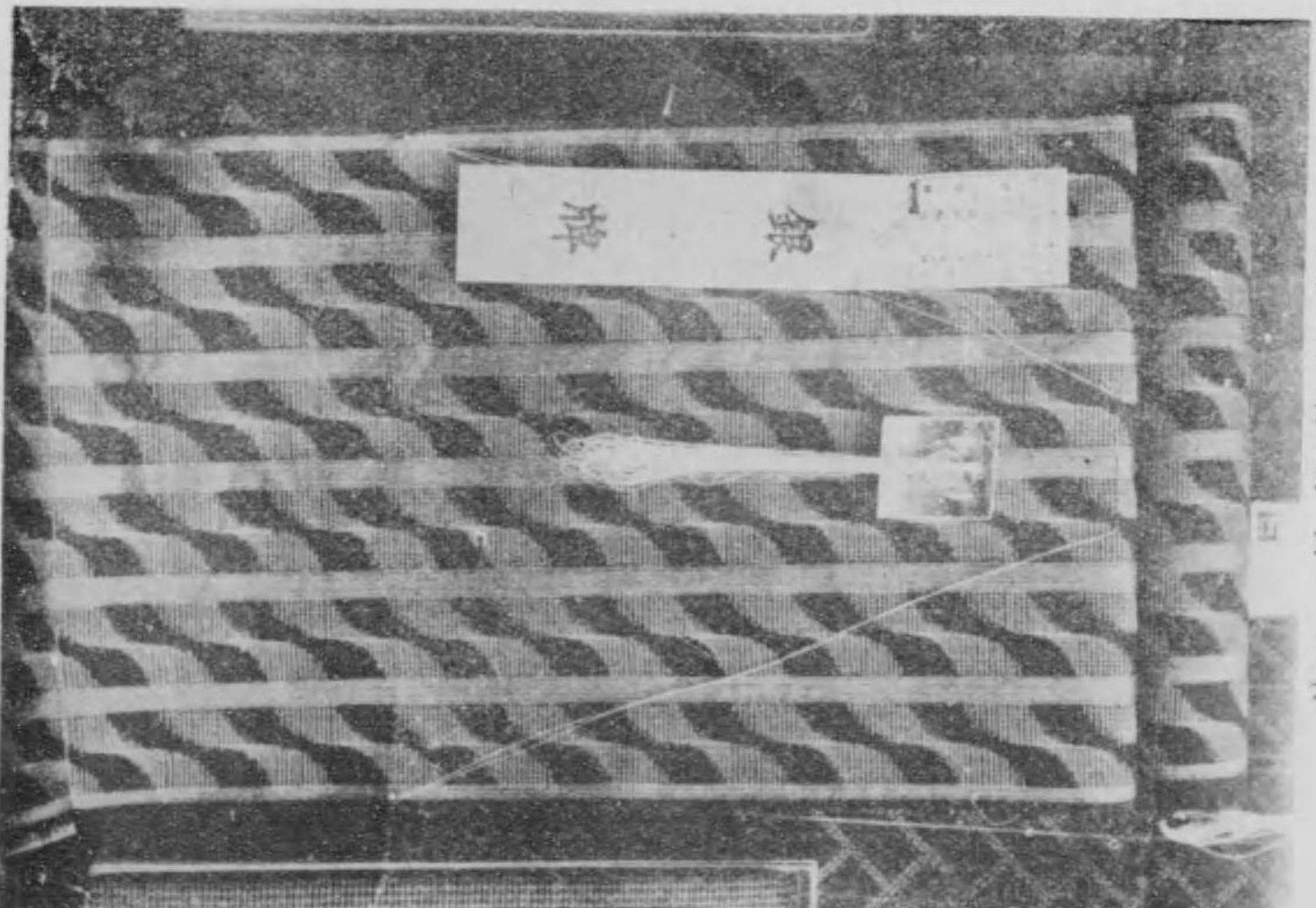
一、出品者  
一、營業 伊勢崎織珍柄縞子文化織製造元  
白石の文化！ 此一語を以つて今や江湖其の嶺新なる特長を認む。東部は白木屋の階上に於て氏の製品常に超然として群を抜けり。文化博覽會に於て感謝狀、第五回特選新柄陳列會（白木屋主催）に於て紀念品、日本全國染織研究會（稻西合名會社主催）に於て賞牌十五個、其他品評會競技會等に於て一等賞を受領し東京平和博覽會に於て銀牌を受領す

館織染場會一第



町泉今市生利縣馬郡  
氏郎三文山春

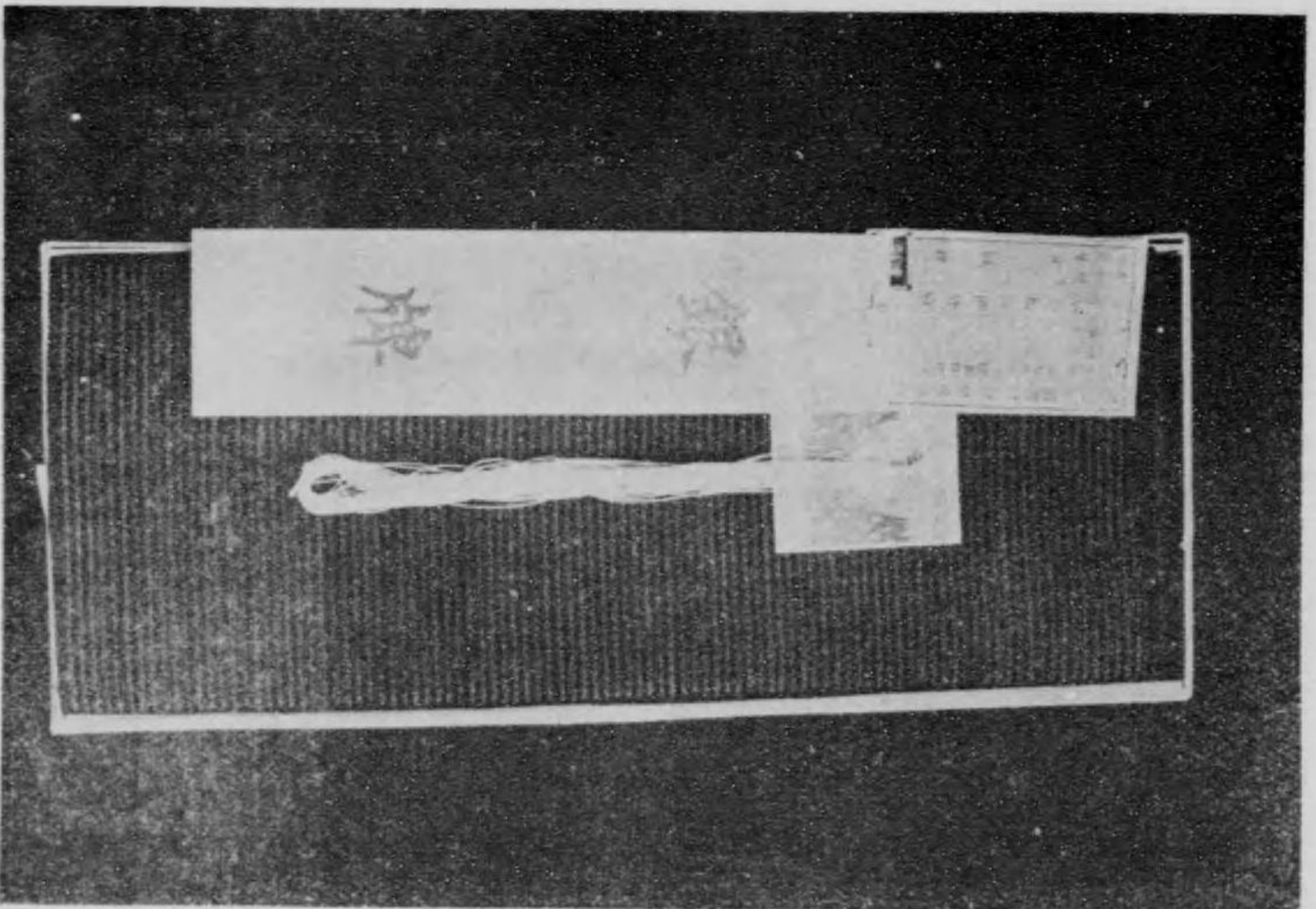
館織染場會一第



町崎勢伊縣馬郡  
氏之順池菊

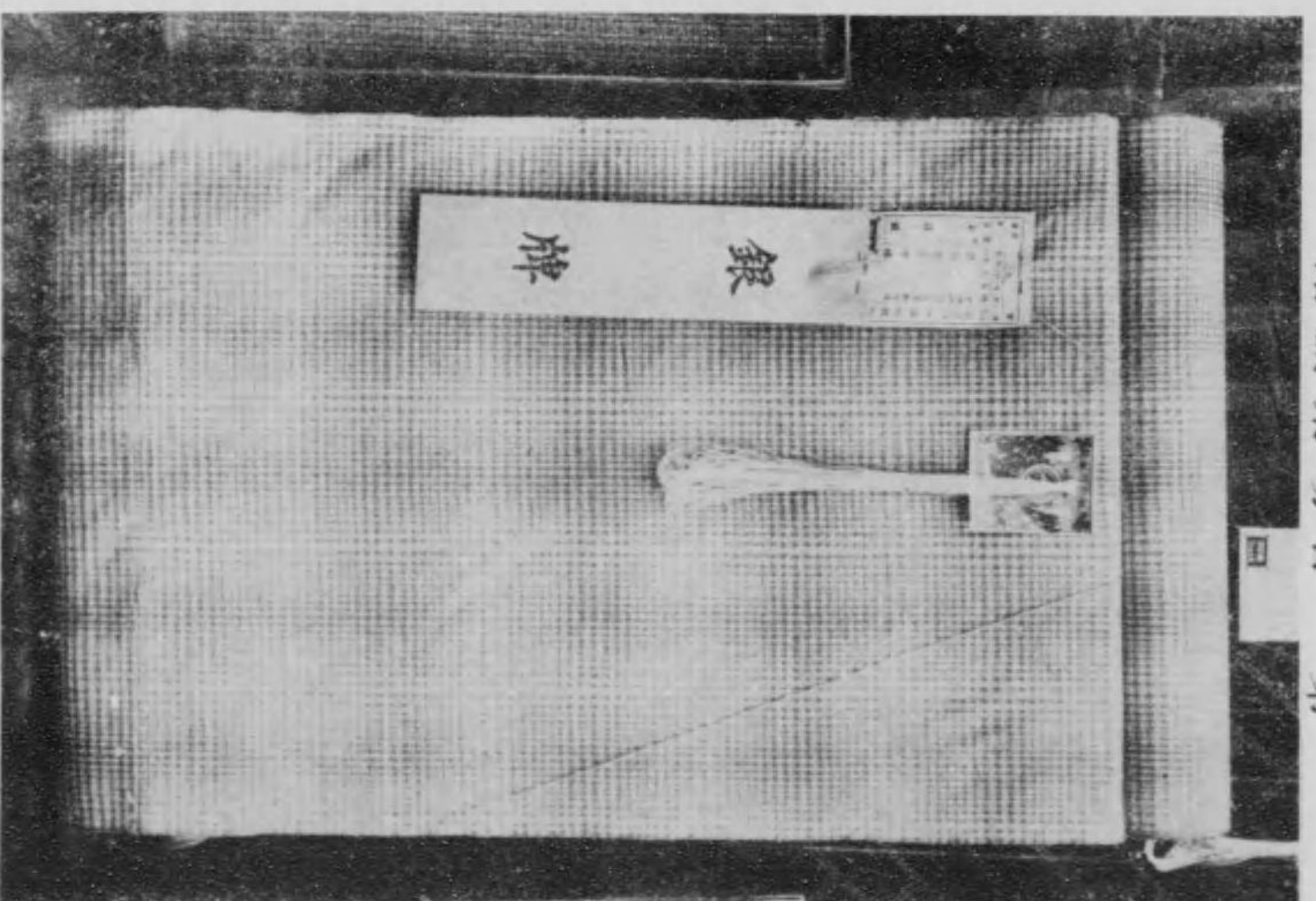


館織染場會一第



町崎勢伊縣馬郡  
氏慶野吉

館織染場會一第



町崎勢伊縣馬郡  
氏海石白

一、出品者

勝山益太郎氏  
群馬縣前橋市

一、所在

一、營業 節糸織工場主

氏は空拳赤手。赤身裸々の境地より崛起して、關東織物界に出現せる巨人也。氏が何等の經驗と何等の資本なくして斯界に身を投ぜるは今を去る二十餘年前即ち明治三十八年にして前橋市は將來地勢上一大機業地なる事を看破し即ち自ら草分けとなり幾多難關を突破し明治四十四年卒先力織機工場を建設し節糸織の生産をなし製品統一し各集散市場より勝山節の稱を受け遂に群馬一帯生産高の約四割五萬疋を産出し伊勢崎、足利、桐生の同業を壓倒し破竹の勢を以つて新機業を實現し四周の機業家をして一大敵國の感を深からしむるに至る。

想ふに氏の成功には種々の原因あるべしと雖も未だ本邦内地の機業家が固陋にして力織機に對する理解なき時に際し、奮然これを採用し遂に力織機活用の嚆矢者たりし點にありと信ぜらる。又た氏が前橋市が水利の點に於て、交通の便に於て關東一の機業地たることを看破して根據地にしたる點も亦た今日ある上に重大の要素たるべしと信ず。

氏の如きは一技術家一機業家にあらずして機業政治家といふを妥當とすべし其の行動には常に偉大なる意義の隨伴を見る。

氏常に語りて曰く、大生産主義の工業に於ては人を分けるといふ事に着眼する事緊要也。機屋、糸屋、染料屋といふやうに種別し適材適所主義によりて使備し活用するに於ては事業如何に複雑なりと雖も完全なる業務を経營し併せて最高の能率を擧ぐるに苦しまざるなり」と。

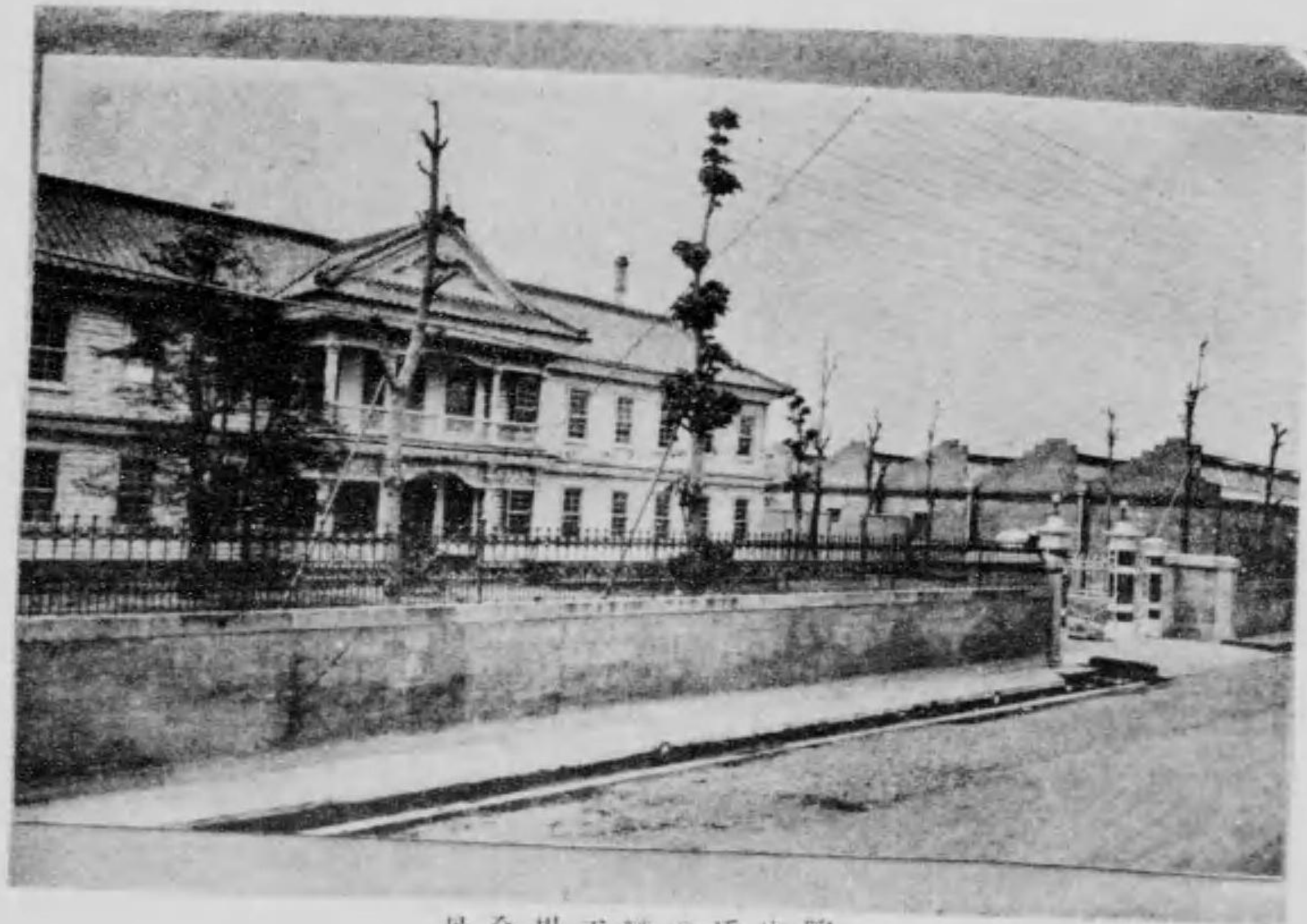
氏は機業に依りて成功すると共に、前橋市會議員に擧げられ又伊勢崎織物同業組合顧問として盡力す氏潛かに前橋市の爲めに將又社會の爲めに曩きに商業學校を起し今又工業學校の創設を企て奔走しつゝあり、常に苦學生の爲めに私財を投じて提擧を怠らざる等郷黨の爲めに貢獻するところ甚だ多し將さに立志傳中の好目標たるを失はず。

一織機、二百臺

一、大正四年大典記念京都博覽會に於て銀賞受領

一、大正八年全國染織工業博覽會に於て金賞受領

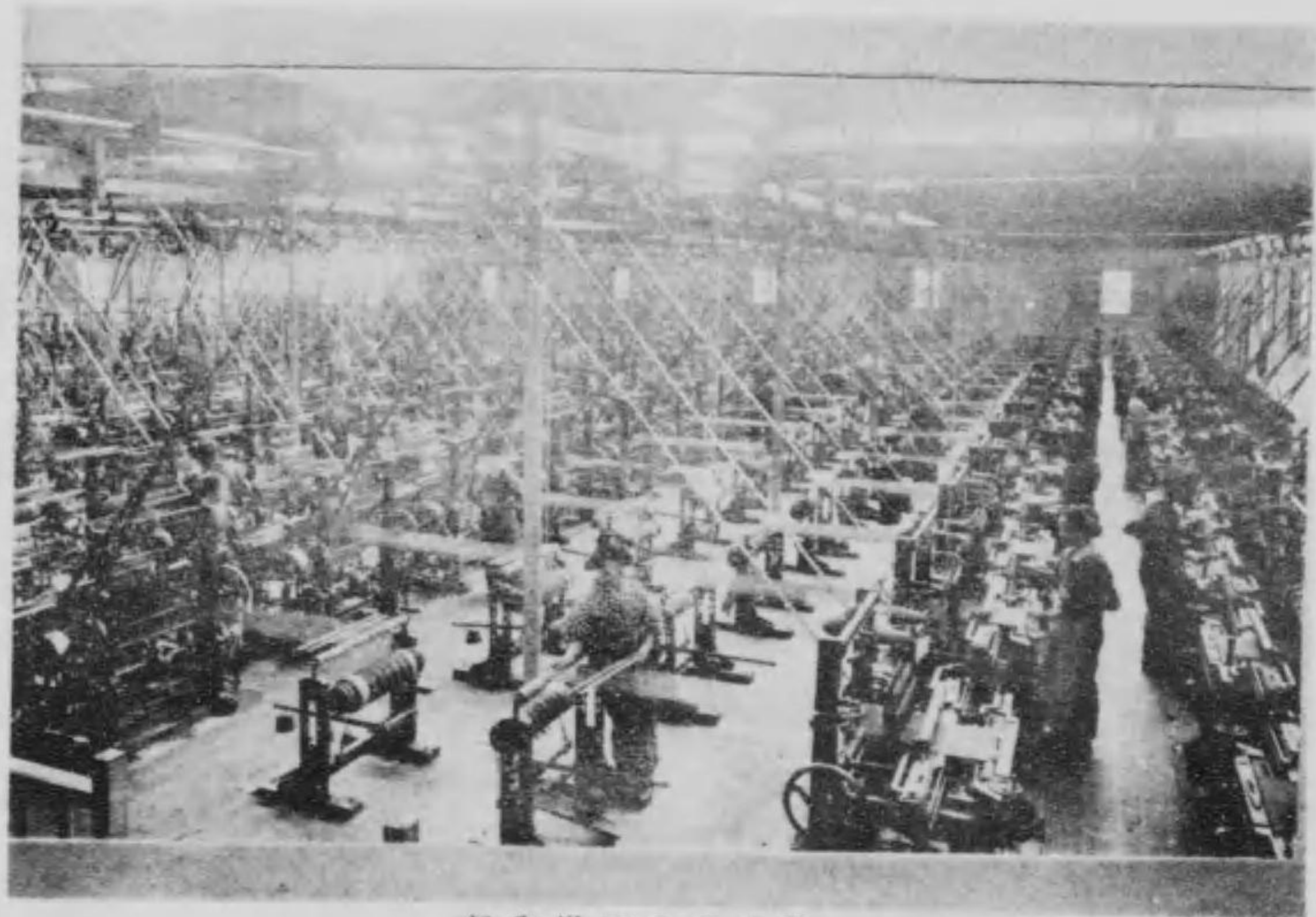
一、東京平和博覽會に於て金牌受領



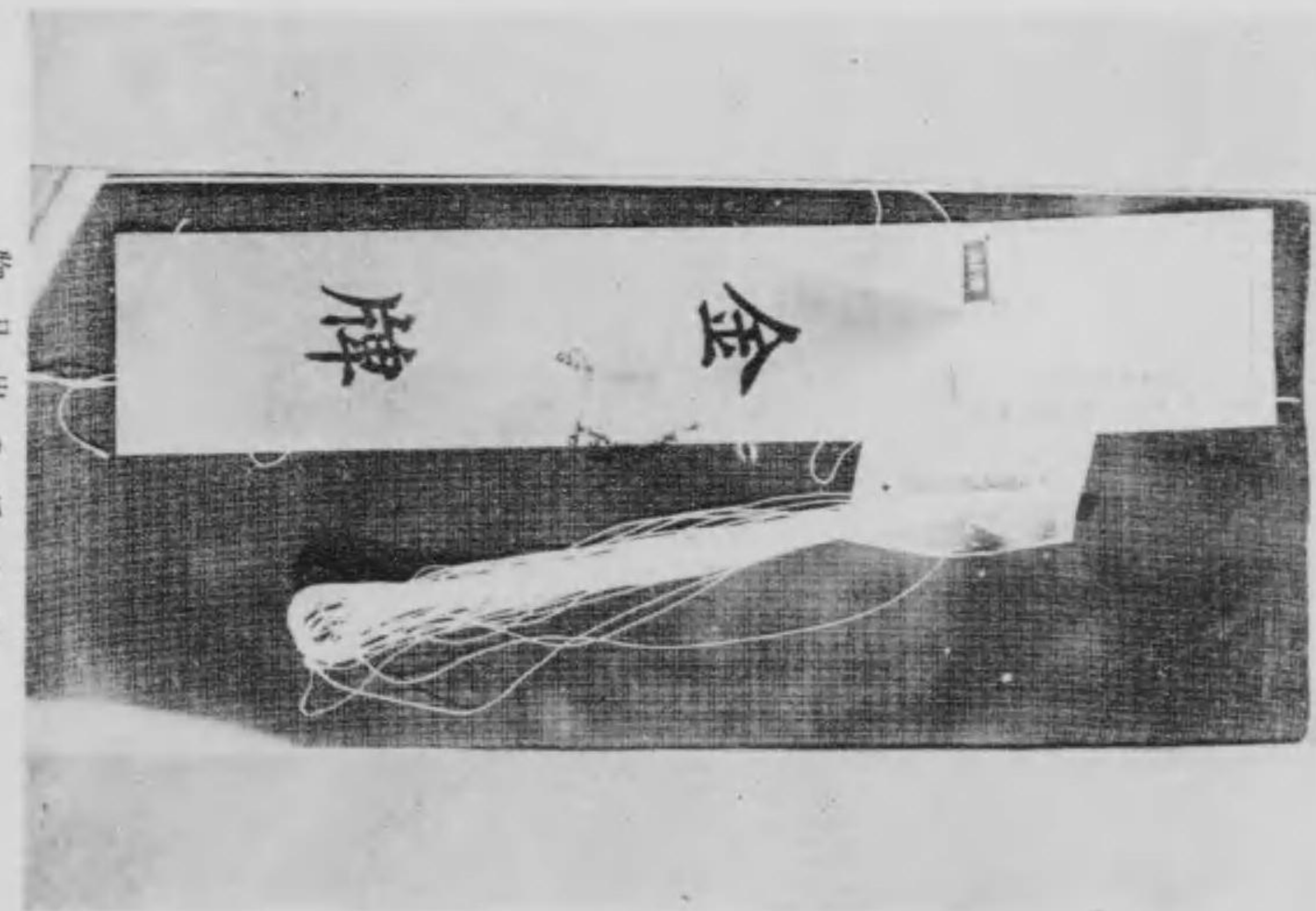
勝山氏の絨工場全景



群馬縣前橋市  
勝山太郎氏出品物及工場光景



勝山氏の工場内部



勝山氏の出品物

第一會染織館

一、出品者  
一、所在  
平藤合名會社代表平田藤次郎  
群馬縣佐波郡豐受村  
一、營業  
伊勢崎大耕解織珍柄製造元  
氏は青年機業家にして尤も將來を嚆望せらるゝ一人也。今般伊勢崎織同業組合評議員に列し今後國産の爲めに大いに努力するところあらんとす。氏の小供用大耕は實に他の模倣を許さざる柄柄にして而かも是れに慢心せず常に改善を圖り大島耕有信會を組織し其の會長に推され製品の進歩を計畫す。機業界新人の一人也。大正三年東京大正博覽會に於て一等賞受領大正四年大典記念京都博覽會に於て銀賞を受領、今回の東京平和博覽會に於て銀牌を受領す。

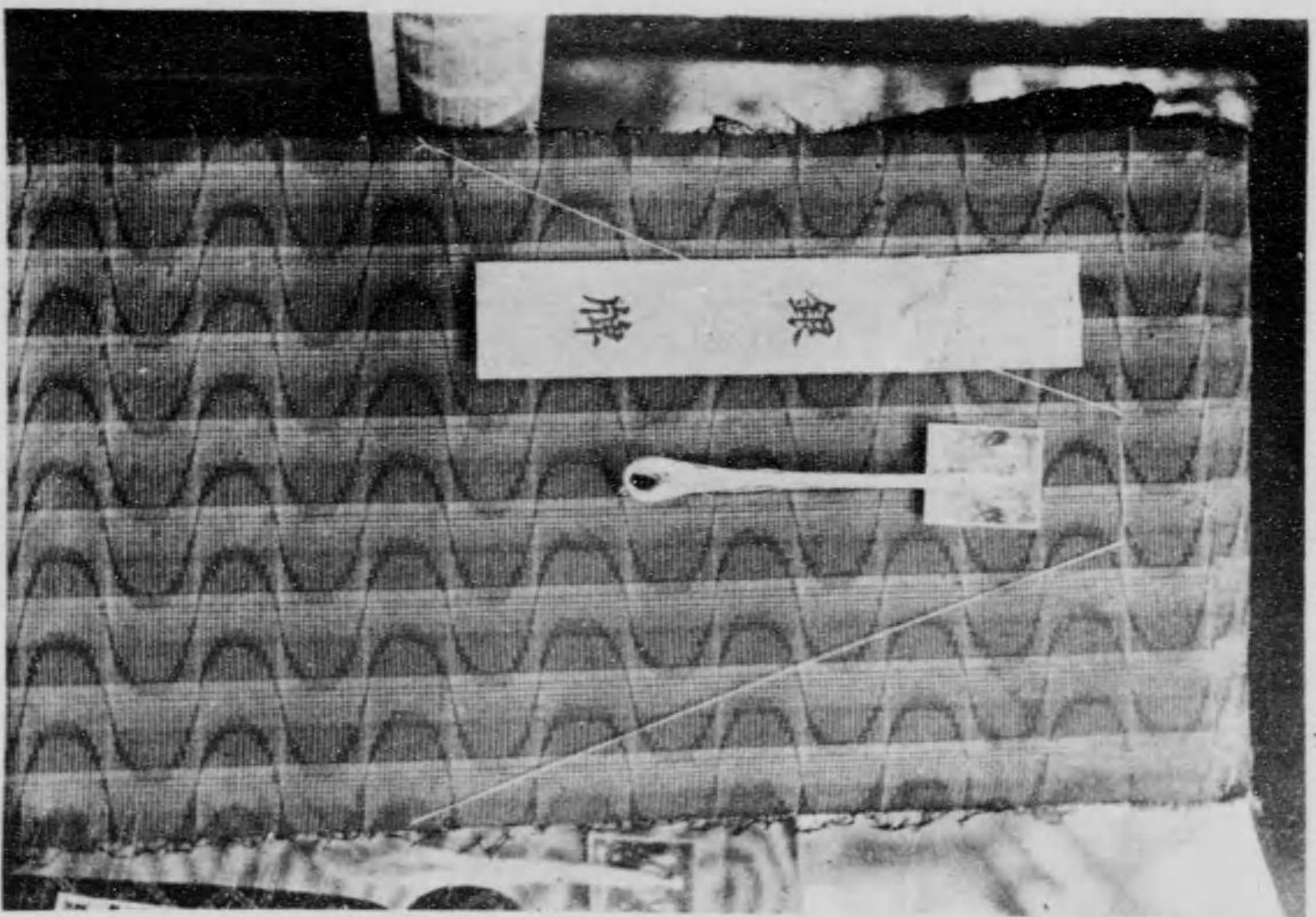
一、出品人  
一、營業  
伊勢崎銘仙織物珍柄織元  
氏は伊勢崎織物界の尤も少壯人物、常に新人として機業界に貢獻す。明治三十二年の創設にして大正四年大典記念京都博覽會銅賞受領、今回の平和紀念東京博覽會に於て銀牌を受領す  
井下合名會社代表者 井下辰雄氏  
群馬縣佐波郡殖蓮村  
電話二二四番

一、出品者  
一、所在  
小此木兄弟商會は伊勢崎大耕製造元として知らるる經濟界の如何に依つて機業の大勢に多大の影響を見る今日に於て小此木商會の工場のみは何等財界の影響を受くるところなかりし氏は努力の人、奮闘主義の化身也、伊勢崎に往來するや必ず徒歩を以つてす、曾て車上の人たるを見ず、以つて氏の爲人を見るべし、其の營業振りを觀るに着實にして毫も虚飾なく、温良にして圓滿なる紳商也、常に伊勢崎の機業を奨勵して怠ることなし、國産の今日ある亦氏に負ふ所少なからず、曩きに大正三年東京大正博覽會に於て三等賞受領、大正八年全國染織工業博覽會に於て金銀賞牌受領、今回東京平和博覽會に於て銀牌を受領す、同會は明治二十二年の創設に係り大耕製造元として知らる。

一、出品者  
一、所在  
小此木兄弟商會  
群馬縣佐波郡豐受村



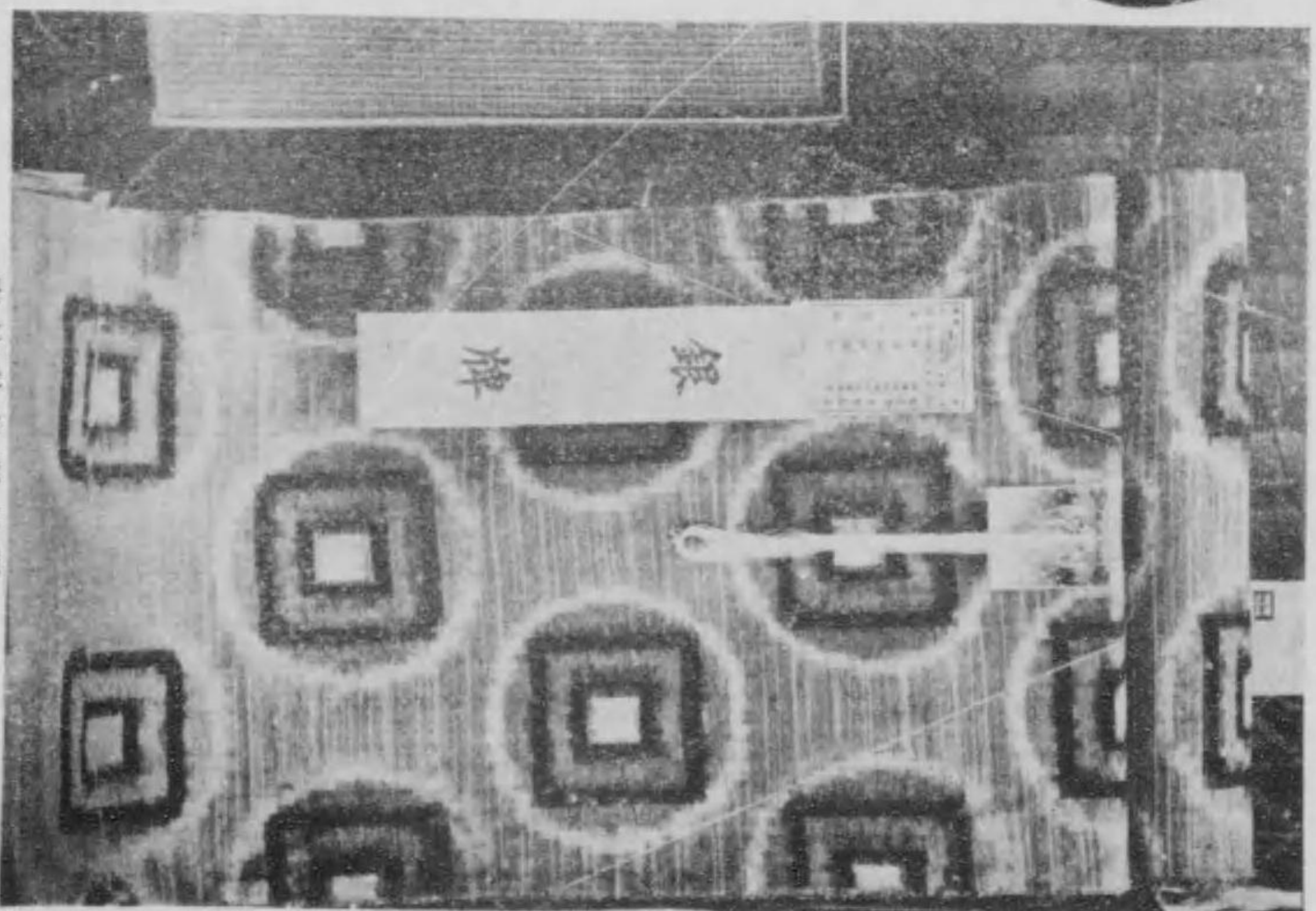
館織染場會一第



村蓮殖郡波佐縣馬群  
社會名合下井

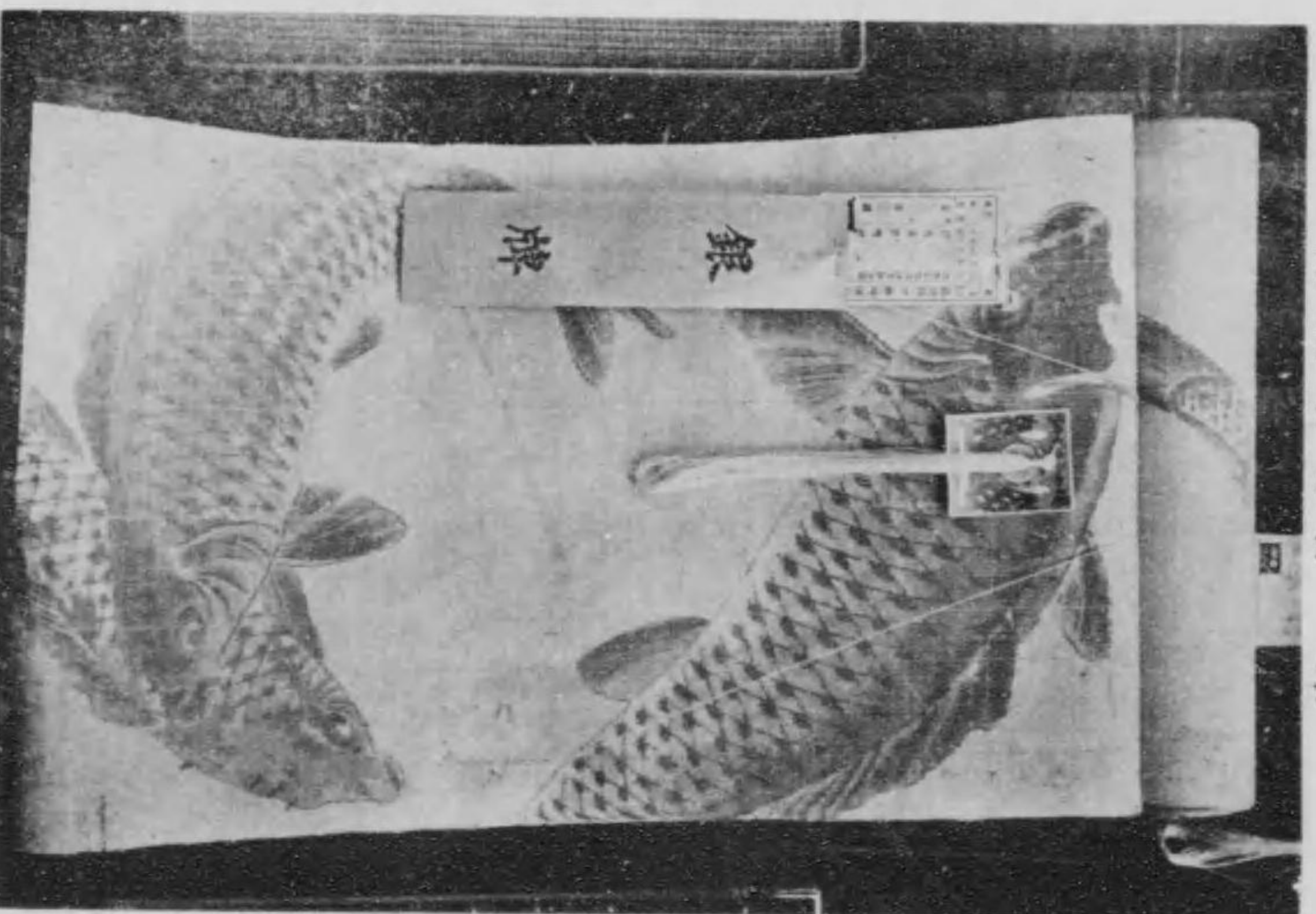


館織染場會一第

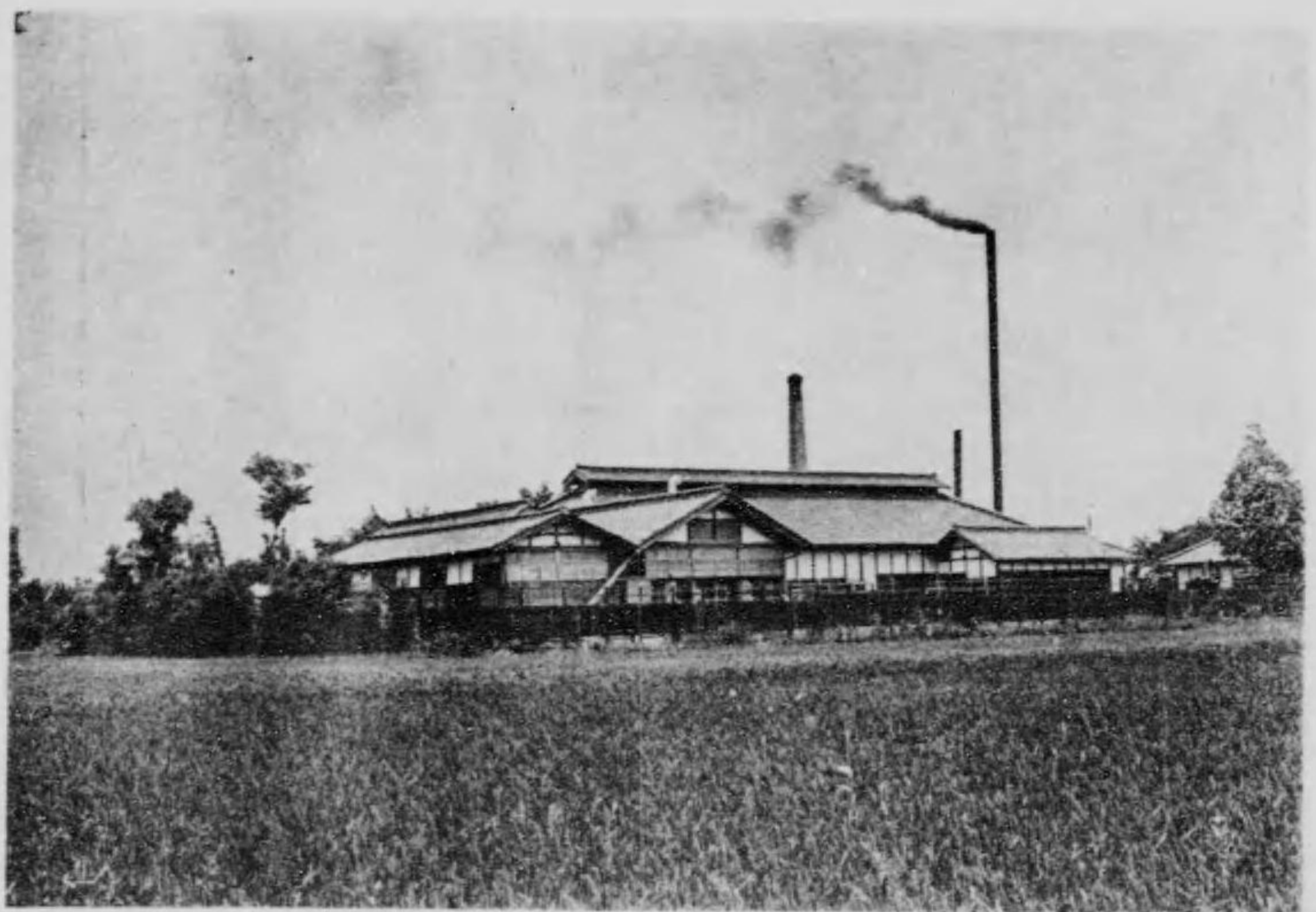


町崎勢伊縣馬群  
社會名合藤平

館織染場會一第



品出社會物織弟見木比小



村愛豐郡波佐縣馬群  
社會物織弟見木此小

水戸市下市

鈴木清三郎

東京市淺草區馬道町

東京輕便問屋  
大和屋 吉塚 常吉

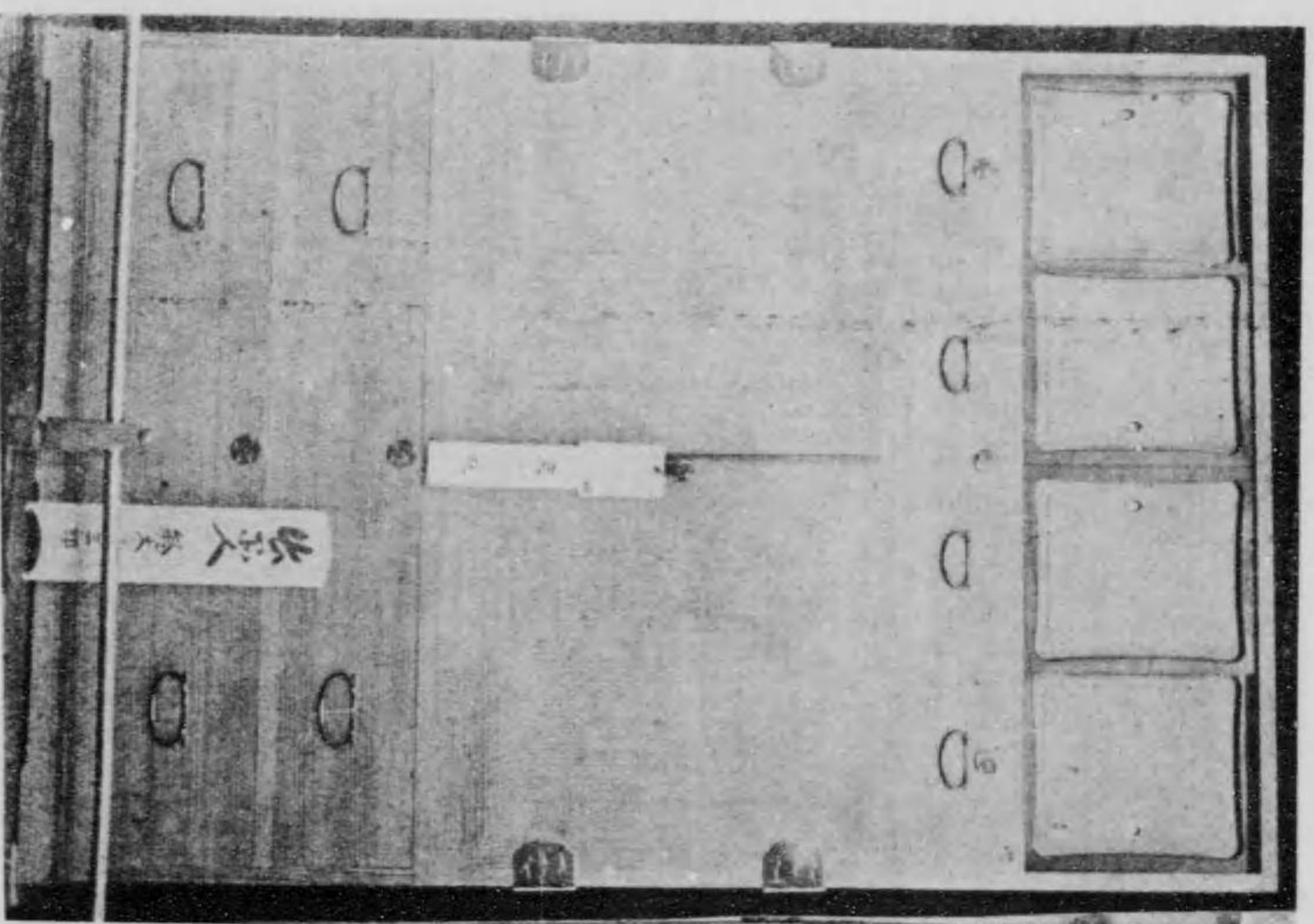
埼玉縣北足郡木崎村

石井武兵衛

茨城縣水戸市本町二丁目

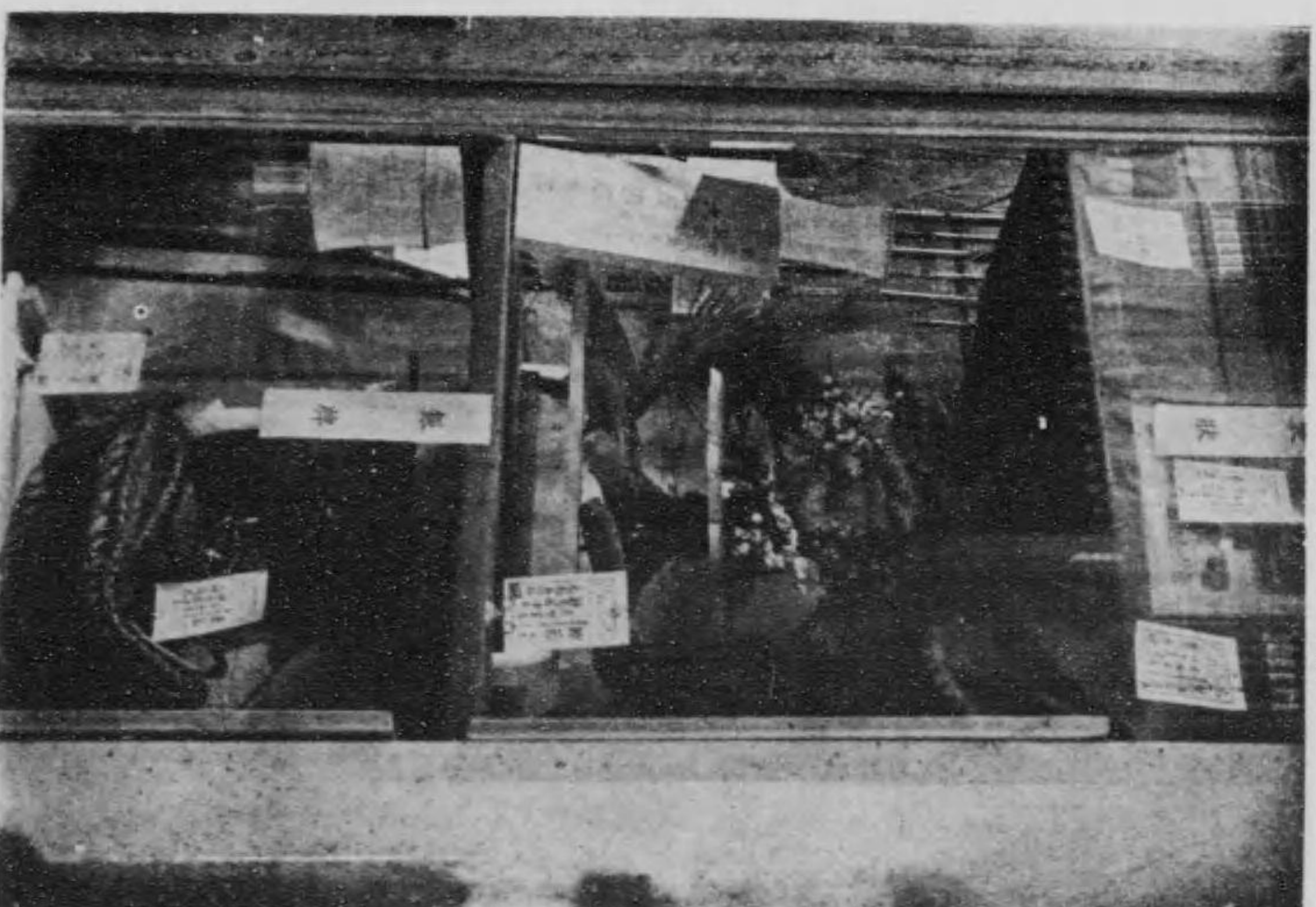
山城屋漆器店  
代表者 久保清吉

館築建場會一第



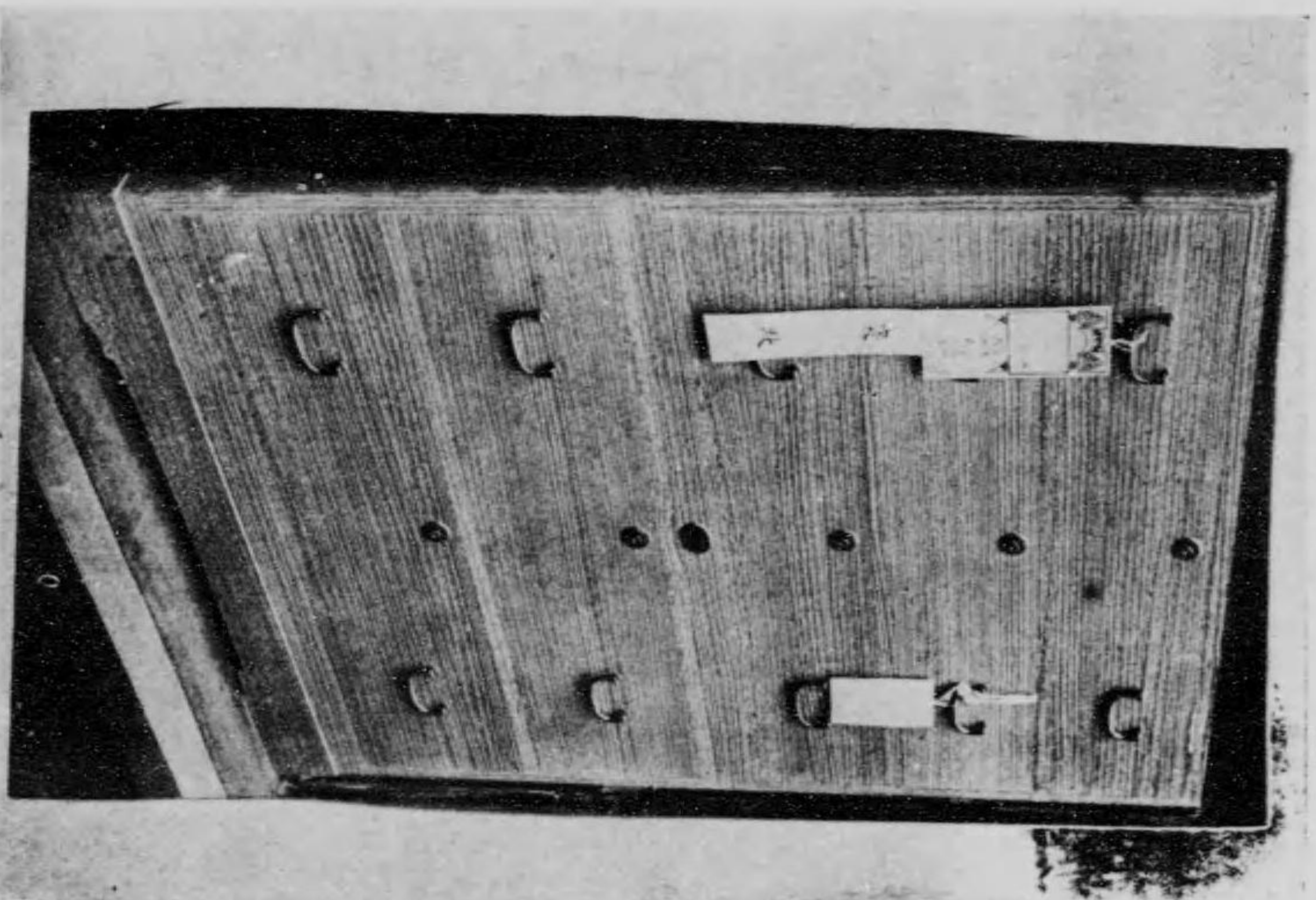
市下市戸水  
水氏郎三清木鈴

館料食場會一第



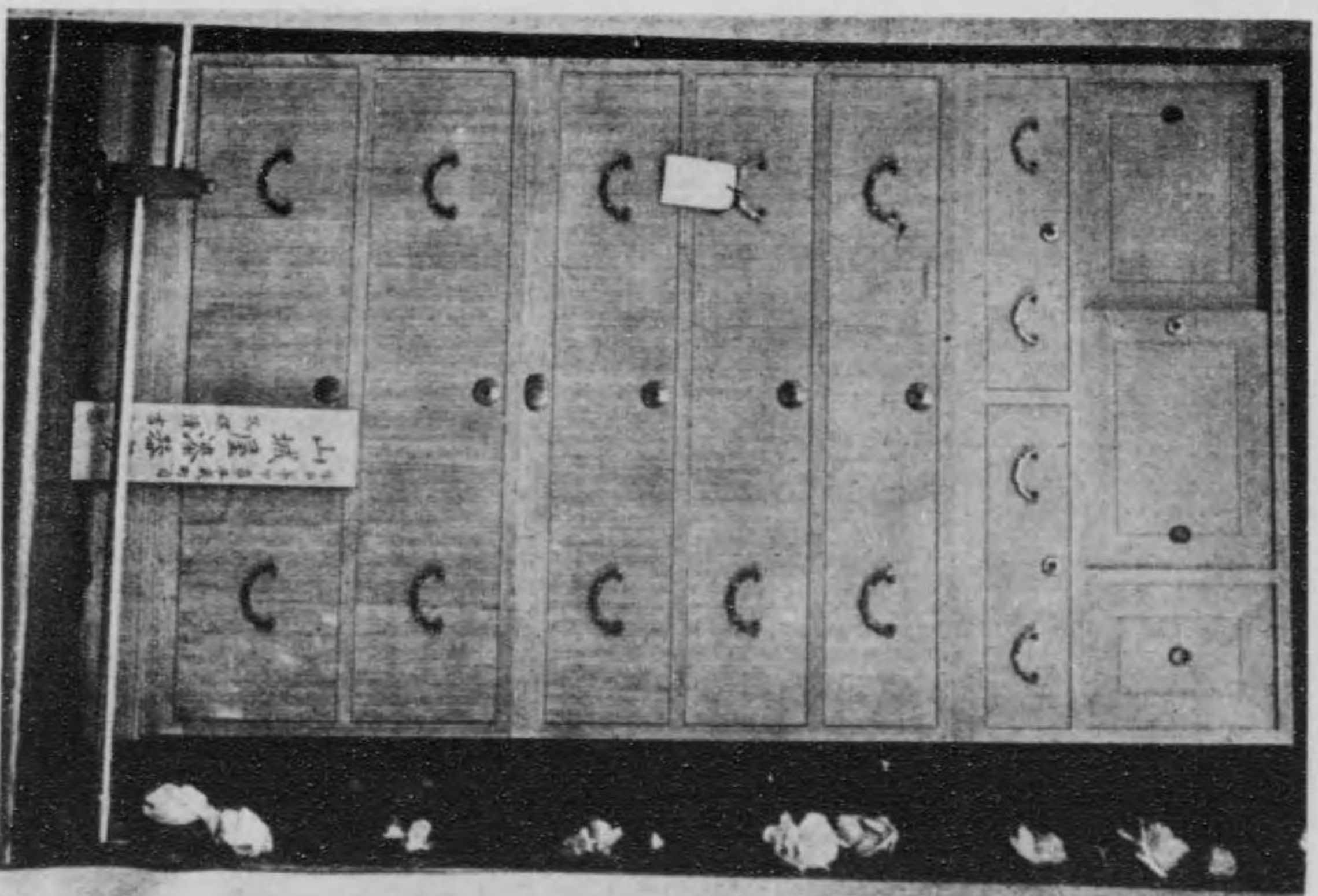
町道馬區草邊市京東  
氏吉常塚吉

館築建場會一第



村崎木郡立足北縣玉埜  
氏留兵武井石

館築建場會一第



町庄本市戸  
氏吉滿保久店器漆屋城山

### 東京美術草履組合

今回の平和博製作館の出品物があらゆる方面に於て進歩の跡歴々たるものがあつた、東京美術草履組合の多數出品物に於ても同様の感を深からしめた、これは業者が常に時勢の流行に深く心を置いてそれに適合するやう製作に努力した練磨の力と謂はなければならぬ、此の機会に臨み少しく出品者中の主たる人々を紹介せん。

佐野久次郎氏。浅草區馬道町六ノ八、氏は現任東京美術草履組合長、多年斯業の開發に努力貢献せる人、經驗も豊富、徳望も高く、組合の爲めには粉骨碎身を厭はず、爲めに組合員克く服従して居る、氏在る間同組合は益々發展を見る事であらう。圓満温篤の紳商である。

奥山兼助氏。浅草區聖天横丁十三現任副組合長として佐野氏を補佐し組合を統一し來つて今日に至る、氏も亦名望高く經驗もあり、一面在郷軍人會の役員として國家の爲めに努力して居る人である。

米山佐十郎氏。浅草區聖天横丁十三氏は現任美術草履組合の幹事少壯實業家として最も將來を有す、組合の幹部として常に其の發展に努力し今日に至つて居る、進取向上の氣宇と圓満の人格とは氏をして今日あらしめたものであらう。

米山金太郎氏。氏は前記米山氏の令弟、常に履物の改善改良に苦心し、銳意優品の製作に従事す、意匠新案の特許もあり、該組合には無くてならぬ人で、想ふに將來斯界の中堅は必らず氏であらうと思はれる。

高山一氏。浅草區山之宿二十五氏は業界に於て大いに將來を囑望せらるゝ人、組合に於ても勢力あり、隨つて名望も高く、一箇の紳商たるを失はない、今回の出品に於て入賞せるは常に優品主義を唱導する氏の作品としては當然であらう。

大岩英作氏。浅草區馬道町六ノ十五氏は美術草履組合の會計部長として同組合の理財を司掌する人、快活にして而かも着實、組合の維持發展にも亦た相當の功績あつた人である。

奥野倉氏。神田區末廣町一女史は纖弱なる一婦人を以つて堂々たる一店を切り盛して居る現代には珍らしい商才豊富世間で謂ふしつかりした人である。組合の爲めにも常に盡瘁を怠らない。所謂女史の如き眞に男優りといふべき人物奥野商店寫眞參照

大久保清次郎氏。東京美術草履組合創立の擧あるや、氏は組合の設立時勢に執りて急務なるを唱導し一身の利害を放棄して組合員を叫合し最も功績ありし人、現に同組合役員として重きをなして居る、大和フェルト商會(東京浅草區玉姬町二十一)は氏の經營するもの

高木氏。氏は商工兩才兼備の人物、一面東京履物同業組合員たり常に同業の改善に苦心し、今日業界振興を實現したる上にも功績淺からず、氏も亦た組合にはなくてはならぬ一人である。高木ゴム工業所(東京浅草區松葉町七十九)は氏の經營するもの。

第一會場製作館



東京美術草履同業組合

東京市日本橋區室町二丁目

木屋漆器店

林九平

有名なる木屋漆器店の製作館内に於ける出品なり。

東京市日本橋區通一丁目

合資 黒江屋漆器店  
會社

東京市神田區美土代町二ノ一

營業主目 清酒白酒其他醸造及販賣業  
經營者 豊島屋本店

店主 吉村 政次郎

電話神田 二六六〇

二六六一

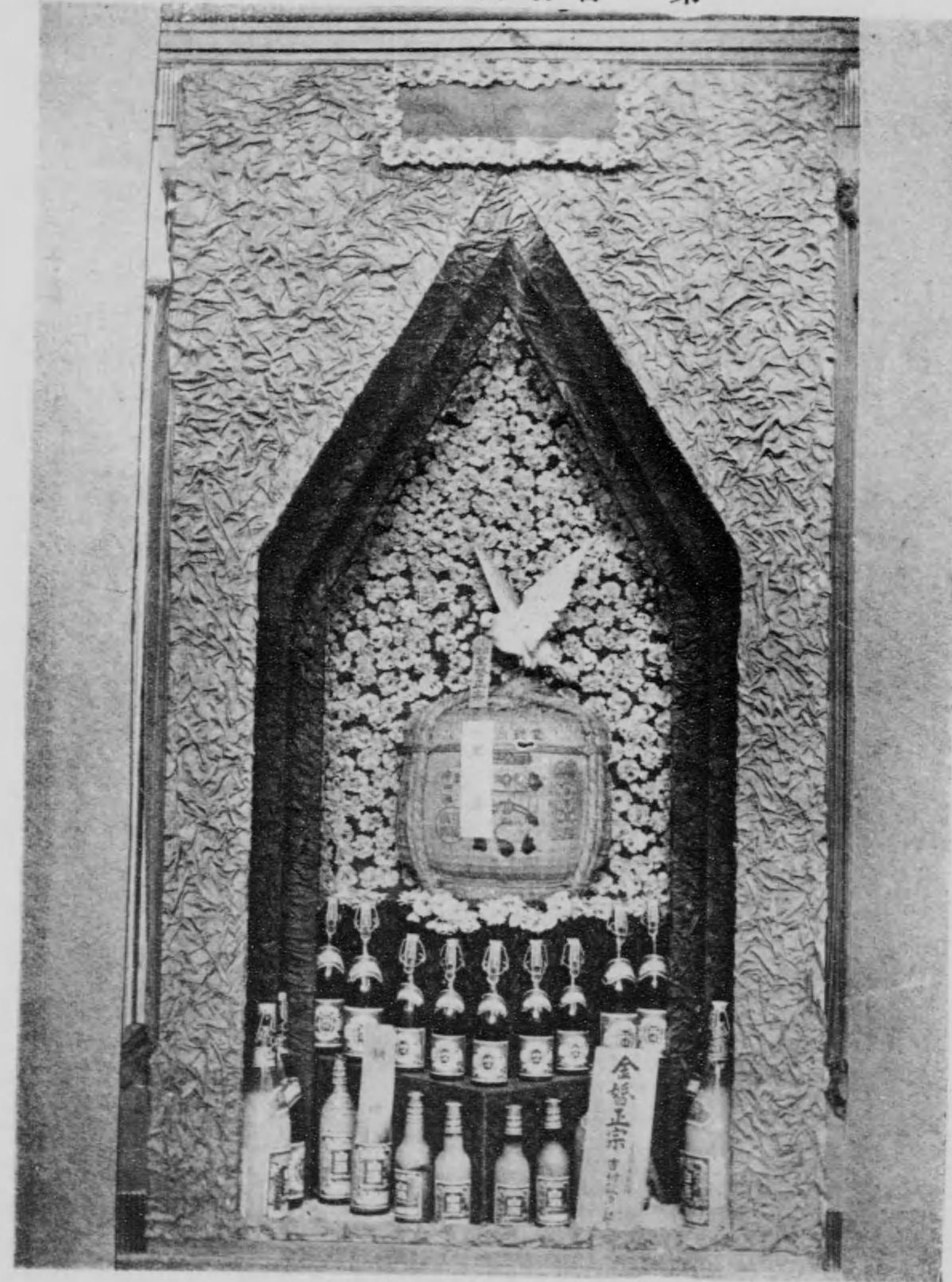
二六六二

振替東京四八八番

一、創立 舊幕時代

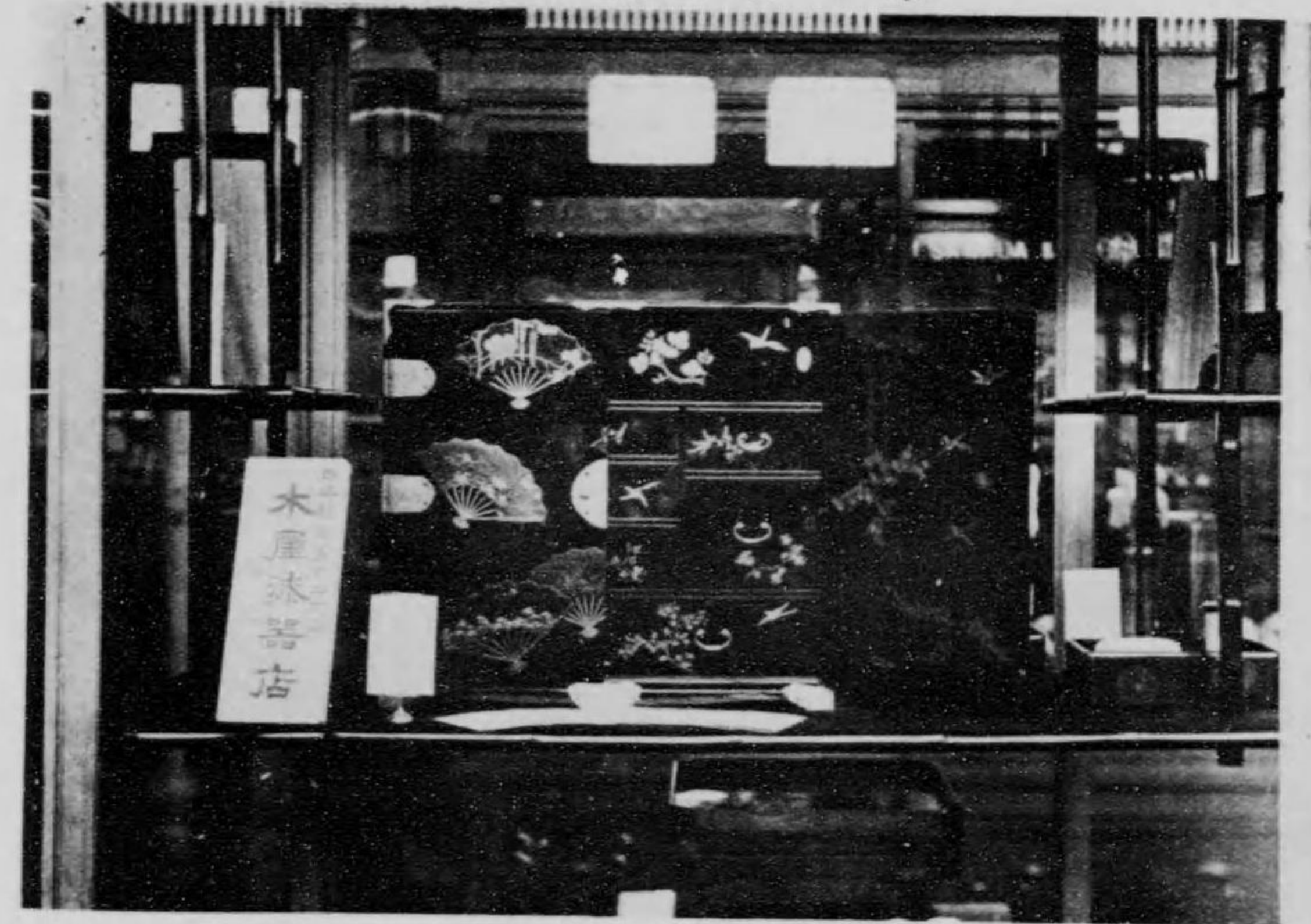
豊島屋の特製品たる白酒は徳川幕府以前（江戸に幕府を開きし以前）より豊島屋祖先の醸造に關るもので恐らく我國の白酒中尤も貴重なる歴史を包有して居るものであらう、而して徳川三代將軍の代に至りて豊島屋の白酒は漸く世上に聲名を知られたものである、爾來四百年の経路を經今日の隆盛を見るに至つたものである、現今では内地一般に取引を有するのみならず遠く朝鮮滿洲北海道臺灣方面に販路を有するに至つた、京橋區常盤町六番地豊島屋支店（電話京橋六一七番）は本店同様の商事に従ふ今日迄各博覽會及品評會等に於て金銀賞牌を受領する事數十回に及んで居る。

第一會場食料館



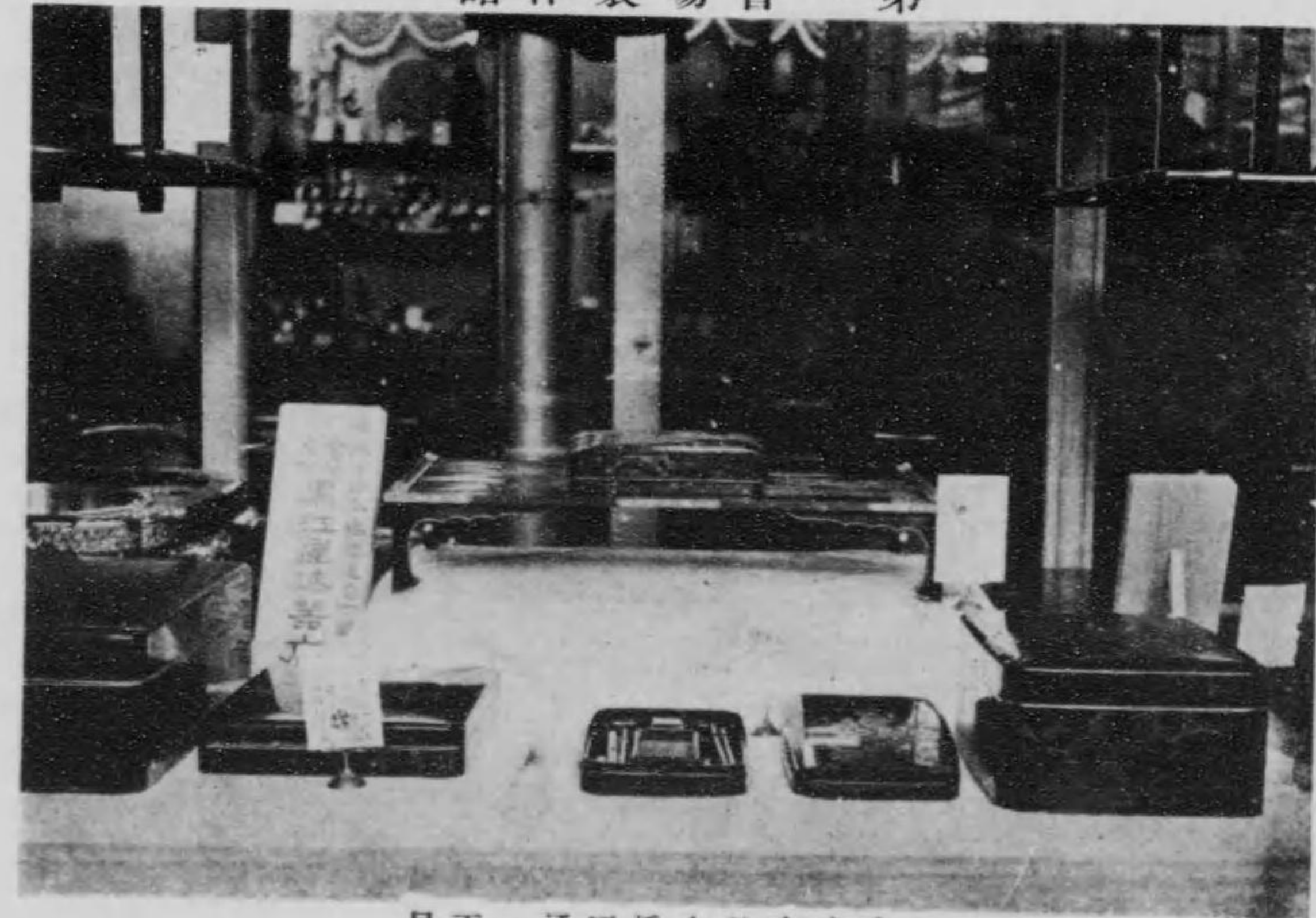
東京市神田區美土代二ノ一  
吉村政治郎氏

第一會場製作館



東京市京橋區空町二丁目  
木屋漆器店

第一會場製作館



東京市日本橋區通一丁目  
黒江屋漆器店

一、出品者

矢部 甚 一 郎

一、所在地

東京市本郷區湯島切通坂五番地

一、營業

唐木細工一式製造及販賣

矢部氏は福井縣坂井郡鳴鹿村の人士壯郷關を辭して福井市に出で、木材業者として一店舗を經營する事滿十ヶ年に及び、踵いで福井市より東京に出で下谷區坂本町四丁目一店舗を開き唐木材木商として活躍を初む時に明治三十九年とす、唐木材商たる事數年、更らに銘木の製作所謂唐木細工業に轉じ前記本郷區湯島切通坂五番地に移り業務大いに發展し遂に今日を見るに至る。

現今氏の取引先は全日本に及び北は樺太、北海道西南は熊本及下之關方面一帯に及ぶ、東京に於ては株式会社博品館三越を初め各有名商店とす氏は今回の平和記念東京博覽會に數點を出品したるが旬日を出でずして何れも賣約済みの盛況を呈するに至れり。

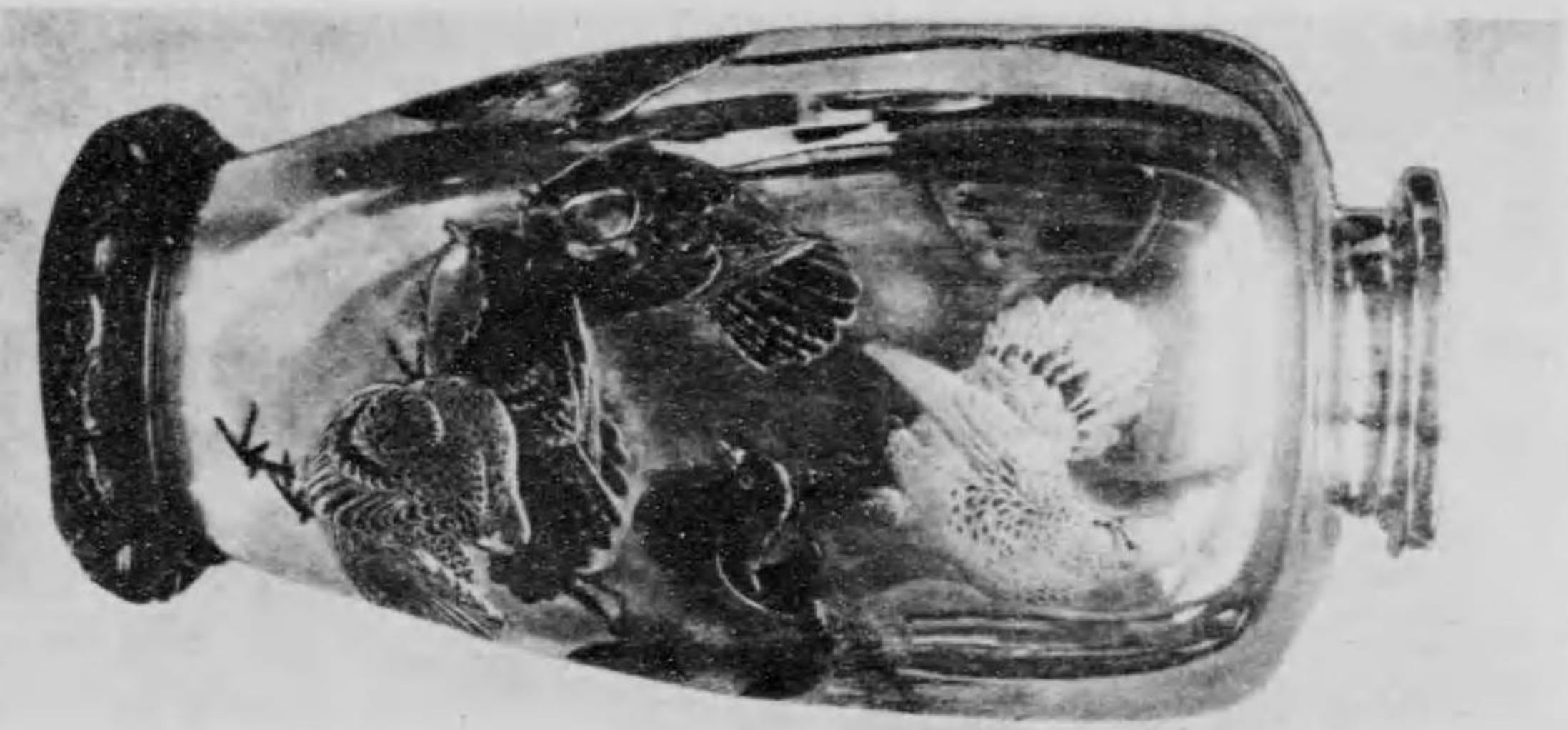
ライオン齒磨本舗特設館

一、第一會場に聳立せるライオン齒磨本舗のライオン塔なり。

東京市本所區外手町  
株式會社 美 山 堂

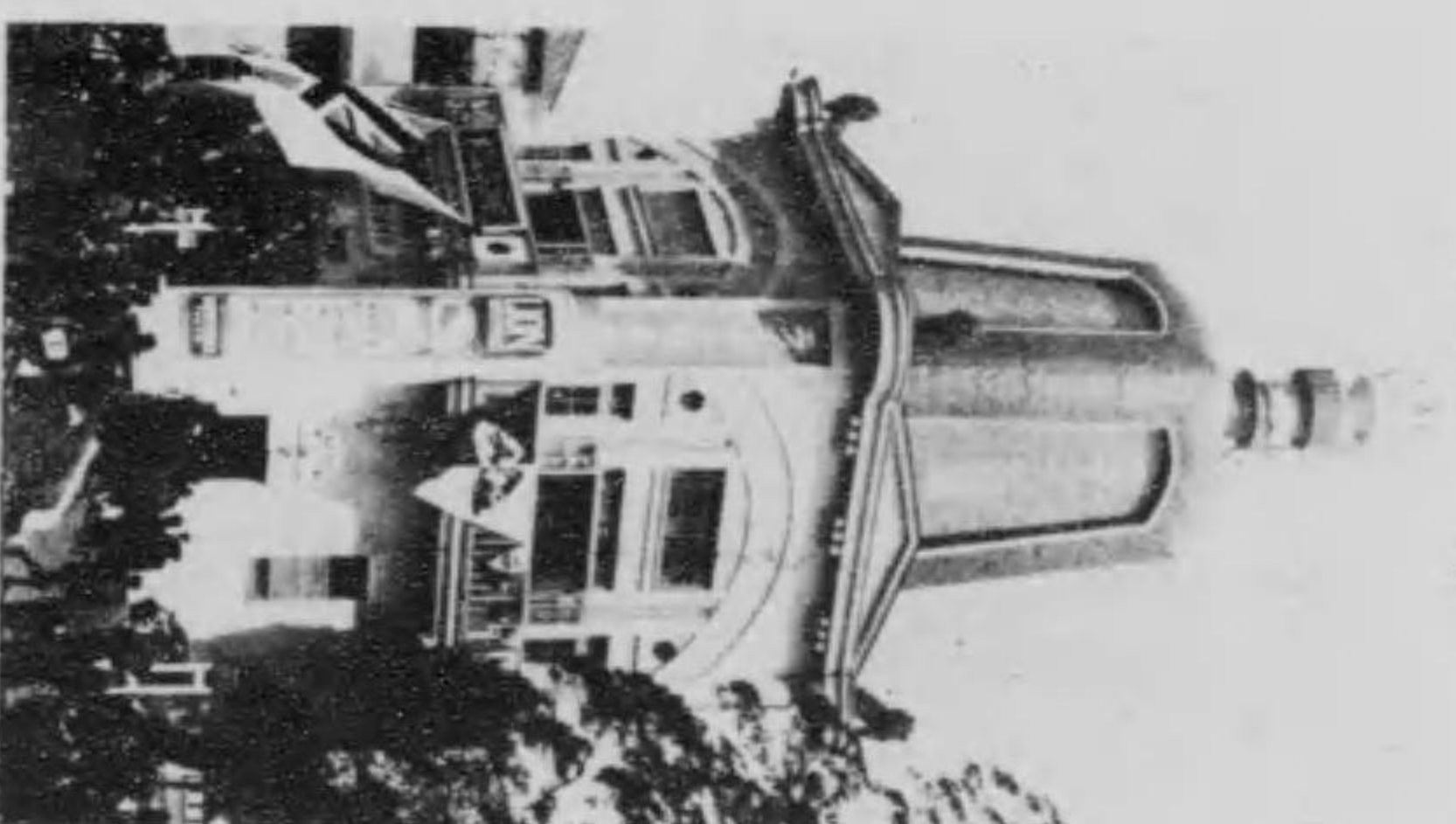


館 美 場 會 一 第



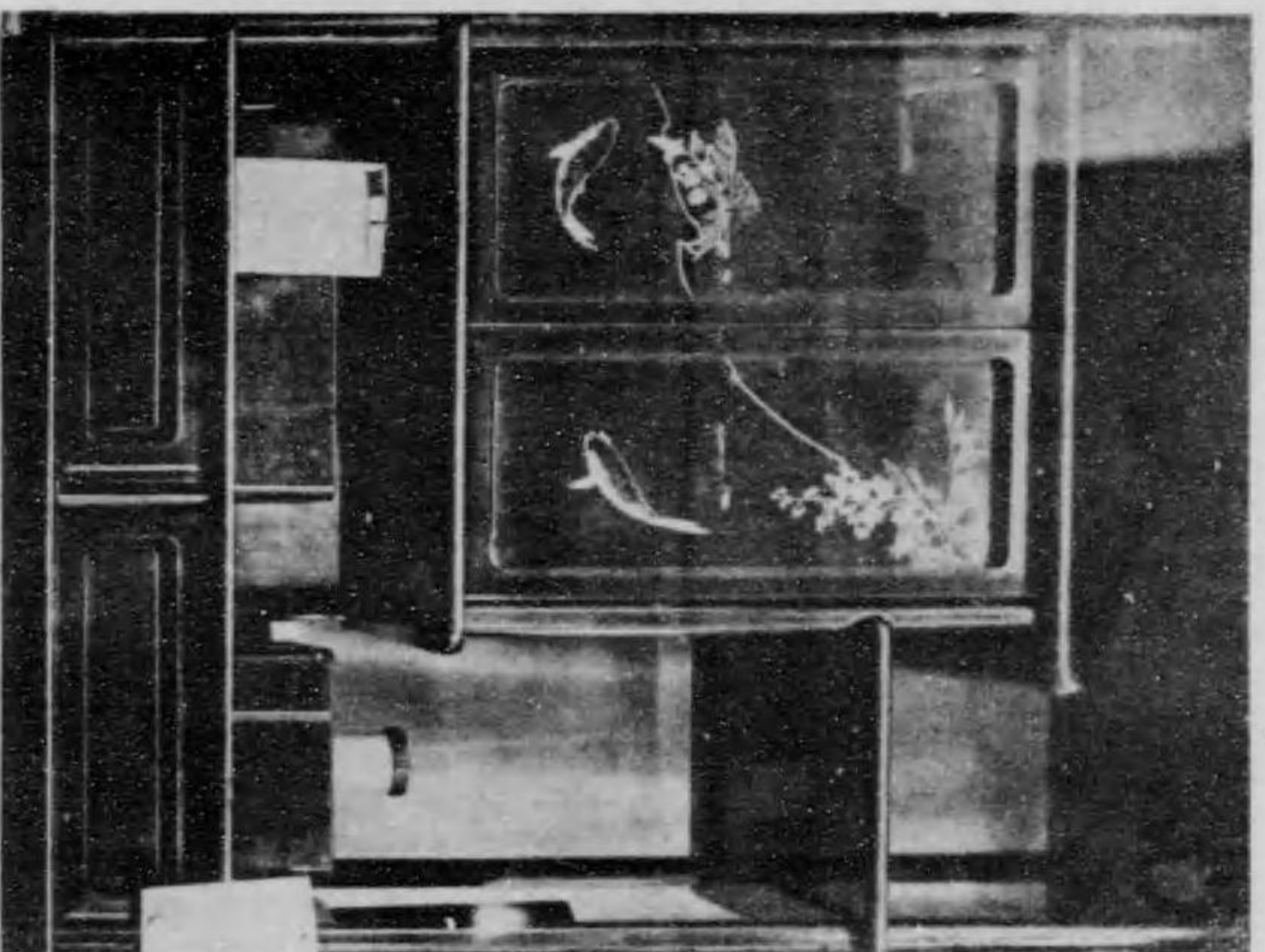
八町原河區所本市京東  
氏之壽 林

場 會 一 第



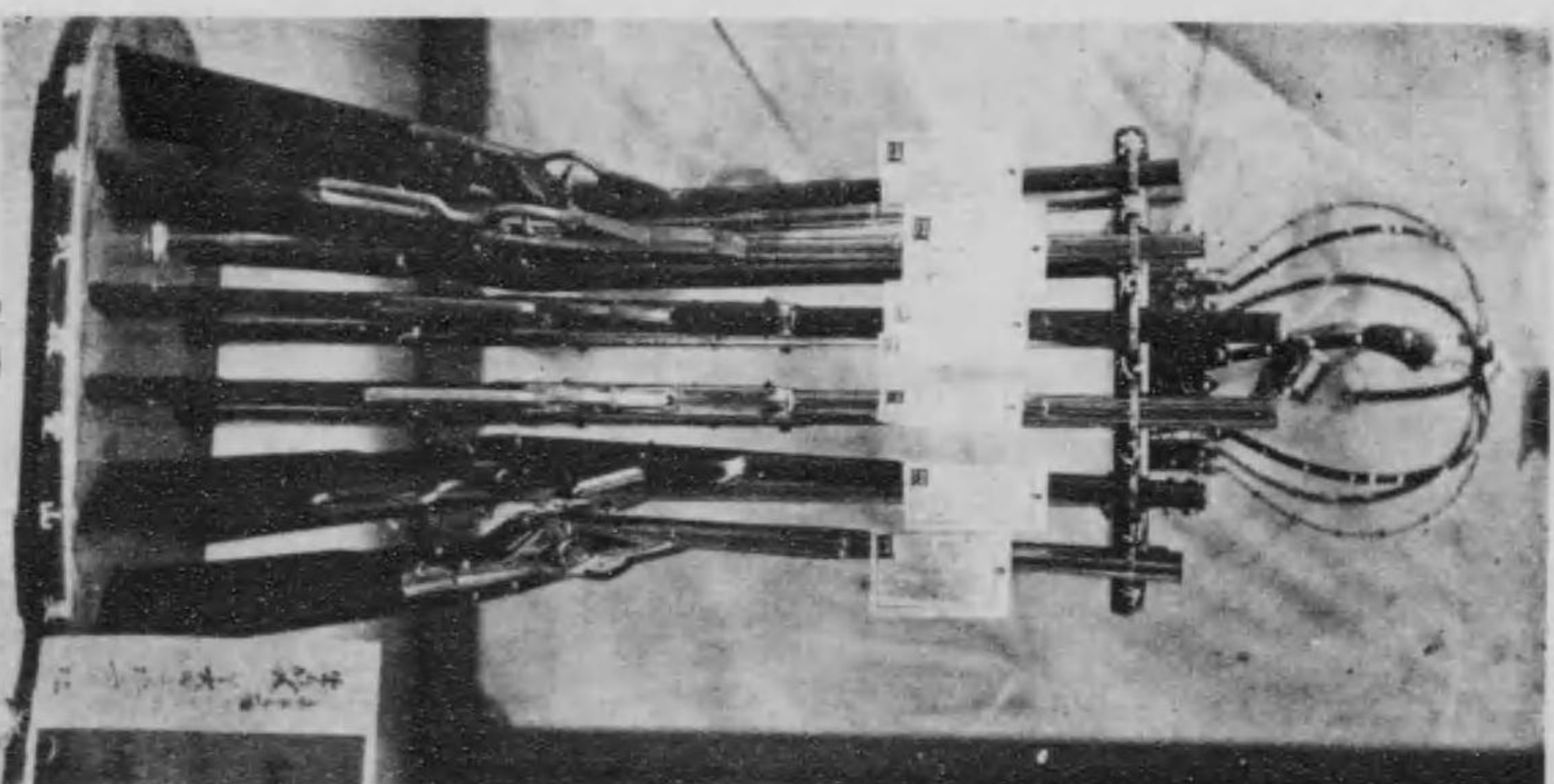
京 東  
鋪本啓商ソノイラ

館 築 建 場 會 一 第



五坂通身島湯區郷本市京東  
氏 郎 二 世 部 矣

館 作 製 場 會 一 第



町手外區所本市京東  
堂 山 美 社 會 式 株

埼玉縣浦和町

石内保太郎

一、石内氏の出品せるカマワカは盆栽中の呼物にして遂に審査の結果銀牌に入賞せり地方出品盆栽中銀賞に入れるは氏外一人に過ぎず、好者が口を揃へて其の出来栄を賛嘆したるも亦故なきにあらざるなり。

日魯漁業特設館

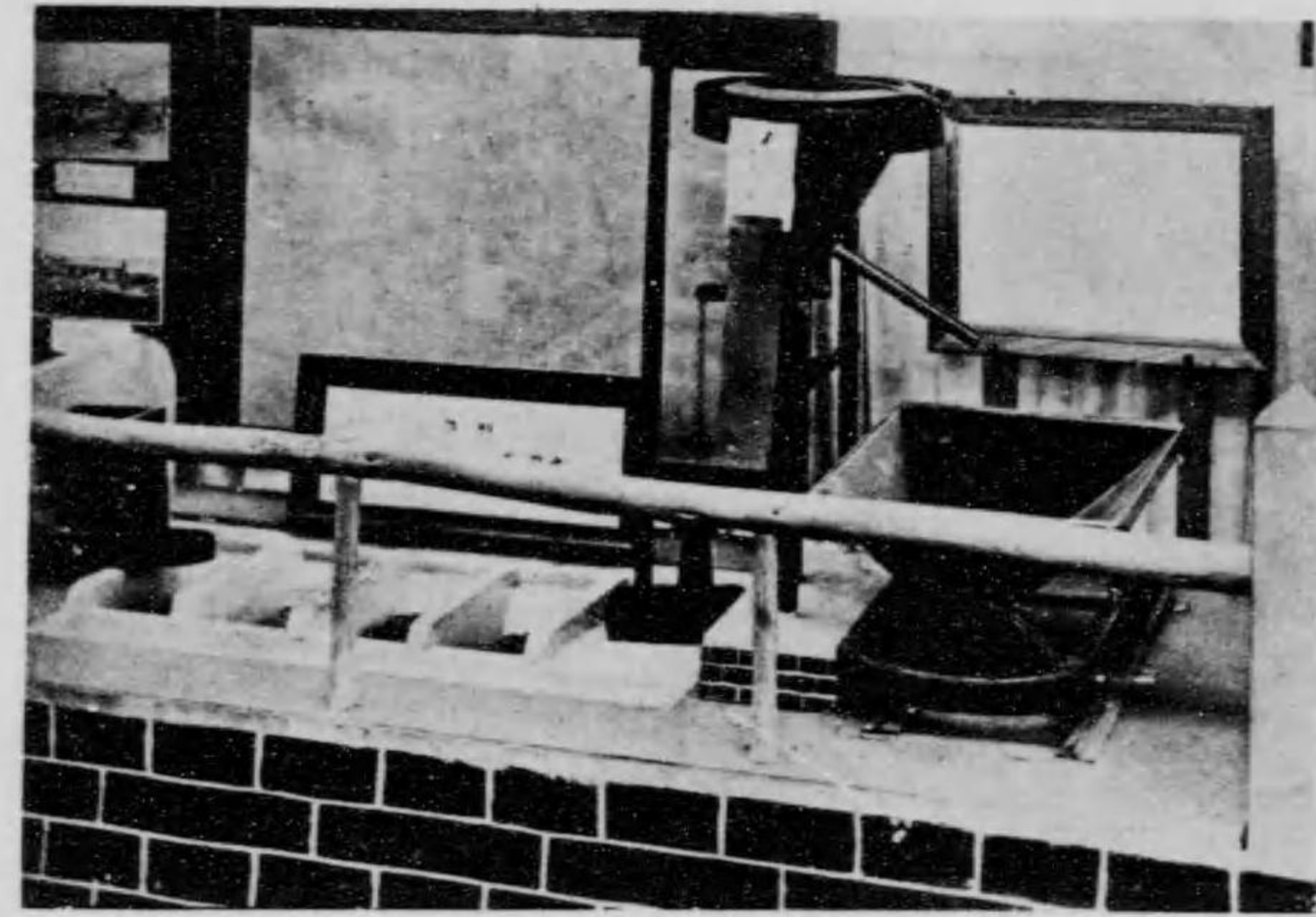
鮭料理は安價にして而かも頗る美味なることを今回の平和博に於て遺憾なく宣傳することを得たり。  
詳しくは同社出品欄を参照せられたし

東京

松田洗沙器製造所

一、出品物は農産館に陳列せる専賣特許松田式洗砂器にして農具中好評噴々たりしものなり。

第一會場農業館



東京松田式洗沙器

第一會場



東京市麹町區飯田町一ノ  
米山一ダイサ株式会社特設館

第一會場



東京  
日魯漁業株式会社特設館

第一會場農業館



埼玉縣浦和村  
石内保太郎氏

名古屋市中區老松町七丁目  
不二見燒會資會社

東京府下瀨ノ川田端二二三〇  
東洋ペイント株式會社

福島縣若松市  
松本漆器店

滋賀縣彦根町字芹中  
藤村作平

名古屋市中區川端町  
コークス製作所

一、今泉氏の出品物花瓶は化學館に陳列せられたるものにして其の形態、  
模様、地に於て群品に超越し遂に銀牌の賞に入れり、陶器として銀牌を受  
領せるもの僅かに二三種に過ぎず、以つて氏の精巧なる技術を見るに足る  
べし。

佐賀縣有田町

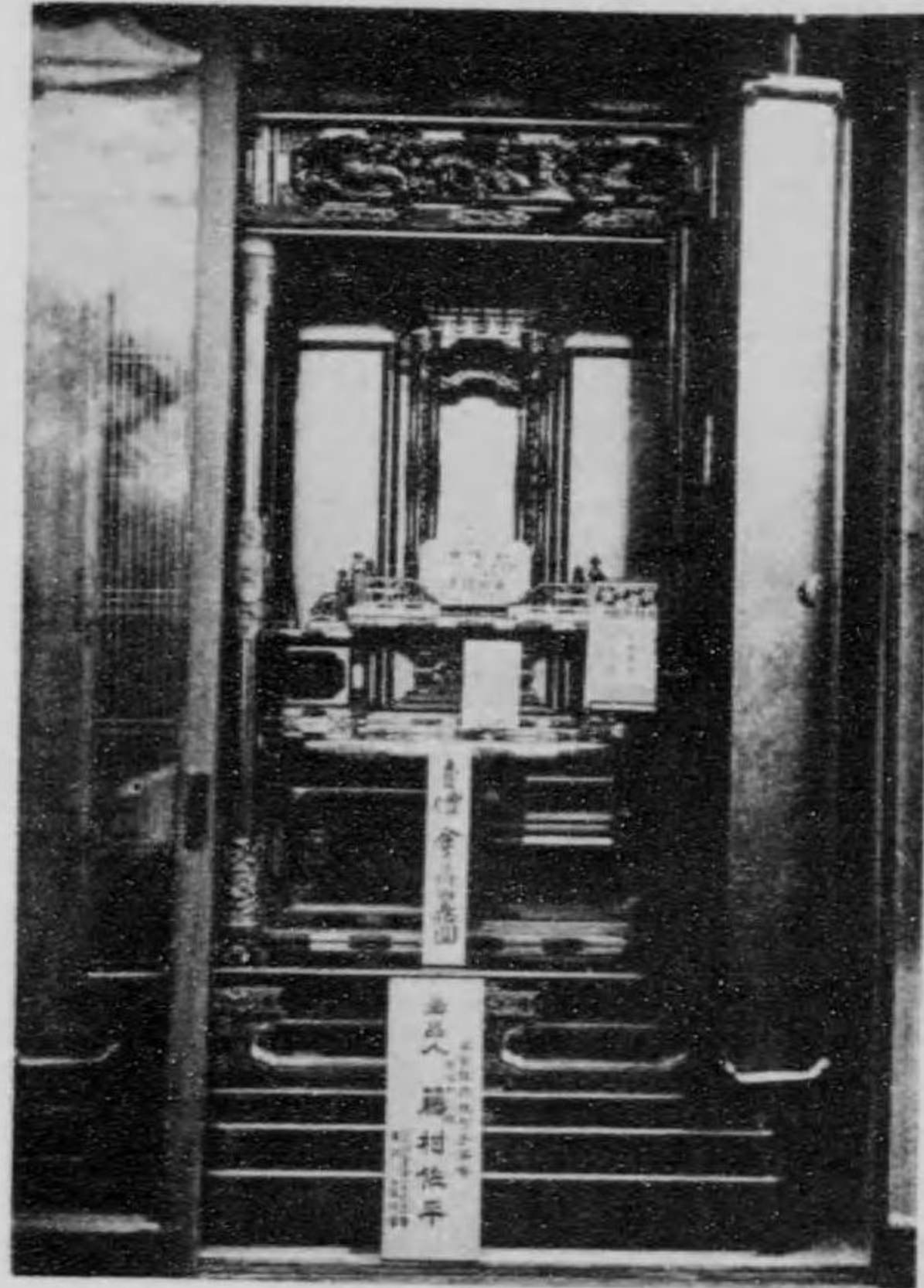
今泉今右衛門

館學化場會一第



町田有縣賀佐  
門衛右今泉今

館築建場會一第



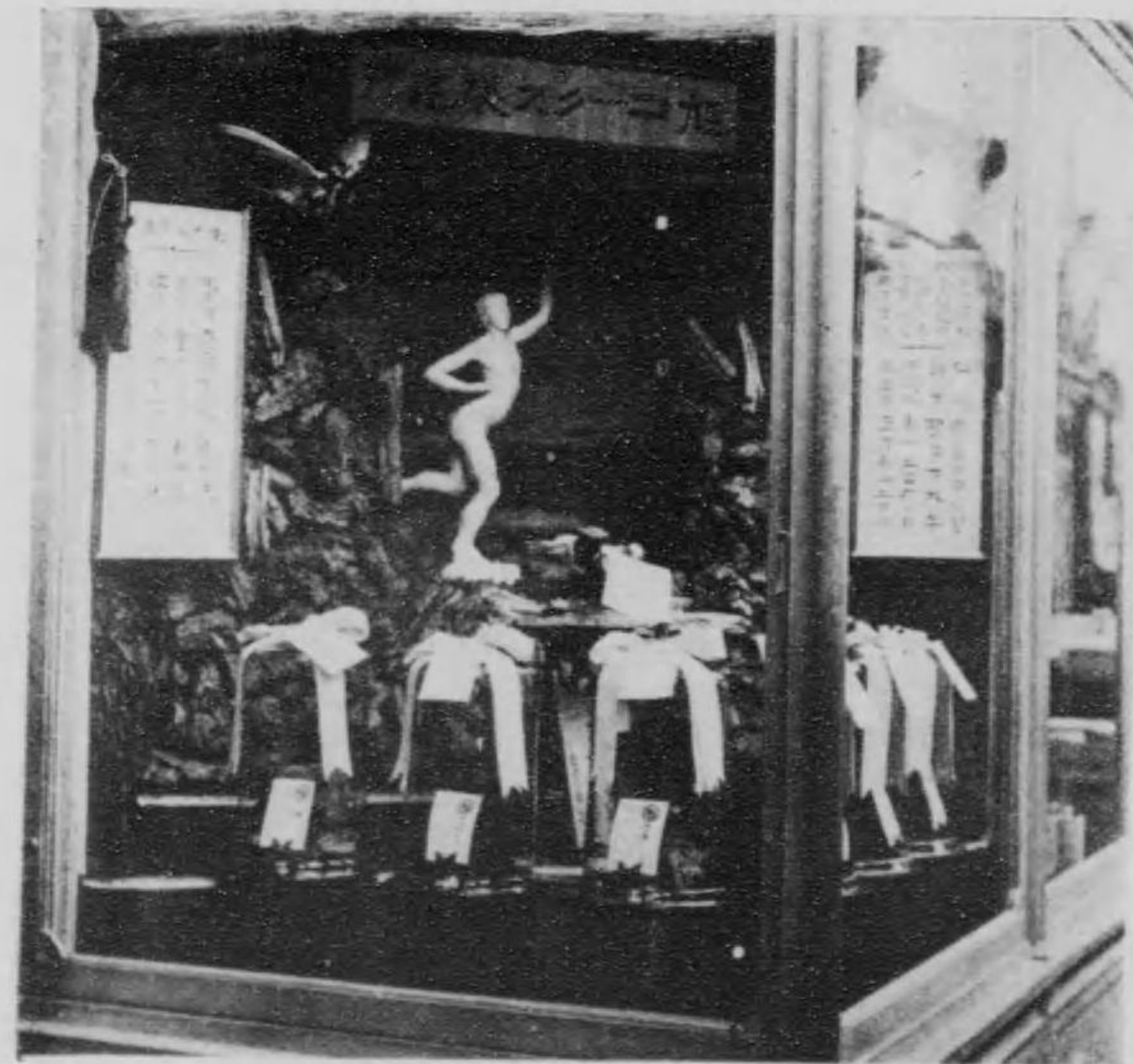
中 宇町根彦縣賀滋  
氏 平 佐 村 藤

館學化場會一第



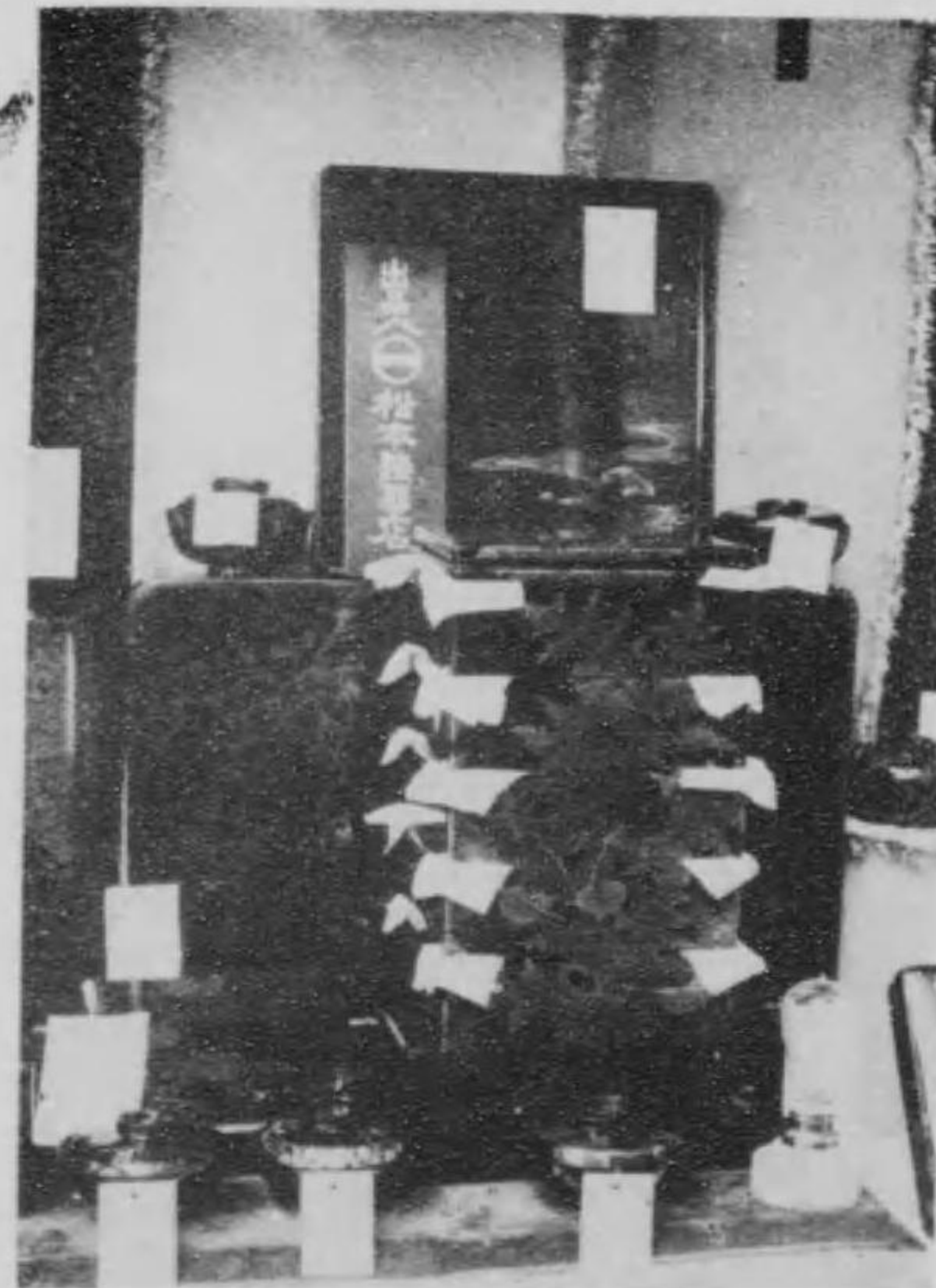
端田川ノ瀧外市京東  
社合式株トソイベ洋東

館學化場會一第



町端川區中市屋古名  
社合式株スクイコ旭

館作製場會一第



市松若縣島福  
店器漆木松

館學化場會一第



町松老區中市屋古名  
社合資合燒見士不

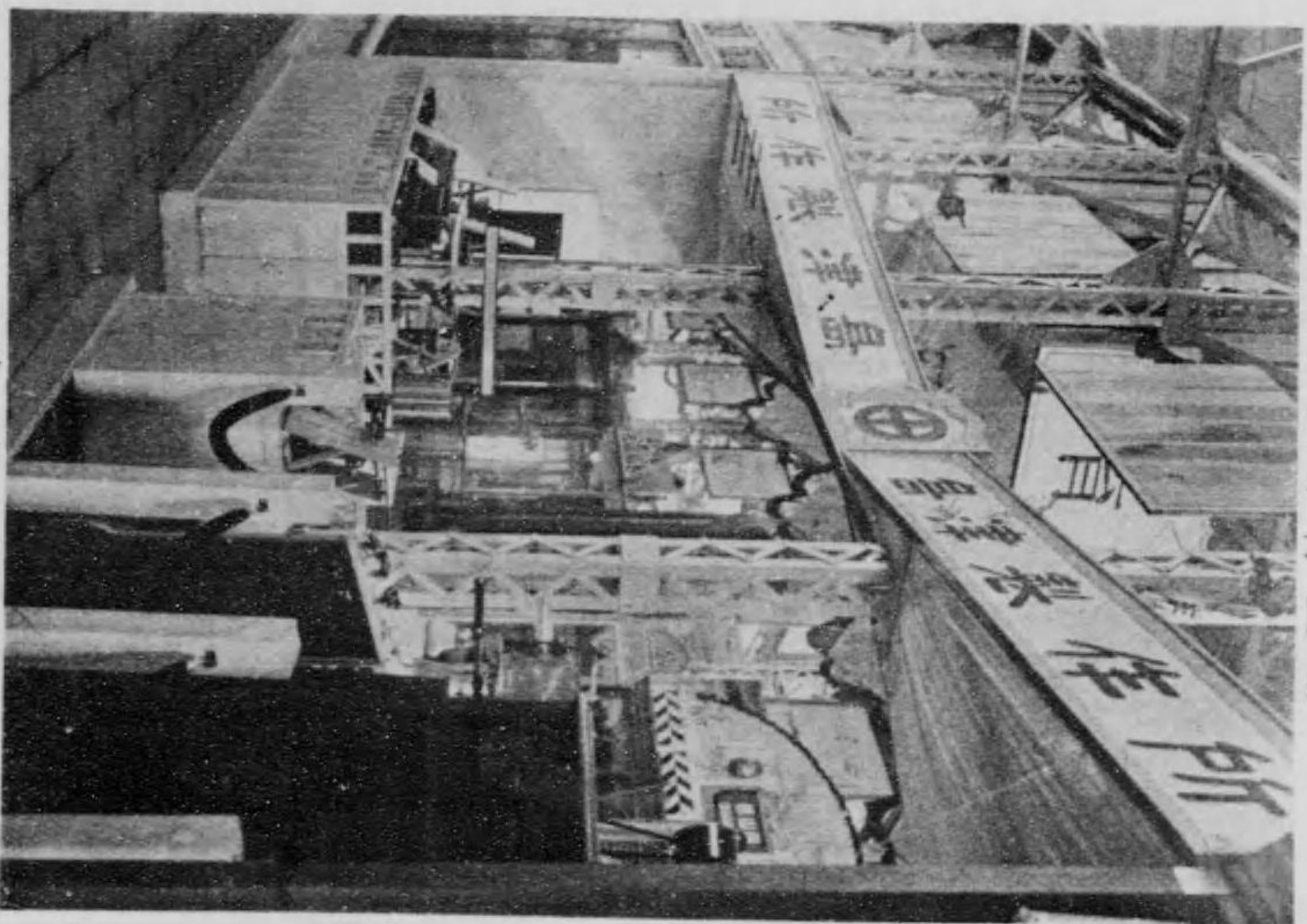
京都  
島津製作所

横濱市神奈川町  
東京製線株式会社  
一、各種電線及びエナメル線の出品物光景にして銀牌を得たり。

京都  
松風工業株式会社

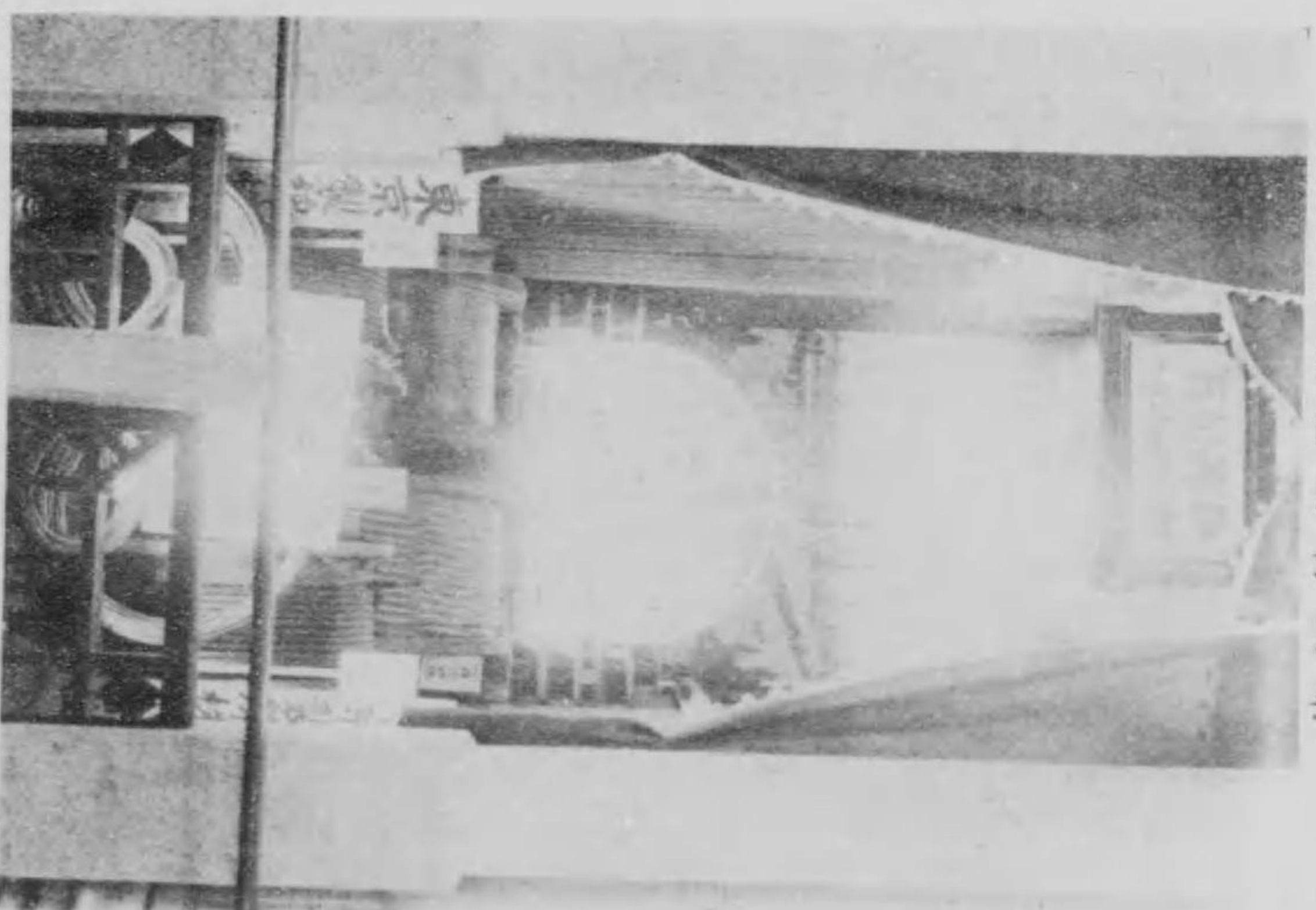
東京  
加藤合名会社  
一、貿易業加藤合名会社の出品物なり

附氣電場會二第



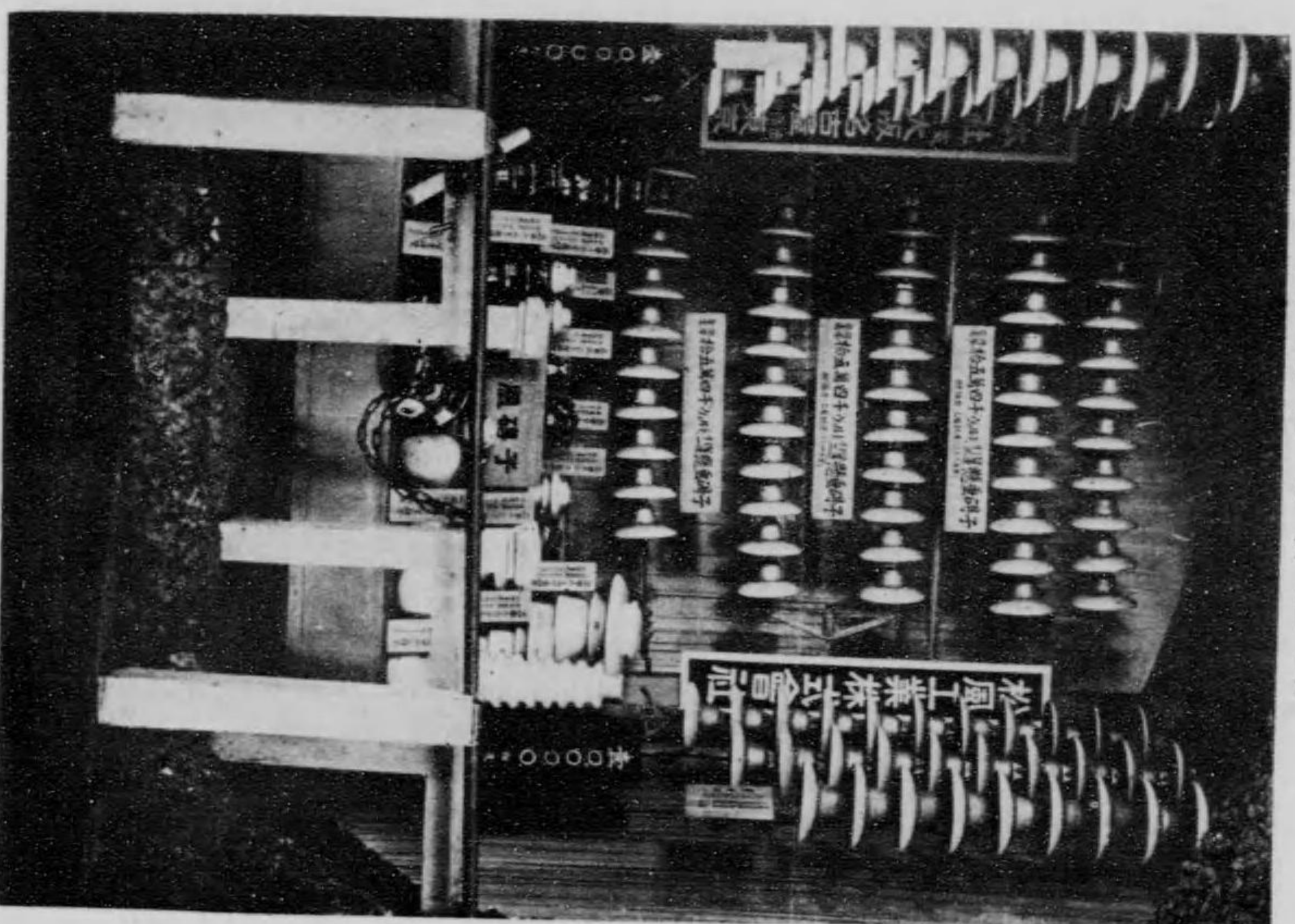
京都津島製作所

附氣電場會二第



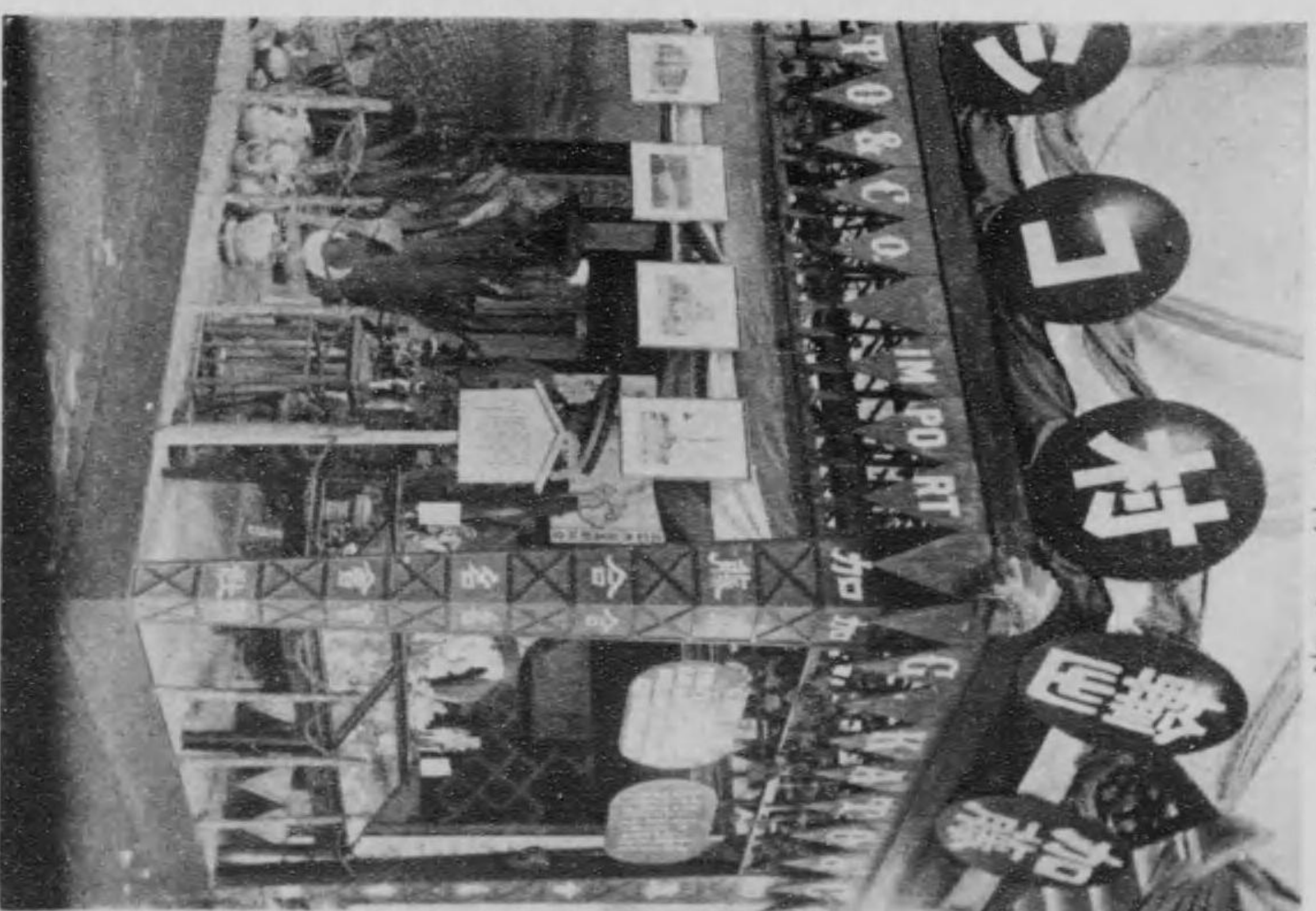
神奈川縣川崎町川崎鐵線會社

第二會場電氣館



松風工業株式會社

第二會場外國館



東京市橋區築地加藤商店

一、出品者名  
二、所在地

株式会社松尾工場  
東京市麻布區竹谷町二番地

一、特許和田式耐寒共用及専用機、一、特許津田式各種動力織機、一、特許東草式製疊機、一、砲金眞鍮、マンガンボスボロス其の他特種合金、鑄造、製作一切

一、創立年月

明治三十七年十二月

經歷及沿革、明治三十七年十二月松尾廣吉個人の創立に係り主として砲兵工廠の御用品たる信管製作に従事し日露間平和克復後パールブコツク類の専門工場となり海軍指定品たる棚式接手の製作販賣を引受け明治四十四年五月海軍指定工場たるの恩命を蒙り以來各海軍工廠御用命増加し工場擴張の必要に迫り大正九年十月株式組織となし爾來刷新なる機械を増設し製作上改善を加へつあり

東京

三菱電氣株式會社

一、電氣館に出品せる三菱電機株式會社の出品とす

東京市芝區田町四ノ二  
冲電氣株式會社

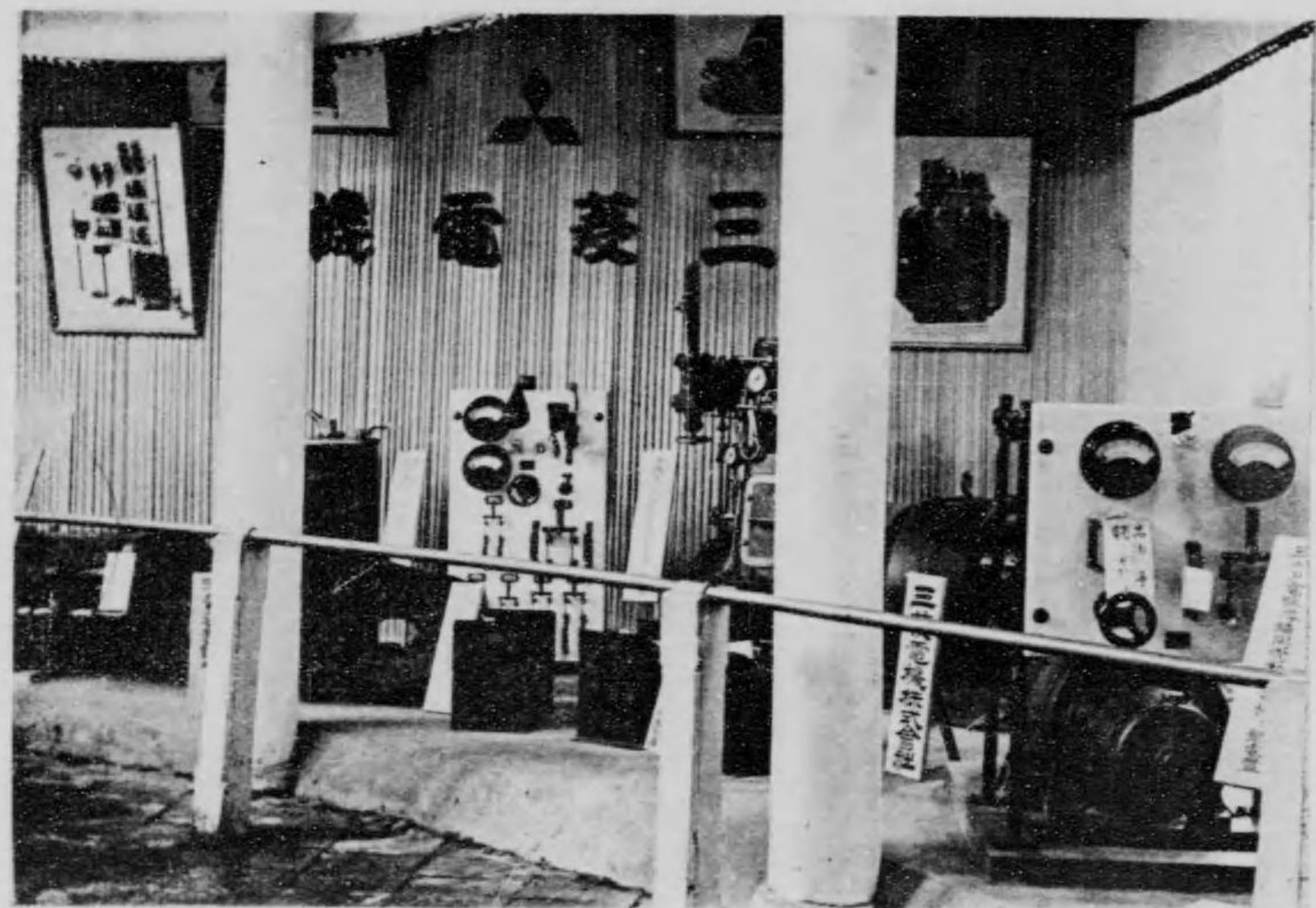
東京府北豐島郡日暮里

阿部電氣時計製作所

一、阿部電氣時計は現代に於て電氣時計の霸王を以つて許さる。特許權は本邦を初め日米に亘り六種を所有す、其の正確なる點に於ては其名の如く本邦の有名なる會社官衙は凡て該時計を据付け業務益々發展しつゝあり。

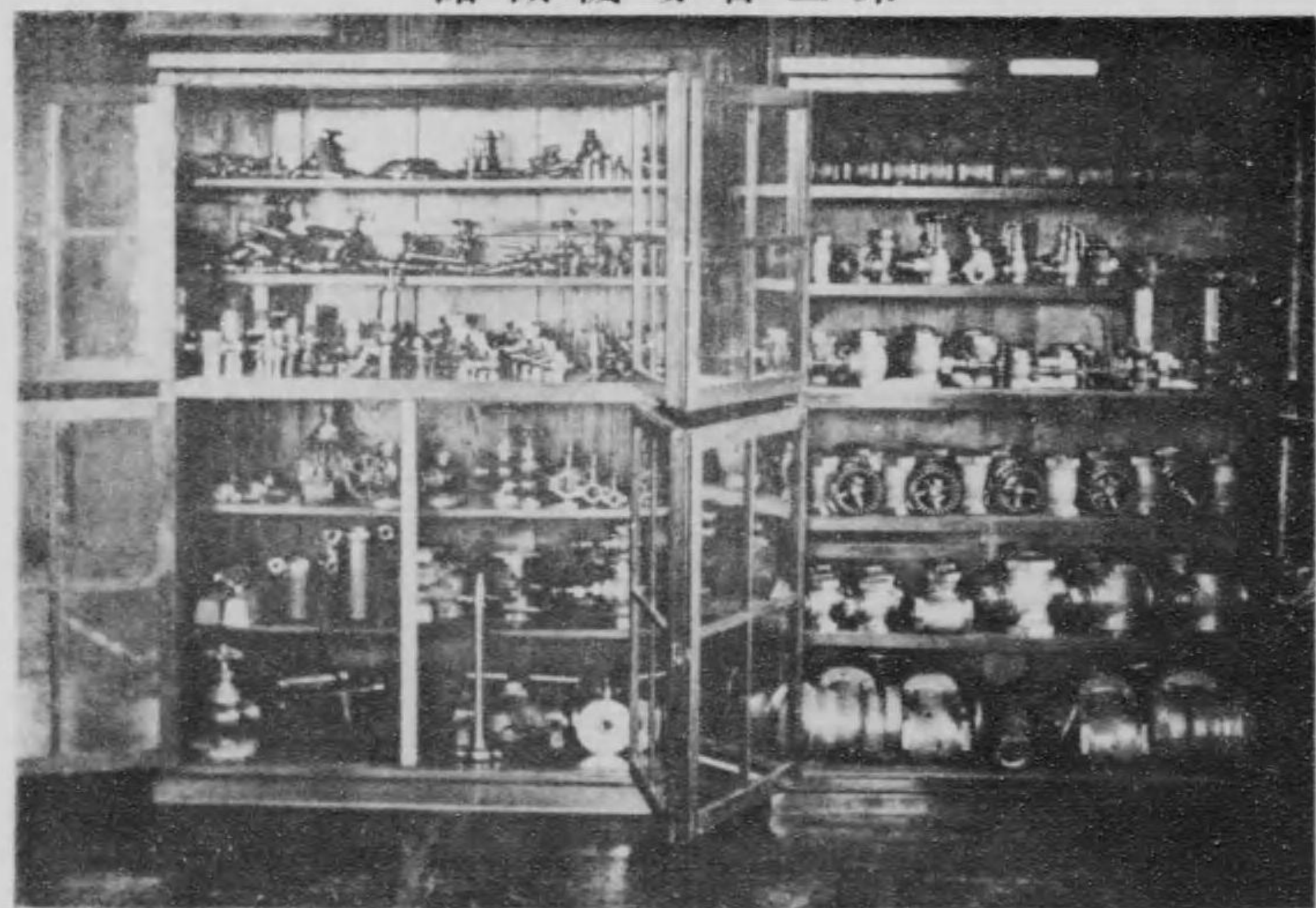


館氣電場會二第

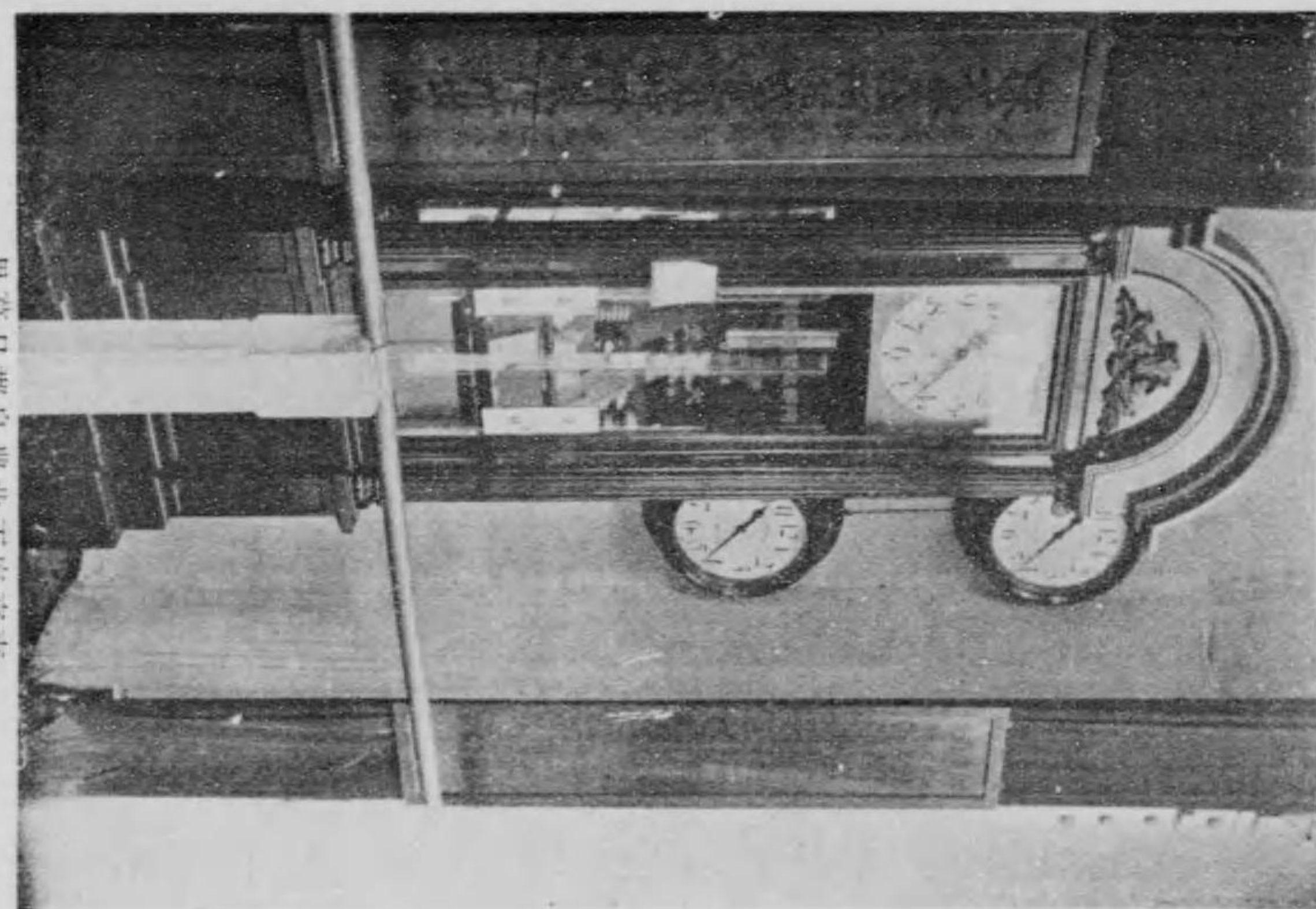


市京東  
社會式株氣電菱三

館械機場會二第

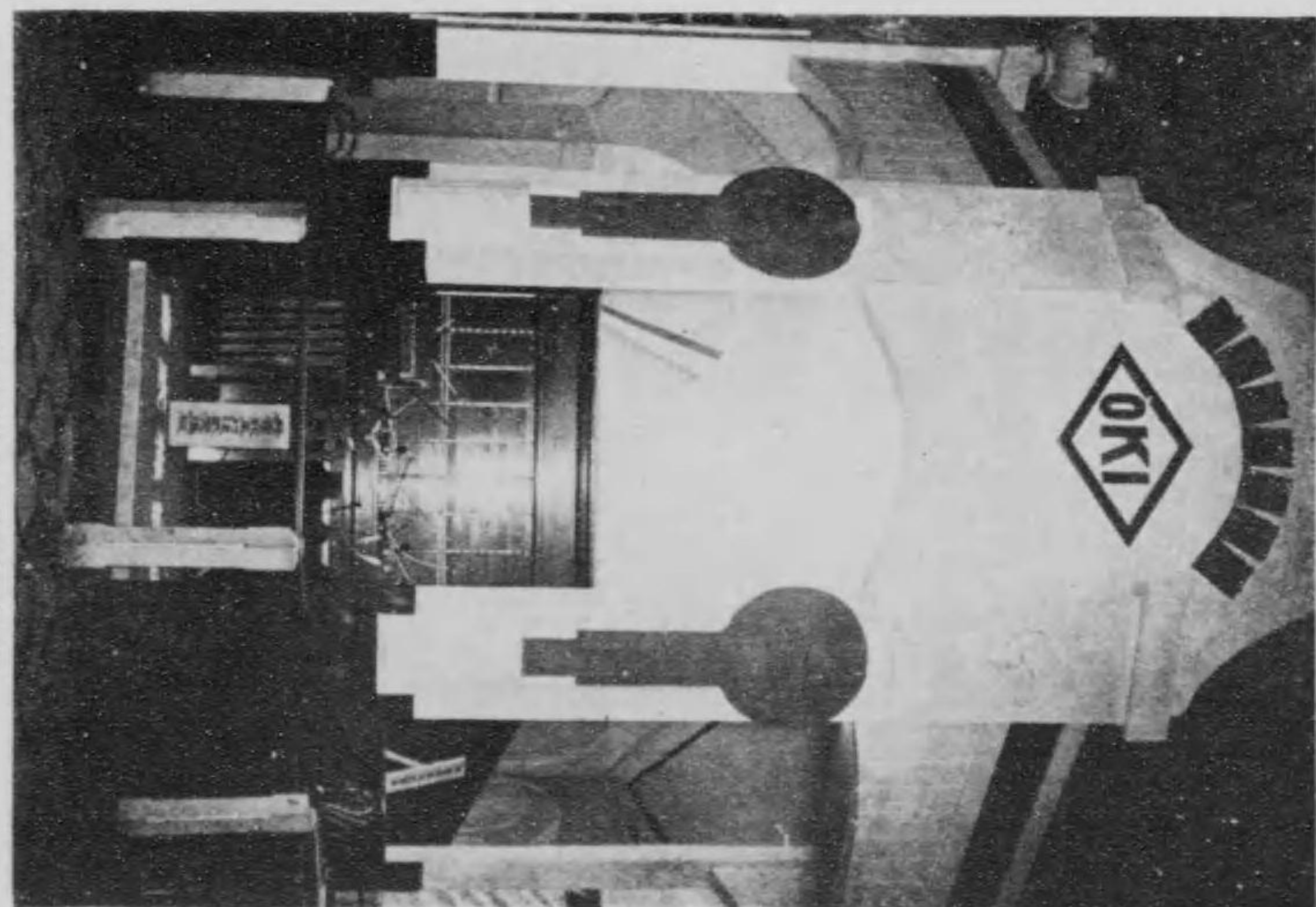


町谷竹區布麻市京東  
場工尼松



里幕日郡島豐北下府京東  
所作製計時氣電部阿

館氣電場會二第



二ノ四町田區芝市京東  
社會式株氣電沖

館氣電場會二第

滋賀縣坂田郡北郷里村  
近江ウエルベツト株式會社

一、出品物はウエルベツト各種にして染織館に光彩を放てり審査の結果  
金牌に入る、ウエルベツトに於て入賞せるは實に同社あるのみにして此  
の名譽は同社發展の上に一層光輝を放ちものなるべし。

東京隅田川工業株式會社

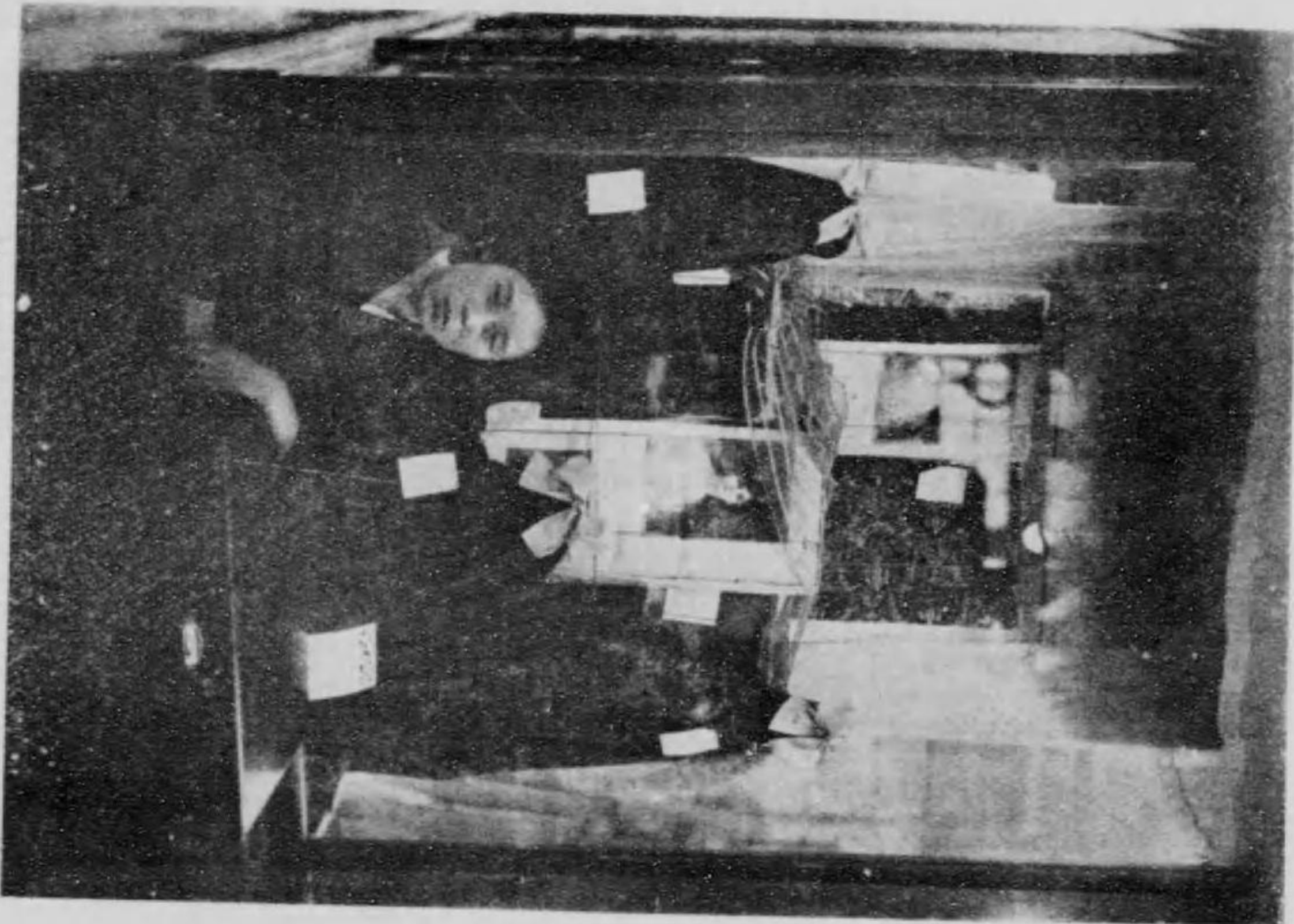
一、出品者  
一、所在地 東京府南葛飾郡寺島村二八七三番地  
一、營業科目 染色業  
一、經營者 取締役社長 岡田壯四郎 專務取締役長島茂次  
一、創立年月 大正五年十一月  
木綿茶耕、木綿紺耕、木綿裏地、瓦斯毛斯等の染色業に従事し隅田川工業  
の名頗る高し木綿中形は大正十年より發賣一般に好評を得つ  
ゝあり。

平野チヤケツト株式會社

一、出品者  
一、所在地 東京市日本橋區龜井町四番地  
一、營業科目 ジャケツト、オーバーエター、手袋、靴下、  
其他防寒具各種  
一、經營者 社長 平野房吉  
一、創立年月 明治二十五年  
一、商標大佛印  
一、大正九年二月從來の平野房吉氏個人經營を改めて會社組織となす  
一、東京大正博覽會に於て銀牌を受領す

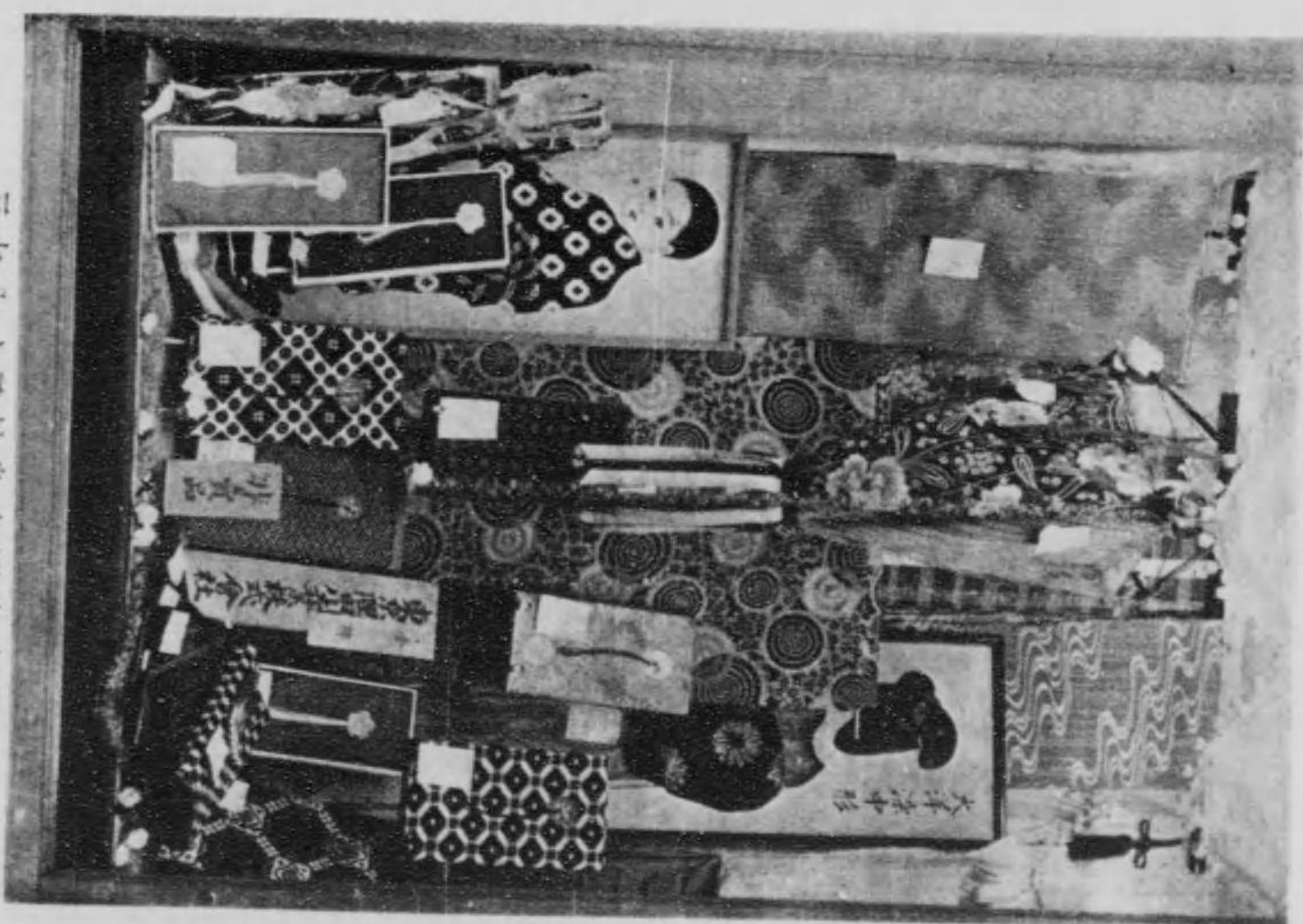
東京府下寺島村  
東洋染色株式會社

第 一 會 場 染 織 司 司



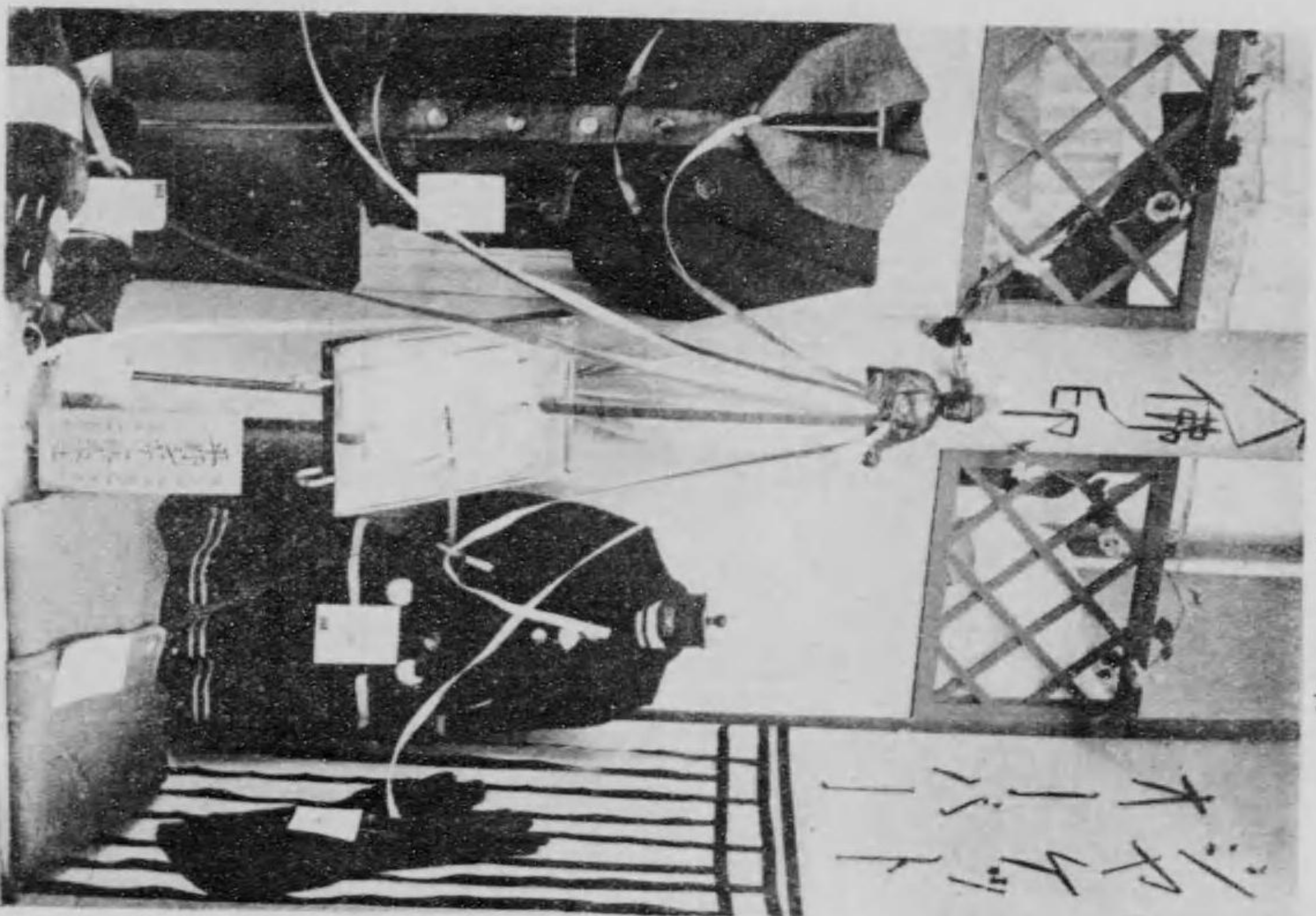
遠 江 市 費 離 田 郡 北 鄰 里 村  
近 江 市 丸 木 ツ ト 株 式 會 社

第 一 會 場 染 織 司 司



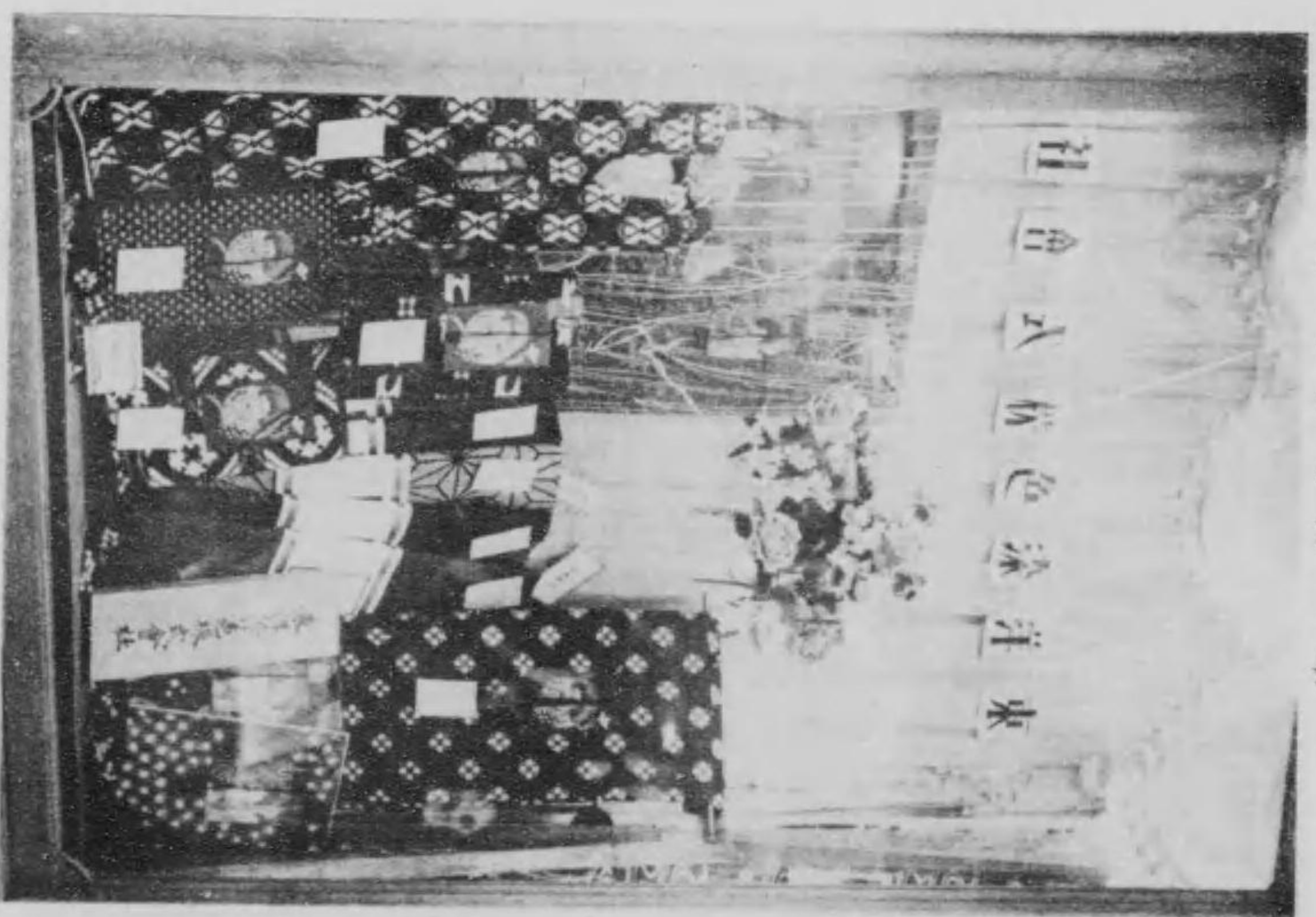
東 京 府 下 島 村 二 ノ 八 七 三  
隅 田 川 工 業 株 式 會 社

第 一 會 場 染 織 館



東 京 市 本 橋 區 旭 井 町  
平 野 ヤ サ ツ ト 株 式 會 社

第 一 會 場 染 織 館



東 京 府 府 高 師 郡 島 村  
東 洋 染 色 株 式 會 社

東京市下谷區龍泉寺町

中村 二郎

電話淺草二二九三

一、出品物はネーム織と稱する氏が經營する織工場に於て製織せられたる  
獨得のものにして觀覽者の賞讃を博せるもの、審査の結果銅牌を受く。

銅牌受領

仙臺市土橋通

仙臺染織製綿株式會社

東京府北豐島郡日暮里

高瀬 富三郎

一、出品物はネクタイ地にして銀牌を授けらる

東京府北豐島郡日暮里

藤井 邦造